

# 公共建築工事標準単価積算基準

平成 29 年度

(国土交通省大臣官房官庁営繕部同基準平成 28 年 12 月版)

岩手県県土整備部

# 公共建築工事標準単価積算基準

## 目 次

### 第1編 総 則

### 第2編 建築工事

#### 第1章 新営工事

- 第1節 仮設
- 第2節 土工
- 第3節 地業
- 第4節 鉄筋
- 第5節 コンクリート
- 第6節 型枠
- 第7節 鉄骨
- 第8節 既製コンクリート
- 第9節 防水
- 第10節 石
- 第11節 タイル
- 第12節 木工
- 第13節 屋根及びとい
- 第14節 金属
- 第15節 左官
- 第16節 建具
- 第17節 塗装
- 第18節 内外装
- 第19節 仕上ユニット
- 第20節 構内舗装
- 第21節 植栽

#### 第2章 改修工事

- 第1節 仮設
- 第2節 撤去
- 第3節 外壁改修

## 第3編 電気設備工事

### 第1章 新営工事

#### 第1節 共通工事

- 1 配管工事
- 2 配線工事
- 3 接地工事
- 4 塗装工事
- 5 機器搬入

#### 第2節 電力設備工事

- 1 電灯設備
- 2 動力設備
- 3 雷保護設備
- 4 受変電設備
- 5 電力貯蔵設備
- 6 架空線路
- 7 地中線路

#### 第3節 通信・情報設備工事

- 1 構内交換設備
- 2 情報表示・拡声設備
- 3 誘導支援設備
- 4 テレビ共同受信設備
- 5 監視カメラ設備
- 6 火災報知設備

### 第2章 改修工事

#### 第1節 撤去

#### 第2節 機器搬出

#### 第3節 はつり工事

## 第4編 機械設備工事

### 第1章 新営工事

#### 第1節 共通工事

- 1 配管工事
- 2 配管付属品
- 3 保温工事
- 4 塗装及び防錆工事
- 5 機器搬入
- 6 総合調整
- 7 土工事

8 コンクリート工事・その他

9 ポンプ類

第2節 空気調和設備工事

1 ボイラー及び付属機器設備

2 冷凍機設備

3 空気調和機設備

4 ダクト設備

5 弁装置類

第3節 自動制御設備工事

1 自動制御設備

第4節 給排水衛生設備工事

1 衛生器具設備

2 給水設備

3 排水設備

4 桝類

5 給湯設備

6 消火設備

7 厨房機器設備

第2章 改修工事

第1節 共通工事

1 配管工事

2 機器搬出

3 はつり工事

第2節 空気調和設備工事

1 ダクト工事

第3節 給排水衛生設備工事

1 桝類

第4節 撤去工事

1 撤去

第5編 昇降機設備工事

第1章 新営工事

第2章 改修工事

# 第1編 総 則

## 1 基本的事項

この基準は、公共建築工事における工事費積算に用いる単価及び価格に関する基本的事項を定める。なお、山間へき地、離島等の地理・気象条件が特異な場合や社会・経済動向に著しい変化が認められる場合等においては、実状に応じた適切な単価及び価格を用いる。

## 2 単価及び価格の算定

単価及び価格の算定については次による。

### (1) 材料価格等

材料価格等は、積算時の最新の現場渡し価格とし、物価資料の掲載価格又は製造業者の見積価格等を参考に定める。

### (2) 複合単価

複合単価は、材料、労務、機械器具等の各要素と単位施工当たりが必要とされる数量（以下「所要量」という。）から構成される歩掛りに、次の単価等に乗じて算定する。

#### イ. 材料単価

材料単価は、物価資料の掲載価格等による。

#### ロ. 労務単価

労務単価は、「公共工事設計労務単価」による。ただし、基準作業時間外の作業、特殊条件による作業等については、労務単価の割増しを行うことができる。

#### ハ. 機械器具費

機械器具損料は、「請負工事機械経費積算要領」（昭和49年3月15日付建設省機発第44号）による。また、建設機械賃料は物価資料の掲載価格等による。

#### ニ. 仮設材費

仮設材費は、物価資料の掲載価格等による賃料又は材料の基礎価格に損料率を乗じて算定する。

### (3) 市場単価

市場単価は、元請業者と下請の専門工事業者間の契約に基づき調査された単位施工当たりの取引価格であり、物価資料に掲載された「建築工事市場単価」による。なお、第2編～第4編に定める工種に適用する。また、市場単価は材料費、労務費、機械経費等によって構成されるが、その掲載条件が一部異なる場合の単価については、類似の市場単価を適切に補正して算定することができる。

### (4) 上記以外の単価及び価格

上記以外の単価及び価格は、物価資料の掲載価格又は製造業者・専門工事業者の見積価格等を参考に定める。

### 3 歩掛り

「2 単価及び価格の算定」による複合単価の算定に用いる歩掛りは、第2編～第4編に定める歩掛りを標準とする（以下「標準歩掛り」という。）。なお、歩掛りにおける構成については次による。

#### (1) 材料

材料の所要量は、施工に伴い通常発生する材料の切り無駄等（以下「端材等」という。）を考慮した割増しを含む。

#### (2) 労務

労務の所要量は、平均的能力の作業員による標準作業量とする。

#### (3) 機械器具

機械器具の所要量は、平均的能力の機種による標準作業量とする。

#### (4) その他

「その他」は、下請経費及び小器材の損耗費等であり、表3-1-1～3の工種毎の率による。

### 4 単価及び価格の適用

単価及び価格の適用については、第2編～第5編によるほか次による。

(1) 材料価格等の採用にあたっては、数量の多寡や仕様・規格の違い等、各々の工事における特殊性を考慮する。

(2) 製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考に価格を算定するにあたっては、市中における取引状況を把握し適切に補正して定める。

(3) 施工中に発生する端材等を指定場所まで集積する費用は、別に定める場合を除き、単位施工当たりに必要となる単価及び価格に含む。

(4) 材料及び機器等の場内小運搬に要する費用は、別に定める場合を除き、単位施工当たりに必要となる単価及び価格に含む。

(5) 材料及び機器等の揚重に要する費用は、別に定める場合を除き、単位施工当たりに必要となる単価及び価格に含まない。

### 5 設計変更時の取り扱い

設計変更における工事費積算に用いる単価及び価格は、当初設計における工事費積算時の単価及び価格とする。

表3- 1 - 1 建築工事

工事種別	工 種	「その他」の率	「その他」の率対象	備 考
建 築 工 事	仮 設	20～30%	労、雑	
	土 工	20～30%	労、雑	
	地 業	20～30%	労、雑	
	鉄 筋	20～30%	労、雑	
	コンクリート	20～30%	労、雑	
	型 枠	18～26%	材、労、雑	
	鉄 骨	20～30%	労、雑	
	既製コンクリート	15～23%	材、労	材にセメント、細骨材、鉄筋は含めない
	防 水	15～23%	材、労、雑	
	石	16～24%	労	
	タイル	16～24%	材、労	材にセメント、細骨材は含めない
	木 工	20～30%	労	
	屋根及びとい	15～23%	材、労、雑	
	金 属	16～24%	材、労	
	左 官	19～27%	労	
	建 具建具取付	16～24%	労	
	建 具ガラス	15～23%	材、労	
	塗 装	18～26%	材、労、雑	
	内外装	15～23%	材、労、雑	材にセメント、細骨材は含めない
	仕上ユニット	20～30%	労	
	構内舗装	18～26%	材、労、雑	材に普通コンクリート、砂利、セメント、細骨材は含めない
	植栽樹木費以外	18～26%	材、労、雑	材に芝を含む
	植栽樹木費	上記決定率×0.7	材	材に地被類を含む
撤 去	20～30%	労、雑		
外 壁 改 修	20～30%	労		
とりこわし	20～30%	労、雑		

注 1. 表中の材は「材料費」、労は「労務費」、雑は「運搬費及び消耗材料費等」を示す。

2. 植栽の「その他」の率には枯補償、枯損処理を含むものとする。

3. 取外しの場合は、取外しを行う製品等に対応する工種の「その他」の率を適用する。

表3- 1 - 2 電気設備工事

工事種別	工 種	「その他」の率	「その他」の率対象	備 考
電 気 設 備 工 事	配管工事	20～30%	労	
	配線工事	20～30%	労	
	接地工事	20～30%	労	
	塗装工事	18～26%	材、労、雑	
	機器搬入	20～30%	労、雑	
	電灯設備	20～30%	労	
	動力設備	19～27%	労	
	雷保護設備	20～30%	労	
	受変電設備	19～27%	労	
	電力貯蔵設備	19～27%	労	
	架空線路	20～30%	労	
	地中線路	20～30%	労	
	構内交換設備	19～27%	労	
	情報表示・拡声設備	19～27%	労	
	誘導支援設備	19～27%	労	
	テレビ共同受信設備	19～27%	労	
	監視カメラ設備	19～27%	労	
	火災報知設備	19～27%	労	
	撤去	20～30%	労	
	機器搬出	20～30%	労、雑	
はつり工事	20～30%	労		

- (注) 1. 表中の材は「材料費」、労は「労務費」、雑は「運搬費及び消耗材料費等」を示す。  
 2. 取外しの場合は、取外しを行う製品等に対応する工種の「その他」の率を適用する。



表3- 1 - 3 機械設備工事

工事種別	工 種	「その他」の率	「その他」の率対象	備 考
機 械 設 備 工 事	各種配管工事	20～30%	労	労務費にははつり補修費を含む
	配管付属品	19～27%	労	弁、伸縮継手、蒸気トラップ、 水栓、排水金具、計器類等
	保温工事	18～26%	材、労、雑	
	塗装工事	18～26%	材、労、雑	
	機器搬入	20～30%	労、雑	
	総合調整	20～30%	労	
	空気調和機器	19～27%	労	ボイラー、冷凍機、空気調和機、 ポンプ、送風機等
	ダクト工事	16～24%	材、労、雑	
	ダクト付属品	19～27%	労	吹出口、吸込口、ダンパー類等
	ダクト付属品 (たわみ継手)	18～26%	材、労	
	自動制御設備	19～27%	労	労務費には自動制御機器調整費を 含む
	衛生器具	20～30%	労	
	衛生機器	19～27%	労	タンク、ポンプ、厨房器具、 湯沸器、消火器具類等
	柵	19～27%	労	ため柵、インバート柵、弁柵類等
	撤去	20～30%	労	
	配管分岐・切断	20～30%	労	複合単価分は対象外
	機器搬出	20～30%	労、雑	
	はつり工事	20～30%	労	
ダクト端部閉塞	16～24%	材、労		
インバート改修	19～27%	労		

(注) 1. 表中の材は「材料費」、労は「労務費」、雑は「運搬費及び消耗材料費等」を示す。

2. 取外しの場合は、取外しを行う製品等に対応する工種の「その他」の率を適用する。

## 第 2 編 建築工事

### 第 1 章 新営工事

1. 本章は、建築物等の新築及び増築に係る建築工事の積算に適用する。

#### 第 1 節 仮 設

##### 1 一般事項

- (1) 表A1-1-1～表A1-1-34の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 各工事種目に共通して必要な仮設（以下「共通仮設」という。）のうち、共通仮設費率に含まれないもの及び各工事種目ごとに必要な仮設（以下「直接仮設」という。）について適用する。
- (3) 移動式揚重機価格は、物価資料による建設機械賃料とする。
- (4) 仮設材の運搬費は往復とし、車両はトラック4t積で、運搬距離は30km程度（片道）を標準とする。
- (5) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

##### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 共通仮設の仮囲い及び仮設鉄板敷その他に適用する。
  - ロ. 直接仮設の遣方、墨出し、養生、整理清掃後片付け、足場、災害防止及び仮設材運搬に適用する。
  - ハ. 歩掛りの摘要のうち、小規模とはおおむね建築面積においては150㎡未満、延べ面積においては300㎡未満の建物をいい、複雑とは小部屋が多い建物等をいう。
- ニ. 仮設資材価格の算定は、以下による。
  - 建設用仮設材のうち賃貸仮設材の利用に係る費用（以下「仮設資材賃料」という。）は、物価資料による仮設資材賃料（基本料＋日額賃料×設計供用日数）又は基礎価格に1現場当たり損料率を乗じて算定する。なお、リース材の返還時に必要な軽微な補修費用を修理費として計上する。
  - ホ. 修理費は、仮設資材賃料の5%を標準とする。
  - ヘ. 建設用仮設材において、掛けと払いを別々に計上する必要がある場合は、基本料は掛け手間に、修理費は払い手間に計上する。

(2) 細目工種

(共通仮設)

表 A1 - 1 - 1

仮囲い (1m当たり)					
名 称	摘 要	単 位	高 さ (m)		備 考
			3.0	2.0	
仮 囲 鉄 板	t=1.2mm W=500	枚	2.1	2.1	仮設資材賃料
丸 パ イ プ	φ48.6	m	9.36	6.24	
修 理 費		式	1	1	
普 通 作 業 員		人	0.24	0.19	労務費の8%
雑 費		式	1	1	
そ の 他		式	1	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。  
 2. 雑費は、ハンマ、ラチェットレンチ、脚立、足場板、フックボルト、クランプ等の費用とする。  
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員、雑費とする。

表 A1 - 1 - 2

仮囲い運搬 (100m当たり往復)					
名 称	摘 要	単 位	高 さ (m)		備 考
			3.0	2.0	
トラック運転	4t積	日	2.13	1.42	

表 A1 - 1 - 3

仮設鉄板敷 (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
敷 鉄 板	1,524×6,096×22mm	枚	0.11	仮設資材賃料
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	0.023	建設機械賃料
普 通 作 業 員		人	0.046	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 表中の施工手間及び機械運転は、設置50%、撤去50%の割合とする。  
 2. 仮設鉄板敷の仮設資材賃料は、整備費+設置期間に応じた日額賃料×設計供用日数とする。なお、不足弁償費は計上しない。  
 3. 敷鉄板の積込み取卸しに要する費用を含む。  
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 1 - 4

仮設敷鉄板運搬 (1㎡当たり往復)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
トラック運転	11t積	日	0.01	

- (注) 1. 敷鉄板の寸法は、1,524×6,096×22mmとする。  
 2. 運搬機械の日数はトラック11t積による換算値とする。

表 A1 - 1 - 5

トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）分解・組立費					(1回当たり)
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考	
特殊作業員		人	5.6		
雑 費		式	1	労務費の6%	
そ の 他		式	1		

- (注) 1. 分解部品の運搬費は別途加算する。  
 2. 100 t 吊～200 t 吊のトラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）に適用する。  
 3. 「その他」の率対象は、特殊作業員、雑費とする。

表 A1 - 1 - 6

トラッククレーン（油圧伸縮ジブ型）分解部品運搬							(1往復当たり)
名 称	摘 要	単位	100t吊	120t吊	160t吊	200t吊	備 考
トラック 運転	11t積	日	3.7	4.1	5.8	12.7	

- (注) 1. 運搬機械の日数はトラック11 t 積による換算値とする。

(直接仮設)

表 A1 - 1 - 7

遣方							
名 称	摘 要	単位	1 か所当たり		建築面積 1 m <sup>2</sup> 当たり		備 考
			平遣方	隅遣方	一般	小規模・複雑	
切り丸太	末口75mm、L=1,800mm	本	2.0	3.0	0.15	0.2	90%
小 幅 板	15×90mm	m <sup>3</sup>	0.005	0.01	0.0004	0.0006	90%
く ぎ		kg	0.014	0.028	0.001	0.002	100%
大 工		人	0.08	0.12	0.006	0.008	
普通作業員		人	0.08	0.12	0.006	0.008	
そ の 他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 2. 「その他」の率対象は、くぎ、大工、普通作業員とする。

表 A1 - 1 - 8

墨出し					(延べ面積1 m <sup>2</sup> 当たり)
名 称	摘 要	単位	一 般	小 規 模 複 雑	備 考
大 工		人	0.015	0.018	
普通作業員		人	0.013	0.016	
そ の 他		式	1	1	

- (注) 1. 「その他」の率対象は、大工、普通作業員とする。

表 A1 - 1 - 9

養生・整理清掃後片付け (延べ面積 1 m <sup>2</sup> 当たり)							
名 称	摘 要	単 位	一 般		小規模・複雑		備 考
			養 生	整理清掃 後片付け	養 生	整理清掃 後片付け	
普通作業員		人	0.018	—	0.022	—	
軽作業員		人	—	0.09	—	0.11	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、軽作業員とする。

表 A1 - 1 - 10

地足場 (建築面積1m <sup>2</sup> 当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
丸パイプ	φ48.6	m	1.32	仮設資材賃料
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.58	
ジョイント		個	0.16	
クランプ	自在直交親子	個	0.33	
修理費		式	1	
とび工		人	0.036	
その他		式	1	

(注) 1. 標準設計供用日数は、30日とする。  
2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 - 11

枠組本足場【手すり先行方式】：1200枠(500布枠×2枚) (掛面積1m <sup>2</sup> 当たり)						
名 称	摘 要	単 位	足場高さ 12m未満	足場高さ 22m未満	足場高さ 22m以上	備 考
建 枠	1,200×1,700mm	枚	0.38	0.38	0.38	仮設資材賃料
板付布枠	500×1,800mm	枚	0.65	0.65	0.65	
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.32	0.32	0.32	
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.05	0.03	0.02	
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.12	0.08	0.06	
壁つなぎ	L=600程度	個	0.03	0.03	0.03	
先行手すり枠		枚	0.36	0.36	0.36	
つま先板(幅木)		枚	0.68	0.68	0.68	
手すり	枠組本足場用	本	0.36	0.36	0.36	
修理費		式	1	1	1	
とび工		人	0.049	0.056	0.062	
その他		式	1	1	1	

(注) 1. 枠組足場階段を含む。  
2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -12

枠組本足場【手すり先行方式】：900枠（500+240布枠）				（掛面積1㎡当たり）		
名称	摘要	単位	足場高さ 12m未満	足場高さ 22m未満	足場高さ 22m以上	備考
建 枠	900×1,700mm	枚	0.38	0.38	0.38	仮設資材賃料
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.32	0.32	0.32	
板 付 布 枠	240×1,800mm	枚	0.32	0.32	0.32	
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.32	0.32	0.32	
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.05	0.03	0.02	
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.12	0.08	0.06	
壁 つ な ぎ	L=600程度	個	0.03	0.03	0.03	
先行手すり枠	枠組本足場用	枚	0.36	0.36	0.36	
つま先板(幅木)		枚	0.68	0.68	0.68	
手 す り		本	0.36	0.36	0.36	
修 理 費		式	1	1	1	
と び 工	人	0.044	0.049	0.054		
そ の 他	式	1	1	1		

- (注) 1. 枠組足場階段を含む。  
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -13

枠組本足場【手すり先行方式】：600枠（500布枠）				（掛面積1㎡当たり）		
名称	摘要	単位	足場高さ 12m未満	備考		
建 枠	600×1,700mm	枚	0.38	仮設資材賃料		
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.32			
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.32			
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.05			
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.12			
壁 つ な ぎ	L=600程度	個	0.03			
先行手すり枠	枠組本足場用	枚	0.36			
つま先板(幅木)		枚	0.68			
手 す り		本	0.36			
修 理 費		式	1			
と び 工	人	0.04				
そ の 他	式	1				

- (注) 1. 枠組足場階段を含む。  
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -14

単管本足場			(掛面積1㎡当たり)			
名 称	摘 要	単位	足場高さ 10m未満	足場高さ 20m未満	足場高さ 20m以上	備 考
丸 パ イ プ		m	5.6	5.5	5.4	仮設資材賃料
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.34	0.32	0.31	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	3.59	3.66	3.67	
ジョイント		個	0.72	0.71	0.70	
固定ベース		個	0.14	0.06	0.04	
壁 つ な ぎ		個	0.04	0.04	0.04	
つま先板(幅木)	合板足場板	枚	0.28	0.28	0.28	
修 理 費		式	1	1	1	
と び 工		人	0.10	0.11	0.12	
そ の 他		式	1	1	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。

2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -15

単管一本足場			(掛面積1㎡当たり)	
名 称	摘 要	単位	足場高さ 10m未満	備 考
丸 パ イ プ		m	1.42	仮設資材賃料
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.028	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	0.45	
ジョイント		個	0.19	
固定ベース		個	0.06	
壁 つ な ぎ		個	0.04	
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.038	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。

2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -16

単管抱足場				(掛面積1㎡当たり)
名 称	摘 要	単位	足場高さ 10m未満	備 考
丸 パ イ プ		m	1.95	仮設資材賃料
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	0.028	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	0.16	
ク ラ ン プ	三連直交	個	0.29	
ジ ョ イ ン ト		個	0.23	
固 定 ベ ー ス		個	0.06	
壁 つ な ぎ		個	0.04	
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.05	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。

2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -17

安全手すり				(掛長さ1m当たり)	
名 称	摘 要	単位	枠組本足場用 【手すり先行方式】	単 管 本足場用	備 考
先行手すり枠		枚	0.56	—	仮設資材賃料
丸 パ イ プ		m	—	3.05	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	—	2.28	
修 理 費		式	1	1	
と び 工		人	0.008	0.035	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。

2. 「その他」の率対象は、とび工とする。



表 A1 - 1 -18

登り棧橋				(掛長さ1m当たり)
名 称	摘 要	単 位	単 管 本足場用	備 考
丸 パ イ プ		m	6.75	] 仮設資材賃料
合 板 足 場 板	240×4,000 mm	枚	1.1	
ク ラ ン プ	自在直交親子	個	5.8	
滑 り 止 め	棧木	m <sup>3</sup>	0.005	40%
く ぎ		kg	0.14	100%
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.13	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 2. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 3. 「その他」の率対象は、くぎ、とび工とする。

表 A1 - 1 -19

内部躯体足場（鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下）				(床面積1 m <sup>2</sup> 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
鋼 製 脚 立		脚	0.1	] 日額賃料×設計供用日数
合 板 足 場 板	240×4,000 mm	枚	0.1	
修 理 費		式	1	
普 通 作 業 員		人	0.01	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 2. 標準設計供用日数は、20日とする。ただし、平家建ての場合の設計供用日数は、30日とする。  
 3. 内部仕上足場への転用を考慮し、仮設資材賃料の基本料は計上しない。  
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 1 -20

内部仕上足場（脚立足場 階高4.0m以下）				(床面積1 m <sup>2</sup> 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
鋼 製 脚 立		脚	0.2	] 仮設資材賃料
合 板 足 場 板	240×4,000 mm	枚	0.2	
修 理 費		式	1	
普 通 作 業 員		人	0.02	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 2. 標準設計供用日数は、20日とする。ただし、平家建ての場合の設計供用日数は、30日とする。  
 3. 複数階への転用がある場合は、仮設資材賃料の基本料に転用率(表A1-1-21)を乗じて算定する。  
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 1 -21

転用率											
転用階数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	備考
転用率	1.0	0.8	0.64	0.5	0.4	0.33	0.29	0.25	0.22	0.2	

表 A1 - 1 -22

内部躯体足場（鉄筋・型枠足場、躯体支保工 階高4.0m超）【手すり先行方式】（床面積1㎡当たり）									
名 称	摘 要	単 位	階 高 (m)						
			鉄筋・型枠足場		躯体支保工				
			4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	9.1以上 10.8未満	10.8以上 12.5未満	
建 枠	900×1,700mm	枚	0.16	0.44	0.77	1.11	1.44	1.78	
調 整 枠	900×1,200mm	枚	0.16	—	—	—	—	—	
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.14	0.11	0.44	0.78	1.11	1.44	
板 付 布 枠	240×1,800mm	枚	0.14	0.11	0.44	0.78	1.11	1.44	
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.14	0.44	0.78	1.11	1.44	1.77	
丸 パ イ プ		m	1.11	1.86	1.86	1.86	2.82	2.82	
合板足場板	240×4,000mm	枚	0.3	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	
ク ラ ン プ		個	0.84	1.08	1.08	1.08	1.43	1.43	
ジ ョ イ ン ト		個	0.12	0.32	0.32	0.32	0.83	0.83	
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.33	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67	
手 す り	枠組足場用	本	0.11	0.22	0.44	0.67	0.89	1.11	
先行手すり枠		枚	0.14	0.44	0.78	1.11	1.44	1.77	
つま先板(幅木)		枚	0.33	0.56	0.67	0.78	0.89	1.0	
修 理 費		式	1	1	1	1	1	1	
と び 工		人	0.062	0.127	0.163	0.199	0.274	0.31	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 建枠からつま先板(幅木)までは、仮設資材賃料を計上する。  
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 3. 躯体支保工には、鉄筋・型枠足場を含む。  
 4. 複数階への転用がある場合は、仮設資材賃料の基本料に転用率(表A1-1-21)を乗じて算定する。  
 5. 標準設計供用日数(鉄筋・型枠足場、躯体支保工の平均存置期間)は、下表による。  
 6. 「その他」の率対象は、とび工とする。

階 高(m)	単 位	4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	9.1以上 10.8未満	10.8以上 12.5未満	備 考
標準設計供用日数	日	20 <sup>*</sup>	38	43	43	47	47	

\*ただし、平家建ての場合の設計供用日数は、30日とする。

表 A1 - 1 -23

内部仕上足場 (枠組棚足場 階高4.0m超)【手すり先行方式】			(床面積1㎡当たり)					
名 称	摘 要	単 位	階 高 (m)					
			4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	9.1以上 10.8未満	10.8以上 12.5未満
建 枠	900×1,700mm	枚	0.18	0.36	0.54	0.72	0.9	1.08
調 整 枠	900×1,200mm	枚	0.18	-	-	-	-	-
板 付 布 枠	500×1,800mm	枚	0.17	0.17	0.33	0.67	0.67	0.83
板 付 布 枠	240×1,800mm	枚	0.17	0.17	0.33	0.67	0.67	0.83
筋 違	1,200×1,800mm	本	0.33	0.33	0.5	0.67	0.83	1.0
丸 パ イ プ		m	1.79	1.79	1.79	2.6	2.6	2.6
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19	1.19
ク ラ ン プ		個	0.92	0.92	0.92	1.37	1.37	1.37
ジ ョ イ ン ト		個	0.36	0.36	0.36	0.44	0.44	0.44
ジャッキベース	ストローク250mm	本	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36	0.36
手 す り	枠組足場用	本	0.2	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0
先行手すり枠		枚	0.33	0.33	0.5	0.67	0.83	1.0
つま先板(幅木)		枚	0.42	0.42	0.62	0.82	1.02	1.22
修 理 費		式	1	1	1	1	1	1
と び 工		人	0.098	0.098	0.114	0.144	0.173	0.189
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1

- (注) 1. 建枠からつま先板(幅木)までは、仮設資材賃料を計上する。  
 2. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 3. 複数階への転用がある場合は、仮設資材賃料の基本料に転用率(表A1-1-21)を乗じて算定する。  
 4. 標準設計供用日数は、表A1-1-24 による。ただし、平家建ての場合の設計供用日数は、30日とする。  
 5. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -24

階 高 (m)	単 位	4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満	9.1以上 10.8未満	10.8以上 12.5未満	備考
標準設計供用日数	日	25	25	25	26	26	27	

表 A1 - 1 -25

内部仕上足場（簡易型移動式足場 階高4.0m超）							（床面積1㎡当たり）	
名 称	摘 要	単 位	階 高 (m)				備 考	
			4.0超 5.0未満	5.0以上 5.7未満	5.7以上 7.4未満	7.4以上 9.1未満		
ローリングタワー	2段	台	0.02	—	—	—	仮設資材賃料	
ローリングタワー	3段	台	—	0.02	—	—		
ローリングタワー	4段	台	—	—	0.02	—		
ローリングタワー	5段	台	—	—	—	0.02		
修 理 費		式	1	1	1	1		
と び 工		人	0.02	0.02	0.025	0.03		
そ の 他		式	1	1	1	1		

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 2. 標準設計供用日数は、30日とする。  
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -26

内部階段仕上足場				（床面積1㎡当たり）	
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考	
丸 パ イ プ	φ48.6	m	2.6	仮設資材賃料	
合 板 足 場 板	240×4,000mm	枚	0.84		
固 定 ベ ー ス		個	0.42		
ク ラ ン プ		個	1.05		
滑 り 止 め	栈木	m <sup>3</sup>	0.0012	20%	
く ぎ		kg	0.034	100%	
修 理 費		式	1		
と び 工		人	0.064		
そ の 他		式	1		

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 2. 標準設計供用日数は、30日とする。  
 3. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 4. 「その他」の率対象は、くぎ、とび工とする。

表 A1 - 1 -27

シャフト内足場				(床面積1㎡当たり)	
名称	摘要	単位	所要量	備考	
丸パイプ	φ48.6	m	3.08	] 仮設資材賃料	
合板足場板	240×4,000mm	枚	1.33		
固定ベース		個	0.34		
ジョイント		個	0.34		
クランプ		個	1.33		
修理費		式	1		
とび工		人	0.13		
その他		式	1		

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 2. 標準設計供用日数は、30日とする。  
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -28

災害防止(金網類)						(掛面積1㎡当たり)
名称	摘要	単位	金網張り	金網張り (水平張り)	金網式 養生柵	備考
亀甲金網	16mm目	㎡	1.1	1.2	—	] 仮設資材賃料 100%
金網式養生柵	850×1800mm	枚	—	—	0.65	
クランプ	養生柵用	個	—	—	0.78	
鉄線その他		kg	0.16	0.3	—	
修理費		式	—	—	1	
とび工		人	0.02	0.025	0.01	
その他		式	1	1	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 2. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 3. 亀甲金網の供用1日当たり損料率は0.2222%とする。  
 4. 「その他」の率対象は、鉄線その他、とび工とする。

表 A1 - 1 -29

災害防止(シート・ネット類)						(掛面積1㎡当たり)
名称	摘要	単位	安全ネット張り (水平張り)	養生シート 張り	ネット状 養生シート張り	備考
安全ネット	15mm目防災タイプ	㎡	1.2	—	—	] 仮設資材賃料
養生シート		㎡	—	1.1	—	
ネット状シート		㎡	—	—	1.1	
修理費		式	1	1	1	
とび工		人	0.023	0.022	0.018	
その他		式	1	1	1	

- (注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。  
 2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -30

災害防止（小幅ネット）				（掛長さ1m当たり）
名 称	摘 要	単 位	小幅ネット張り （層間塞ぎ）	備 考
安 全 ネット	15mm目防災タイプ ブラケット 500mm級	㎡	0.44	仮設資材賃料
ブ ラ ケ ッ ト		本	0.56	
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.02	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。

2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -31

養生防護棚（直線部）				（掛長さ1m当たり）
名 称	摘 要	単 位	枠 組 本足場用	備 考
朝 顔 主 材	@1,829mm	組	0.55	仮設資材賃料
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.11	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。

2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -32

養生防護棚（コーナー部）				（1か所当たり）
名 称	摘 要	単 位	枠 組 本足場用	備 考
朝 顔 主 材	コーナー部	組	1.0	仮設資材賃料
修 理 費		式	1	
と び 工		人	0.2	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 表中の施工手間は、掛け65%、払い35%の割合とする。

2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 1 -33

仮設材運搬				（100㎡・100m当たり往復）
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
トラック運転	4t積	日	別表	所要量は別表A1-1-33-1～別表A1-1-33-14による

別表 A1 - 1 -33- 1

地足場 (100㎡当たり往復)			
名 称	単位	地足場	備 考
トラック 4 t 積	日	0.57	

別表 A1 - 1 -33- 2

枠組本足場【手すり先行方式】 (100㎡当たり往復)					
名 称	単位	1,200枠	900枠 (2枚布)	600枠	備 考
トラック 4 t 積	日	0.91	0.81	0.70	

別表 A1 - 1 -33- 3

単管足場 (100㎡当たり往復)					
名 称	単位	本足場	一本足場	抱足場	備 考
トラック 4 t 積	日	0.93	0.18	0.25	

別表 A1 - 1 -33- 4

安全手すり (100㎡当たり往復)				
名 称	単位	枠組本足場用 【手すり先行方式】	単 管 本足場用	備 考
トラック 4 t 積	日	0.18	0.39	

別表 A1 - 1 -33- 5

内部躯体足場 (階高4.0m超)【手すり先行方式】 (100㎡当たり往復)							
名 称	単位	4.0m超 5.0m未満	5.0m以上 5.7m未満	5.7m以上 7.4m未満	7.4m以上 9.1m未満	9.1m以上 10.8m未満	10.8m以上 12.5m未満
トラック 4 t 積	日	0.82	1.45	2.08	2.78	3.57	4.17

(注) 1. 階高4.0m以下は、内部仕上足場 (脚立足場) に転用するものとし、計上しない。

別表 A1 - 1 -33- 6

内部仕上足場 (脚立足場 階高4.0m以下) (100㎡当たり往復)							
名 称	単位	平家建 (標準)	2階建 (標準)	3階建 (標準)	4階建 (標準)	5階建 (標準)	6階建 (標準)
トラック 4 t 積	日	0.25	0.20	0.16	0.125	0.1	0.083

  

名 称	単位	7階建 (標準)	8階建 (標準)	9階建 (標準)	10階建 (標準)	備 考
トラック 4 t 積	日	0.073	0.063	0.055	0.05	

## 別表 A1 - 1 -33- 7

内部仕上足場（枠組棚足場 階高4.0m超）【手すり先行方式】								(100㎡当たり往復)
名 称	単位	4.0m超 5.0m未満	5.0m以上 5.7m未満	5.7m以上 7.4m未満	7.4m以上 9.1m未満	9.1以上 10.8m未満	10.8m以上 12.5m未満	
トラック4t積	日	1.69	1.69	2.08	2.7	2.94	3.23	

## 別表 A1 - 1 -33- 8

内部仕上足場（簡易型移動式足場 階高4.0m超）						(100㎡当たり往復)
名 称	単位	4.0m超 5.0m未満 (2段)	5.0m以上 5.7m未満 (3段)	5.7m以上 7.4m未満 (4段)	7.4m以上 9.1m未満 (5段)	備 考
トラック4t積	日	0.18	0.21	0.25	0.32	

## 別表 A1 - 1 -33- 9

その他の内部足場				(100㎡当たり往復)
名 称	単位	内部階段 仕上足場	シャフト 内足場	備 考
トラック4t積	日	0.89	1.32	

## 別表 A1 - 1 -33- 10

養生防護棚			(100㎡当たり往復)
名 称	単位	養生防護棚	備 考
トラック4t積	日	2.04	コーナー部も含む

## 別表 A1 - 1 -33- 11

登り棧橋			(100㎡当たり往復)
名 称	単位	単 管 本足場用	備 考
トラック4t積	日	1.67	

## 別表 A1 - 1 -33- 12

金網式養生柵			(100㎡当たり往復)
名 称	単位	金網式 養生柵	備 考
トラック4t積	日	0.29	

## 別表 A1 - 1 -33- 13

金網類、シート・ネット類				(100㎡当たり往復)
名 称	単位	金網類	シート・ ネット類	備 考
トラック4t積	日	0.052	0.02	



別表 A1 - 1 -33- 14

小幡ネット				(100m当たり往復)
名 称	単位	小幡ネット張り (層間塞ぎ)	備 考	
トラック 4 t 積	日	0.07		

表 A1 - 1 -34

トラック運転							(1日当たり)
名 称	摘 要	単位	2t積	4t積	11t積	備 考	
運転手 (一般)		人	1.0	1.0	1.0		
燃 料	軽油	L	23.2	32.6	61.5		
機 械 損 料		供用	1.13	1.13	1.13		
そ の 他		式	1	1	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手 (一般)、燃料とする。

## 第 2 節 土 工

### 1 一般事項

- (1) 表A1-2-1～表A1-2-6の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-2-7の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 土工の適用土質は、土砂（レキ質土、砂、砂質土、粘性土）とする。
- (5) 単価に対応する土砂数量は、地山数量とする。
- (6) 根切りは、根切り付近に堆積又は運搬機械への積込みまで含む。
- (7) 根切り土を現場内外を問わず運搬機械により仮置きする場合は、仮置き場所までの運搬費を計上する。
- (8) 埋戻し、盛土等に購入土を使用する場合は、該当する単価に購入土の材料費を加える。また、購入土の所要量は20%を標準として割増しを見込む。
- (9) 埋戻し、盛土等に他現場の建設発生土を使用する場合は、実状に応じて別途運搬費等を計上する。
- (10) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 建築構造物等の人力土工及び建設発生土運搬に適用する。
- ロ. 根切り（人力土工）は、機械施工が不可能な場合又は小規模工事に適用する。
- ハ. 建設発生土運搬における小規模土工、人力土工の適用は、1か所当たりの掘削土量が、100m<sup>3</sup>程度までの小規模な土工及び小規模構造物（排水構造物、ブロック積及び小型擁壁等）の土工に適用する。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 2 - 1

根切り 人力土工				(1m <sup>3</sup> 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考
普 通 作 業 員		人	0.39	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 2 - 2

埋戻し 人力土工				(1m <sup>3</sup> 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
普通作業員		人	0.23	
その他		式	1	

(注) 1. 締固めが必要な場合は、タンパによる締固めを別途計上する。  
2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 2 - 3

積込 人力土工				(1m <sup>3</sup> 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
普通作業員		人	0.13	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 2 - 4

建設発生土運搬 (一般)				(1m <sup>3</sup> 当たり往復)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
ダンプトラック運転	10t積級	日	D/100	運搬日数(D)は別表A1-2-4-1～別表A1-2-4-4による

(注) 1. 適用機械は10t積級を標準とするが、現場状況等によりその使用が困難な場合は別途考慮する。

別表 A1 - 2 - 4 - 1 ダンプトラック運搬日数(D) (100m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型1.4m <sup>3</sup>																	
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																	
D I D 区間：無し																		
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	10.0 以下	12.5 以下	16.5 以下	23.5 以下	51.5 以下	60.0 以下
運搬日数	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4
D I D 区間：有り																		
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	6.5 以下	8.0 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.0 以下	20.5 以下	33.0 以下	60.0 以下
運搬日数	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4

別表 A1 - 2 - 4 - 2 ダンプトラック運搬日数(D) (100m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.8m <sup>3</sup>																	
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																	
D I D 区間：無し																		
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下		
運搬日数	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4		
D I D 区間：有り																		
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下		
運搬日数	0.65	0.75	0.85	0.95	1.1	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4		

別表 A1 - 2 - 4 - 3 ダンプトラック運搬日数(D) (100m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.45m <sup>3</sup>																	
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																	
D I D 区間：無し																		
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.5 以下	19.5 以下	39.0 以下	60.0 以下					
運搬日数	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4					
D I D 区間：有り																		
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.5 以下	28.5 以下	60.0 以下					
運搬日数	1.1	1.2	1.4	1.6	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4					

別表 A1 - 2 - 4 - 4 ダンプトラック運搬日数(D) (100m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	クラムシエル 油圧ロープ式クローラ型0.6m <sup>3</sup>																	
運搬機種	ダンプトラック 10t積級																	
D I D 区間：無し																		
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.5 以下	13.0 以下	19.5 以下	37.5 以下	60.0 以下						
運搬日数	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4						
D I D 区間：有り																		
運搬距離 (km)	0.5 以下	1.0 以下	2.0 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.5 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.0 以下	60.0 以下						
運搬日数	1.2	1.3	1.5	1.8	2.1	2.4	2.7	3.1	3.8	4.7	6.3	9.4						

- (注) 1. 上記別表は、地山100m<sup>3</sup>の土量を運搬する日数である。  
 2. 運搬距離は片道距離であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。  
 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。  
 4. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。  
 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途積上げとする。  
 6. バックホウの標準バケット容量は山積容量を示し、クラムシエルの標準バケット容量は平積容量を示す。

表 A1 - 2 - 5

建設発生土運搬（小規模土工、人力土工）				(1m <sup>3</sup> 当たり往復)
名称	摘要	単位	所要量	備考
ダンプトラック運転	4t積級又は 2t積級	日	D/10	運搬日数(D)は別表A1-2-5-1～別表A1-2-5-3による

(注) 1. 適用機械については小規模土工は4t積級、人力土工は2t積級を標準とするが、現場状況等によりその使用が困難な場合は別途考慮する。

別表 A1 - 2 - 5 - 1 ダンプトラック運搬日数(D) (10m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.28m <sup>3</sup>														
運搬機種	ダンプトラック 4t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.0 以下	19.0 以下	35.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	27.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3	

別表 A1 - 2 - 5 - 2 ダンプトラック運搬日数(D) (10m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m <sup>3</sup>														
運搬機種	ダンプトラック 2t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.5 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.0 以下	11.0 以下	15.0 以下	24.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	

別表 A1 - 2 - 5 - 3 ダンプトラック運搬日数(D) (10m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	人力														
運搬機種	ダンプトラック 2t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.5 以下	11.0 以下	16.0 以下	27.5 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	8.0 以下	10.5 以下	14.5 以下	23.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	

- (注) 1. 上記別表は、地山10m<sup>3</sup>の土量を運搬する日数である。  
 2. 運搬距離は片道距離であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。  
 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。  
 4. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。  
 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途積上げとする。  
 6. バックホウの標準バケット容量は山積容量を示し、クラムシエルの標準バケット容量は平積容量を示す。

表 A1 - 2 - 6

機械運転						(1日当たり)
機械名	規 格	適用単価表	運転労務 (人)	燃料(軽油) (L)	機械損料 (供用日)	備 考
ダンプトラック	10t積級	単価表 (別表A1-2-6-1)	1.0	71.2	1.29	
ダンプトラック	4t積級	単価表 (別表A1-2-6-1)	1.0	40.3	1.29	
ダンプトラック	2t積級	単価表 (別表A1-2-6-1)	1.0	26.1	1.29	

別表 A1 - 2 - 6 - 1

運転1日当たり単価表					(1日当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考	
運転手(一般)		人		表 A1 - 2 - 6 による	
燃 料	軽油	L		表 A1 - 2 - 6 による	
機 械 損 料		供用日		表 A1 - 2 - 6 による	
タイヤ損耗費		供用日		所要量は機械損料による	
そ の 他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

### 3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 建築構造物等の機械土工及び土工機械運搬に適用する。
- ロ. 根切りは、運搬機械へ直接積込む費用を含む。
- ハ. 土工機械は排出ガス対策型とする。また、機械運搬費は別途計上する。
- ニ. 床付けは必要に応じて計上する。
- ホ. 杭間ざらいは、既製コンクリート杭地業において適用する。

(2) 細目工種

表 A1 - 2 - 7

細目	摘要	単位	備考
根切り	つぼ、布掘 深さ2.5m程度	m <sup>3</sup>	
床付け	つぼ、布掘	m <sup>2</sup>	
根切り	総掘 法付オープンカット	m <sup>3</sup>	
根切り	自立山留め内	m <sup>3</sup>	
床付け	総掘	m <sup>2</sup>	
すきとり	H=300程度	m <sup>3</sup>	
杭間ざらい	既製コンクリート杭 φ350~600mm	本	
埋戻し	発生土	m <sup>3</sup>	建物廻り仮置き土
機械運搬費	片道30km以内 バックホウ	往復	

## 第 3 節 地 業

### 1 一般事項

- (1) 表A1-3-1～表A1-3-4の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 既製コンクリート杭地業における既製コンクリート杭の材料単価は、物価資料の掲載価格により、工事費積算時の価格とする。また、これによりがたい場合は製造業者又は専門工事業者の見積価格等を参考に定める。
- (4) 場所打ちコンクリート杭地業における資材単価及び運搬費は第4節、第5節及び第7節による。
- (5) 構造体強度補正の費用については、別途計上する。
- (6) 杭施工費については、専門工事業者の見積価格等を参考に定める。
- (7) 鉄筋及び鋼材を工場にて加工する場合は運搬費を計上する。
- (8) 鉄筋及び鋼材を加工する際に発生する材料の残材については、第4節及び第7節による。
- (9) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 建築構造物等の既製コンクリート杭における杭頭処理、杭頭補強、砂利地業及び床下防湿層に適用する。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 3 - 1

既製コンクリート杭杭頭処理		(1か所当たり)							
名 称	摘 要	単 位	杭径300	杭径350	杭径400	杭径450	杭径500	杭径600	備 考
は つ り 工		人	0.12	0.16	0.20	0.25	0.30	0.41	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 切断後の建設発生材の積込み費を含む。  
2. 「その他」の率対象は、はつり工とする。



表 A1 - 3 - 2

既製コンクリート杭杭頭補強 (1か所当たり)									
名称	摘要	単位	A形						B形
			杭径300	杭径350	杭径400	杭径450	杭径500	杭径600	杭径300~600
コンクリート		m <sup>3</sup>	0.012	0.02	0.03	0.05	0.06	0.12	—
杭頭補強用底板		個	1	1	1	1	1	1	1
異形鉄筋	SD295A D10	kg	1.6	2.1	3.0	4.0	5.0	6.9	—
異形鉄筋	SD295A D13	kg	4.0	6.5	7.0	9.9	10.5	11.8	—
鉄筋工		人	0.05	0.05	0.06	0.09	0.10	0.12	—
特殊作業員		人	0.02	0.03	0.05	0.08	0.09	0.19	0.02
普通作業員		人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	—
その他		式	1	1	1	1	1	1	1

(注) 1. 「その他」の率対象は、鉄筋工、特殊作業員、普通作業員とする。

表 A1 - 3 - 3

砂利地業 (1 m <sup>3</sup> 当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
砂利		m <sup>3</sup>	1.1	切込砂利、切込砕石又は再生クラッシュラン
普通作業員		人	0.2	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 - 3 - 4

床下防湿層敷き (1 m <sup>2</sup> 当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
ポリエチレンフィルム	厚0.15mm	m <sup>2</sup>	1.1	
普通作業員		人	0.005	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

## 第 4 節 鉄 筋

### 1 一般事項

- (1) 表A1-4-1、表A1-4-2の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-4-3の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 鉄筋を加工する際に発生する材料の残材に価値がある場合は、その価値を評価しスクラップ控除として直接工事費から控除する。
- (5) 鉄筋材料単価及び鉄筋屑等のスクラップ単価は、物価資料の掲載価格により、工事費積算時の価格とする。ただし、これによりがたい場合は製造業者の見積価格等を参考に定める。
- (6) 鉄筋材料を工場にて加工する場合は運搬費を計上し、運搬距離30km程度（片道）を標準とする。
- (7) 標準歩掛り及び市場単価には、鉄筋の材料費は含まない。
- (8) 鉄筋加工組立は、工場加工及び現場組立とする。
- (9) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 建築構造物等の梁貫通孔補強の鉄筋工場加工及び組立に適用する。
  - ロ. 梁貫通孔補強鉄筋の加工及び組立において細物とはD13以下、太物とはD16以上とする。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 4 - 1

梁貫通孔補強鉄筋工場加工					(1t当たり)
名 称	摘 要	単 位	太 物	細 物	備 考
鉄 筋 工		人	1.34	1.89	
普 通 作 業 員		人	0.2	0.25	
工 場 管 理 費	(労)×(30~60%)	式	1	1	
そ の 他		式	1	1	

- (注) 1. 鉄筋の運搬費は市場単価による。  
 2. 「その他」の率対象は、鉄筋工、普通作業員、工場管理費とする。

表 A1 - 4 - 2

梁貫通孔補強鉄筋組立					(1t当たり)
名 称	摘 要	単位	太 物	細 物	備 考
鉄 筋 工	#21	人	3.0	3.8	
普 通 作 業 員		人	0.3	0.4	
結 束 線		kg	2.0	5.0	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 鉄筋の運搬費は市場単価による。

2. 「その他」の率対象は、鉄筋工、普通作業員、結束線とする。

### 3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

イ. 建築構造物等の鉄筋加工組立、鉄筋運搬及びガス圧接に適用する。

ロ. 対応する鉄筋径はD 1 0以上D 3 2以下とする。

ハ. 鉄筋加工組立における太物及び細物鉄筋は、標準的な構成比とする。また、コンクリート打設時における合番費を含む。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 4 - 3

細 目	摘 要	単位	備 考
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	t	
鉄筋加工組立	SRCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	t	
鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度 形状単純	t	
鉄筋加工組立	スパイラルブ取付	t	
運搬費	加工場～現場 30km程度 4t車	t	
運搬費	加工場～現場 30km程度 10t車	t	
ガス圧接	D 1 9 - D 1 9	か所	
ガス圧接	D 2 2 - D 2 2	か所	
ガス圧接	D 2 5 - D 2 5	か所	
ガス圧接	D 2 9 - D 2 9	か所	
ガス圧接	D 3 2 - D 3 2	か所	
ガス圧接	D 1 9 - D 2 2	か所	
ガス圧接	D 2 2 - D 2 5	か所	
ガス圧接	D 2 5 - D 2 9	か所	
ガス圧接	D 2 9 - D 3 2	か所	

## 第 5 節 コンクリート

### 1 一般事項

- (1) 表A 1－5－1 の細目工種は、市場単価を適用する。
- (2) 本節に定める市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 普通コンクリートを標準とする。
- (4) 材料単価は、物価資料の掲載価格による。ただし、これによりがたい場合は製造業者の見積価格等を参考に定める。
- (5) 構造体強度補正の費用については、別途計上する。
- (6) 配管式ポンプ車で打設する場合は、コンクリート足場を計上する。
- (7) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 市場単価

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 建築構造物等のコンクリート打設手間及びポンプ圧送に適用する。
  - ロ. スランプは、15～18cmを標準とする。
  - ハ. コンクリートポンプ車は、配管式及びブーム式両方に適用する。
  - ニ. ポンプ圧送費（基本料金及び圧送料金）には、機械器具費、機械運転費及び回送費を含み、圧送高さは30m以下とする。
  - ホ. ポンプ圧送の基本料金は、ポンプ車1台・1回当たりの単価とする。また、ポンプ車1日当たりの打設量及び1日当たりのコンクリート打設量を勘案して計上する。

(2) 細目工種

表 A1 - 5 - 1

細目	摘要	単位	備考
打設手間	捨コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	
打設手間	土間コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	
打設手間	基礎コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	
打設手間	く体コンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	
打設手間	防水押えコンクリート ポンプ打ち	m <sup>3</sup>	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が100m <sup>3</sup> 以上	回	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	回	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が30m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 未満	回	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が100m <sup>3</sup> 以上	m <sup>3</sup>	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が30m <sup>3</sup> 以上50m <sup>3</sup> 未満	m <sup>3</sup>	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が70m <sup>3</sup> を超える	回	
ポンプ圧送	基本料金 1回の打設量が70m <sup>3</sup> 以下	回	
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が70m <sup>3</sup> を超える	m <sup>3</sup>	注)
ポンプ圧送	圧送料金 1回の打設量が70m <sup>3</sup> 以下	m <sup>3</sup>	

注) 1回の打設量が70m<sup>3</sup>を超える場合は、70m<sup>3</sup>を超えた数量分のみを対象とする。

## 第 6 節 型 枠

### 1 一般事項

- (1) 表A1-6-1、表A1-6-2の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-6-3の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 型枠材の運搬費は往復とし、運搬距離は30km程度（片道）を標準とする。
- (5) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 建築構造物等のコンクリート打放し仕上げにおける打放し面補修及び型枠目地棒に適用する。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 6 - 1

打放し面補修 (1㎡当たり)						
名 称	摘 要	単 位	A種	B種	C種	備 考
			コーン処理	部分目違いばらい コーン処理共	全面目違いばらい	
特殊作業員		人	0.015	0.025	0.02	
その他		式	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特種作業員とする。

表 A1 - 6 - 2

型枠目地棒 (1m当たり)				
名 称	摘 要	単 位	30×30 以 下	備 考
型枠目地材		m	1.05	
型わく工		人	0.007	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、型枠目地材、型わく工とする。

### 3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 建築構造物等の合板型枠及び型枠運搬に適用する。
- ロ. 建物形状は単純なものとする。
- ハ. コンクリート打設時の合番を含む。
- ニ. サポート類を含む。
- ホ. 目地棒（化粧目地、打継目地、誘発目地）及び大面木は含まない。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 6 - 3

細 目	摘 要	単 位	備 考
普通合板型枠	基礎部	m <sup>2</sup>	
普通合板型枠	地下軸部 階高5.0m程度	m <sup>2</sup>	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	
普通合板型枠	ラーメン構造 地上軸部 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部B種 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	ラーメン構造 地上軸部C種 階高3.5～4.0m程度	m <sup>2</sup>	
普通合板型枠	壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部B種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	
打放し合板型枠	壁式構造 地上軸部C種 階高2.8m程度	m <sup>2</sup>	
運搬費	型枠運搬費 4t車 基準距離30km以内	m <sup>2</sup>	
運搬費	型枠運搬費 10t車 基準距離30km以内	m <sup>2</sup>	

## 第 7 節 鉄 骨

### 1 一般事項

- (1) 表A1-7-1～表A1-7-10の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 鋼材を加工する際に発生する材料の残材に価値がある場合は、その価値を評価しスクラップ控除として直接工事費から控除する。
- (4) 鋼材単価及び鋼材屑等のスクラップ単価は、物価資料の掲載価格により、工事費積算時の価格とする。ただし、これによりがたい場合は製造業者の見積価格等を参考に定める。
- (5) 鉄骨工場加工費については、専門工事業者の見積価格を参考に定める。ただし、これによりがたい場合は物価資料の掲載価格等によることができる。
- (6) 鋼材を工場にて加工する場合は、運搬費を計上する。
- (7) 鉄骨建て方用揚重機の費用は別途計上する。
- (8) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 建築構造物等の鉄骨現場建て方、トルシア形高力ボルト締付け、アンカーボルト埋込み、軽量鉄骨加工・組立て、柱底均しモルタル及び鉄骨足場に適用する。
- ロ. 現場建て方は、低層及び中層の建物に適用する。なお、1㎡当たり鋼材使用量及び鋼材総使用量により補正する。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 7 - 1

現場建て方 (1 t 当たり)					
名 称	摘 要	単 位	低 層	中 層	備 考
普通ボルト		本	20.0	20.0	4%
とび工		人	0.4	0.53	
鉄骨工		人	0.067	0.067	
その他		式	1	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 2. 揚重機の費用は、別途計上する。  
 3. 「その他」の率対象は、普通ボルト、とび工、鉄骨工とする。



別表 A1 - 7 - 1 - 1

1 m <sup>2</sup> 当たり鋼材使用量による増減率												
1 m <sup>2</sup> 当たり 鋼材使用量 (kg)	50 未満	50以上 55未満	55以上 60未満	60以上 65未満	65以上 70未満	70以上 80未満	80以上 90未満	90以上 110未満	110以上 130未満	130以上 150未満	150以上 190未満	190以上 250未満
増 減 率	1.3	1.26	1.22	1.18	1.14	1.1	1.05	1	0.95	0.89	0.84	0.77

別表 A1 - 7 - 1 - 2

鋼材総使用量による増減率											
鋼材総使用量 (t)	10 未満	10以上 15未満	15以上 20未満	20以上 30未満	30以上 50未満	50以上 80未満	80以上 150未満	150以上 250未満	250以上 500未満	500以上 1,000未満	1,000以上
増 減 率	1.34	1.3	1.26	1.22	1.18	1.14	1.1	1.05	1	0.95	0.89

表 A1 - 7 - 2

トルシア形高力ボルト締付け（ビル鉄骨）												(100本当たり)
名称	締付本数 単位	1,000未満	1,000以上 2,000未満	2,000以上 3,000未満	3,000以上 4,000未満	4,000以上 5,000未満	5,000以上 6,000未満	6,000以上 7,000未満	7,000以上 8,000未満	8,000以上 9,000未満	9,000以上 10,000未満	10,000以上
		鉄骨工	人	0.78	0.77	0.75	0.73	0.71	0.69	0.67	0.65	0.63
締付機器	日	0.56	0.55	0.54	0.52	0.51	0.49	0.47	0.46	0.44	0.43	0.42
その他	式	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

- (注) 1. 締付機器は電動レンチ（M24用）とする。  
 2. JIS形高力ボルト締付けについては10%増しとする。  
 3. 「その他」の率対象は、鉄骨工とする。

表 A1 - 7 - 3

トルシア形高力ボルト締付け（大張間構造）					(100本当たり)
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考	
鉄 骨 工		人	0.8		
締 付 機 器		日	0.58		
そ の 他		式	1		

- (注) 1. 締付機器は電動レンチ（M24用）とする。  
 2. JIS形高力ボルト締付けについては10%増しとする。  
 3. 「その他」の率対象は、鉄骨工とする。

表 A1 - 7 - 4

現場溶接				(1m当たり)
名 称	摘 要	単 位	半自動溶接	備 考
溶 接 棒 等		kg	0.28	
炭 酸 ガ ス		kg	0.14	
溶 接 工		人	0.05	
溶接器具損料		式	1	
そ の 他		式	1	

(注) 1. すみ肉溶接脚長6mmとする。  
2. 「その他」の率対象は、溶接棒等、炭酸ガス、溶接工とする。

表 A1 - 7 - 5

アンカーボルト埋込み (B種)				(1本当たり)			
名 称	摘 要	単 位	間柱及び 簡易なもの 径13~16mm	主 柱 用			備 考
				径16~19mm	径22~25mm	径28mm以上	
型 わ く 工		人	0.048	0.072	0.092	0.12	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、型わく工とする。

表 A1 - 7 - 6

軽量鉄骨(母屋・胴縁の類)加工・取付け				(1t当たり)
名 称	摘 要	単 位	一般	備 考
鉄 骨 工		人	4.0	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 普通ボルト締付けを含む。  
2. 「その他」の率対象は、鉄骨工とする。

表 A1 - 7 - 7

柱底均しモルタル				(1か所当たり)			
名 称	摘 要	単 位	B 種				備 考
			厚30mm				
			400mm角	500mm角	600mm角	700mm角	
セ メ ン ト		kg	3.2	5.0	7.2	9.8	
細 骨 材	砂	m <sup>3</sup>	0.005	0.008	0.012	0.016	
左 官		人	0.08	0.09	0.1	0.11	
普通作業員		人	0.03	0.03	0.03	0.03	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率は、第1編 総則 表3-1-1建築工事の「左官」による。  
2. 「その他」の率対象は、左官、普通作業員とする。

表 A1 - 7 - 8

鉄骨足場		(掛面積1㎡当たり)		
名 称	摘 要	単位	単管つり 足 場	備 考
丸 パ イ プ	径6 L=4,000mm 合板足場板 240×4,000mm	m	1.95	2%
足場チェーン		本	0.13	2%
合板足場板		枚	0.05	2%
と び 工		人	0.035	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
2. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A1 - 7 - 9

仮設材運搬(鉄骨足場)		(100㎡当たり往復)						
名 称	摘 要	単位	1 節	2 節	3 節	4 節	5 節	備 考
トラック運転	4t積	日	0.225	0.18	0.143	0.113	0.09	

表 A1 - 7 -10

トラック運転		(1日当たり)		
名 称	摘 要	単位	4t積	備 考
運転手(一般)	軽油	人	1.0	
燃 料		L	32.6	
機 械 損 料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

## 第 8 節 既製コンクリート

### 1 一般事項

- (1) 表A1-8-1～表A1-8-5の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 建築用コンクリートブロック積み帳壁及び防水立上り保護に適用する。  
 ロ. コンクリートブロック積みの鉄筋の配筋は、次表による。

用 途	縦 筋	横 筋
内 壁	D10-400 @	D10-400@
外 壁	D13-400 @	D10-400@

(注) 1. 重ね継手長さは45d、定着長さは40dとする。ただし、配力筋の定着長さは25dとする。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 8 - 1

内壁コンクリートブロック帳壁(空洞ブロック08)							(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	厚 さ 100mm	厚 さ 120mm	厚 さ 150mm	厚 さ 190mm	備 考
建築用空洞ブロック		個	13	13	13	13	
セメント		kg	13.1	16.6	24.2	35.3	
細骨材	砂	m <sup>3</sup>	0.03	0.03	0.05	0.07	
鉄筋	D10	kg	3.7	3.7	3.7	3.7	
建築ブロック工		人	0.11	0.12	0.13	0.15	
普通作業員		人	0.05	0.06	0.07	0.1	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建築用空洞ブロック、建築ブロック工、普通作業員とする。

表 A1 - 8 - 2

内壁コンクリートブロック帳壁(空洞ブロック16) (1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単位	厚 さ 100mm	厚 さ 120mm	厚 さ 150mm	厚 さ 190mm	備 考
建築用空洞ブロック		個	13	13	13	13	
セメント		kg	13.1	16.6	24.2	35.3	
細骨材	砂	m <sup>3</sup>	0.03	0.03	0.05	0.07	
鉄筋	D10	kg	3.7	3.7	3.7	3.7	
建築ブロック工		人	0.12	0.13	0.14	0.16	
普通作業員		人	0.06	0.07	0.08	0.11	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建築用空洞ブロック、建築ブロック工、普通作業員とする。

表 A1 - 8 - 3

外壁コンクリートブロック帳壁(空洞ブロック16) (1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単位	厚 さ 100mm	厚 さ 120mm	厚 さ 150mm	厚 さ 190mm	備 考
建築用空洞ブロック		個	13	13	13	13	
セメント		kg	13.1	16.6	24.2	35.3	
細骨材	砂	m <sup>3</sup>	0.03	0.03	0.05	0.07	
鉄筋	D10	kg	1.6	1.6	1.6	1.6	
鉄筋	D13	kg	4.0	4.0	4.0	4.0	
建築ブロック工		人	0.12	0.13	0.14	0.16	
普通作業員		人	0.06	0.07	0.08	0.11	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建築用空洞ブロック、建築ブロック工、普通作業員とする。

表 A1 - 8 - 4

コンクリートブロック化粧積み加算 (1㎡当たり)					
名 称	摘 要	単位	片面	両面	備 考
建築ブロック工		人	0.025	0.05	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建築ブロック工とする。

表 A1 - 8 - 5

防水立上り部（れんが押さえ）					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考	
れ ん が	210×100×60mm 半枚積み	個	68		
セ メ ン ト		kg	21.2		
細 骨 材	砂	m <sup>3</sup>	0.05		
建 築 ブ ロ ッ ク 工		人	0.08		
普 通 作 業 員		人	0.04		
そ の 他		式	1		

(注) 1. れんがの種類は、普通れんがとする。

2. 「その他」の率対象は、れんが、建築ブロック工、普通作業員とする。

## 第 9 節 防 水

### 1 一般事項

- (1) 表A1-9-1、表A1-9-2の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-9-3の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節の定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
イ. 防水における伸縮調整目地及び成形緩衝材に適用する。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 9 - 1

伸縮調整目地				(1 m 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
成形伸縮目地材		m	1.05	
防 水 工		人	0.025	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、成形伸縮目地材、防水工とする。

表 A1 - 9 - 2

成形緩衝材				(1 m 当たり)
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
成形緩衝材		m	1.05	
防 水 工		人	0.013	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、成形緩衝材、防水工とする。

### 3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 屋根アスファルト防水、屋内アスファルト防水、防水入隅処理及びシーリングに適用する。
- ロ. アスファルト防水に成形緩衝材及び成形キャント材は含まない。
- ハ. アスファルト防水に防水入隅処理は含まない。
- ニ. 防水下地がALCパネル及びPC版等の場合の継目処理は含まない。
- ホ. アスファルト防水(AI-2)密着断熱工法は、断熱材を含む。
- ヘ. シーリングは、補助材(バックアップ材及びボンドブレイカー等)を含む。
- ト. シーリングの単価を使用する場合は、被着体の組み合わせに留意する。

#### (2) 細目工種

表 A1 - 9 - 3

細目	摘要	単位	備考
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	A-2 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	AI-2 密着断熱工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	B-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋根アスファルト防水	D-1 絶縁工法 立上り	m <sup>2</sup>	
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 平部	m <sup>2</sup>	
屋内アスファルト防水	E-1 密着工法 立上り	m <sup>2</sup>	
防水入隅処理	コーナーキャント材 (既製品)	m	
シーリング	PS-2ボ <sup>®</sup> リサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	PS-2ボ <sup>®</sup> リサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅15×深さ10	m	
シーリング	PS-2ボ <sup>®</sup> リサルファイト <sup>®</sup> (2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ <sup>®</sup> リウレタン (2成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ <sup>®</sup> リウレタン (2成分形) 幅15×深さ10	m	
シーリング	PU-2ボ <sup>®</sup> リウレタン (2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン (2成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン (2成分形) 幅15×深さ10	m	
シーリング	MS-2変成シリコン (2成分形) 幅20×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン (1成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	SR-1シリコン (1成分形) 幅15×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン (2成分形) 幅10×深さ10	m	
シーリング	SR-2シリコン (2成分形) 幅15×深さ10	m	



## 第 10 節 石

### 1 一般事項

- (1) 本工種における単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

## 第 11 節 タ イ ル

### 1 一般事項

- (1) 表A 1 - 1 1 - 1～表A 1 - 1 1 - 8の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 床タイル張り及び内装壁タイル張りに適用する。
  - ロ. 張付けモルタルに混入する保水剤を含む。
  - ハ. タイルの洗い手間を含む。
  - ニ. 下地モルタルは、「第15節 左官」により別途計上する。

#### (2) 細目工種

表 A1 -11- 1

床タイル(一般床タイル張り)					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	100mm角	150mm角	備 考
床 タ イ ル		枚	102	45	
セ メ ン ト		kg	3.0	2.6	
細 骨 材	砂	m <sup>3</sup>	0.004	0.004	
タ イ ル 工		人	0.22	0.19	
普 通 作 業 員		人	0.09	0.09	
そ の 他		式	1	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。  
 2. 「その他」の率対象は、床タイル、タイル工、普通作業員とする。

表 A1 -11- 2

床タイル(ユニットタイル張り)				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	100mm角	備 考
床ユニットタイル		シート	11.5	
セメント		kg	4.4	
細骨材	砂	m <sup>3</sup>	0.003	
タイル工		人	0.19	
普通作業員		人	0.07	
その他		式	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。  
 2. 床ユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。  
 3. 「その他」の率対象は、床ユニットタイル、タイル工、普通作業員とする。

表 A1 -11- 3

床タイル(階段用タイル張り)					(1m当たり)
名 称	摘 要	単 位	100mm角	150mm角	備 考
床タイル	階段用	枚	10	7	
セメント		kg	0.2	0.3	
細骨材	砂	m <sup>3</sup>	0.0004	0.0004	
タイル工		人	0.075	0.075	
普通作業員		人	0.025	0.025	
その他		式	1	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。  
 2. 階段用タイルは、段鼻又は垂れ付き段鼻とする。  
 3. 「その他」の率対象は、床タイル、タイル工、普通作業員とする。

表 A1 -11- 4

床モザイクタイル(ユニットタイル張り)					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	25mm角	50mm角	備 考
モザイクユニットタイル		シート	11.5	11.5	
セメント		kg	5.2	4.0	
細骨材	砂	m <sup>3</sup>	0.003	0.003	
タイル工		人	0.19	0.19	
普通作業員		人	0.07	0.07	
その他		式	1	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。  
 2. モザイクユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。  
 3. 「その他」の率対象は、モザイクユニットタイル、タイル工、普通作業員とする。

表 A1 -11- 5

内装壁タイル(改良積上げ張り)				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	100mm角	備 考
内 装 タ イ ル		枚	102	
セ メ ン ト		kg	5.8	
細 骨 材	砂	m <sup>3</sup>	0.019	
タ イ ル 工		人	0.25	
普 通 作 業 員		人	0.08	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。  
2. 「その他」の率対象は、内装タイル、タイル工、普通作業員とする。

表 A1 -11- 6

内装壁タイル(ユニットタイル 有機系接着剤による接着張り)				(1㎡当たり)	
名 称	摘 要	単 位	モルタル面	ボード面	備 考
			100mm角	100mm角	
内装ユニットタイル		シート	11.5	11.5	
有機系接着剤		kg	0.8	0.8	
白セメント		kg	0.12	0.12	
タイル工		人	0.18	0.18	
普通作業員		人	0.05	0.05	
その他		式	1	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。  
2. 内装ユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。  
3. 有機系接着剤は、タイプⅠ又はタイプⅡとする。  
4. 「その他」の率対象は、内装ユニットタイル、有機系接着剤、白セメント、タイル工、普通作業員とする。

表 A1 -11- 7

内装壁モザイクタイル(ユニットタイル マスク張り)				(1㎡・1m当たり)				
名 称	摘 要	単 位	平物(㎡当たり)		役物(m当たり)			備 考
			50角平 45×45	50二丁平 95×45	50角曲がり (45+45) ×45	50二丁曲がり (95+45) ×45	50二丁屏風曲 95 ×(45+45)	
モザイクユニットタイル		シート	11.5	11.5	3.5	3.5	3.5	
セメント		kg	4.2	4.1	0.39	0.57	0.38	
細骨材	砂	m <sup>3</sup>	0.003	0.003	0.0003	0.0005	0.0003	
タイル工		人	0.21	0.21	0.08	0.08	0.08	
普通作業員		人	0.1	0.1	0.022	0.022	0.022	
その他		式	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 屏風曲がりを水切り等の面台に使用する場合は、労務を各々の80%掛けとする。  
2. モザイクユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。  
3. 「その他」の率対象は、モザイクユニットタイル、タイル工、普通作業員とする。

表 A1 -11- 8

内装壁モザイクタイル(ユニットタイル モザイクタイル張り)				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	25mm角	備 考
モザイクユニットタイル		シート	11.5	
セメント		kg	4.4	
細骨材	砂	m <sup>3</sup>	0.003	
タイル工		人	0.21	
普通作業員		人	0.07	
その他		式	1	

- (注) 1. タイルの寸法は、目地を含むモジュール寸法とする。  
 2. モザイクユニットタイルの1シート寸法は、300×300mmとする。  
 3. 「その他」の率対象は、モザイクユニットタイル、タイル工、普通作業員とする。

## 第 12 節 木 工

### 1 一般事項

- (1) 表A1-12-1～表A1-12-6の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
 イ. 鉄筋コンクリート造等の内装木工に適用する。なお、集成材等を使用する場合は適用しない。

- (2) 細目工種

表 A1 -12- 1

間仕切軸組				(壁面1㎡当たり)	
名 称	摘 要	単 位	間仕切軸組	備	考
く	ぎ	kg	0.018		
金	物	kg	0.22		
大	工	人	0.09		
普	通	人	0.02		
そ	の	式	1		
他					

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工、普通作業員とする。

表 A1 -12- 2

床組及び床板張り							(床面1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	つか立て床組 床づか 根がらみ 大引き 根太等	ころばし床組 大引き 根太等	縁 甲 板	畳下床板 合 板 厚さ12mm	備 考
く	ぎ	kg	0.06	0.032	0.1	0.03	
金	物	kg	—	0.11	—	—	
大	工	人	0.13	0.08	0.12	0.028	
普	通	人	0.02	0.012	0.016	0.008	
そ	の	式	1	1	1	1	
他							

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工、普通作業員とする。

表 A1 -12- 3

壁下地組、下地板張り及び合板張り							(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	胴 縁 (@450mm)	壁木ずり	壁下地板 (ラス下地)	壁合板 (胴縁を含まない)	備 考
く ぎ		kg	0.055	0.055	0.055	0.03	
大 工		人	0.05	0.058	0.055	0.06	
普通作業員		人	0.006	0.008	0.008	0.006	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工、普通作業員とする。

表 A1 -12- 4

天井下地組及び屋根下地板張り					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	天井下地 (吊木共)	野 地 板	備 考
く ぎ		kg	0.05	0.055	
大 工		人	0.1	0.027	
普通作業員		人	0.01	0.005	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工、普通作業員とする。

表 A1 -12- 5

建具枠回り			(1か所当たり・額縁(窓出入口)1m当たり)					
名 称	摘 要	単 位	額 縁 (窓 出入口)	窓 枠 (引違い) 幅 高さmm 1,800×1,200	出入口枠 (片開き) 幅 高さmm 900×2,000	出入口枠 (両開き) 幅 高さmm 1,600×2,000	出入口枠 (片開き 欄間付き用) 幅 高さmm 900×2,500	出入口枠 (両開き 欄間付き用) 幅 高さmm 1,600×2,500
く ぎ		kg	0.017	—	—	—	—	—
金 物		kg	—	0.5	0.45	0.5	0.55	0.6
大 工		人	0.04	0.9	0.7	0.8	0.85	0.95
普通作業員		人	0.01	0.1	0.1	0.15	0.12	0.18
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1

(注) 1. 窓枠は、欄間及び額縁を含まない。

2. 出入口枠は、くつずりまでを含み、欄間、額縁及び無目を含まない。

3. 「その他」の率対象は、大工、普通作業員とする。

表 A1 -12- 6

幅木				(1m当たり)
名 称	摘 要	単 位	幅 木 120×18mm	備 考
く	ぎ	kg	0.02	
大	工	人	0.065	
普 通 作 業 員		人	0.007	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工、普通作業員とする。



## 第 13 節 屋根及びとい

### 1 一般事項

- (1) 表A1-13-1～表A1-13-8の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
 イ. とい及びルーフトレンに適用する。  
 ロ. といの付属金物には、一般的な取付工法で用いる支持金物、留付け金物及び継手等を含む。

#### (2) 細目工種

表 A1 -13- 1

ルーフトレン						(1か所当たり)	
名 称	摘 要	単 位	径50～80mm	径100～150mm	備 考		
ルーフトレン		個	1	1			
型 わ く 工		人	0.09	0.1			
左 官		人	0.09	0.1			
そ の 他		式	1	1			

- (注) 1. ルーフトレンは屋上用縦引き・横引き及び中継用とする。  
 2. 「その他」の率対象は、ルーフトレン、型わく工、左官とする。

表 A1 -13- 2

鋼管とい									(1m当たり)
名 称	摘 要	単 位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
配管用鋼管	白管	m	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	材料費の60%
付 属 金 物		式	1	1	1	1	1	1	
配 管 工		人	0.10	0.13	0.15	0.18	0.25	0.30	
普 通 作 業 員		人	0.02	0.02	0.03	0.04	0.05	0.06	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 鋼管とい塗装は表A1-13-8による。  
 2. 「その他」の率対象は、配管用鋼管、付属金物、配管工、普通作業員とする。

表 A1 -13- 3

硬質ポリ塩化ビニル管とい (1m当たり)									
名 称	摘 要	単 位	径50mm	径65mm	径75mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
硬質ポリ塩化ビニル管		m	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	1.05	材料費の70%
付 属 金 物		式	1	1	1	1	1	1	
板 金 工		人	0.040	0.049	0.054	0.063	0.072	0.081	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、硬質ポリ塩化ビニル管、付属金物、板金工とする。

表 A1 -13- 4

鋼管とい掃除口 (1か所当たり)											
名 称	摘 要	単 位	床下掃除口				床上掃除口				備 考
			径80	径100	径125	径150	径80	径100	径125	径150	
床 下 掃 除 口		個	1	1	1	1	—	—	—	—	本体+継手の3%
床 上 掃 除 口		個	—	—	—	—	1	1	1	1	
90° 大曲りY継手		個	1	1	1	1	1	1	1	1	
90° 曲 継 手		個	—	—	—	—	1	1	1	1	
接 合 材		式	1	1	1	1	1	1	1	1	
配 管 工		人	0.11	0.13	0.15	0.18	0.29	0.32	0.35	0.38	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 床上掃除口は非防水形とする。

2. 「その他」の率対象は、床下掃除口、床上掃除口、90° 大曲りY継手、90° 曲継手、接合材、配管工とする。

表 A1 -13- 5

鋼管とい防露巻き (一般の屋内露出部) (1m当たり)									
名 称	摘 要	単 位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
保 温 筒	厚20	m	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	管径に応じた材料とする
粘 着 テ ー プ		m	4.2	4.5	4.7	5.4	5.9	6.4	
合 成 樹 脂 カ バ ー	厚0.3	m <sup>2</sup>	0.49	0.55	0.60	0.75	0.85	0.95	材料費の5%
カ バ ー ピ ン		個	12	12	12	12	12	12	
雑 材 料		式	1	1	1	1	1	1	
保 温 工		人	0.051	0.057	0.062	0.083	0.102	0.119	(材料費+雑材料費)の3%
ダ ク ト 工		人	0.030	0.033	0.036	0.045	0.051	0.057	
運 搬 費		式	1	1	1	1	1	1	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、保温筒、粘着テープ、合成樹脂カバー、カバーピン、雑材料、保温工、ダクト工、運搬費とする。

表 A1 -13- 6

鋼管とい防露巻き (天井内等) (1m当たり)									
名 称	摘 要	単 位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
保 温 筒	厚20	m	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	管径に応じた材料とする
粘 着 テ ー プ		m	2.7	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1	
ビニルテープ	幅100	m	4.9	-	-	-	-	-	
ビニルテープ	幅125	m	-	4.3	4.8	5.7	-	-	材料費の5%
ビニルテープ	幅150	m	-	-	-	-	5.4	6.1	
雑 材 料		式	1	1	1	1	1	1	
保 温 工		人	0.088	0.094	0.10	0.13	0.16	0.18	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、保温筒、粘着テープ、ビニルテープ、雑材料、保温工とする。

表 A1 -13- 7

鋼管とい防露巻き (厨房・浴室内等) (1m当たり)									
名 称	摘 要	単 位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
保 温 筒	厚20	m	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	管径に応じた材料とする
粘 着 テ ー プ		m	2.7	2.8	2.8	2.9	3.0	3.1	
アスファルトルーフィングフェルト		m <sup>2</sup>	0.37	0.43	0.48	0.58	0.67	0.77	
ステンレス鋼板	厚0.2	m <sup>2</sup>	0.49	0.55	0.60	0.71	0.81	0.91	ラッキング用
雑 材 料		式	1	1	1	1	1	1	材料費の5%
保 温 工		人	0.078	0.084	0.093	0.12	0.14	0.16	
板 金 工		人	0.14	0.15	0.17	0.20	0.22	0.25	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、保温筒、粘着テープ、アスファルトルーフィングフェルト、ステンレス鋼板、雑材料、保温工、板金工とする。

表 A1 -13- 8

鋼管とい塗装 (1m当たり)									
名 称	摘 要	単 位	径50mm	径65mm	径80mm	径100mm	径125mm	径150mm	備 考
エッチングプライマー		kg	0.008	0.01	0.013	0.016	0.02	0.024	
一液変性エポキシ樹脂さび止めペイント	JPMS 28	kg	0.019	0.025	0.03	0.038	0.047	0.057	
研 磨 紙	P120~400	枚	0.011	0.014	0.018	0.022	0.027	0.033	
合成樹脂調合ペイント	JIS K5516	kg	0.027	0.035	0.043	0.053	0.067	0.08	
塗 装 工		人	0.018	0.023	0.029	0.036	0.045	0.054	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率は、第1編 総則 表3-1-1建築工事の「塗装」による。

2. 「その他」の率対象は、エッチングプライマー、一液変性エポキシ樹脂さび止めペイント、研磨紙、合成樹脂調合ペイント、塗装工とする。

## 第 14 節 金 属

### 1 一般事項

- (1) 表A1-14-1～表A1-14-4の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-14-5の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

イ. 下地ラス張り（壁）、軽量鉄骨天井下地のインサート、マンホールふた、床点検口、天井点検口及びコーナー金物に適用する。

#### (2) 細目工種

表 A1 -14- 1

下地ラス張り (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単 位	メタルラス 張 り (平ラス)	備 考
ラ		㎡	1.1	
ス				
特殊作業員		人	0.03	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、ラス、特殊作業員とする。

表 A1 -14- 2

天井インサート (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
インサート		本	1.5	
特殊作業員		人	0.005	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、インサート、特殊作業員とする。

表 A1 -14- 3

マンホールふた及び点検口 (1か所当たり)						
名 称	摘 要	単 位	マンホール ふ た 径400~500mm	点 検 口		備 考
				床 450~600角	天井 450角	
マンホールふた		個	1	—	—	
点 検 口		個	—	1	1	
型 わ く 工		人	—	—	—	
配 管 工		人	0.25	—	—	
左 官		人	0.1	0.05	—	
内 装 工		人	—	0.1	0.15	
そ の 他		式	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、マンホールふた、点検口、配管工、左官、内装工とする。

表 A1 -14- 4

コーナー金物 (1m当たり)					
名 称	摘 要	単 位	コーナビード (モルタル用)	目地ジョイナー (ボード用)	備 考
金 物		m	1.0	1.0	
左 官		人	0.025	—	
内 装 工		人	—	0.025	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、金物、左官、内装工とする。

### 3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 軽量鉄骨壁下地及び軽量鉄骨天井下地に適用する。
- ロ. 軽量鉄骨天井下地は、天井インサートを含まない。
- ハ. 屋内天井下地補強は、大空間の天井等における耐震性を考慮した補強等を含まない。また、屋外軽量鉄骨天井下地における、風圧力に対する安全性を考慮した補強等を含まない。

## (2) 細目工種

表 A1 -14- 5

細目	摘要	単位	備考
軽量鉄骨壁下地	スタッド50形 @300 スタッド高さ H≤2.7m 直張り用	m <sup>2</sup>	
軽量鉄骨壁下地	スタッド50形 @450 スタッド高さ H≤2.7m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	
軽量鉄骨壁下地	スタッド65形 @300 スタッド高さ H≤4.0m 直張り用	m <sup>2</sup>	
軽量鉄骨壁下地	スタッド65形 @450 スタッド高さ H≤4.0m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	
軽量鉄骨壁下地	スタッド90形 @300 スタッド高さ 4.0<H≤4.5m 直張り用	m <sup>2</sup>	
軽量鉄骨壁下地	スタッド90形 @450 スタッド高さ 4.0<H≤4.5m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	
軽量鉄骨壁下地	スタッド100形 @300 スタッド高さ 4.5<H≤5.0m 直張り用	m <sup>2</sup>	
軽量鉄骨壁下地	スタッド100形 @450 スタッド高さ 4.5<H≤5.0m 下地張りあり	m <sup>2</sup>	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @225 ふところ高 1.5m未満 直張り用	m <sup>2</sup>	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @300 ふところ高 1.5m未満 直張り用	m <sup>2</sup>	
屋内軽量鉄骨天井下地	野縁19形 @360 ふところ高 1.5m未満 下地張りあり	m <sup>2</sup>	
屋外軽量鉄骨天井下地	野縁25形 @300 ふところ高 1.0m未満	m <sup>2</sup>	
屋内軽量鉄骨下がり壁下地	野縁19形 H300～500程度	m	
屋外軽量鉄骨下がり壁下地	野縁25形 H300～500程度	m	
屋内天井下地補強	ふところ高 1.5m～3.0m	m <sup>2</sup>	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 W900×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 65形 W1800×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 W900×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	扉等三方補強 スタッド 90形 W1800×H2000mm程度	か所	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 65形 W300×H600mm程度	か所	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 65形 W450×H900mm程度	か所	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 90形 W300×H600mm程度	か所	
壁下地開口補強	タテ等四方補強 スタッド 90形 W450×H900mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 19形 300×300mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 19形 450×450mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 19形 600×600mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 19形 300×1200mm程度	か所	
屋内天井下地開口部補強	ボート等切込み共 19形 300×3600mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 25形 450×450mm程度	か所	
屋外天井下地開口部補強	ボート等切込み共 25形 600×600mm程度	か所	

## 第 15 節 左 官

### 1 一般事項

- (1) 表A 1 - 1 5 - 1 の細目工種は、市場単価を適用する。
- (2) 本節に定める市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. コンクリート直均し、各種モルタル塗り、建具廻りモルタル詰め、防水入隅処理及び各種吹付けに適用する。
- ロ. 一般的な混和剤、目地棒及び定規等の補助材を含む。
- ハ. 柱型モルタル塗り及びはり型モルタル塗りは、出隅等のコーナー成形処理費を含む。

## (2) 細目工種

表 A1 -15- 1

細目	摘要	単位	備考
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ 薄張物下地【手間のみ】	m <sup>2</sup>	
床コンクリート面直均し仕上げ	金ごて 防水下地 厚張物下地【手間のみ】	m <sup>2</sup>	
床モルタル塗り	金ごて 厚28mm 張物下地	m <sup>2</sup>	
床モルタル塗り	木ごて 厚37mm 一般タイル下地	m <sup>2</sup>	
床モルタル塗り	金ごて 厚15mm 防水下地	m <sup>2</sup>	
階段モルタル塗り	金ごて 厚28mm 張物下地	m <sup>2</sup>	
幅木モルタル塗り	金ごて 高100mm 出幅木	m	
幅木モルタル塗り	金ごて 高100mm 目地用 ジョイナー共	m	
ささら幅木モルタル塗り	金ごて 高150mm 出幅木	m	
壁モルタル塗り	金ごて 厚20mm 内壁 3回塗り	m <sup>2</sup>	
柱型モルタル塗り	金ごて 厚20mm 3回塗り	m <sup>2</sup>	
はり型モルタル塗り	金ごて 厚20mm 3回塗り	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	木ごて 厚16mm 外壁小口タイル下地 2回塗り	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	木ごて 厚20mm 外壁エッジタイル下地 2回塗り	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	木ごて 厚11mm 内壁小口タイル下地 2回塗り	m <sup>2</sup>	
壁モルタル塗り	木ごて 厚15mm 内壁エッジタイル下地 2回塗り	m <sup>2</sup>	
壁薄塗モルタル	金ごて 厚5mm 既調合品	m <sup>2</sup>	
柱薄塗モルタル	金ごて 厚5mm 既調合品	m <sup>2</sup>	
はり薄塗モルタル	金ごて 厚5mm 既調合品	m <sup>2</sup>	
笠木天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅300mm 【手間のみ】	m	
水切りモルタル塗り	金ごて 糸幅200mm 厚30mm	m	
手摺笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅200mm 厚30mm	m	
側溝モルタル塗り	金ごて 糸幅200mm 厚30mm	m	
建具周囲モルタル充填	内部建具	m	
建具周囲防水モルタル充填	外部建具	m	
防水入隅処理	立上り入隅面取り 面取り幅70mm度	m	
外装薄塗材E(アクリルシン)	砂壁状 吹付け 下塗1(0)回・主材塗2回	m <sup>2</sup>	
可とう形外装薄塗材E(弾性リソ)	砂壁状 吹付け 下塗1回・主材塗2回	m <sup>2</sup>	
防水形外装薄塗材E(単層弾性)	凹凸状 吹付け 下塗1回・増塗1回・基層塗1回・主材塗2回	m <sup>2</sup>	
内装薄塗材E(じゅらく)	砂壁状 吹付け 下塗1回・主材塗2回	m <sup>2</sup>	
複層塗材E(アクリルタイル)	凹凸状 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
複層塗材E(アクリルタイル)	凸部処理 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
複層塗材E(アクリルタイル)	ゆず肌状 ローラー塗り 下塗1回・主材塗1~2回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
複層塗材RE(エポキシタイル)	凹凸状 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
複層塗材RE(エポキシタイル)	凸部処理 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
複層塗材RE(エポキシタイル)	ゆず肌状 ローラー塗り 下塗1回・主材塗1~2回・上塗2回	m <sup>2</sup>	



細目	摘要	単位	備考
複層塗材Si(シリカタイル)	凹凸状 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
複層塗材Si(シリカタイル)	凸部処理 吹付け 下塗1回・基層塗1回・模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
複層塗材Si(シリカタイル)	ゆず肌状 ローラー塗り 下塗1回・主材塗1～2回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
防水形複層塗材E(複層弾性)	凹凸状 吹付け 下塗1回・増塗1回・基層塗2回・ 模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
防水形複層塗材E(複層弾性)	凸部処理 吹付け 下塗1回・増塗1回・基層塗2回・ 模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
防水形複層塗材E(複層弾性)	ゆず肌状 ローラー塗り 下塗1回・増塗1回・基層塗2回・ 模様塗1回・上塗2回	m <sup>2</sup>	
セメント系下地調整塗材C-1	吹付け	m <sup>2</sup>	
合成樹脂エマルジョンクラー	吹付け	m <sup>2</sup>	
合成樹脂エマルジョン系下地調整材E	吹付け	m <sup>2</sup>	

注) 外装薄塗材E(アクリリシ)について、下塗材を省略又は専用の下地調整材を用いる場合は、仕上塗材製造所の指定による。

## 第 16 節 建 具

### 1 一般事項

- (1) 表A 1 - 1 6 - 1 ~ 表A 1 - 1 6 - 6 の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A 1 - 1 6 - 7 の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 建具寸法は、有効内法寸法とする。
- (5) 金属製建具はアルミニウム製建具、樹脂製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具及びシャッター等に区分し、製品代、取付費及び運搬費に分けて計上する。
- (6) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 木製建具及びガラス清掃に適用する。
  - ロ. 木製建具の建具枠は、第 1 2 節による。

## (2) 細目工種

## (木製建具)

表 A1 -16- 1

開きフラッシュ戸取付け						(1か所当たり)
名 称	摘 要	単 位	片開き 幅 高さmm 800×1,800	両開き 幅 高さmm 1,600×1,800	便所片開き 幅 高さmm 600×1,800	備 考
建 具		枚	(1)	(2)	(1)	
丁 番		枚	2	4	—	
戸当たり、あおり止め		個	1	1	—	
箱 錠		個	1	1	—	
上 げ 落 し		個	—	1	—	
ラバトリーヒンジ		組	—	—	1	
表示付き空錠		個	—	—	1	
帽子掛け戸当たり		個	—	—	1	
建 具 工		人	0.15	0.3	0.13	
そ の 他		式	1	1	1	

(注)1. 丁番は、建具の高さが2,000mm以上2,400mm以下の場合、片開きにおいては3枚、両開きにおいては6枚とする。

2. 「その他」の率対象は、建具工とする。

表 A1 -16- 2

引違い戸及び引違い窓取付け					(1か所当たり)
名 称	摘 要	単 位	引違い戸 幅 高さmm 1,700×1,800	引違い窓 幅 高さmm 1,700×1,350	備 考
建 具		枚	(2)	(2)	
レ ー ル		本	2	2	
引 き 手		個	4	4	
ね じ 締 り		組	1	1	
戸 車		個	4	4	
建 具 工		人	0.1	0.09	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建具工とする。

表 A1 -16- 3

開き窓及び回転窓取付け					(1か所当たり)
名 称	摘 要	単 位	開き窓 幅 高さmm 1,500×1,200	回転窓 幅 高さmm 800×550	備 考
建 具		枚	(2)	(1)	
丁 番		枚	4	—	
あ お り 止 め		個	2	—	
上 げ 落 し		個	1	—	
窓 締 り		組	1	—	
回 転 軸		組	—	2	
キ ャ ッ チ		個	—	1	
ひ も 掛 け		個	—	1	
建 具 工		人	0.2	0.15	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建具工とする。

表 A1 -16- 4

引違いふすま、障子及び片開きふすま取付け						(1か所当たり)
名 称	摘 要	単 位	引違いふすま 幅 高さmm 1,750×1,800	引違い障子 幅 高さmm 1,750×1,800	片開きふすま 幅 高さmm 900×1,800	備 考
建 具		枚	(2)	(2)	(1)	
引 き 手		個	4	—	—	押入用ふすまの場合は2個とする
丁 番		枚	—	—	2	
把 手		個	—	—	1	押入用ふすまの場合
キ ャ ッ チ		個	—	—	1	
建 具 工		人	0.1	0.13	0.08	
そ の 他		式	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建具工とする。

表 A1 -16- 5

ドアクローザ取付け				(1か所当たり)
名 称	摘 要	単 位	ドアクローザ	備 考
ドアクローザ		個	(1)	
建 具 工		人	0.09	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、建具工とする。

(ガラス)

表 A1 -16- 6

ガラス清掃				(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	ガラス清掃	備考
普通作業員		人	0.017	ガラス両面
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

### 3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. ガラス及びガラスとめシーリングについて適用する。
- ロ. ガラスとめシーリングは足場作業とし、片側m当たり単価とする。

#### (2) 細目工種

表 A1 -16- 7

細目	摘要	単位	備考
型板ガラス	厚4mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
網入り型板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚5mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚5mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚6mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
フロート板ガラス	厚6mm 特寸4.45㎡以下	㎡	
網入りみがき板ガラス	厚6.8mm 特寸2.18㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL5+A6+FL5 特寸2.0㎡以下	㎡	
複層ガラス	FL5+A6+PW6.8 特寸2.0㎡以下	㎡	
強化ガラス	厚8mm 特寸2.0㎡以下	㎡	
ガラスとめシーリング	片面5×5 ハックアップ材共 シリコン系 1成分形	m	

## 第 17 節 塗 装

### 1 一般事項

- (1) 表A 1 - 1 7 - 1 の細目工種は、市場単価を適用する。
- (2) 本節に定める市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 市場単価

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 錆止め塗り、仕上げ塗り及び素地ごしらえに適用する。
  - ロ. 錆止め塗りの単価は、現場 1 回塗りの単価とする。
  - ハ. 仕上塗りで、下地が鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面及び鋼製建具面の単価は、錆止め塗りを含まない。
  - ニ. 仕上塗りで、下地が木部、モルタル面、せっこうボード及びけい酸カルシウム板面の単価は、素地ごしらえを含む。

## (2) 細目工種

表 A1 -17- 1

細 目	摘 要		単位	備 考
	下地種類等	塗装種別 作業工程		
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面 (屋内外)	A種 A種	m <sup>2</sup>	
錆止め塗り	現場 1 回 鉄鋼面 (屋内)	B種 A種	m <sup>2</sup>	
錆止め塗り	現場 1 回 亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 (屋内外)	A種 A種	m <sup>2</sup>	
SOP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面 (屋内外)	1種 B種	m <sup>2</sup>	
SOP塗り	(素地ごしらせA種共) 木部 (屋内)	1種 B種	m <sup>2</sup>	
EP塗り	(素地ごしらせB種共) せっこうボード面		B種 m <sup>2</sup>	
EP塗り	(素地ごしらせB種共) けい酸カルシウム板・モルタル面		B種 m <sup>2</sup>	
DP塗り	鉄鋼・亜鉛めっき鋼・鋼製建具面	1級	m <sup>2</sup>	
CL塗り	(素地ごしらせB種共)木部		B種 m <sup>2</sup>	
OS塗り	(汚れ除去の上)木部		m <sup>2</sup>	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (素地ごしらせA種共) 木部 (屋内)	1種 B種	m	
SOP塗り	細幅物糸幅300mm以下 (錆止め現場1回共)鉄鋼面 (屋内)		B種 m	
CL塗り	細幅物糸幅300mm以下 (素地ごしらせB種共)木部		B種 m	
OS塗り	細幅物糸幅300mm以下 (汚れ除去の上)木部		m	
素地ごしらせ	木部 (屋内)		A種 m <sup>2</sup>	
素地ごしらせ	せっこうボード面		B種 m <sup>2</sup>	
素地ごしらせ	けい酸カルシウム板・モルタル面		B種 m <sup>2</sup>	
素地ごしらせ	押出成形セメント板面		B種 m <sup>2</sup>	

## 第 18 節 内 外 装

### 1 一般事項

- (1) 表A1-18-1～表A1-18-8の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表A1-18-9の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 畳敷き、フローリングボード張り、木毛セメント板打込み、合成樹脂発泡材張り、合成樹脂発泡材打込み、壁紙張り及び壁紙素地ごしらえについて適用する。
- ロ. 畳敷きは、畳の現場採寸を含む。

#### (2) 細目工種

表 A1 -18- 1

畳敷き (1枚当たり)					
名 称	摘 要	単位	一畳	半畳	備 考
畳		枚	1	1	
特 殊 作 業 員		人	0.05	0.04	
そ の 他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、畳、特殊作業員とする。

表 A1 -18- 2

フローリングボード張り (1㎡当たり)					
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考	
フローリングボード		㎡	1.05		
く ぎ		kg	0.11		
内 装 工		人	0.13		
普 通 作 業 員		人	0.018		
そ の 他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、フローリングボード、くぎ、内装工、普通作業員とする。



表 A1 -18- 3

木毛セメント板打込み、合成樹脂発泡材張り及び打込み (1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単位	壁		天井		備考
			合成樹脂発泡材 打 込 み	合成樹脂発泡材 張 り	合成樹脂発泡材 打 込 み	木毛セメント板 打 込 み	
木毛セメント板		㎡	—	—	—	1.05	
合成樹脂発泡材		㎡	1.05	1.05	1.05	—	
く ぎ		kg	0.01	—	0.01	0.05	
セ メ ン ト		kg	—	7.0	—	—	
接 着 剤	断熱材用	kg	—	0.5	—	—	
型 わ く 工		人	0.027	—	0.02	0.033	
内 装 工		人	—	0.033	—	—	
普 通 作 業 員		人	0.013	0.017	0.01	0.017	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、木毛セメント板、合成樹脂発泡材、くぎ、接着剤、型わく工、内装工、普通作業員とする。

表 A1 -18- 4

壁紙張り (1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単位	壁		天井		備考
			織物、紙程度	プラスチック程度	織物、紙程度	プラスチック程度	
壁 紙		㎡	1.05	1.05	1.05	1.05	
接 着 剤	壁紙用	kg	0.18	0.18	0.18	0.18	
内 装 工		人	0.05	0.025	0.055	0.028	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 素地ごしらを別途加算する。  
2. 湿気の多い場所、外壁内面のせっこうボード直張り下地等の場合は、防かび剤入り接着剤とする。  
3. 「その他」の率対象は、壁紙、接着剤、内装工とする。

表 A1 -18- 5

壁紙素地ごしらえ (モルタル面) (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単位	B種	備 考
合 成 樹 脂 エマルジョンシーラー	壁紙用	kg	0.1	
合 成 樹 脂 エマルジョンパテ	壁紙用	kg	0.04	
研 磨 紙	P120～220	枚	0.03	
内 装 工		人	0.012	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、合成樹脂エマルジョンシーラー、合成樹脂エマルジョンパテ、研磨紙、内装工とする。

表 A1 -18- 6

壁紙素地ごしらえ（せっこうボード面）					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	B 種	備 考	
合 成 樹 脂 エマルジョンシーラー	壁紙用	kg	0.1		
合 成 樹 脂 エマルジョンパテ	壁紙用	kg	0.02		
研 磨 紙	P120～220	枚	0.03		
内 装 工		人	0.01		
そ の 他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、合成樹脂エマルジョンシーラー、合成樹脂エマルジョンパテ、研磨紙、内装工とする。

表 A1 -18- 7

壁紙素地ごしらえ（けい酸カルシウム板面）					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	B 種	備 考	
反応形合成樹脂シーラー および弱溶剤系反応形 合成樹脂シーラー	JASS18 M-201	kg	0.1		
合 成 樹 脂 エマルジョンパテ	壁紙用	kg	0.02		
研 磨 紙	P120～220	枚	0.03		
内 装 工		人	0.01		
そ の 他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂エマルジョンシーラー、合成樹脂エマルジョンパテ、研磨紙、内装工とする。

表 A1 -18- 8

壁紙素地ごしらえ（コンクリート面）					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	B 種	備 考	
建築用下地調整塗材	JIS A6916	kg	1.1		
研 磨 紙	P120～220	枚	0.03		
シ ー ラ ー	壁紙用	kg	0.07		
左 官		人	0.015		
内 装 工		人	0.004		
そ の 他		式	1		

(注) 1. 湿気が多い場所の場合は、防かび剤入りシーラーとする。

2. 「その他」の率対象は、建築用下地調整塗材、研磨紙、シーラー、左官、内装工とする。

### 3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 内装床及び内装ボード張りに適用する。
- ロ. ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。
- ハ. ビニル床シート及びビニル床タイルの接着剤は、床仕上げ材用接着剤（エポキシ樹脂系は除く）とする。
- ニ. ビニル床シート及びビニル床タイルの施工後の水拭き清掃は単価に含む。
- ホ. タイルカーペットは全面接着工法とし、粘着はく離材形接着剤とする。

#### (2) 細目工種

表 A1 -18- 9

細目	摘要	単位	備考
床ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	
床ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	
階段ビニル床シート張り	厚2.0mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	
階段ビニル床シート張り	厚2.5mm 織布積層ビニル床シート 無地 FS	m <sup>2</sup>	
床ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT	m <sup>2</sup>	
階段ビニル床タイル張り	厚2.0mm コンポジションビニル床タイル 半硬質 KT	m <sup>2</sup>	
床タイルカーペット張り	全厚6.5mm 500角 第一種ループパイル(一般事務室用)	m <sup>2</sup>	
ビニル幅木 (ソフト幅木)	H60mm	m	
ささらビニル幅木 (ソフト幅木)	H330mm	m	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け 下地せっこうボード厚12.5mm共	m <sup>2</sup>	
壁 せっこうボード張り	厚12.5mm 不燃 突付け GL工法	m <sup>2</sup>	
天井 不燃積層せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井 不燃化粧せっこうボード張り	厚9.5mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	厚8.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
壁 けい酸カルシウム板張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	厚8.0mm 不燃 目透し	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	厚6.0mm 不燃 突付け	m <sup>2</sup>	
天井 けい酸カルシウム板張り (タイプ2, 無石綿, 0.8FK)	厚6.0mm 不燃 目透し	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚9.0mm 不燃 フラットタイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	
天井 ロックウール吸音板張り(内部用)	厚12.0mm 不燃 凹凸タイプ 下地不燃積層せっこうボード厚9.5mm共	m <sup>2</sup>	
せっこうボード継目処理	継目処理工法 (テーパージェット)	m <sup>2</sup>	
せっこうボード継目処理	V目地工法 (ハベルエッジ)	m <sup>2</sup>	

## 第 19 節 仕上ユニット

### 1 一般事項

- (1) 表A1-19-1～表A1-19-4の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
 イ. 床目地棒、階段滑り止め、室名札及び厨房器具の取付に適用する。

#### (2) 細目工種

表 A1 -19- 1

床目地棒 (1m当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
床 目 地 棒		m	1.0	
左 官		人	0.025	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、左官とする。

表 A1 -19- 2

階段滑り止め (1m当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
階 段 滑 り 止 め		m	1.0	
接 着 剤		kg	0.015	
左 官		人	0.05	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、左官とする。

表 A1 -19- 3

室名札 (1か所当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
室 名 札		個	1	
内 装 工		人	0.06	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、内装工とする。

表 A1 -19- 4

厨房器具							(1台当たり)
名 称	摘 要	単 位	流 し 台 L=1,800mm 程 度	コンロ台 L=600~700mm 程 度	水 切 棚 L=1,200mm 程 度	吊 戸 棚 L=1,200mm 程 度	備 考
厨 房 器 具		個	1	1	1	1	
大 工		人	—	—	0.1	0.3	
特 殊 作 業 員		人	0.3	0.15	—	—	
そ の 他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、大工、特殊作業員とする。

## 第 20 節 構内舗装

### 1 一般事項

- (1) 表A1-20-1～表A1-20-17の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 養生、清掃及び後片付け等は、別途計上する。
- (4) 舗装機械は、排出ガス対策型とする。また、舗装機械運搬費は別途計上する。
- (5) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 構内のアスファルト舗装及び舗装機械運搬に適用する。
- ロ. 舗装面積は、2,500㎡未満とする。
- ハ. 材料費は、表A1-20-1～表A1-20-3の材料使用量により別途計上する。

#### (2) 細目工種

表 A1 -20- 1

路盤材						(m <sup>3</sup> /100m <sup>2</sup> )
機 械 名	摘 要	車道部			歩道部	備 考
		10cm	15cm	20cm	10cm	
切 込 砂 利		12.50	18.75	25.00	11.90	
再生クラッシュラン	RC-40	12.90	19.35	25.80	12.20	
クラッシュラン	C-40	12.90	19.35	25.80	12.20	
再生粒調砕石		13.20	19.80	26.40	12.50	
粒 調 砕 石		13.20	19.80	26.40	12.50	

表 A1 -20- 2

加熱アスファルト混合物 (t /100m <sup>2</sup> )					
名 称	摘 要	車道部		歩道部	備 考
		3cm	5cm	3cm	
再生密粒度アスファルト		7.24	12.07	6.93	
密粒度アスファルト		7.24	12.07	6.93	
再生細粒度アスファルト		6.93	11.55	6.77	
細粒度アスファルト		6.93	11.55	6.77	

表 A1 -20- 3

プライムコート (L /100m <sup>2</sup> )				
名 称	摘 要	車道部	歩道部	備 考
プライムコート	PK-3	153	153	

表 A1 -20- 4

路床整正 (100m <sup>2</sup> 当たり)							
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 2,500m <sup>2</sup> 未満	
モータグレーダ運転	油圧式3.1m級	日	—	0.078	0.066	0.052	
普通作業員		人	1	0.46	0.37	0.28	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. かき起こし敷きならし合成作業及び補足材なしの場合とする。

2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -20- 5

路盤材敷きならし(厚さ10cm) (100m <sup>2</sup> 当たり)							
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500m <sup>2</sup> 未満	500m <sup>2</sup> 以上 1,000m <sup>2</sup> 未満	1,000m <sup>2</sup> 以上 2,500m <sup>2</sup> 未満	
モータグレーダ運転	油圧式3.1m級	日	—	0.085	0.07	0.056	
普通作業員		人	4.20	1.76	1.35	0.94	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -20- 6

路盤材敷きならし（厚さ15cm）			（100㎡当たり）				
名 称	摘 要	単位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
モータグレーダ運転	油圧式3.1m級	日	—	0.085	0.07	0.056	
普通作業員		人	5.7	2.36	1.8	1.24	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -20- 7

路盤材敷きならし（厚さ20cm）			（100㎡当たり）				
名 称	摘 要	単位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
モータグレーダ運転	油圧式3.1m級	日	—	0.085	0.07	0.056	
普通作業員		人	7.8	3.2	2.43	1.66	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -20- 8

路盤材締固め（厚さ10cm）			（100㎡当たり）				
名 称	摘 要	単位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
タンパ運転	60～80kg	日	0.63	0.5	—	—	
振動ローラ運転	2.4～2.8t	日	0.29	0.35	0.17	0.12	
タイヤローラ運転	8～20t	日	—	—	0.069	0.056	
ロードローラ運転	マカダム10t	日	—	—	0.071	0.058	

表 A1 -20- 9

路盤材締固め（厚さ15cm）			（100㎡当たり）				
名 称	摘 要	単位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
タンパ運転	60～80kg	日	0.68	0.55	—	—	
振動ローラ運転	2.4～2.8t	日	0.4	0.48	0.24	0.16	
タイヤローラ運転	8～20t	日	—	—	0.069	0.056	
ロードローラ運転	マカダム10t	日	—	—	0.071	0.058	



表 A1 -20-10

路盤材締固め（厚さ20cm）							(100㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
タンパ運転	60～80kg	日	0.81	0.65	—	—	
振動ローラ運転	2.4～2.8t	日	0.58	0.7	0.35	0.23	
タイヤローラ運転	8～20t	日	—	—	0.082	0.067	
ロードローラ運転	マカダム10t	日	—	—	0.085	0.069	

表 A1 -20-11

プライムコート散布				(100㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	プライムコート	備 考
エンジンスプレーヤ運転	25L/min	日	0.04	
特殊作業員		人	0.07	
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

表 A1 -20-12

アスファルト混合物敷きならし（厚さ3cm）							(100㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満	
アスファルトフィニッシャ運転	2.4～4.5m	日	—	0.087	0.076	0.066	
世話役		人	0.3	0.2	0.16	0.12	
特殊作業員		人	0.9	0.94	0.78	0.59	
普通作業員		人	1.7	0.85	0.66	0.46	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、特殊作業員、普通作業員とする。

表 A1 -20-13

アスファルト混合物敷きならし（厚さ5cm）							(100㎡当たり)	
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考	
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満		
アスファルトフィニッシャ	2.4～4.5m	日	—	0.087	0.076	0.066		
世 話 役		人	0.3	0.2	0.16	0.12		
特 殊 作 業 員		人	0.9	0.94	0.78	0.59		
普 通 作 業 員		人	2.3	1.09	0.84	0.58		
そ の 他		式	1	1	1	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、特殊作業員、普通作業員とする。

表 A1 -20-14

アスファルト混合物締固め							(100㎡当たり)	
名 称	摘 要	単 位	施 工 規 模				備 考	
			特に狭い 場所	500㎡未満	500㎡以上 1,000㎡未満	1,000㎡以上 2,500㎡未満		
タ ン パ 運 転	60～80kg	日	0.63	0.5	—	—		
振 動 ロ ー ラ 運 転	2.4～2.8t	日	0.23	0.28	0.14	0.09		
タ イ ヤ ロ ー ラ 運 転	8～20t	日	—	—	0.082	0.056		
ロ ー ド ロ ー ラ 運 転	マカダム10t	日	—	—	0.085	0.068		

表 A1 -20-15

舗装機械運転								(1日当たり)
機 種	規 格	機械 損料 (供用日)	燃料 (軽油) (L)	燃料 (ガソリン) (L)	運 転 手 (特殊) (人)	特殊 作業員 (人)	そ の 他 (式)	備 考
モ ー タ グ レ ー ダ	油圧式3.1m級	1.57	50.0	—	1.0	—	1	
タ ン パ	60～80kg	1.38	—	5.0	—	1.0	1	
振 動 ロ ー ラ	2.4～2.8 t	1.57	12.4	—	—	1.0	1	
タ イ ヤ ロ ー ラ	8～20 t	1.86	38.6	—	1.0	—	1	
ロ ー ド ロ ー ラ	マカダム10t	1.57	30.8	—	1.0	—	1	
エ ン ジ ン ス プ レ ー ヤ	25L/min	1.57	—	3.4	—	—	1	手押し式
アスファルトフィニッシャ	2.4～4.5m	1.75	29.5	—	1.0	—	1	ホイール型

- (注) 1. エンジンスプレーヤの運転は、舗設労務により行うものとする。  
 2. アスファルトフィニッシャは、加熱用燃料として軽油を1日当たり12L加算する。  
 3. 「その他」の率対象は、燃料、運転手（特殊）、特殊作業員とする。

表 A1 -20-16

舗装機械運搬 (1日当たり往復)				
名 称	摘 要	単 位	所 要 量	備 考
トラック運転	11t積	日	別表	所要量は別表A1-20-16-1による

別表 A1 -20-16- 1

舗装機械運搬					
機 械 名	規 格	質 量 (t)	運搬機械		備 考
			規 格	日 数 (往 復)	
モータグレーダ	油圧式3.1m級	10.0	トラック11t積	1.3	
振動ローラ	2.4~2.8t	2.5	トラック11t積	0.8	
タイヤローラ	8~20t	14.8	トラック11t積	1.7	
ロードローラ	マカダム10t	9.3	トラック11t積	1.3	
アスファルトフィニッシャ	2.4~4.5m	6.7	トラック11t積	1.1	

(注) 1. 運搬機械の日数は、トラック11t積による換算値である。

表 A1 -20-17

トラック運転 (1日当たり)				
名 称	摘 要	単 位	11t積	備 考
運転手 (一般)		人	1.0	
燃 料	軽油	L	61.5	
機 械 損 料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手 (一般)、燃料とする。

## 第 21 節 植 栽

### 1 一般事項

- (1) 表A1-21-1～表A1-21-18の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 植栽機械は排出ガス対策型とする。また、植栽機械運搬費は別途計上する。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 植栽基盤整備、植付け、掘取り、幹巻き、支柱、芝張り及び植栽機械運搬に適用する。

#### (2) 細目工種

表 A1 -21- 1

植栽基盤整備 (A種)							(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	有効土層 (cm)				備 考
			50	60	80	100	
バックホウ運転	0.28m <sup>3</sup>	日	0.006	0.007	0.01	0.012	
ホイールローダ運転	0.4m <sup>3</sup>	日	0.006	0.006	0.006	0.006	
普通作業員		人	0.008	0.009	0.012	0.014	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -21- 2

植栽基盤整備 (B種)					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	有効土層 (cm)		備 考
			20		
ホイールローダ運転	0.4m <sup>3</sup>	日	0.006		
普通作業員		人	0.002		
その他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A1 -21- 3

植栽基盤整備 (C種)		(1 m <sup>2</sup> 当たり)					備考	
名称	摘要	単位	有効土層 (cm)					
			20	50	60	80		100
植込み用土		m <sup>3</sup>	0.22	0.55	0.66	0.88	1.1	
バックホウ運転	0.28m <sup>3</sup>	日	0.006	0.015	0.018	0.024	0.03	
普通作業員		人	0.006	0.015	0.018	0.024	0.03	
その他		式	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 植込み用土は、客土又は現場発生の良質土とする。  
 2. 植込み用土は、ほぐれた状態の土とする。  
 3. 「その他」の率対象は、植込み用土、普通作業員とする。

表 A1 -21- 4

植栽基盤整備 (D種)		(1 m <sup>2</sup> 当たり)					備考	
名称	摘要	単位	有効土層 (cm)					
			20	50	60	80		100
植込み用土		m <sup>3</sup>	0.22	0.55	0.66	0.88	1.1	
バックホウ運転	0.28m <sup>3</sup>	日	0.003	0.007	0.008	0.01	0.013	
普通作業員		人	0.003	0.007	0.008	0.01	0.013	
その他		式	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 植込み用土は、客土又は現場発生の良質土とする。  
 2. 植込み用土は、ほぐれた状態の土とする。  
 3. 「その他」の率対象は、植込み用土、普通作業員とする。

表 A1 -21- 5

植付け (高木)		(1 本当たり)					備考	
名称	摘要	単位	幹 周 (cm)					
			15未満	15~25 未満	25~40 未満	40~60 未満		60~90 未満
世話役		人	0.032	0.054	0.05	0.1	0.16	
造園工		人	0.161	0.274	0.23	0.44	0.74	
普通作業員		人	0.096	0.163	0.14	0.26	0.45	
トラック運転	クレーン装置付 4t級2.9t吊	日	—	—	0.087	0.108	—	
バックホウ運転	0.13m <sup>3</sup>	日	—	—	0.021	0.048	0.105	
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	—	—	—	—	0.09	資料による
その他		式	1	1	1	1	1	

- (注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員とする。

表 A1 -21- 6

植付け（中低木）							（1本当たり）
名 称	摘 要	単 位	樹 高（cm）				備 考
			50未満	50～100 未満	100～200 未満	200～300 未満	
世 話 役		人	0.001	0.002	0.005	0.02	
造 園 工		人	0.008	0.012	0.037	0.15	
普 通 作 業 員		人	0.006	0.01	0.03	0.122	
そ の 他		式	1	1	1	1	

（注）1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員とする。

表 A1 -21- 7

植付け（地被類）					（1㎡当たり）
名 称	摘 要	単 位	りゅうのひげ類	笹 類	備 考
世 話 役		人	0.007	0.008	
造 園 工		人	0.028	0.032	
普 通 作 業 員		人	0.03	0.034	
そ の 他		式	1	1	

（注）1. 植付け株数は、44株/㎡程度とする。

2. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員とする。

表 A1 -21- 8

掘取り（中低木、根巻き有り）							（1本当たり）
名 称	摘 要	単 位	樹 高（cm）				備 考
			50未満	50～100 未満	100～200 未満	200～300 未満	
世 話 役		人	0.003	0.004	0.007	0.017	
造 園 工		人	0.02	0.029	0.054	0.13	
普 通 作 業 員		人	0.016	0.023	0.045	0.114	
そ の 他		式	1	1	1	1	

（注）1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員とする。

表 A1 -21- 9

掘取り（中低木、根巻き無し）							（1本当たり）
名 称	摘 要	単 位	樹 高（cm）				備 考
			50未満	50～100 未満	100～200 未満	200～300 未満	
世 話 役		人	0.002	0.003	0.006	0.014	
造 園 工		人	0.016	0.024	0.045	0.1	
普 通 作 業 員		人	0.016	0.023	0.045	0.114	
そ の 他		式	1	1	1	1	

（注）1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員とする。

表 A1 -21- 10

掘取り（高木、根巻き有り）			（1本当たり）					備考
名 称	摘 要	単位	幹 周（cm）					
			15未満	15～25 未満	25～40 未満	40～60 未満	60～90 未満	
世 話 役		人	0.02	0.044	0.07	0.1	0.17	賃料による
造 園 工		人	0.103	0.221	0.36	0.55	0.88	
普 通 作 業 員		人	0.061	0.132	0.13	0.21	0.34	
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4t級2.9t吊	日	—	—	0.017	0.024	—	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	0.13m <sup>3</sup>	日	—	—	0.064	0.091	0.148	
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	—	—	—	—	0.03	
雑 費		式	1 (労務費の4%)	1 (労務費の5%)	1 (労務費の6%)	1 (労務費の5%)	1 (労務費の5%)	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員、雑費とする。

表 A1 -21- 11

掘取り（高木、根巻き無し）			（1本当たり）					備考
名 称	摘 要	単位	幹 周（cm）					
			15未満	15～25 未満	25～40 未満	40～60 未満	60～90 未満	
世 話 役		人	0.017	0.036	0.06	0.09	0.14	賃料による
造 園 工		人	0.085	0.183	0.31	0.49	0.78	
普 通 作 業 員		人	0.061	0.132	0.13	0.21	0.34	
ト ラ ッ ク 運 転	クレーン装置付 4t級2.9t吊	日	—	—	0.017	0.024	—	
バ ッ ク ホ ウ 運 転	0.13m <sup>3</sup>	日	—	—	0.064	0.091	0.148	
ト ラ ッ ク ク レ ー ン	油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	日	—	—	—	—	0.03	
そ の 他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員とする。

表 A1 -21- 12

幹巻き（高木）							（1本当たり）
名 称	摘 要	単 位	幹 周（cm）			備 考	
			25～40 未満	40～60 未満	60～90 未満		
世 話 役		人	0.011	0.02	0.032		
造 園 工		人	0.049	0.087	0.142		
普 通 作 業 員		人	0.019	0.034	0.055		
雑 費		式	1 (労務費の15%)	1 (労務費の17%)	1 (労務費の20%)		
そ の 他		式	1	1	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員、雑費とする。

表 A1 -21- 13

支柱（1）									（1本当たり）
名 称	摘 要	単 位	添え柱型 一本	竹布掛け	二脚鳥居 (添木付)	二脚鳥居 (添木なし)	三脚鳥居	備 考	
世 話 役		人	0.003	0.023	0.018	0.013	0.018		
造 園 工		人	0.015	0.049	0.102	0.077	0.102		
普 通 作 業 員		人	0.011	0.063	0.059	0.044	0.059		
杉 丸 太	長0.6m 末口6cm	本	—	—	1	1	—		
杉 丸 太	長0.6m 末口7.5cm	本	—	—	—	—	1		
杉 丸 太	長1.8m 末口6cm	本	—	—	2	2	—		
杉 丸 太	長1.8m 末口7.5cm	本	—	—	—	—	3		
こ ず え 丸 太	長4m 末口3cm	本	—	—	1	—	—		
真 竹	12本束 長1.5m	本	1	—	—	—	—		
真 竹	12本束 長6.0m	本	—	0.5	—	—	—		
雑 費		式	1 (労務費・材料費 の7%)	1 (労務費・材料費 の2%)	1 (労務費・材料費 の3%)	1 (労務費・材料費 の3%)	1 (労務費・材料費 の3%)		
そ の 他		式	1	1	1	1	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員、杉丸太、こずえ丸太、真竹、雑費とする。



表 A1 -21-14

支柱（２）			（１本当たり）					
名称	摘要	単位	十字鳥居	二脚鳥居 組合せ	八つ掛 竹三本	八つ掛 丸太L=4m	八つ掛 丸太L=6~7m	備考
世話役		人	0.027	0.036	0.013	0.02	0.031	
造園工		人	0.153	0.204	0.074	0.111	0.176	
普通作業員		人	0.089	0.118	0.043	0.064	0.102	
杉丸太	長0.6m 末口6cm	本	—	—	—	3	3	
杉丸太	長0.75m 末口7.5cm	本	2	4	—	—	—	
杉丸太	長1.8m 末口7.5cm	本	2	—	—	—	—	
杉丸太	長2.1m 末口7.5cm	本	2	4	—	—	—	
杉丸太	長4.0m 末口6cm	本	—	—	—	3	—	
杉丸太	長6.3m 中径6cm	本	—	—	—	—	3	
真竹	12本束 長2.5m	本	—	—	3	—	—	
雑費		式	1 (労務費・材料費 の3%)	1 (労務費・材料費 の2%)	1 (労務費・材料費 の4%)	1 (労務費・材料費 の3%)	1 (労務費・材料費 の3%)	
その他		式	1	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員、杉丸太、真竹、雑費とする。

表 A1 -21-15

芝張り			（１㎡当たり）		
名称	摘要	単位	目地張り	べた張り	備考
世話役		人	0.002	0.002	
造園工		人	0.011	0.011	
普通作業員		人	0.023	0.023	
芝		㎡	0.7	1.0	
芝目土		㎥	0.027	0.027	
雑費		式	—	1	竹串を必要とする場合に労務費の5%を計上
その他		式	1	1	

(注) 1. 芝の種類は、こうらい芝及び野芝とする。

2. 「その他」の率対象は、世話役、造園工、普通作業員、芝、芝目土、雑費とする。

表 A1 -21-16

植栽土工機械運転 (1日当たり)						
機 械 名	規 格	適用単価表	運転労務 (人)	燃料(軽油) (L)	機械損料 (供用日)	備 考
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.28m <sup>3</sup>	単価表 (別表A1-21-16-1)	1.0	45.1	1.64	
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m <sup>3</sup>	単価表 (別表A1-21-16-1)	1.0	23.7	1.78	
トラック	クレーン装置付 4t級2.9t吊	単価表 (別表A1-21-16-1)	1.0	38.6	1.23	
ホイールロータ	排出ガス対策型 ホイール型0.4m <sup>3</sup>	単価表 (別表A1-21-16-1)	1.0	15.1	1.55	

別表 A1 -21-16-1

運転1日当たり単価表 (1日当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
運 転 手 (特 殊)		人		表A1-21-16による
燃 料		L		表A1-21-16による
機 械 損 料		供用日		表A1-21-16による
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(特殊)、燃料とする。

表 A1 -21-17

植栽機械運搬(バックホウ) (1日当たり往復)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
トラック 運 転	11t積	日	別表	所要量は別表A1-21-17-1による

別表 A1 -21-17- 1

植栽機械運搬					
機 械 名	規 格	質 量 (t)	運搬機械		備 考
			規 格	日数(往復)	
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.28m <sup>3</sup>	7.0	トラック11t積	1.1	
バックホウ	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m <sup>3</sup>	4.2	トラック11t積	0.9	

(注) 1. 運搬機械の日数は、トラック11t積による換算値である。

表 A1 -21-18

トラック運転				(1日当たり)
名 称	摘 要	単 位	11t積	備 考
運転手（一般）		人	1.0	
燃 料	軽油	L	61.5	
機 械 損 料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手（一般）、燃料とする。

## 第 2 章 改 修 工 事

1. 本章は、建築物等の模様替え及び修繕（以下「改修」という。）に係る建築工事の積算に適用する。
2. 本章に記載の標準歩掛りは、改修工事特有の細目工種について定める。
3. 本章に定める以外の細目工種については第 1 章よる。ただし、作業効率の低下等を考慮し必要に応じ単価及び価格の割増しができる。

### 第 1 節 仮 設

#### 1 一般事項

- (1) 表 A 2 - 1 - 1 ~ 表 A 2 - 1 - 1 6 の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 2 標準歩掛り

##### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 改修工事における墨出し、養生、整理清掃後片付け、足場、仮設間仕切り及び仮設材運搬に適用する。
- ロ. 墨出し、養生及び整理清掃後片付けの摘要で「個別改修」とは、1室において床、壁及び天井のうち1つの部位のみを改修する場合をいい、「複合改修」とは、1室において床、壁及び天井のうち複数の部位を改修する場合をいう。
- ハ. 仮設資材価格は、基礎価格に 1 現場当たり損料率を乗じて算定する。

##### (2) 細目工種

表 A 2 - 1 - 1

墨出し（屋上防水改修）			（水平面積1㎡当たり）	
名 称	摘 要	単 位	屋上防水改修	備 考
特殊作業員		人	0.002	
普通作業員		人	0.001	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 2

養生（屋上防水改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	アスファルト防水 (防水保護層共)	露出防水・簡易防水 (塗膜・シート)	備考
普通作業員		人	0.004	0.002	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 3

整理清掃後片付け（屋上防水改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	アスファルト防水 (防水保護層共)	露出防水・簡易防水 (塗膜・シート)	備考
軽作業員		人	0.018	0.009	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 1 - 4

墨出し（外壁改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	タイル・モルタル塗替等		備考
			一般		
特殊作業員		人	0.002		
普通作業員		人	0.001		
その他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 5

養生（外壁改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	所要量	備考	
普通作業員		人	0.015		
その他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 6

整理清掃後片付け（外壁改修）					(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	所要量	備考	
軽作業員		人	0.07		
その他		式	1		

(注) 1. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 1 - 7

開口部養生 (外壁改修)				(1㎡当たり)	
名称	摘要	単位	合板張り養生	備考	
合板	2類厚5.5mm	㎡	1.05	33%	
木下地材	仮設用材	m <sup>3</sup>	0.01	33%	
くぎ		kg	0.02	100%	
大工		人	0.04		
その他		式	1		

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 2. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。  
 3. 外壁タイル、モルタル等の撤去に伴い必要に応じて使用する。  
 4. 「その他」の率対象は、くぎ、大工とする。

表 A2 - 1 - 8

墨出し (内部改修)					(床面積1㎡当たり)	
名称	摘要	単位	個別改修	複合改修	備考	
特殊作業員		人	0.002	0.003		
普通作業員		人	0.001	0.002		
その他		式	1	1		

- (注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 9

養生 (内部改修)							(床面積1㎡当たり)
名称	摘要	単位	個別改修	複合改修	塗装塗替え程度	搬出入路部分	備考
普通作業員		人	0.007	0.011	0.004	0.004	
その他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 1 - 10

整理清掃後片付け (内部改修)							(床面積1㎡当たり)
名称	摘要	単位	個別改修	複合改修	塗装塗替え程度	搬出入路部分	備考
軽作業員		人	0.036	0.054	0.018	0.018	
その他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 塗装塗替え程度は、既存塗膜を除去する場合に使用する。  
 2. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 1 -11

内部仕上足場 (階高4.0m以下 脚立足場 改修)						(床面積1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	一 般	塗装塗替え程度		備 考
				既存塗膜の 除去有り	既存塗膜の 除去無し	
鋼 製 脚 立	1,800mm級	脚	0.2	0.2	0.2	4%(既存塗膜除去無しは2%)
合 板 足 場 板	240×4000mm	枚	0.2	0.2	0.2	4%(既存塗膜除去無しは2%)
普 通 作 業 員		人	0.028	0.014	0.009	
そ の 他		式	1	1	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 2. 仮設材の運搬は、表A1-1-33及び別表A1-1-33-6により別途計上する。  
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 1 -12

仮設間仕切り下地 (A, B種)					(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	軽鉄下地	木下地	備 考
ス タ ッ ド	65形	m	2.3	—	50%
ラ ン ナ		m	0.6	—	50%
ス ペ ー サ ー		個	3.5	—	100%
打 込 み ピ ン		個	0.7	—	100%
振 止 め		m	0.8	—	50%
木 下 地 材		仮設用材	m <sup>3</sup>	—	0.014
特 殊 作 業 員		人	0.038	—	
大 工		人	—	0.098	
そ の 他		式	1	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 2. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。  
 3. 表中の仕様A種及びB種は、公共建築改修工事標準仕様書による。  
 4. 「その他」の率対象は、特殊作業員、大工とする。

表 A2 - 1 -13

仮設間仕切り (C種)				(1㎡当たり)
名 称	摘 要	単 位	単管下地	備 考
丸 パ イ プ		m	1.42	5%
養 生 シ ー ト		㎡	1.1	8%
ク ラ ン プ		個	0.45	20%
固 定 ベ ー ス		個	0.06	20%
と び 工		人	0.048	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 2. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。  
 3. 表中の仕様C種は、公共建築改修工事標準仕様書による。  
 4. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表 A2 - 1 -14

仮設間仕切り仕上材 (A, B種)							(1m <sup>2</sup> 当たり)
名 称	摘 要	単位	A種 (両面)		B種 (片面)		備 考
			合板	せっこうボード	合板	せっこうボード	
合 板	厚9.0mm	m <sup>2</sup>	2.1	—	1.05	—	33%
せっこうボード	厚9.5mm 準不燃	m <sup>2</sup>	—	2.1	—	1.05	50%
く ぎ		kg	0.04	0.04	0.02	0.02	100%
ガラスウール	32K 厚50mm	m <sup>2</sup>	1.05	1.05	—	—	50%
大 工		人	0.14	0.14	0.07	0.07	
内 装 工		人	0.03	0.03	—	—	
そ の 他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 備考欄の数値は、1現場当たり損料率を示す。  
 2. 表中の施工手間は、設置65%、撤去35%の割合とする。  
 3. 表中の仕様A種及びB種は、公共建築改修工事標準仕様書による。  
 4. 「その他」の率対象は、くぎ、大工、内装工とする。

表 A2 - 1 -15

仮設材運搬 (仮設間仕切り (C種))				(100m <sup>2</sup> 当たり往復)
名 称	摘 要	単位	単管下地	備 考
トラック運転	4t積	日	0.15	

表 A2 - 1 -16

トラック運転				(1日当たり)
名 称	摘 要	単位	4t積	備 考
運転手 (一般)		人	1.0	
燃 料	軽油	L	32.6	
機 械 損 料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

- (注) 1. 「その他」の率対象は、運転手 (一般)、燃料とする。



## 第 2 節 撤 去

### 1 一般事項

- (1) 表A2-2-1～表A2-2-49の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 撤去材の撤去後の清掃及び指定場所までの集積を含む。
- (4) アスベスト含有成形板とアスベストを含まない内装材等は区分してそれぞれに対応する単価及び価格を使用する。
- (5) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 改修工事における撤去に適用する。
- ロ. コンクリート撤去は、コンクリートブレーカを標準とし、少量の場合は人力を考慮する。
- ハ. アスベスト含有成形板の撤去は、撤去手間のみとし撤去に必要な養生等の仮設は含まない。ただし、飛散防止のために必要な散水を行うに要する手間は含むものとする。

#### (2) 細目工種

表 A2 - 2 - 1

コンクリート撤去							(1m <sup>3</sup> 当たり)
名 称	摘 要	単位	鉄筋切断共		無筋		備 考
			人力	コックブレーカ	人力	コックブレーカ	
特殊作業員		人	2.7	1.0	1.62	0.6	
普通作業員		人	0.68	0.33	0.408	0.198	
溶接工		人	0.03	0.03	—	—	
コンクリートブレーカ	30kg	日	—	1.0	—	0.6	運転日当たり
酸素		m <sup>3</sup>	0.08	0.08	—	—	
アセチレン		kg	0.02	0.02	—	—	
空気圧縮機運転	可搬式、スクュー エンジン掛7.5～7.8m <sup>3</sup>	日	—	0.33	—	0.198	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員、溶接工、酸素、アセチレンとする。

表 A2 - 2 - 2

れんが撤去					(1m <sup>3</sup> 当たり)
名称	摘要	単位	人力	コンクリートブレイカ	備考
特殊作業員		人	1.08	0.4	運転日当たり
普通作業員		人	0.272	0.132	
コンクリートブレイカ	30kg	日	—	0.4	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛7.5~7.8m <sup>3</sup>	日	—	0.132	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

表 A2 - 2 - 3

CB撤去					(1m <sup>3</sup> 当たり)
名称	摘要	単位	人力	コンクリートブレイカ	備考
特殊作業員		人	1.08	0.4	運転日当たり
普通作業員		人	0.272	0.132	
溶接工		人	0.012	0.012	
酸素		m <sup>3</sup>	0.032	0.032	
アセチレン		kg	0.008	0.008	
コンクリートブレイカ	30kg	日	—	0.4	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛7.5~7.8m <sup>3</sup>	日	—	0.132	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員、溶接工、酸素、アセチレンとする。

表 A2 - 2 - 4

コンクリートはつり					(1m <sup>2</sup> 当たり)
名称	摘要	単位	床厚30mm	壁厚30mm	備考
普通作業員		人	0.03	0.033	運転日当たり
はつり工		人	0.125	0.135	
ピックハンマ		日	0.125	0.135	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m <sup>3</sup>	日	0.03	0.033	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

表 A2 - 2 - 5

目あらし (1m <sup>2</sup> 当たり)					
名 称	摘 要	単 位	コンクリート面		備 考
			床	壁	
普通作業員		人	0.01	0.012	運転日当たり
はつり工		人	0.04	0.05	
ピックハンマ		日	0.04	0.05	
空気圧縮機運転	可搬式、スクリュー エンジン掛5.0m <sup>3</sup>	日	0.01	0.012	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

表 A2 - 2 - 6

ケレン (1m <sup>2</sup> 当たり)					
名 称	摘 要	単 位	床	壁	備 考
普通作業員		人	0.03	0.035	
その他		式	1	1	

(注) 1. ケレンはデッキブラシ等で行うものとする。  
2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 - 7

床清掃 (1m <sup>2</sup> 当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
軽作業員		人	0.018	
その他		式	1	

(注) 1. 布等による汚れの拭き取り程度とする。  
2. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 2 - 8

壁清掃 (1m <sup>2</sup> 当たり)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
軽作業員		人	0.018	
その他		式	1	

(注) 1. 布等による汚れの拭き取り程度とする。  
2. 「その他」の率対象は、軽作業員とする。

表 A2 - 2 - 9

カッター入れ (1m当たり)					
名称	摘要	単位	モルタル面 厚さ20~30mm	コンクリート面 厚さ20~30mm	備考
はつり工	手動式、ブレード径20cm	人	0.03	0.05	
コンクリートカッタ運転		日	0.03	0.05	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、はつり工とする。

表 A2 - 2 -10

床タイル撤去 (1m <sup>2</sup> 当たり)				
名称	摘要	単位	下地モルタル共	備考
普通作業員	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m <sup>3</sup>	人	0.025	運転日当たり
はつり工		人	0.1	
ピックハンマ		日	0.1	
空気圧縮機運転		日	0.025	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

表 A2 - 2 -11

床モルタル・床人研ぎ撤去 (1m <sup>2</sup> 当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m <sup>3</sup>	人	0.02	運転日当たり
はつり工		人	0.08	
ピックハンマ		日	0.08	
空気圧縮機運転		日	0.02	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

表 A2 - 2 -12

ビニル床シート撤去 (1m <sup>2</sup> 当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

(注) 1. カッターによる切断及び接着剤の除去を含む。

2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 - 13

ビニル床タイル撤去 (1㎡当たり)					
名称	摘要	単位	一般	アスベスト含有	備考
普通作業員		人	0.06	0.08	
その他		式	1	1	

- (注) 1. カッターによる切断及び接着剤の除去を含む。  
 2. アスベスト含有材撤去の作業区分をレベル3で想定している。  
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -14

カーペット撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

- (注) 1. カッターによる切断及び接着剤の除去を含む。  
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -15

タイルカーペット撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.03	
その他		式	1	

- (注) 1. 接着剤の除去を含む。  
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -16

土台撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.05	
その他		式	1	

- (注) 1. 木製間仕切りの土台に使用する。  
 2. アンカーボルト切断を含む。  
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -17

床組撤去 (1㎡当たり)					
名称	摘要	単位	つか立て	ころばし	備考
普通作業員		人	0.14	0.11	
その他		式	1	1	

- (注) 1. 畳下、フローリング下の床組に使用する。  
 2. つか、土台、アンカーボルト切断を含む。  
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -18

床・縁甲板フローリング撤去 (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
普通作業員		人	0.07	
その他		式	1	

(注) 1. 床組は含まない。  
2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -19

床下地板撤去 (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
普通作業員		人	0.02	
その他		式	1	

(注) 1. 畳、フローリングの下地板に使用する。  
2. 床組は含まない。  
3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -20

敷居撤去 (1本当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
普通作業員		人	0.035	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -21

鴨居撤去 (1本当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
普通作業員		人	0.035	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -22

畳撤去 (1枚当たり)					
名 称	摘 要	単位	一畳	半畳	備 考
普通作業員		人	0.03	0.018	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -23

柱撤去 (1本当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.06	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -24

頭押さえ撤去 (1m当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.04	
その他		式	1	

(注) 1. アンカーボルト切断を含む。  
2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -25

木製幅木撤去 (1m当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.02	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -26

ビニル幅木撤去 (1m当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.01	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -27

壁タイル撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	下地モルタル共	備考
普通作業員		人	0.025	
はつり工		人	0.1	
ピックハンマ		日	0.1	運転日当たり
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m <sup>3</sup>	日	0.025	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

表 A2 - 2 -28

壁モルタル・プラスター撤去				(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.023	運転日当たり
はつり工		人	0.09	
ピックハンマ		日	0.09	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m <sup>3</sup>	日	0.023	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

表 A2 - 2 -29

壁合板・ボード撤去				(1㎡当たり)		備考	
名称	摘要	単位	一重張り		二重張り		
			一般	アスベスト含有	一般		アスベスト含有
普通作業員		人	0.04	0.09	0.048	0.11	
その他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 下地撤去は含まない。  
 2. 二重張り撤去は、躯体若しくは準躯体より二重張りのまま撤去する場合に適用する。  
 3. アスベスト含有材撤去の作業区分をレベル3で想定している。  
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -30

壁下地撤去				(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.02	
その他		式	1	

- (注) 1. ボード等の仕上げ撤去は含まない。  
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -31

壁クロス撤去				(1㎡当たり)
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.03	
その他		式	1	

- (注) 1. 下地のボード等は含まない。  
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。



表 A2 - 2 -32

天井 plaster 撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.023	運転日当たり
はつり工		人	0.09	
ピックハンマ		日	0.09	
空気圧縮機運転	可搬式、スクレー エンジン掛5.0m <sup>3</sup>	日	0.023	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

表 A2 - 2 -33

天井合板・ボード撤去 (1㎡当たり)							
名称	摘要	単位	一重張り		二重張り		備考
			一般	アスベ <sup>〃</sup> 含有	一般	アスベ <sup>〃</sup> 含有	
普通作業員		人	0.05	0.11	0.06	0.13	
その他		式	1	1	1	1	

- (注) 1. 下地撤去は含まない。  
 2. 二重張り撤去は、躯体若しくは準躯体より二重張りのまま撤去する場合に適用する。  
 3. アスベスト含有材撤去の作業区分をレベル3で想定している。  
 4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -34

天井下地撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.03	
その他		式	1	

- (注) 1. ボード等の仕上げ撤去は含まない。  
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -35

天井クロス撤去 (1㎡当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.03	
その他		式	1	

- (注) 1. 下地のボード等は含まない。  
 2. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -36

木製戸撤去 (1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単位	片開き戸		両開き戸		備 考
			枠 共	扉のみ	枠 共	扉のみ	
普通作業員		人	0.047	0.024	0.041	0.02	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -37

鋼製戸撤去 (1㎡当たり)							
名 称	摘 要	単位	片開き戸		両開き戸		備 考
			枠 共	扉のみ	枠 共	扉のみ	
普通作業員		人	0.024	0.012	0.02	0.01	
サッシ工		人	0.094	0.047	0.081	0.041	
その他		式	1	1	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、サッシ工とする。

表 A2 - 2 -38

建具周囲はつり (1㎡当たり)					
名 称	摘 要	単位	RC 15cm	RC 20cm	備 考
普通作業員		人	0.03	0.035	
はつり工		人	0.12	0.14	
コンクリートブレード	30kg	日	0.12	0.14	運転日当たり
空気圧縮機運転	可搬式、スクエア エンジン掛7.5~7.8m <sup>3</sup>	日	0.03	0.035	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

表 A2 - 2 -39

ガラス撤去 (1㎡当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
ガラス工		人	0.2	
その他		式	1	

(注) 1. 単層ガラスとする。  
2. 「その他」の率対象は、ガラス工とする。

表 A2 - 2 -40

床マンホール・点検口撤去 (1か所当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
はつり工		人	0.2	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、はつり工とする。

表 A2 - 2 -41

天井点検口撤去 (1か所当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
普通作業員		人	0.1	
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -42

たてどい撤去 (1m当たり)					
名称	摘要	単位	鋼管	VP管	備考
配管工		人	0.2	0.1	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表 A2 - 2 -43

発生材積込み (1m <sup>3</sup> 当たり)					
名称	摘要	単位	コンクリート類	ボード・木材類	備考
			人力	人力	
普通作業員		人	0.24	0.2	
ベルトコンベヤ運転	エンジン駆動、機長7m、 ベルト幅350mm	日	0.24	—	
その他		式	1	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -44

既存塗膜除去 (1m <sup>2</sup> 当たり)									
名称	摘要	単位	鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面		コンクリート・モルタル面		木部・ボード面		備考
			工程RA種	工程RB種	工程RA種	工程RB種	工程RA種	工程RB種	
研磨紙	P120~320	枚	0.85	0.25	0.85	0.25	0.85	0.25	
塗装工		人	0.1	0.028	0.06	0.017	0.054	0.015	
その他		式	1	1	1	1	1	1	

(注) 1. 工程RA種の場合の除去範囲は、塗替え面積の100%とする。  
 2. 工程RB種の場合の除去範囲は、塗替え面積の30%とする。  
 3. 「その他」の率対象は、研磨紙、塗装工とする。

表 A2 - 2 -45

既存防水層撤去 (1㎡当たり)						
名 称	摘 要	単位	屋上防水層		屋内防水層	備 考
			アスファルト防水層	シート防水層	アスファルト防水層	
普通作業員		人	0.08	0.07	0.10	
その他		式	1	1	1	

- (注) 1. 立ち上がり部を含む。  
 2. 押さえコンクリート、保護モルタル等の撤去は含まない。  
 3. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

表 A2 - 2 -46

シーリング撤去 (1m当たり)				
名 称	摘 要	単位	所要量	備 考
防水工		人	0.02	
その他		式	1	

- (注) 1. 「その他」の率対象は、防水工とする。

表 A2 - 2 -47

撤去機械運転 (1日当たり)							
機 械 名	規 格	適用単価表	運転労務 (人)	機械損料 (供用日)	燃料(L)		備 考
					軽油	ガソリン	
空気圧縮機	可搬式、スクュー エンジン掛7.5~7.8m <sup>3</sup> 排出ガス対策型	単価表 (別表A2-2-47-1)	—	1.75	66.0	—	
空気圧縮機	可搬式、スクュー エンジン掛5.0m <sup>3</sup> 排出ガス対策型	単価表 (別表A2-2-47-1)	—	1.75	44.4	—	
コンクリートカッター	手動式、プレート径20cm	単価表 (別表A2-2-47-1)	—	1.67	—	1.38	
ベルトコンベヤ	エンジン駆動、機長7m 、ベルト幅350mm	単価表 (別表A2-2-47-1)	—	1.5	—	7.8	
ダンプトラック	10 t 積級	単価表 (別表A2-2-47-2)	1	1.29	71.2	—	
ダンプトラック	4 t 積級	単価表 (別表A2-2-47-2)	1	1.29	40.3	—	
ダンプトラック	2 t 積級	単価表 (別表A2-2-47-2)	1	1.29	26.1	—	

別表 A2 - 2 -47 - 1

運転1日当たり単価表1 (1日当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
燃料		L		表 A2 - 2 -47 による
機械損料		供用日		表 A2 - 2 -47 による

別表 A2 - 2 -47 - 2

運転1日当たり単価表2 (1日当たり)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
運転手(一般)		人		表A2 - 2 - 47 による
燃料		L		表A2 - 2 - 47 による
機械損料		供用日		表A2 - 2 - 47 による
タイヤ損耗費		供用日		所要量は機械損料による
その他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

表 A2 - 2 -48

撤去材運搬 (1m <sup>3</sup> 当たり往復)				
名称	摘要	単位	所要量	備考
ダンプトラック運搬	10t積級	日	D/100	運搬日数(D)は次式による。

運搬日数の算定式

$$100\text{m}^3\text{当たり運搬日数}(D) = 100\text{m}^3\text{当たり運搬日数}(D1) \times \text{補正係数}(k)$$

別表 A2 - 2 -48 - 1

ダンプトラック運搬日数(D1) (100m<sup>3</sup>当たり)

積込機械 運搬機種	バックホウ		排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.8m <sup>3</sup>													
	ダンプトラック		10t積級													
D I D 区間：無し																
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.5 以下	6.5 以下	7.5 以下	9.5 以下	11.5 以下	15.5 以下	22.5 以下	49.5 以下	60.0 以下
運搬日数	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1
D I D 区間：有り																
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.0 以下	8.5 以下	11.0 以下	14.0 以下	19.5 以下	31.5 以下	60.0 以下
運搬日数	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.7	2.0	2.3	2.6	3.0	3.6	4.5	6.1	9.1

- (注) 1. 上記別表は、100m<sup>3</sup>のとりこわし量を運搬する日数である。  
 2. 運搬距離は片道距離であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。  
 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。  
 4. D I D (人口集中地区)は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。  
 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途積上げとする。

補正係数(k)

名称	無筋コンクリート	木材類	せっこうボード類
補正係数	1.27	0.33	0.44

表 A2 - 2 -49

撤去材運搬（小規模、人力積込）					(1m <sup>3</sup> 当たり往復)
名称	摘要	単位	所要量	備考	
ダンプトラック運搬	4t積級又は2t積級	日	D/10	運搬日数(D)は運搬日数の算定式による	

(注) 1. 適用機械については小規模は4t積級、人力積込は2t積級を標準とするが、現場状況等によりその使用が困難な場合は別途考慮する。

運搬日数の算定式

$$10\text{m}^3\text{当たり運搬日数}(D) = 10\text{m}^3\text{当たり運搬日数}(D1) \times \text{補正係数}(k)$$

別表 A2 - 2 -49- 1 ダンプトラック運搬日数(D1) (10m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.28m <sup>3</sup>														
運搬機種	ダンプトラック 4t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.0 以下	7.5 以下	10.0 以下	13.0 以下	19.0 以下	35.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.2 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	27.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.2	0.25	0.3	0.35	0.4	0.45	0.5	0.55	0.6	0.8	0.9	1.1	1.5	2.3	

別表 A2 - 2 -49- 2 ダンプトラック運搬日数(D1) (10m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	バックホウ 排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m <sup>3</sup>														
運搬機種	ダンプトラック 2t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.5 以下	7.0 以下	9.0 以下	12.0 以下	17.0 以下	28.5 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.3 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.5 以下	3.0 以下	3.5 以下	4.5 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.0 以下	11.0 以下	15.0 以下	24.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.45	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	

別表 A2 - 2 -49- 3 ダンプトラック運搬日数(D1) (10m<sup>3</sup>当たり)

積込機械	人力														
運搬機種	ダンプトラック 2t積級														
D I D 区間：無し															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.0 以下	4.0 以下	5.0 以下	6.5 以下	8.5 以下	11.0 以下	16.0 以下	27.5 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	
D I D 区間：有り															
運搬距離 (km)	0.3 以下	0.5 以下	1.0 以下	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	3.5 以下	4.5 以下	6.0 以下	8.0 以下	10.5 以下	14.5 以下	23.0 以下	60.0 以下	
運搬日数	0.5	0.55	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.3	1.5	1.8	2.3	3.0	4.5	

- (注) 1. 上記別表は、10m<sup>3</sup>のとりこわし量を運搬する日数である。  
 2. 運搬距離は片道距離であり、往路と復路が異なる時は、平均値とする。  
 3. 自動車専用道路を利用する場合には、別途考慮する。  
 4. D I D (人口集中地区) は、総務省統計局の国勢調査報告資料添付の人口集中地区境界図によるものとする。  
 5. 運搬距離が60kmを超える場合は、別途積上げとする。

表 A2 - 2-50

撤去機械運搬 (1日当たり往復)				
名 称	摘 要	単 位	所要量	備 考
トラック運転	11t積	日	別表	所要量は別表A2- 2-50-1による

別表 A2 - 2-50- 1

撤去機械運搬				
機 械 名	規 格	運搬機械		備 考
		規格	日数(往復)	
空 気 圧 縮 機	可搬式、スクューエンジン掛 排出ガス対策型	トラック11t積	0.7	

(注) 1. 運搬機械の日数は、トラック11t積による換算値である。

表 A2 - 2-51

トラック運転 (1日当たり)				
名 称	摘 要	単 位	11t積	備 考
運転手(一般)		人	1.0	
燃 料	軽油	L	61.5	
機 械 損 料		供用日	1.13	
そ の 他		式	1	

(注) 1. 「その他」の率対象は、運転手(一般)、燃料とする。

### 第 3 節 外壁改修

#### 1 一般事項

- (1) 表A 2 - 3 - 1 の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第 1 編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
イ. 外壁改修における施工数量調査に適用する。

(2) 細目工種

表 A2 - 3 - 1

施工数量調査 (外壁改修)		(1㎡当たり)		
名 称	摘 要	単 位	タイル・モルタル塗替改修	打放し面・仕上塗材改修
特 殊 作 業 員		人	0.012	0.01
そ の 他		式	1	1

- (注) 1. 壁面積等(実調査面積)に対して使用する。  
2. 目視・打診調査及び報告資料の作成を含む。  
3. 「その他」の率対象は、特殊作業員とする。



# 第3編 電気設備工事

## 第1章 新営工事

1. 本章は、建築物等の新築及び増築に係る電気設備工事の積算に適用する。

### 第1節 共通工事

#### 1 配管工事

##### 1-1 一般事項

- (1) 表E1-1-1～表E1-1-5の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表E1-1-6の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

##### 1-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 金属製可とう電線管、線び類、ダクト・トラフ、延焼防止処理及びボンディングに適用する。

(2) 細目工種

表 E1-1-1

金属製可とう電線管													
細目	単位	名称	単位	呼称・所要量									
（金属製可とう電線管用（等F））	m	金属製可とう電線管		F17	F24	F30	F38	F50	F63	F76	F83	F101	
			m	1.1			1.05						
		付属品		1式(電線管価格×0.5)									
		電工	人	0.026	0.035	0.044	0.054	0.073	0.099	0.115	0.138	0.154	
		雑材料		1式(材料価格×0.05)									
その他		1式											

- (注) 1. 労務には、管の切断、曲げ、支持金具類の取付け、管内の清掃及び導通調べを含み、アウトレットボックスの取付けを含まない。
2. 雑材料には、支持金具類のうち取付金具を含み、別途計上すべき支持材料は含まない。
3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-2

金属ダクト・金属トラフ							
細目	摘要	単位	名称・所要量				備考
			金属 ダクト ・ トラフ ・ m	雑 材 料	電 工 人	そ の 他	
金属ダクト・金属トラフ	200mm×100mm	m	1	1式	0.52	1式	
	250mm×100mm		1		0.54		
	300mm×100mm		1	(材料価格×	0.56		
	400mm×150mm		1		0.62		
	500mm×150mm		1		0.66		
	500mm×200mm		1		0.68		
	600mm×200mm		1		0.72		
	600mm×250mm		1	0.02	0.74		
	600mm×300mm		1	)	0.76		
	800mm×250mm		1		0.82		
800mm×300mm	1		0.84				
800mm×400mm	1		0.88				

(注) 1. 本表以外の寸法のものについては、 $[\text{縦}(\text{mm}) + \text{横}(\text{mm}) + 1000] \times 0.0004$ の値をm

当たりの電工の歩掛りとする。

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-3

線び類									
細目	摘要	単位	名称・所要量					備考	
			1 種 金 属 線 び ・ m	合 成 樹 脂 線 び ・ m	ワ イ ヤ プ ロ テ ク タ ・ m	雑 材 料	電 工 人		そ の 他
1種金属線び (MM1)	A型 25.4mm×11.5mm	m	1			1式 (材料価格 ×0.02)	0.07	1式	
	B型 40.4 mm×20 mm		1				0.08		
合成樹脂線び	24 mm×18 mm	m		1		(材料価格 ×0.02)	0.07	1式	
	35 mm×18 mm			1			0.08		
	60 mm×18 mm			1			0.09		
ワイヤプロテクタ		m			1		0.05	1式	

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-4

延焼防止処理						
細目	摘要		単位	所要量		備考
				電工(人)	その他	
EPS内ラック用(床)	200mm幅		か所	0.505	1式	
	300mm幅			0.602		
	400mm幅			0.699		
	500mm幅			0.795		
	600mm幅			0.892		
	800mm幅			1.09		
	1000mm幅			1.28		

(注)1. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-5

ボンディング								
細目	摘要		単位	名称・所要量				備考
				ラ	裸	電	そ	
				ジア	銅	工	の	
スク	線	人	他					
ラン	kg							
プ	個							
電線管 ボンディング	ねじなし電線管	E19	か所		0.008	0.005	1式	
		E25		0.010	0.005			
		E31		0.012	0.006			
		E39		0.014	0.006			
		E51		0.027	0.007			
		E63		0.049	0.007			
		E75		0.100	0.008			
	厚鋼電線管	G16	か所	1	0.008	0.009		
		G22		1	0.010	0.009		
		G28		1	0.012	0.009		
		G36		1	0.014	0.009		
		G42		1	0.027	0.010		
		G54		1	0.049	0.010		
		G70		1	0.100	0.013		
		G82		1	0.110	0.016		
G92	1	0.120	0.019					
G104	1	0.130	0.023					

(注)1. 「その他」の率対象は、電工とする。

### 1-3 市場単価

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 電線管、2種金属線び類、位置ボックス、プルボックス、ケーブルラック及び防火区画処理に適用する。
- ロ. 電線管、線び、位置ボックス、プルボックス及びケーブルラックの耐震支持材及び塗装は別途計上する。  
なお、防火区画貫通処理は支持材を含み、塗装は別途計上する。
- ハ. プルボックスの単価は、1個のプルボックスの総表面積単価を面積に乗じる。
- ニ. はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m<sup>2</sup>)製の支持材は同等な溶融亜鉛めっきとする。

(2) 細目工種

表 E1-1-6

細目	摘要	単位	備考
電線管	厚鋼電線管(G) 隠ぺい、露出配管	m	
電線管	薄鋼電線管(C) 隠ぺい、露出配管	m	
電線管	ねじなし電線管(E) 隠ぺい、露出配管	m	
電線管	硬質ビニル電線管(VE) 隠ぺい、露出配管	m	
電線管	合成樹脂製可とう電線管(PF単層) 隠ぺい、露出配管	m	
電線管	合成樹脂製可とう電線管(CD) 埋込配管	m	
線び	2種金属線び(MM2) A型 幅40mm×高30mm	m	
線び	2種金属線び(MM2) B型 幅40mm×高40mm	m	
線び	2種金属線び(MM2) C型 幅40mm×高45mm	m	
線び	線び用ジャンクションボックス	個	
線び	線び用コンセントボックス	個	
位置ボックス	金属製ボックス 隠ぺい、露出	個	
位置ボックス	合成樹脂製ボックス 隠ぺい、露出	個	
位置ボックス	位置ボックス用ボンディング	個	
プルボックス	露出形(鋼板製) さび止め塗装仕上げ	m <sup>2</sup>	
プルボックス	露出形(鋼板製) 溶融亜鉛めっき	m <sup>2</sup>	
プルボックス	露出形(ステンレス製)	m <sup>2</sup>	
プルボックス	露出形(硬質ビニル製)	m <sup>2</sup>	
プルボックス	プルボックス用接地端子	個	

細 目	摘 要	単 位	備 考
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装仕上げ (1段積)	m	
ケーブルラック	はしご形 ZM溶融亜鉛めっき(100g/m <sup>2</sup> )製 焼付け又は粉体塗装仕上げ (2段積の2段目)	m	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )仕上げ (1段積)	m	
ケーブルラック	はしご形 Z35溶融亜鉛めっき(350g/m <sup>2</sup> )仕上げ (2段積の2段目)	m	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 (1段積)	m	
ケーブルラック	はしご形 アルミ製 (2段積の2段目)	m	
防火区画貫通処理	ケーブルラック用 (壁)	か所	
防火区画貫通処理	ケーブルラック用 (床)	か所	
防火区画貫通処理	金属管用(短管) (壁、床)	か所	
防火区画貫通処理	丸形用 (壁、床)	か所	

## 2 配線工事

### 2-1 一般事項

- (1) 表E1-1-7～表E1-1-26の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表E1-1-27の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 絶縁ケーブル類、バスダクト及びライティングダクト類に適用する。
  - ロ. 各表の標準歩掛りは管内配線の歩掛りとする。ただし、表E1-1-9、表E1-1-21～表E1-1-23、表E1-1-25、表E1-1-26は除く。
  - ハ. ボックス内の分岐、接続、絶縁抵抗試験及び回路表示を含み、機器への接続は含まない。
- (2) 細目工種

表 E1-1-7

**600Vポリエチレンケーブル  
(EM-CE、CV)**

細目	単位	名 称	単位	所 要 量				備 考	
6 0 0 V ポ リ エ チ レ ン ケ ー ブ ル	m	600Vポリエチレンケーブル		m	14mm <sup>2</sup> 以下 1.10				
					22mm <sup>2</sup> 以上 1.05				
		電  工	電	2 mm <sup>2</sup>	人	1C	2C	3C	4C
				3.5 mm <sup>2</sup>		0.010	0.013	0.017	0.020
				5.5 mm <sup>2</sup>		0.012	0.017	0.021	0.024
				8 mm <sup>2</sup>		0.016	0.021	0.026	0.030
				14 mm <sup>2</sup>		0.017	0.023	0.029	0.035
				22 mm <sup>2</sup>		0.022	0.029	0.037	0.043
				38 mm <sup>2</sup>		0.029	0.037	0.047	0.056
				60 mm <sup>2</sup>		0.037	0.050	0.062	0.074
				100 mm <sup>2</sup>		0.049	0.065	0.082	0.098
				150 mm <sup>2</sup>		0.067	0.090	0.112	0.134
		200 mm <sup>2</sup>	0.083	0.110	0.137	0.165			
		250 mm <sup>2</sup>	0.102	0.136	0.170	0.204			
325 mm <sup>2</sup>	0.117	0.157	0.196	0.235					
		0.149	0.198	0.248	0.297				
雑 材 料		一式(材料価格×0.05)							
そ の 他		1 式							

- (注)
1. 端末処理を含むものとする。
  2. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。
  3. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。
  4. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。
  5. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。
  6. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。
  7. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-8

## 高圧架橋ポリエチレンケーブル

(6kV EM-CE、6kV EM-CET、6kV CV、6kV CVT)

細目	単位	名 称	単位	所要量		備 考	
高圧 架橋ポリエチレン ケーブル	m	高圧 架橋ポリエチレン ケーブル	m	1.05			
		電	8 mm <sup>2</sup> 14 mm <sup>2</sup> 22 mm <sup>2</sup> 38 mm <sup>2</sup> 60 mm <sup>2</sup> 100 mm <sup>2</sup> 150 mm <sup>2</sup> 200 mm <sup>2</sup> 250 mm <sup>2</sup> 325 mm <sup>2</sup>	人	1C		3C
					0.019		0.032
					0.024		0.040
					0.031		0.052
					0.041		0.068
					0.054		0.090
					0.074		0.124
					0.091		0.151
		工	150 mm <sup>2</sup> 200 mm <sup>2</sup> 250 mm <sup>2</sup> 325 mm <sup>2</sup>	人	0.112		0.188
0.129	0.216						
雑 材 料		1式(材料価格×0.03)					
そ の 他		1 式					

(注) 1. 3kV EM-CE、3kV EM-CET、3kV CV、3kV CVTにも適用する。

2. 端末処理は、別途計上する。

3. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。

4. トラフ及びピット内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。

5. 波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。

6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-9

## 高圧電力ケーブル端末処理(プレハブ)

細目	単位	名 称	単位	所要量			備 考	
高圧 電力ケーブル 端末処理	か所	端末処理 材 料		1 式				
		電	8 mm <sup>2</sup> 14 mm <sup>2</sup> 22 mm <sup>2</sup> 38 mm <sup>2</sup> 60 mm <sup>2</sup> 100 mm <sup>2</sup> 150 mm <sup>2</sup> 200 mm <sup>2</sup>	人	1C	3C		3C耐塩
					0.11	0.19		0.20
					0.11	0.19		0.20
					0.21	0.35		0.41
					0.21	0.35		0.41
					0.31	0.52		0.62
					0.39	0.65		0.78
					0.52	0.87		1.04
		工	150 mm <sup>2</sup> 200 mm <sup>2</sup>	人	0.60	1.00		1.20
1 式								
そ の 他		1 式						

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-10

高圧耐火ケーブル

(6kV EM-FP-C、6kV NH-FP-C、6kV FP-C)

細目	単位	名称	単位	所要量		備考	
高圧耐火 ケーブル	m	高圧耐火ケーブル	m	1.05			
		電     工	8 mm <sup>2</sup> 14 mm <sup>2</sup> 22 mm <sup>2</sup> 38 mm <sup>2</sup> 60 mm <sup>2</sup> 100 mm <sup>2</sup> 150 mm <sup>2</sup> 200 mm <sup>2</sup> 250 mm <sup>2</sup> 325 mm <sup>2</sup>	人	1C	3C	
					0.023	0.039	
					0.029	0.047	
					0.036	0.062	
					0.050	0.081	
					0.064	0.108	
					0.088	0.147	
					0.109	0.182	
					0.134	0.224	
			0.154	0.259			
			0.197	0.328			
		雑材料	1式(材料価格×0.03)				
		その他	1式				

(注)1. 端末処理は、別途計上する。

2. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。

3. トラフ及びピット内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。

4. 波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。

5. 「その他」の率対象は、電工とする。



表 E1-1-11

(ア) 低圧耐火ケーブル 1C~4C

(EM-FP-C、NH-FP-C、FP-C)

細目	単位	名称	単位	所要量				備考							
低圧耐火ケーブル	m	低圧耐火ケーブル		m	14mm <sup>2</sup> 以下 1.10 22mm <sup>2</sup> 以上 1.05										
		電	1.2 mm	1.6 mm	2.0 mm	2.6 mm	1C	2C		3C	4C				
							0.012	0.015		0.017	0.021				
							0.013	0.017		0.020	0.024				
							0.015	0.020		0.024	0.030				
							0.019	0.025		0.030	0.037				
							2 mm <sup>2</sup>	0.013		0.017	0.020	0.024			
							3.5 mm <sup>2</sup>	0.015		0.020	0.024	0.030			
							5.5 mm <sup>2</sup>	0.019		0.025	0.030	0.037			
							8 mm <sup>2</sup>	0.021		0.027	0.035	0.042			
							14 mm <sup>2</sup>	0.026		0.035	0.043	0.052			
		工	22 mm <sup>2</sup>	38 mm <sup>2</sup>	60 mm <sup>2</sup>	100 mm <sup>2</sup>	150 mm <sup>2</sup>	200 mm <sup>2</sup>		250 mm <sup>2</sup>	325 mm <sup>2</sup>	0.033	0.045	0.056	0.067
												0.045	0.059	0.074	0.089
												0.058	0.078	0.098	0.118
												0.080	0.108	0.134	0.161
												0.099	0.131	0.165	0.198
												0.122	0.163	0.204	0.245
												0.140	0.188	0.235	0.282
0.179	0.238								0.298			0.356			
雑材料			1式(材料価格×0.05)												
その他			1 式												

(イ) 低圧耐火ケーブル 5C~30C

(EM-FP-C、NH-FP-C、FP-C)

細目	単位	名称	単位	所要量		備考				
低圧耐火ケーブル	m	低圧耐火ケーブル		m	1.10					
		電	5C	6C	7C	8C		1.2mm	1.6mm	
								0.024	0.028	
								0.027	0.031	
								0.030	0.035	
								0.034	0.038	
								10C	0.040	0.046
								12C	0.047	0.054
								15C	0.060	0.068
		工	20C	30C	0.069	0.079				
					0.083	0.095				
雑材料					1式(材料価格×0.05)					
その他		1 式								

(注) 1. 端末処理を含むものとする。

- ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。
- ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。
- 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。
- コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。
- 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。
- 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-12

## 制御用ケーブル

(EM-CEE、EM-CEE-S、CVV、CVV-S)

細目	単位	名称	単位	所要量					備考	
制御用ケーブル	m	制御用ケーブル		m	1.10					
		電 工	2C 3C 4C 5~6C 7~8C 9~10C 11~12C 13~14C 15~16C 17~18C 19~20C 21~22C 23~24C 25~27C 28~30C	人	1.25mm <sup>2</sup>	2mm <sup>2</sup>	3.5mm <sup>2</sup>	5.5mm <sup>2</sup>	8mm <sup>2</sup>	
					0.015	0.017	0.018	0.021	0.026	
					0.017	0.019	0.021	0.024	0.030	
					0.019	0.022	0.023	0.028	0.034	
					0.025	0.028	0.030	0.037	0.044	
					0.030	0.034	0.037	0.044	0.054	
					0.037	0.042	0.045	0.054	0.066	
					0.043	0.048	0.053	0.063	0.077	
					0.048	0.053	0.058	0.069		
					0.054	0.060	0.066	0.078		
					0.059	0.065	0.072	0.085		
					0.063	0.070	0.077	0.091		
					0.068	0.076	0.083			
					0.072	0.080	0.088			
					0.075	0.083	0.091			
					0.075	0.083	0.091			
雑材料		1式(材料価格×0.03)								
その他		1式								

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。  
 5. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-13

屋内通信線 (EM-TIEF、EM-TIEE、TIVF、TIEV)						
細目	単位	名 称		単位	所要量	備考
屋内通信線	m	屋内通信線2コより		m	1.15	
		電 工	0.5 mm×2	人	0.010	
			0.65mm×2		0.012	
			0.8 mm×2		0.012	
		雑 材 料		1式(材料価格×0.03)		
	そ の 他		1 式			
	m	屋内通信線2コより平行		m	1.15	
		電 工	0.5 mm-2C	人	0.010	
			0.65 mm-2C		0.012	
			0.8 mm-2C		0.012	
雑 材 料		1式(材料価格×0.03)				
そ の 他		1 式				

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。  
 5. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-14

ボタン電話ケーブル (EM-EBT、EM-BTIEE、EBT、BTIEV)								
細目	単位	名 称		単位	所要量	備考		
ボタン 電話ケーブル	m	ボタン電話 ケーブル		m	1.15			
		電 工	0.4mm-2P		人	0.014		
			雑 材 料			1式(材料価格×0.03)		
			そ の 他			1 式		

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。  
 5. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-15

耐熱ケーブル・警報用ケーブル  
(EM-HP、NH-HP、HP、EM-AE、AE)

細目	単位	名称	単位	所要量			備考	
耐熱ケーブル・ 警報用ケーブル	m	耐熱ケーブル・ 警報用ケーブル	m	1.10				
		電                工	人	0.65mm	0.9mm	1.2mm		
				2C	0.013	0.014		0.015
				3C	0.014	0.016		0.017
				4C	0.014	0.017		0.018
				5C	0.015	0.018		0.019
				6C	0.015	0.019		0.020
				7C	0.016	0.020		0.022
				5 P	0.017	0.022		0.027
				10 P	0.020	0.025		0.031
				15 P	0.022	0.028		0.034
				20 P	0.024	0.031		0.039
				25 P	0.027	0.035		0.043
				30 P	0.029	0.037		0.046
				50 P	0.039	0.050		0.062
				100 P	0.064	0.083		0.103
				150 P	0.083	0.108		0.133
				200 P	0.095	0.123		0.151
		雑材料		1式(材料価格×0.03)				
		その他		1 式				

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。  
 5. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-16

## 構内ケーブル・着色識別ポリエチレンケーブル

(EM-TKEE、EM-FCPEE、EM-FCPEE-S、TKEV、CCP-P、FCPEV、FCPEV-S)

細目	単位	名 称	単位	所 要 量			備 考		
構内ケーブル・ 着色識別ポリエ チレンケーブル	m	構内ケーブル・着色識別 ポリエチレンケーブル		m	1.10				
		電 工	5 P 10 P 15 P 20 P 25 P 30 P 50 P 100 P 150 P 200 P	人	0.5mm (0.65mm)	0.9mm	1.2mm		
					0.017	0.022	0.027		
					0.020	0.025	0.031		
					0.022	0.028	0.034		
					0.024	0.031	0.039		
					0.027	0.035	0.043		
					0.029	0.037	0.046		
					0.039	0.050	0.062		
					0.064	0.083	0.103		
					0.083	0.108	0.133		
		0.095	0.123	0.151					
		雑 材 料		1式(材料価格×0.03)					
そ の 他		1 式							

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。  
 5. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-17

## LAN用ケーブル

(EM-UTP、UTP)

細目	単位	名 称	単位	所 要 量			備 考	
LAN用ケーブ ル	m	LAN用ケーブル		m	1.10			
		電 工	4P 24P	人	0.018			
					0.030			
		雑 材 料		1式(材料価格×0.03)				
そ の 他		1 式						

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。  
 5. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 6. JIS X 5150「構内情報配線システム」の伝送測定試験を含む。  
 7. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-18

同軸ケーブル (EM-nC-2E、EM-S-nC-FB、nC-2V、S-nC-FB)						
細目	単位	名 称		単位	所要量	備考
同軸ケーブル	m	同軸ケーブル		m	1.10	
		電 工	3C	人	0.017	
			5C		0.020	
			7C		0.027	
			10C		0.034	
		雑材料		1式(材料価格×0.03)		
その他		1 式				

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。  
 5. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-19

マイクロホン用コード (EM-MOOS、MVVS)						
細目	単位	名 称		単位	所要量	備考
マイクロホン用 コード	m	マイクロホン用コード		m	1.10	
		電 工	0.5 mm <sup>2</sup> -1C	人	0.013	
			0.5 mm <sup>2</sup> -2C		0.015	
			0.5 mm <sup>2</sup> -3C		0.016	
			0.75mm <sup>2</sup> -2C		0.016	
			0.75mm <sup>2</sup> -3C		0.017	
		雑材料		1式(材料価格×0.03)		
その他		1 式				

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. コンクリート部分にサドル止め(カールプラグ止め)の場合は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。  
 5. 木造部分にサドル止め又はステーブル止めの場合は、電工の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-20

光ファイバケーブル (MM、SM)						
細目	単位	名 称		単位	所要量	備考
光ファイバケーブル	m	光ファイバケーブル		m	1.10	
		電 工	8C以下	人	0.025	
			16C以下		0.033	
			300C以下		0.044	
			640C以下		0.060	
		雑材料		1式(材料価格×0.03)		
その他		1 式				

- (注) 1. ケーブルラック配線の場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. ピット、トラフ及び天井内配線の場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)及び波付硬質合成樹脂管内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。  
 4. テープスロット形の場合は、1テープを1Cとして用いる。  
 5. 直線・成端接続及び接続後の伝送損失測定は別途計上する。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-21

光ファイバケーブル直線接続						
細目	単位	名 称		単位	所要量	備考
光ファイバケーブル 直線接続	か所	接続材料			1式	
		電 工	5C(5テープ)以下	人	1.34	
			10C(10テープ)以下		2.10	
			15C(15テープ)以下		2.73	
			20C(20テープ)以下		3.29	
			25C(25テープ)以下		3.81	
			30C(30テープ)以下		4.29	
			35C(35テープ)以下		4.74	
			40C(40テープ)以下		5.17	
			45C(45テープ)以下		5.58	
			50C(50テープ)以下		5.98	
そ の 他			1	式		

- (注) 1. 直線接続とは、クロジヤー使用での直線接続を標準とし、同時施工の分岐ケーブルがある場合には、ケーブルの成端処理として電工の歩掛りに 0.23人/本を加算する。  
 2. 成端処理及び心線対照を含む。  
 3. テープスロット形の場合は、1テープを1Cとして用いる。  
 4. 接続後の伝送損失測定は別途計上する。  
 5. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-22

光ファイバケーブル成端接続						
細目	単位	名 称		単位	所要量	備考
光ファイバケーブル 成端接続	か所	接続材料			1式	
		電 工	5C(5テープ)以下	人	0.738	
			10C(10テープ)以下		1.31	
			15C(15テープ)以下		1.82	
			20C(20テープ)以下		2.31	
			25C(25テープ)以下		2.78	
			30C(30テープ)以下		3.23	
			35C(35テープ)以下		3.67	
			40C(40テープ)以下		4.09	
			45C(45テープ)以下		4.51	
			50C(50テープ)以下		4.92	
そ の 他			1	式		

- (注) 1. 成端接続とは、成端箱等での光ファイバケーブルの接続、固定及び光コネクタ付きケーブル(コード)との接続とする。  
 2. 成端処理及び心線対照を含む。  
 3. テープスロット形の場合は、1テープを1Cとして用いる。  
 4. 接続後の伝送損失測定は別途計上する。  
 5. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-23

光ファイバケーブル伝送損失測定						
細目	単位	名 称		単位	所要量	備 考
光ファイバケーブル 伝送損失測定	か所	電 工	4C以下	人	0.299	
			12C以下		0.467	
			20C以下		0.635	
			40C以下		1.06	
			60C以下		1.48	
			80C以下		1.90	
			100C以下		2.32	
			120C以下		2.74	
			140C以下		3.16	
			160C以下		3.58	
			180C以下		4.00	
			200C以下		4.42	
		そ の 他		1 式		

(注) 1. ふ設、接続、コネクタ取付け後に行う開放端までの伝送損失測定とする。

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-24

導 入 線						
細目	単位	名 称		単位	所要量	備 考
導入線	m	導入線		m	1.15	
		電 工		人	0.005	
		その他			1式	

(注) 1. 導入線は、1.2mm樹脂被覆鉄線とする。

2. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)内配線の場合は、電工の歩掛りを0.9倍して用いる。

3. 「その他」の率対象は、電工とする。



表 E1-1-25

バスダクト								
細目	摘要	単位	名称・所要量				備考	
			3線バスダクト	4線バスダクト	雑材	電工		その他
			m	m				
バスダクト (アルミー鉄) (アルミーアルミ)	3線 200A	m	1		1式 (材料価格 ×0.02)	0.261	1式	
	3線 400A		1			0.348		
	3線 600A		1			0.435		
	3線 800A		1			0.565		
	3線 1000A		1			0.739		
	3線 1200A		1			0.913		
	3線 1500A		1			1.09		
	3線 2000A		1			1.30		
	4線 200A	m		1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.313	1式	
	4線 400A			1		0.417		
	4線 600A			1		0.522		
	4線 800A			1		0.678		
	4線 1000A			1		0.887		
	4線 1200A			1		1.10		
4線 1500A			1	1.30				
4線 2000A		1	1.55					

- (注) 1. 絶縁バスダクトにも適用する。  
 2. バスダクト(銅-鉄)の場合は、電工の歩掛りを1.1倍して用いる。  
 3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-1-26

ライティングダクト(直付)								
細目	摘要	単位	名称・所要量				備考	
			ライティングダクト	雑材	電工	その他		
			m					料
ライティングダクト	2線式 15A	m	1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.100	0.105	1式	
	2線式 20A		1					0.110
	2線式 25A, 30A		1					

- (注) 1. 吊下げの場合は、電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 2. 埋込みの場合は、電工の歩掛りを1.4倍して用いる。  
 3. 4線式の場合は、2線式の電工の歩掛りを1.2倍して用いる。  
 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

## 2-3 市場単価

### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 600V絶縁電線(EM-IE及びIV)及び600V絶縁ケーブル(EM-EEF及びVVF)に適用する。
- ロ. 600V絶縁電線は、ラック、ピット、トラフ及びダクトにも用いる。
- ハ. ボックス内の分岐、接続、絶縁抵抗試験及び回路表示を含み、機器への接続は含まない。

### (2) 細目工種

**表 E1-1-27**

細目	摘要	単位	備考
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線(1.6mm <sup>2</sup> ~100mm <sup>2</sup> )	m	
600V絶縁電線	600Vビニル絶縁電線 (IV) 管内配線 (1.6mm <sup>2</sup> ~100mm <sup>2</sup> )	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル平形(EM-EEF) ころがし配線(1.6mm-2C~2.0mm-2C及び1.6mm-3C~2.0mm-3C)	m	
600V絶縁ケーブル	600Vビニル絶縁ビニルシースケーブル平形(VVF)ころがし配線 (1.6mm-2C~2.0mm-2C及び1.6mm-3C~2.0mm-3C)	m	

### 3 接地工事

#### 3-1 一般事項

- (1)表E1-1-28の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2)表E1-1-29の細目工種は、市場単価を適用する。  
 (3)本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (4)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 3-2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項  
 イ. 接地端子箱に適用する。  
 ロ. 労務は取付け、結線及び試験調整を含む。

#### (2)細目工種

**表 E1-1-28**

接地端子箱								
細目	単位	名称	摘要	単位	所要量	雑材料	その他	備考
接地端子箱	個	端子箱 電工	1、2個端子用	個 人	1 0.250	1式 (材料価格 ×0.02)	1式	
		端子箱 電工	3、4個端子用	個 人	1 0.440			
		端子箱 電工	5、6個端子用	個 人	1 0.600			

(注)1.「その他」の率対象は、電工とする。

#### 3-3 市場単価

- (1)適用条件及び留意事項  
 イ. 接地極(銅板式及び打込式)及び接地極埋設標に適用する。  
 ロ. 補助接地極・抵抗低減材は含まない。  
 ハ. 接地極のリード線と接続する地中埋設物部分の接地工事は含まない。

#### (2)細目工種

**表 E1-1-29**

細目	摘要	単位	備考
接地極銅板式	銅板 900×900×1.5t	か所	
接地極銅板式	銅板 600×600×1.5t	か所	
接地極打込式	銅覆鋼棒 単独打込	か所	
接地極打込式	銅覆鋼棒 2連結打込	か所	
接地極打込式	銅覆鋼棒 3連結打込	か所	
接地極埋設標	金属製 (接地抵抗測定を含む)	枚	

## 4 塗装工事

### 4-1 一般事項

- (1)表E1-1-30の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2)本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 4-2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項

イ. 電線管、露出ボックス及び平板の現場における塗装に適用する。

- (2)細目工種

表 E1-1-30

塗装工事		名称・所要量						備考
細目	摘要	単位	塗	エ	塗	そ		
			料	ッ	装	の		
			kg	チ	工	他		
塗 装 工 事	薄鋼電線管 ねじなし電線管	C19,E19	0.013	0.004	0.006	1式		
		C25,E25	0.017	0.005	0.008			
		C31,E31	0.021	0.006	0.010			
		C39,E39	0.025	0.008	0.012			
		C51,E51	0.033	0.010	0.016			
		C63,E63	0.041	0.012	0.020			
		C75,E75	0.049	0.015	0.024			
	厚鋼電線管	G16	0.014	0.004	0.007			
		G22	0.017	0.005	0.009			
		G28	0.022	0.007	0.011			
		G36	0.027	0.008	0.013			
		G42	0.031	0.010	0.015			
		G54	0.039	0.012	0.019			
		G70	0.049	0.015	0.024			
		G82	0.057	0.017	0.027			
		G92	0.065	0.019	0.031			
		G104	0.073	0.022	0.035			
	露出ボックス		個	0.0041			0.0011	
	平 板		m <sup>2</sup>	0.17			0.046	

(注)1. 「その他」の率対象は、塗料、エッチングプライマー、塗装工とする。

## 5 機器搬入

### 5-1 一般事項

- (1) 機器搬入は標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 5-2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 機器搬入費は、機器を現場敷地内の仮置場から設置場所へ運び入れ、基礎上に仮据付を行うまでの費用であり、単独の機器の質量が100kg以上の機器搬入について適用する。  
なお、機器は、受変電、電力貯蔵装置等とする。
- ロ. 第4編機械設備工事第1章 第1節 5 機器搬入の標準歩掛りによる。

## 第2節 電力設備工事

### 1 電灯設備

#### 1-1 一般事項

- (1)表E 1-2-1～表 E1-2-16の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2)本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 1-2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項
  - イ. 配線器具、照明器具及び分電盤類に適用する。
  - ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。
  - ハ. 開閉器箱・分電盤は、労務費を表より算出する。なお、材料費は別途計上する。

(2)細目工種

表 E1-2-1

配線器具その他(ア)

細目	摘要	単位	名称・所要量								雑材料	電工	その他	備考	
			タンブラ スイッチ 1P15A	タンブラ スイッチ 2P15A	タンブラ スイッチ 3W15A	タンブラ スイッチ 4W15A	パイロット ランプ PL	プレート 1連用 (1~3ヶ用)	プレート 2連用 (4~6ヶ用)	取付枠					
			個	個	個	個	個	個	個	個					
タン ブラ ス イ ッ チ  (大 角 連 用 形)	1P15A×1	個	1						1		1	1式 (材 料 価 格 × 0.02 )	0.054	1式	プレ ート は、 樹 脂 製、 ス テ ン レ ス 製、 新 金 属 製 と す る
	1P15A×2		2						1		1		0.081		
	1P15A×3		3						1		1		0.108		
	1P15A×4		4							1	2		0.135		
	1P15A×5		5							1	2		0.162		
	1P15A×6		6							1	2		0.189		
	1P15A×1 PL×1	個	1				1	1		1	1		0.081		
	1P15A×2 PL×1		2				1	1		1	1		0.108		
	1P15A×2 PL×2		2				2		1	2	1		0.135		
	1P15A×1 2P15A×1	個	1	1					1		1		0.097		
	1P15A×2 2P15A×1		2	1					1		1		0.124		
	1P15A×1 3W15A×1		1		1				1		1		0.097		
	1P15A×2 3W15A×1		2		1				1		1		0.124		
	1P15A×1 4W15A×1		1			1			1		1		0.097		
	1P15A×2 4W15A×1		2			1			1		1		0.124		
	2P15A×1	個		1					1		1		0.070		
	2P15A×2			2					1		1		0.105		
	2P15A×3			3					1		1		0.140		
2P15A×4			4						1	2	0.175				
2P15A×1 PL×1	個		1			1	1		1	1	0.097				
2P15A×2 PL×2			2			2		1	2	1	0.159				
3W15A×1	個			1				1		1	0.070				
3W15A×2				2				1		1	0.105				
4W15A×1	個				1			1		1	0.070				
4W15A×2					2			1		1	0.105				

(注)1. 摘要に掲げる組合せ以外の配線器具の組合せの場合は、器具について当該組合せの器具とし、電工の歩掛りは次による。

$$S=A+(B+C+\dots)\times 0.5$$

S: 組合せた配線器具の電工の歩掛り

A: 組合せる配線器具の中で最大の電工の歩掛り

B、C、…: A以外の配線器具の電工の歩掛り

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-2  
配線器具その他(イ)

細目	摘要	単位	名称・所要量																						備考							
			コンセント										プレート					取付 材 料	電 工	其 他												
			連用形2P15A	連用形2P15A×2(一 体形)	連用形 (2P15A×2(一 体形))	連用形2P15A×1 (接地端子付 一 体形)	連用形2P15A×2 (接地端子付 一 体形)	連用形2P15A×1 (接地端子付) ×2(一 体形)	連用形2P15A (接地端子付) ×2(一 体形)	連用形2P15A (接地端子付)	連用形2P15A×2 (接地端子付) ×1付(一 体形)	2P15A (引掛形)	2P20A (引掛形)	2P30A	3P15A	3P20A	3P30A				2P15A (引掛形 接地端子 付)	2P15A (防水形)	ハイ テン ション	ブラ グ		接地 端子 (連用形)	連用形1 連用	1〜3 ケ用	防 水 形	フロ ア プレ ート		
			個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個				個	個	個	個		個	個	個	個	個	個	
																					人											
コンセント	連用形2P15A×1	個	1																							1 式 ( 材 料 価 格 × 0.02 )	0.054	1 式				
	連用形2P15A×2		2																								0.081					
	連用形2P15A×2(一 体形)			1																									0.054			
	連用形2P15A×1(抜 止め)				1																									0.054		
	連用形2P15A×2(抜 止め)				2																										0.081	
	連用形2P15A×2(抜 止め 一体形)					1																									0.054	
	連用形2P15A×1(接 地端子付)			1																		1									0.067	
	連用形2P15A×1(接 地端子付 一体形)							1																								0.067
	連用形2P15A×2(接 地端子付)				2																		1									0.094
	連用形2P15A×2(接 地端子付 一体形)								1																							0.067
	連用形2P15A×1(接 地極付)									1																						0.067
	連用形2P15A×2(接 地極付 一体形)										1																					0.067
	連用形2P15A×1(接 地極 接地端子付 一 体形)											1																				0.067
	連用形2P15A×2(接 地極×2 接地端子×1 付 一体形)																															0.067
	2P15A×1		個											1																	0.054	
	2P20A×1(ブラ グ共)															1																0.065
2P30A×1(ブラ グ共)															1														0.091			
3P15A×1(ブラ グ共)																1													0.080			
3P20A×1(ブラ グ共)																	1												0.083			
3P30A×1(ブラ グ共)																														0.122		
2P15A×1(引掛形 プラグ共)	個													1															0.054			
2P20A×1(引掛形 プラグ共)															1														0.065			
2P15A×1(引掛形 接地極付プラグ共)																		1											0.080			
2P15A×1(防水形 プラグ共)																						1							0.054			
ハイテンション アウトレット	個																		1										0.096			
フロアプレート	個																						1					0.087				

(注) 1. 摘要に掲げる組合せ以外の配線器具の組合せの場合は、器具について当該組合せの器具とし、電工の歩掛りは次による。  
S=A+(B+C+…)×0.5  
S:組合せた配線器具の電工の歩掛り  
A:組合せる配線器具の中で最大の電工の歩掛り  
B、C、…:A以外の配線器具の電工の歩掛り

2. 「その他」の率対象は、電工とする。



表 E1-2-3

配線器具その他(ウ)																
細目	摘要	単位	名称・所要量								電力量計	雑材料	電工	その他	備考	
			プルスイッチ 250V 3A	押釦	ブザー	自動点滅器	カットアウトスイッチ	取付枠	プレート	計器箱						個
			個	個	個	個	個	個	個	個						個
プルスイッチ	250V-3A	個	1									1式	0.081	1式		
押釦	連用形	個		1				1	1			(材料価格×)	0.054			
ブザー		個			1								0.081			
自動点滅器		個			1								0.163			
カットアウトスイッチ	2P15A	個				1							0.209			
計器箱	30A	個							1		0.02		0.174			
電力量計		個								1			0.435			

(注)1.「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-4

配線器具その他(エ) 2線式(多重伝送制御)													
細目	摘要	単位	名称・所要量								電工	その他	備考
			リモコンリレー	ターミナルユニット	フル2線式リモコンスイッチ	プレート 1連用	プレート 2連用	雑材料	電工	その他			
			個	個	個	個	個	個	人	人			
リモコンリレー	20A	個	1								0.168		
リモコンリレーT/U付	6A×1	個	1						1式		0.125		
	6A×4	個	1						(材料価格×)		0.400		
ターミナルユニット	1個用	個		1							0.050		
	4個用	個		1							0.100		
フル2線式リモコンスイッチ	リモコンスイッチ 1回路	個			1	1			0.02		0.064	1式	プレートは、樹脂製、ステンレス製、新金属製とする。
	リモコンスイッチ 2回路				1	1		0.084					
	リモコンスイッチ 3回路				1	1		0.104					
	リモコンスイッチ 4回路				1	1		0.124					
	リモコンスイッチ 5回路				1		1	0.166					
	リモコンスイッチ 6回路				1		1	0.186					
	リモコンスイッチ 7回路				1		1	0.206					
	リモコンスイッチ 8回路				1		1	0.226					

(注)1. リモコンリレー、リモコンスイッチの電工の歩掛りには設定費を含む。

2. 摘要に掲げる組合せ以外のフル2線式リモコンスイッチの電工の歩掛りは次による。

$$9\text{回路以上 } S = 0.044 + (0.044 \times (m-1) / 2) + 0.02 \times n$$

S:フル2線式リモコンスイッチの電工の歩掛り

n:フル2線式リモコンスイッチの回路数

m:プレートの連用数(n/4 小数点以下切上げて整数とする。)

3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-5

配線器具その他(オ)

細目	摘要	単位	名称・所要量						備考	
			医用コンセント 2P15A (複式) (接地極付)	医用接地端子	医用接地センタ ボディー (プレート付)	プレート (1~3ヶ用)	雑材料	電工		その他
			個	個	個	個		人		
医用接地コンセント	2P15A×2(接地極付)	個	1			1	1式 (材料価格 × 0.02)	0.087	1式 プレートは樹脂製、新金属製とする	
医用接地端子		個		1	1		0.046			
医用接地センタボディー	プレート付	個			1		0.098			

- (注) 1. 医用接地コンセント、医用接地端子、医用接地センタボディーの電工の歩掛りには、JIS T-1022 による電気抵抗の測定を含む。  
 2. 医用接地センタボディーにはボックスを別途計上する。  
 3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-6

配線器具その他(カ)

細目	摘要	単 位	名 称 ・ 所 要 量				備 考	
			OAフロア 用 器 具		雑 材 料	電 工		そ の 他
			蓋 付 フ ロ ア ー ボ ッ ク ス	フ ロ ア 内 コ ネ ク タ				
OAフロア用器具	蓋付フローアボックス	個	1		1式	0.080	1式 床固定を含む	
	フロア内コネクタ (20A、3C差込式、速結端子付)	個		1	(材料価格 ×0.02)	0.054		
		個		1		0.067		

(注) 1. 蓋付フローアボックスで配線器具が組合せの場合は、器具について当該組合せの器具とし、電工の歩掛りは次による。

$$S = A + (B + C + \dots) \times 0.5$$

S: 組合せた配線器具の電工の歩掛り

A: 蓋付フローアボックス

B、C、…: Aに組込む配線器具の電工の歩掛り

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-7

## HID灯器具(ア)

細目	摘要	単位	名称・所要量				
			H I D 灯 個	灯 具 昇 降 装 置	雑 材 料	電 工 人	そ の 他
HID灯	投光器 400W以下	個	1		1式 (材料価格 ×0.02)	1.430	1式
	投光器 1000W以下		1			1.740	
	直付 250W以下		1			0.304	
	直付 400W以下		1			0.348	
	直付 1000W以下		1			0.417	
灯具昇降装置	昇降装置	個		1		0.200	

(注) 1. 安定器を含む。

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-8  
HID灯器具(イ)

細目	摘要	単位	名称・所要量									
			H I D 灯	ポール					雑 材 料	電 工	そ の 他	
				T 3.5	T 4	T 4.5	T 5	T 5.5				
個	本	本	本	本	本		人					
HID灯	ポールライト	灯	1	1						1式 (材料価格 × 0.02 )	1.51	1式
	100W		1	1					1.51			
	200W		1		1				1.78			
	200W		1			1			1.78			
	200W		1				1		1.78			
	250W		1		1				1.84			
	250W		1			1			1.84			
	250W		1				1		1.84			
	300W		1			1			2.02			
	300W		1				1		2.02			
	300W		1					1	2.02			
	400W		1			1			2.02			
	400W		1				1		2.02			
	400W		1					1	2.02			

(注) 1. 安定器は内蔵とする。  
2. 基礎は別途とする。  
3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-9

ガーデンライト

細目	摘要	単位	名称・所要量			
			ラ ガ ー デ ン 灯	雑 材 料	電 工 人	そ の 他
ガーデンライト	1灯形	灯	1	1式	0.755	1式
	2灯形		1	(材料価格 ×0.02)	0.906	

(注) 1. 高さは2m以下とする。  
2. 基礎は別途とする。  
3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-10

Hf蛍光灯器具										
細目	摘要	単位	名称・所要量				備考			
			蛍光灯	雑材料	電工	その他				
			個		人					
蛍光灯(露出形)	FHF 16W×1	個	1	1式 (材料価格 ×0.05)	0.117	1式				
	FHF 32W×1		1		0.178					
	FHF 86W×1		1		0.332					
	FHF 16W×2	個	1		0.149					
	FHF 32W×2		1		0.222					
FHF 32W×6	個	1	0.377							
蛍光灯(埋込形)	FHF 16W×1	個	1		1式 (材料価格 ×0.05)		0.180	1式		
	FHF 32W×1		1				0.266			
	FHF 86W×1		1				0.502			
	FHF 16W×2	個	1				0.227			
	FHF 32W×2		1				0.332			
FHF 32W×6	個	1	0.570							
コンパクト蛍光灯(露出形)	FHP 32W×3	個	1	1式 (材料価格 ×0.05)		0.178	1式			
	FHP 45W×4		1			0.258				
コンパクト蛍光灯(埋込形)	FHP 32W×3	個	1			1式 (材料価格 ×0.05)			0.266	1式
	FHP 45W×4		1						0.392	

- (注) 1. 半埋込器具にも適用する。  
 2. 埋込器具の補強材等の取付けは含まない。  
 3. 連結器具については、連結数倍とする。  
 4. 蛍光灯器具に白熱灯が内蔵された照明器具であって、白熱灯用として専用の電源が供給される照明器具は、電工の歩掛りに 0.05人/個を加算する。  
 5. 照明制御装置を内蔵した照明器具及び別に設置された照明制御装置等からの信号により制御される照明器具には、電工の歩掛りに 0.05人/個を加算する。  
 6. インサート、吊ボルト等の取付けを含む。  
 7. 金属線びに取付ける場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 8. システム天井用器具は、電工の歩掛りを0.6倍して用い、雑材料は算出しない。  
 9. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-11

LED照明器具							
細目	摘要	単位	名称・所要量				備考
			L照	雑材	電工	その他	
			E明				
個	人						
LED照明器具 (ベースライト露出形)	LSS1・LSS9 (650×200未満)	個	1			0.117	
	LSS10 (650×200以上)		1			0.149	
	LSS1・LSS9・LSR12 (1260×200未満)		1			0.178	
	LSS6・LSS7・LSS10 (1260×200以上)		1			0.222	
LED照明器具 (ベースライト埋込形)	LRS6 (650×200未満)	個	1			0.180	
	LRS3 (650×200以上)		1			0.227	
	LRS6・LRS10 (1300×200未満)		1			0.266	
	LRS3・LRS8 (1300×200以上)		1			0.332	
	LRS7 (1300×200以上) (システム天井用)		1			(0.332×0.6)	
	LRS9 (500×500)		1			0.266	
	LRS4 (650×650)		1			0.392	
LED照明器具 (ダウンライト埋込形)	LRS1・LRS11 (天井切込み寸法100～150φ)	個	1	1式 (材料価格 ×0.05)		0.209	1式
	LRS1 (天井切込み寸法200φ)		1			0.240	
	LRS1 (天井切込み寸法250φ)		1			0.282	
LED照明器具 (高天井ダウンライト露出形)	LSR1・LSR2・LSR3 ※17000lm、20000lm	個	1			0.348	
	LSR1・LSR2 ※34000lm、40000lm		1			0.417	
LED照明器具 (高天井ダウンライト埋込形)	LRS2 (天井切込み寸法400～500φ) ※11000lm、16000lm	個	1			0.357	
LED照明器具 (ブラケットライト露出形)	LBF2 (250×90)	個	1			0.130	
	LBS5・LBF11 (1260×200未満)		1			0.178	
LED照明器具 (ブラケットライト埋込形)	LBF1 (130×130)	個	1			0.174	
LED照明器具 (投光器)	LPJ1 ※18000lm	個	1			1.43	
	LPJ1 ※50000lm		1			1.74	
LED照明器具 (屋外ポールライト)	LST1・LST2・LSA2 ※6300lm (T(B)3.5～5.0)	個	1			1.84	
LED照明器具 (屋外ポールライト)	LSA1 (太陽電池パネル TB3.0)	個	1			2.48	
LED照明器具 (屋外ガーデンライト)	LPT1 (100φ×800)	個	1			0.755	

(注) 1. 一体形LEDに適用する。

2. 摘要に記載の型番は、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)による。また、( )は標準的な器具寸法又は天井切込み寸法を示し、※の定格光束は代表値を示す。
3. LED制御装置の取付けを含む。
4. インサート、吊ボルト等の取付けを含む。
5. 埋込器具の補強材等の取付けは含まない。
6. 照明制御装置を内蔵した照明器具及び別に設置された照明制御装置等からの信号により制御される照明器具には、電工の歩掛りに 0.05人/個を加算する。
7. 金属線びに取付ける場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。
8. システム天井用器具は、電工の歩掛りを0.6倍して用い、雑材料は算出しない。
9. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-12

照明制御装置							
細目	摘要	単位	名称・所要量				備考
			照明制御装置 (センサー)	雑材料	電工	その他	
			個		人		
照明制御装置 (センサー)		個	1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.159	1式	

- (注) 1. 埋込形、直付形に適用する。  
 2. 照明器具一体形には適用しない。  
 3. システム天井に取付ける場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-13

誘導灯							
細目	摘要	単位	名称・所要量				備考
			誘導灯	雑材料	電工	その他	
			個		人		
誘導灯	C	個	1	1式 (材料価格 ×0.05)	0.174	1式	
	BL、BH		1		0.200		
	A		1		0.313		

- (注) 1. 消防関係法令による避難口誘導灯及び通路誘導灯とする。  
 2. Cは避難口C級及び通路C級とする。  
 3. BLは避難口B級・BL形及び通路B級・BL形とする。  
 4. BHは避難口B級・BH形及び通路B級・BH形とする。  
 5. Aは避難口A級及び通路A級とする。  
 6. 点滅形は、電工の歩掛りに0.05人/個を加算する。  
 7. 点滅式誘導音付加形は、電工の歩掛りに0.1人/個を加算する。  
 8. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-14

非常用照明器具(白熱灯・LED灯)							
細目	摘要	単位	名称・所要量				備考
			非照 常 用明 個	雑 材 料	電 工	そ の 他	
					人		
露出形	JE9～30W、I40W、 LED	個	1	1式 (材料価格 ×0.05)	0.130	1式	
埋込形	JE9～30W、I40W、 LED		1		0.209		

- (注) 1. インサート、吊ボルト等の取付けを含む。  
 2. 金属線ぴに取付ける場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 3. システム天井用器具は、電工の歩掛りを0.6倍して用い、雑材料は算出しない。  
 4. 「その他」の率対象は、電工とする。



表 E1-2-15  
開閉器箱・分電盤

細目	摘要	単位	所要量			備考	
			雑材料	電工			その他
				人			
				MCCB	KS		
開閉器箱・分電盤	開閉器(極数・定格電流)	個	1式 ( 材料 価格 × 0.02 )			1式	
	1P 30A			0.211	0.263		
	1P 60A			0.302	0.377		
	2P 30A			0.264	0.330		
	2P 60A			0.380	0.475		
	2P 100A			0.526	0.657		
	2P 225A (200)			0.741	0.926		
	2P 400A (300)			0.894	1.120		
	3P 30A			0.387	0.483		
	3P 60A			0.558	0.698		
	3P 100A			0.708	0.885		
	3P 225A (200)			1.04	1.30		
	3P 400A (300)			1.26	1.58		
	4P 30A			0.503			
	4P 60A			0.725			
	4P 100A			0.920			
	4P 225A			1.35			
	4P 400A			1.64			
協約形 単極サイズ <sup>1</sup> 2P 30A	個		0.200				
小形サイズ <sup>1</sup> 2P 30A	個		0.190				

- (注) 1. 電磁開閉器はKSの電工の歩掛りを用いる。  
 2. ( )内の数値はKSとする。  
 3. 開閉器箱・分電盤の電工の歩掛りは、盤ごとに算出する。  
 4. 算出人員が3人未満の場合は、実数人員とし、3人以上の場合は、次表により修正する。  
 5. OA盤及び実験盤にも適用する。  
 6. 「その他」の率対象は、電工とする。

修正表(開閉器箱・分電盤)

算出人員	適用人員	算出人員	適用人員
3人以上～4人未満	3	16人以上～19人未満	12
4人以上～5人未満	4	19人以上～22人未満	15
5人以上～6人未満	5	22人以上～26人未満	18
6人以上～7人未満	6	26人以上～30人未満	21
7人以上～8.5人未満	7	30人以上～35人未満	24
8.5人以上～10人未満	8	35人以上～41人未満	28
10人以上～13人未満	10	41人以上～48人未満	33
13人以上～16人未満	11		

表 E1-2-16

## 開閉器箱・分電盤

細目	摘要	単位	名称・所要量								雑材料	電工 人	その他
			リモコンリレー	リモコントランス	ターミナルユニット	伝送ユニット	電磁接触器	タイムスイッチ	コントロールユニット	電力量計			
			個	個	個	個	個	個	個	個			
リモコンリレー	20A	個	1								1式 (材料価格×0.02)	0.084	1式
リモコントランス		個		1								0.050	
リモコンリレーT/U付	6A×1	個	1									0.062	
	6A×4	個	1									0.200	
ターミナルユニット	1個用	個			1							0.025	
	4個用	個			1							0.050	
伝送ユニット		個				1						0.146	
電磁接触器	2P協約形	個					1					0.125	
タイムスイッチ	協約形	個						1				0.050	
コントロールユニット	タイムスイッチ用	個							1			0.050	
コントロールユニットAS付	タイムスイッチ用 自動点滅器対応	個							1		0.125		
電力量計		個								1	0.217		

- (注) 1. 前表の開閉器箱・分電盤に加算する。  
 2. リモコン機器は2線式(多重伝送制御)とする。  
 3. リモコンリレーの電工の歩掛りには設定費を含む。  
 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

## 2 動力設備

### 2-1 一般事項

- (1) 表E1-2-17、表E1-2-18の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表E1-2-19の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2-2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 制御盤及び電動機・電極その他結線に適用する。
- ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。
- ハ. 制御盤は、労務費を表より算出する。なお、材料費は別途計上する。

#### (2) 細目工種

表 E1-2-17

制御盤						
細目	摘要	単位	所要量			備考
			雑材料	電工	その他	
				人		
制御盤	負荷 2.2kW以下	回路	1式	1.59	1式	
	負荷 3.7kW以下		（	1.77		
	負荷 5.5kW以下		材	1.86		
	負荷 7.5kW以下		料	1.95		
	負荷 1 1kW以下		価	2.12		
	負荷 1 5kW以下		格	2.30		
	負荷 2 2kW以下		×	2.57		
	負荷 3 0kW以下		0.01	2.92		
	負荷 3 7kW以下		）	3.10		
	負荷 4 5kW以下			3.19		
	負荷 5 5kW以下			3.27		

- (注) 1. 同一回路の自動交互運転等の場合は、電工の歩掛りを 1.5倍して用いる。  
 2. 制御盤の電工の歩掛りは、盤ごとに算出する。  
 3. 算出人員が 2.5人未満の場合は、実数人員とし、2.5人以上の場合は、次表により修正する。  
 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

#### 修正表(制御盤)

算出人員	適用人員	算出人員	適用人員	算出人員	適用人員
2.5人以上 ~ 3.5人未満	3	10.0人以上 ~ 11.5人未満	9	24.0人以上 ~ 40.0人未満	0.6倍
3.5人以上 ~ 4.5人未満	4	11.5人以上 ~ 13.0人未満	10	40.0人以上 ~ 44.0人未満	24
4.5人以上 ~ 5.5人未満	5	13.0人以上 ~ 15.0人未満	11	44.0人以上 ~ 69.0人未満	0.55倍
5.5人以上 ~ 7.0人未満	6	15.0人以上 ~ 17.0人未満	12	69.0人以上 ~ 76.0人未満	38
7.0人以上 ~ 8.5人未満	7	17.0人以上 ~ 19.0人未満	13	76.0人以上	0.5倍
8.5人以上 ~ 10.0人未満	8	19.0人以上 ~ 24.0人未満	14		

**表 E1-2-18**

**電動機・電極その他結線**

細目	単位	名称・所要量				備考
		電極	雑材料	電工(人)	その他	
電動機結線 直入始動方式	台			0.174	1式	
電動機結線 直入始動方式以外				0.348		
低圧コンデンサ				0.261		
電極結線	組			0.200		
電極	組	1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.700		

(注)1.「その他」の率対象は、電工とする。

**2-3 市場単価**

(1)適用条件及び留意事項

イ. 電動機その他接続材に適用する。

ロ. 電動機への接続(金属製可とう電線管)に適用する。なお、支持材、耐震支持材及び塗装は別途計上する。

(2)細目工種

**表 E1-2-19**

細目	摘要	単位	備考
電動機その他接続材	金属製可とう電線管(17)~(101)ビニル被覆なし	か所	
電動機その他接続材	金属製可とう電線管(17)~(101)ビニル被覆あり	か所	
電動機その他接続材	金属製可とう電線管(17)~(101)ビニル被覆あり(防水)	か所	

### 3 雷保護設備

#### 3-1 一般事項

- (1)表E1-2-20の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2)本節に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 3-2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項

イ. 突針、導線、導体類、端子類及び接続端子箱に適用する。

- (2)細目工種

**表 E1-2-20**  
**雷保護設備**

細目	単位	名称	摘要	単位	所要量	雑材料	その他	備考
突針	基	突針	屋上・外壁	個	1	1式 (材料価格 ×0.02)	1式	
		支持管		本	1			
		取付金具 電工		組 人	1 2.65			
導線	m	導線	m	1.1	1式 (材料価格 ×0.02)			
		支持金具 電工	1式 人	0.092				
水平導体 又は メッシュ導体	m	銅より線 支持ボルト 電工	m 1式 人	1.05 0.122	1式 (材料価格 ×0.02)			
	m	銅帯又はアルミ帯 支持ボルト 電工	m 1式 人	1.05 0.200				
鉄筋等 接続端子	個	接続端子 溶接工	個 人	1 0.230	1式 (材料価格 ×0.10)			
水切端子	個	水切端子 電工	個 人	1 0.175	1式 (材料価格 ×0.02)			
試験用 接続端子箱	個	端子箱 電工	1、2個端子用	個 人	1 0.250	1式 (材料価格 ×0.02)		
		端子箱 電工	3、4個端子用	個 人	1 0.440			
		端子箱 電工	5、6個端子用	個 人	1 0.600			

(注)1. 突針の支持管が5mを超える場合は1m増す毎に0.26人を加算する。

2. 「その他」の率対象は、電工、溶接工とする。

### 3-3 市場単価

(1)適用条件及び留意事項

- イ. 接地極(銅板式及び打込式)及び接地極埋設標に適用する。
- ロ. 補助接地極・抵抗低減材は含まない。
- ハ. 接地極のリード線と接続する地中埋設物部分の接地工事は含まない。

(2)細目工種

表E1-1-29による。

## 4 受変電設備

### 4-1 一般事項

- (1)表 E1-2-21～表E 1-2-27の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2)本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 4-2 標準歩掛り

(1)適用条件及び留意事項

- イ. 受配電盤、高圧機器及び工事材料に適用する。  
 ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。  
 ハ. 受配電盤、変圧器、高圧進相コンデンサ及び直列リアクトルは、労務費を表より算出する。  
 なお、材料費は別途計上する。

(2)細目工種

表 E1-2-21

細目		摘要	単位	名称・所要量						
				受変電	低圧盤	雑材料	電工	普通作業員	その他	搬入費
開放垂直形	受配電盤	遮断容量 7.2kV 4.0kA	面	1		1式 (材料価格 ×0.002)	4.16	1.68	1式	1式
	低圧盤	7.2kV 8.0kA 盤幅 800mm以下 盤幅 800mm超過		1	1		2.65	2.12		
閉鎖形	受配電盤	遮断容量 7.2kV 8.0kA	面	1		1式 (材料価格 ×0.002)	4.78	1.86	1式	1式
	低圧盤	7.2kV 12.5kA 盤幅 800mm以下 盤幅 800mm超過		1	1		3.98	2.12		

- (注) 1. 変圧器盤は、低圧盤の電工及び普通作業員の歩掛りを適用する。ただし変圧器は含まない。  
 2. 2段積(遮断器)の場合には、電工及び普通作業員の歩掛りを1.4倍して用いる。  
 3. 3.6kVの受配電盤にも用いる。  
 4. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

表 E1-2-22

変圧器

細目	摘要	単位	名称・所要量					搬入費
			変圧器	雑材料	電	普通	その他	
					工	作業員		
			台	人		人		
変圧器 (6kV/3kV)	単相 10kVA	台	1	1式 (材料価格 ×0.002)	0.460	0.460	1式	1式
	単相 20kVA		1		0.779	0.779		
	単相 30kVA		1		0.823	0.823		
	単相 50kVA		1		0.973	0.973		
	単相 75kVA		1		1.60	1.60		
	単相 100kVA		1		1.71	1.71		
	単相 150kVA		1		2.12	2.50		
	単相 200kVA		1		2.25	2.65		
	単相 250kVA		1		2.59	2.98		
	単相 300kVA		1		2.90	3.37		
	単相 400kVA		1		3.41	4.29		
	単相 500kVA	1	3.81	4.68				
	三相 10kVA	台	1		0.584	0.584		
	三相 20kVA		1		0.947	0.947		
	三相 30kVA		1		1.04	1.04		
	三相 50kVA		1		1.22	1.22		
	三相 75kVA		1		1.81	1.81		
	三相 100kVA		1		2.01	2.01		
	三相 150kVA		1		2.47	2.84		
	三相 200kVA		1		2.74	3.15		
	三相 250kVA		1		3.09	3.58		
	三相 300kVA		1		3.55	3.95		
三相 400kVA	1			3.89	4.79			
三相 500kVA	1		4.37	5.25				

(注) 1. 油入又は乾式(箱共)の場合とする。

2. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。



表 E1-2-23

## 高圧進相コンデンサ

細目	摘要	単位	名称・所要量					搬入費
			高圧進相 コンデンサ	雑材料	電 工	普通 作業員	その他	
高圧進相 コンデンサ (6kV/3kV)	三相 10/12kvar	台	1	1式 (材料価格 ×0.002)	0.248	0.248	1式	1式
	三相 15/18kvar		1		0.301	0.301		
	三相 20/24kvar		1		0.442	0.442		
	三相 25/30kvar		1		0.558	0.558		
	三相 30/36kvar		1		0.575	0.575		
	三相 50kvar		1		0.655	0.655		
	三相 75kvar		1		1.13	1.13		
	三相 100kvar		1		1.26	1.26		
	三相 150kvar		1		1.59	1.59		
	三相 200kvar		1		1.78	1.78		

(注) 1. 油入又は乾式(箱共)の場合とする。

2. 放電コイルの取付けを含む。

3. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

表 E1-2-24

## 直列リアクトル(高圧進相コンデンサ用)

細目	摘要	単位	名称・所要量					搬入費
			直列 リアクトル	雑材料	電 工	普通 作業員	その他	
直列 リアクトル (6kV/3kV)	三相SC 50kvar用	台	1	1式 (材料価格 ×0.002)	0.629	0.629	1式	1式
	三相SC 75kvar用		1		0.682	0.682		
	三相SC100kvar用		1		0.823	0.823		
	三相SC150kvar用		1		0.911	0.911		
	三相SC200kvar用		1		0.973	0.973		

(注) 1. 油入又は乾式(箱共)の場合とする。

2. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

表 E1-2-25

## 高圧開閉器その他

細目	摘要	単位	名称・所要量				備考
			数量	雑材料	電	その他	
					工		
台		人					
高圧負荷開閉器	3P 100A	台	1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.690	1式	
	3P 200A		1		0.823		
	3P 300A		1		0.920		
高圧負荷開閉器 (地絡継電器付)	3P 100A	台	1		0.794		
	3P 200A		1		0.946		
	3P 300A		1		1.05		
断路器	単極単投 100A	個	1		0.275		
	単極単投 200A		1		0.412		
	単極単投 400A		1		0.530		
	3極単投 100A	個	1	0.549			
	3極単投 200A		1	0.823			
	3極単投 400A		1	1.06			
高圧カットアウト 電力ヒューズ 計器用変圧器 変流器 変成器函 組合せ計器函 避雷器	50A	個	1	0.159			
			1	0.250			
			1	0.168			
			1	0.168			
			1	0.681			
			1	0.478			
			1	0.159			

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-26

## 工事材料 (ア)

細目	摘要	単位	名称・所要量					備考
			銅 帯	銅 棒	雑 材 料	電 工	そ の 他	
			kg	kg		人		
銅 帯	3t×25mm×1	m	0.70		1式 (材料価格 ×0.02)	0.088	1式	
	3t×25mm×2		1.40			0.176		
	3t×50mm×1		1.40			0.137		
	3t×50mm×2		2.80			0.274		
	6t×50mm×1		2.80			0.239		
	6t×50mm×2		5.60			0.478		
	6t×75mm×1		4.20			0.274		
	6t×75mm×2		8.40			0.548		
	6t×100mm×1		5.60			0.407		
	6t×100mm×2		11.20			0.814		
銅 棒	4mm φ	m		0.12		0.097		
	5mm φ			0.19		0.097		
	6mm φ			0.26		0.097		
	7mm φ			0.36		0.097		
	8mm φ			0.47		0.097		
	9mm φ			0.60		0.097		
	10mm φ			0.73		0.124		
	11mm φ			0.89		0.124		
	12mm φ			1.06		0.124		

(注) 1. 本表は銅帯、銅棒の受がいしの取付けを含む。

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-27

## 工事材料(イ)

細目	摘要	単位	名称・所要量						備考	
			電線	黒ガス管	組立金具	鋼材	雑材料	電工		その他
			m	m		m		人		
電線	8 mm <sup>2</sup> 以下	m	1.1				1式 (材料価格 ×0.02)	0.036	1式	受がいしの取付けを含む。
	14 mm <sup>2</sup> 以下							0.042		
	22 mm <sup>2</sup> 以下							0.042		
	38 mm <sup>2</sup> 以下							0.063		
	60 mm <sup>2</sup> 以下							0.082		
	100 mm <sup>2</sup> 以下							0.082		
	150 mm <sup>2</sup> 以下							0.140		
	200 mm <sup>2</sup> 以下							0.140		
250 mm <sup>2</sup> 以下	0.140									
フレープ	32A	m		1.2	1式 (材料価格 ×0.3)	1式 (材料価格 ×0.02)	0.150	1式	加工組立を含む。	
盤外機器取付金物	平鋼3t×25~50mm	m				1.1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.168	1式	
	平鋼6t×50mm以下							0.195		
	L形鋼3t×30~50mm							0.177		
	L形鋼6t×50mm以下							0.195		
保護金網		m <sup>2</sup>				1式 (材料価格 ×0.02)	0.177	1式	取付けの加工含まず。	

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

## 5 電力貯蔵設備

### 5-1 一般事項

- (1) 表E 1-2-28の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 5-2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 直流電源装置に適用する。  
 ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。  
 ハ. 直流電源装置は、労務費を表より算出する。なお、材料費は別途計上する。

(2) 細目工種

**表 E1-2-28**  
**直流電源装置**

細目	摘要	単位	名称・所要量							搬入費
			蓄電池	整流器	キュービクル式	雑材料	電工	普通作業員	その他	
							人	人		
架台式蓄電池	100Ah以下	組	1				5.04	1.50	1式	1式
	200Ah以下		1				7.61	2.30		
300Ah以下	1					1式	10.50	3.19		
整流装置	別置形			1		(材料	2.83	1.41		
キュービクル式	30Ah以下	面			1	価格	1.59	1.24	1式	1式
	50Ah以下				1	×	2.39	1.59		
	80Ah以下				1	0.002)	3.19	2.12		
	100Ah以下				1		3.98	2.83		
	200Ah以下				1		4.78	3.63		
300Ah以下			1			5.31	3.89			

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

## 6 架空線路

### 6-1 一般事項

- (1)表E 1-2-29～表E 1-2-35の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2)本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 6-2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項

イ. 構内の架空線路に用いる建柱、架線及び高圧機器に適用する。

- (2)細目工種

表 E1-2-29

建柱(ア)(建柱車利用)									
細目	摘要	単位	名称・所要量					備考	
			コンクリート柱	木柱	雑材料	電工	普通作業員		その他
			本	本					
コンクリート柱	8m	本	1		1式 (材料価格 ×0.02)	0.348	0.130	1式	
	9m		1			0.348	0.130		
	10m		1			0.435	0.157		
	11m		1			0.435	0.157		
	12m		1			0.435	0.157		
	13m		1			0.521	0.174		
	14m		1			0.521	0.174		
	15m		1			0.521	0.174		
木柱	6m	本		1		0.270	0.099		
	7m			1		0.270	0.099		
	8m			1		0.313	0.117		
	9m			1		0.313	0.117		
	10m			1		0.391	0.141		

- (注) 1. 建柱車の使用については、現地の状況を十分検討の上、その適否を決定する。  
 2. 建柱車の損料は、請負工事機械経費積算要領に定める「建設機械等算定表」により別途計上する。  
 3. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

表 E1-2-30

## 建柱(イ)(人力)

細目	摘要	単位	名称・所要量					備考	
			コンクリート柱	木柱	雑材料	電工	普通作業員		その他
			本	本		人	人		
コンクリート柱	8m	本	1		1式 (材料価格 ×0.02)	1.74	0.957	1式	
	9m		1			2.17	1.04		
	10m		1			2.61	1.04		
	11m		1			3.04	1.22		
	12m		1			3.48	1.74		
	13m		1			3.91	1.91		
	14m		1			4.35	2.09		
15m	1		4.78	2.43					
木柱	6m	本		1		0.461	0.252		
	7m			1		0.565	0.296		
	8m			1		0.696	0.339		
	9m			1		0.809	0.426		
	10m			1		1.05	0.539		

(注)1. パンザーマストの場合は、コンクリート柱の電工及び普通作業員の歩掛りを0.5倍して用いる。

2. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

表 E1-2-31

## 腕金

細目	摘要	単位	名称・所要量					備考	
			腕金	アームタイ	がいし	雑材料	電工		その他
			本	本			個		
腕金	900mm	本	1	1	2	1式 (材料価格 ×0.02)	0.130	1式	
	1200mm		1	1	2~3		0.174		
	1500mm		1	1	3		0.209		
	1800mm		1	1	3		0.270		
	2700mm		1	1	6		0.461		

(注)1. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-32

支 線									
細 目	摘 要	単 位	名 称・所 要 量						
			亜鉛メッキ鋼より線	ス	ス	雑材料	電	普	そ
				テ	テ				
				個	個			人	人
支 線	22mm <sup>2</sup> ～30mm <sup>2</sup>	か所	1式	1	1	1式 (材料価格 ×0.03)	0.548	0.235	1式
	38mm <sup>2</sup> ～45mm <sup>2</sup>			1	1		0.670	0.261	
	55mm <sup>2</sup> ～70mm <sup>2</sup>			1	1		0.757	0.296	
	90mm <sup>2</sup> ～110mm <sup>2</sup>			1	1		0.843	0.339	
	135mm <sup>2</sup>			1	1		1.070	0.461	

- (注) 1. Y支線の場合は、電工及び普通作業員の歩掛りを1.5倍して用いる。  
 2. 水平支線の場合は、電工及び普通作業員の歩掛りを0.5倍して用いる。  
 3. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

表 E1-2-33

架線・屋外用電線 (OW、OC、OE)										
細 目	単 位	名 称	単 位	所 要 量						
				2.6mm	3.2mm	4.0mm	22mm <sup>2</sup>	38mm <sup>2</sup>	60mm <sup>2</sup>	100mm <sup>2</sup>
屋外用電線	1 条	屋外用電線	1式(設計数量×1.05)							
	1 径 間	電 工	人	0.113	0.130	0.209	0.287	0.391	0.487	0.626
		普通作業員	人	0.061	0.070	0.104	0.149	0.191	0.243	0.313
		雑材料	1式(材料価格×0.03)							
		その他	1式							

- (注) 1. 径間 20～40mで被覆銅線をがいしにバインドした場合を示す。  
 2. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。



表 E1-2-34

引込用電線  
(DV)

細目	単位	名称	単位	所要量					
				2.0mm	2.6mm	3.2mm			
引込用電線	1 径間	引込用電線 (DV-2F)		1式(設計数量×1.05)					
		電工	人	0.122	0.148	0.183			
		普通作業員	人	0.070	0.087	0.104			
		雑材料		1式(材料価格×0.03)					
		その他		1式					
		名称	単位	所要量					
				8mm <sup>2</sup>	14mm <sup>2</sup>	22mm <sup>2</sup>	38mm <sup>2</sup>	60mm <sup>2</sup>	
		引込用電線 (DV-2R)		1式(設計数量×1.05)					
		電工	人	0.183	0.252	0.339	0.478	0.643	
		普通作業員	人	0.104	0.139	0.191	0.270	0.365	
		雑材料		1式(材料価格×0.03)					
		その他		1式					
		名称	単位	所要量					
				8mm <sup>2</sup>	14mm <sup>2</sup>	22mm <sup>2</sup>	38mm <sup>2</sup>	60mm <sup>2</sup>	
		引込用電線 (DV-3R)		1式(設計数量×1.05)					
		電工	人	0.235	0.330	0.435	0.626	0.835	
		普通作業員	人	0.130	0.183	0.243	0.357	0.470	
		雑材料		1式(材料価格×0.03)					
		その他		1式					

(注)1. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

表 E1-2-35

## 保安開閉器(柱上取付け)

細目	摘要	単位	名称・所要量					備考
			数量	雑材料	電	普	その他	
					工	通		
台	人	人						
高圧 負荷開閉器	3P 100A	台	1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.966	0.483	1式	
	3P 200A		1		1.15	0.576		
	3P 300A		1		1.28	0.644		
	3P 400A		1		1.32	0.661		
高圧 負荷開閉器 (地絡継電器付)	3P 100A	台	1	1式 (材料価格 ×0.02)	1.11	0.555		
	3P 200A		1		1.32	0.662		
	3P 300A		1		1.48	0.740		
	3P 400A		1		1.52	0.760		
高圧 カットアウト	50A	個	1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.22			
	100A		1		0.24			
避雷器		個	1	1式 (材料価格 ×0.02)	0.22			

(注)1. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

## 7 地中線路

### 7-1 一般事項

- (1) 表E 1-2-36～表E 1-2-39の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 7-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
 イ. 構内の地中線路に用いる地中管路等に適用する。  
 ロ. 建物周囲における地中管路、ハンドホール、マンホール及び機材施工の土工事は、第4編機械設備工事第1章第1節7土工事による。

(2) 細目工種

表 E1-2-36

地中管路(ア)												
細目	摘要	単位	名称・所要量								備考	
			コンクリートトラフ	防水鉄管	管路口防水装置	異物継手	ポリエチレン被覆鋼管・配管用炭素鋼鋼管	付属品	雑材料	電工		その他
			本	本	個	個	m			人		
コンクリートトラフ	幅120mm	m	2								0.128	1式
	幅150mm		2							0.157		
	幅200mm		2							0.183		
	幅250mm		2							0.209		
	幅300mm		2							0.226		
	幅400mm		2							0.243		
防水鉄管	WI-75	か所		1	1	1				1式 (材料 価格 × 0.02)	0.261	1式
	WI-100		1	1	1				0.348			
	WI-130		1	1	1				0.348			
	WI-150		1	1	1				0.443			
	WI-200		1	1	1				0.443			
	WI-250		1	1	1				0.530			
ポリエチレン被覆鋼管(SGLP)・配管用炭素鋼鋼管	呼径 25A	m						1.05	1式 (管 価格 × 0.15)	0.070		
	呼径 32A								0.087			
	呼径 40A								0.096			
	呼径 50A								0.113			
	呼径 65A								0.139			
	呼径 80A								0.183			
	呼径100A								0.243			
	呼径125A								0.287			
呼径150A							0.348					

- (注) 1. 管の敷設及び接続を含む。  
 2. コンクリートトラフは、砂の充填を含む。  
 3. 掘削及び埋戻しは含まない。  
 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-37

## 地中管路(イ)

細目	摘要	単位	名称・所要量						備考	
			ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管・厚鋼電線管	硬質ビニル電線管	波付硬質合成樹脂管	付属品	雑材料	電工		その他
			m	m	m			人		
ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管 (G L L、G L T) 厚鋼電線管(G)	16	m	1.05			1式 (管価格×0.15)	1式 (材料価格×0.02)	0.042	1式	
	22							0.056		
	28							0.072		
	36							0.086		
	42							0.119		
	54							0.160		
	70							0.186		
	82							0.226		
	92							0.252		
104	0.281									
硬質ビニル電線管 (V E、H I V E)	16	m	1.05			1式 (管価格×0.15)	1式 (材料価格×0.02)	0.030	1式	
	22							0.037		
	28							0.044		
	36							0.060		
	42							0.075		
	54							0.091		
	70							0.113		
82	0.135									
波付硬質合成樹脂管 (F E P)	30	m			1.05	1式 (管価格×0.04)	1式 (材料価格×0.01)	0.026		
	40							0.031		
	50							0.035		
	65							0.040		
	80							0.045		
	100							0.060		
	125							0.066		
	150							0.072		
200	0.105									

- (注) 1. 管の敷設及び接続を含む。  
 2. 掘削及び埋戻しは含まない。  
 3. 波付硬質合成樹脂管の付属品にはベルマウスを含む。  
 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-38

地中埋設標・埋設標識シート

細目	摘要	単位	名称・所要量				備考
			地中埋設標	埋設標識シート	電工	その他	
			個	m	人		
地中埋設標	コンクリート製	個	1		0.200	1式	
	鉄製	個	1		0.020		
埋設標識シート	地中線路	m		1.05	0.004		

(注)1. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-2-39

接地抵抗測定

細目	摘要	単位	名称・所要量		備考
			電工	その他	
			人		
接地抵抗測定		か所	0.223		1式

(注)1. 接地極埋設標を取りつける場合は、「3-3 市場単価」による。

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

### 第3節 通信・情報設備工事

#### 1 構内交換設備

##### 1-1 一般事項

- (1)表 E1-3-1～表E 1-3-4の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2)本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

##### 1-2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項  
 イ. 端子盤、ボタン電話装置及び電話機等に適用する。  
 ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。

##### (2)細目工種

表 E1-3-1

端子盤及び集合保安器箱							
細目	摘要	単位	名称・所要量				
			端子盤	集合保安器箱	雑材料	電工	その他
			面	個			
端子盤	10P/10P	面	1		1式 (材料価格 ×0.02)	0.513	1式
	20P/20P		1	0.637			
	30P/30P		1	0.752			
	40P/40P		1	0.973			
	60P/60P		1	1.18			
	80P/80P		1	1.39			
	100P/100P		1	1.59			
	120P/120P		1	1.86			
	150P/150P		1	2.17			
	200P/200P		1	2.57			
	250P/250P		1	3.10			
	300P/300P		1	3.76			
集合保安器箱	5P	個		1		0.345	
	10P			1		0.451	
	20P			1		0.549	
	30P			1		0.619	
	40P			1		0.806	
	50P			1		0.846	
	60P			1		0.846	

- (注)1. 端子盤で箱のみ取付けの場合は、電工の歩掛りを0.3倍して用いる。  
 2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-3-2

端子接続						
細目	単位	名称	単位	所要量	備考	
端子接続	か所	端子接続材料		1式		
		電工	0.5~1.2mm	人		
			5P			0.174
			10P			0.261
			15P			0.304
			20P			0.348
			25P			0.400
			30P			0.424
			50P			0.555
			100P			0.968
			150P			1.24
		200P	1.52			
その他		1式				

(注) 1. 編出し及び心線対照を含む。

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-3-3

電話機その他																
細目	摘要	単位	名称・所要量										電工	その他	備考	
			電話機台	PHSアンテナ	加入者保安器	ローテーションアウトレット	はとめプレート	電話用アウトレット	情報用アウトレット	プレート(連用形1連用)	取付枠	雑材				
電話機		台	1											0.168	1式	プレートは、樹脂製、ステンレス製、新金属製とする。
PHSアンテナ		個		1										0.350		
加入者保安器		個			1									0.142		
ローテーションアウトレット		個				1								0.062		
はとめプレート		個					1							0.019		
電話用アウトレット	モジュラージャック(RJ11)	個						1		1	1			0.054		
電話用アウトレット×2	モジュラージャック(RJ11)	個						2		1	1			0.081		
情報用アウトレット	モジュラージャック(RJ45)	個							1	1	1			0.067		
情報用アウトレット×2	モジュラージャック(RJ45)	個							2	1	1			0.100		

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-3-4

ボタン電話装置							
細目	単位	所要量			その他	備考	
		技術員	電工	調整費			
		人	人	人			
主装置 308形	台	0.44	0.89	0.45	1式	電源装置及び局線ケーブル含む。	
主装置 616形		0.53	0.89	0.54			
主装置 824形		0.62	1.06	0.62			
主装置1232形		0.89	1.33	0.71			
主装置1648形		1.06	1.33	0.89			
電話機 308形	個		0.177				
電話機 616形			0.177				
電話機 824形			0.177				
電話機1232形			0.177				
電話機1648形				0.177			

(注) 1. 技術員の労務単価は、電工労務単価×1.1とする。

2. 「その他」の率対象は、技術員、電工とする。



## 2 情報表示・拡声設備

### 2-1 一般事項

- (1) 表E1-3-5～表E1-3-7の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき切に算定する。

### 2-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 時刻表示、拡声機器及び表示機器に適用する。
  - ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。

- (2) 細目工種

表 E1-3-5

細目		摘要	単位	名称・所要量					備考
				親時計	子時計	雑材	電工	その他	
水晶式 親時計	壁掛形	3回線以下	台	1		1式	1.46		
	ラック形	6回線以下		1		(材料価格 ×0.01)	2.90		
アナログ 子時計	壁掛形		個		1	1式	0.097		
	半埋込形				1	(材料価格 ×0.02)	0.195		
	埋込形				1		0.248		
デジタル 子時計	壁掛形	形式	個			1式 (材料価格 ×0.02)		1式	
		H08			1		0.976		
		H10			1		1.22		
		H12			1		1.46		
	半埋込形	H20			1	2.44			
		形式							
		H08			1	1.29			
		H10			1	1.61			
	H12		1	1.93					
	H20		1	3.22					

- (注) 1. アナログ子時計の寸法は、500mm以下とする。  
 2. デジタル子時計の形式は、公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)による。  
 3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-3-6

拡声

細目	摘要	単位	名称・所要量						電 工 人	そ の 他	備 考
			増幅器	スピーカ	ア ッ テ ネ ー タ	ワ イ ヤ レ ス ア ン テ ナ	ホ イ ッ プ ア ン テ ナ	雑 材 料			
			台	個	個	個	個				
増幅器	卓上形 30W以下	台	1					1式 (材料価格 ×0.02)	0.965	1式	プレートは、樹脂 製、ステンレス製、 新金属製とする。
	ラック形 60W以下		1				1.51				
	120W以下		1				2.87				
	240W以下		1				4.03				
スピーカ	壁掛形	個		1				1式 (材料価格 ×0.02)	0.097	1式	プレートは、樹脂 製、ステンレス製、 新金属製とする。
	天井埋込形			1			0.195				
	天井吊下形			1			0.195				
	ホーンスピーカ			1			0.159				
アッテ ネータ		個			1			0.053			
ワイヤレス アンテナ	UHF帯	個				1			0.350		
ホイップ アンテナ		個					1		0.200		

(注) 1. システム天井に取付ける場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-3-7

細目	摘要	単位	名称・所要量						備考
			表示盤	発信器	電源装置	雑材料	電工	その他	
			個	個	個		人		
表示盤	2窓用	個	1			1式 (材料価格 ×0.02)	0.168	1式	
	3窓用		1				0.257		
	4窓用		1				0.336		
	5窓用		1				0.416		
	6窓用		1				0.504		
	7窓用		1				0.593		
	8窓用		1				0.673		
	9窓用		1				0.761		
	10窓用		1				0.850		
	12窓用		1				1.02		
	14窓用		1				1.19		
	16窓用		1				1.35		
	18窓用		1				1.53		
	20窓用		1				1.70		
25窓用	1			2.10					
30窓用	1			2.50					
発信器	1個用	個		1			0.055		
	2個用			1			0.082		
	3個用			1			0.110		
	4個用			1			0.137		
	5個用			1			0.165		
	6個用			1			0.192		
電源装置	400VA以下	個			1		1.19		
	1000VA以下				1		1.82		
	2000VA以下				1		2.46		

(注) 1. 表示盤で30窓用を超えるものは、電工の歩掛りを $(0.084 \times \text{窓数})$ 人とする。

2. 「その他」の率対象は、電工とする。

### 3 誘導支援設備

#### 3-1 一般事項

- (1) 表E1-3-8の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 3-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. インターホンに適用する。
  - ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。

- (2) 細目工種

表 E1-3-8

インターホン							
細目	摘要	単位	名称・所要量				
			イ ン タ ー ホ ン 親 機 台	イ ン タ ー ホ ン 子 機 台	雑 材 料	電 工 人	そ の 他
			インターホン親機	2局用 3局用 5局用 6局用 10局用 12局用 20局用 24局用 30局用	台	1 1 1 1 1 1 1 1 1	
インターホン子機		台		1		0.115	

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

## 4 テレビ共同受信設備

### 4-1 一般事項

- (1)表 E1-3-9の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2)本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 4-2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項
  - イ. テレビ共同受信機器に適用する。
  - ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。

## (2)細目工種

表 E1-3-9

## テレビ共同受信

細目	摘要	単位	名称・所要量										電 工 人	そ の 他	備 考		
			ア ン テ ナ 組	ア ン テ ナ マ ス ト 基	混 合 (分 波) 器 個	機 器 収 容 箱 個	分 岐 器 個	分 配 器 個	増 幅 器 個	直 列 ユ ニ ツ ト 個	テ レ ビ 端 子 個	雑 材 料					
テレビアンテナ	1 段 2 段	組	1 2											1式 (材料価格 ×0.02)	1.56 1.99	1式	
パラホ'ラ アンテナ	750 φ 900 φ(1000 φ) 1200 φ	組	1 1 1												0.850 0.900 1.20		
アンテナマスト	建物上、搭屋 外壁 (支持金具共)	基		1 1											1.41 1.94		
機器収容箱	TV -1 TV -2 TV -3 TV -4 TV -5 TV -6 TV -7 TV -8 TV -9	個				1 1 1 1 1 1 1 1 1								1式 (材料価格 ×0.02)	0.363 0.407 0.504 0.566 0.637 0.810 0.860 0.860 0.960	1式	
分岐器	1分岐 2分岐 4分岐	個					1 1 1								0.186 0.212 0.265		
分配器	2分配 4分配 6分配 8分配	個						1 1 1 1						1式 (材料価格 ×0.02)	0.186 0.239 0.292 0.345	1式	
増幅器		個							1						1.14		
混合(分波)器		個			1										0.230		
直列ユニット	中間 端末	個								1 1					0.150 0.133		
テレビ端子		個											1		0.130		プレートは、樹 脂製、ステン レス製、新金 属製とする。

(注) 1. アンテナマストに基礎を必要とする場合は、別途計上する。

2. パラボラアンテナをアンテナ素子と組合わせて設置する場合は、電工の歩掛りを 0.8倍して用いる。

3. 総合調整費は、機器取付け(アンテナマスト及び機器収容箱を除く)労務費合計の 20%とする。

4. 「その他」の率対象は、電工とする。

## 5 監視カメラ設備

### 5-1 一般事項

- (1)表 E1-3-10の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2)本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 5-2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項  
 イ. 監視カメラ機器等に適用する。  
 ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。

#### (2)細目工種

表 E1-3-10

監視カメラ

細目	摘要	単位	名称・所要量								備考	
			カ	カ	回	モ	切	リ	雑	電		そ
			ラ	メ	転	ニ	替	モ	材	工		の
台	ラ	台	置	台	台	料	人	他				
カメラ	固定レンズ付 (ドーム形を含む)	台	1						1式	0.900	1式	
	固定レンズ ・ハウジング付	台	1					（	1.29			
	電動ズーム付 (ドーム形を含む)	台	1					材	1.45			
	電動ズーム ・ハウジング付	台	1					料	1.76			
カメラ取付台		個		1				価	0.350			
回転台		個			1			格	0.340			
モニタ装置		台				1		×	0.930			
切替スイッチ盤		台					1	0.02	1.41			
リモートコントローラ		台						）	1.02			

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

## 6 火災報知設備

### 6-1 一般事項

- (1) 表 E1-3-11～表 E1-3-13の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 6-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
 イ. 火災報知機器及びガス漏れ火災警報機器に適用する。  
 ロ. 労務には、機材の取付け、結線及び試験調整を含む。

- (2) 細目工種

表 E1-3-11

火災報知(ア)							
細目	摘要	単位	名称・所要量				
			受信機 面	副受信機 面	雑材料	電工 人	その他
受信機 P型1級	5回線	面	1			5.31	
	6回線		1			5.58	
	8回線		1			6.11	
	10回線		1			6.64	
	12回線		1			7.17	
	15回線		1			7.96	
	20回線		1			9.29	
	25回線		1			10.6	
	30回線		1			11.9	
	35回線		1			13.3	
	40回線		1			14.6	
受信機 P型2級	1回線	面	1		1式 (材料価格 ×0.02)	2.39	1式
	5回線		1			3.10	
副受信機	5回線	面		1		0.42	
	10回線			1		0.86	
	15回線			1		1.30	
	20回線			1		1.75	
	25回線			1		2.15	
	30回線			1		2.55	
	40回線			1		3.40	
50回線		1	4.25				

- (注) 1. 防災用連動制御盤は、受信機P型1級の電工の歩掛りを用いる。  
 2. 受信機P型1級で50回線を超えるものは、電工の歩掛りを $(3.8+0.27n)$ 人とし、副受信機で50回線を超えるものは、 $(1.75+0.05n)$ 人とする。  
 この場合において、nは回線数を示す。  
 3. 「その他」の率対象は、電工とする。



表 E1-3-12  
火災報知(イ)

細目	摘要	単位	名称・所要量										その他	備考	
			感	試	空	発	表	電		電	雑	電			
			知	験	気	信	示	鈴	箱	磁	材	工			
器	器	管	機	灯	鈴	個	個	レ	料	人					
スポット型感知器	定温式 差動式	個	1 1											0.133 0.133	1式
煙感知器		個	1											0.159	
分布型検出部	1個用	個	1											0.416	
	2個用		1											0.681	
	3個用		1											0.912	
分布型感知器 (空気管式)	木造又はテックス張り コンクリート造	m			1.1									0.027	
	又はブラスター吹付				1.1									0.035	
試験器	1個用	個		1										0.115	
	2個用		1											0.212	
	3個用		1											0.310	
総合盤	単 独	個				1	1	1	1					0.619	
	消火栓箱に組込					1	1	1						0.496	
発信機	P型 1級	個				1								0.283	
	P型 2級					1								0.177	
表示灯		個					1							0.124	
警報ベル		個						1						0.124	
電磁レリーズ	各種	個									1			0.336	
立会検査	P型 1級	1工事												3.12	
	P型 2級													2.01	

- (注) 1. 立会検査は、分布型感知器が 15個を超える場合には、超える個数1個当たり 0.1人を加算し、  
スポット形感知器が 100個を超える場合には、超える個数1個当たり 0.027人を加算する。  
2. システム天井に取付ける場合は、電工の歩掛りを 0.8倍して用いる。  
3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E1-3-13

ガス漏れ火災警報

細目	摘要	単位	名称・所要量					備考	
			ガス 検 知 器 個	中 継 器 個	受 信 機 面	雑 材 料	電		そ の 他
							工 人		
ガス検知器	都市ガス、LPガス	個	1				0.133	1式	
中継器		個		1			0.177		
受信機	5回線	面			1	1式 (材料価格 ×0.02)	3.10		
	10回線				1		3.88		
	15回線				1		4.65		
	20回線				1		5.42		
	25回線				1		6.19		
30回線			1	6.95					

(注) 1. 「その他」の率対象は、電工とする。

## 第2章 改修工事

1. 本章は、建築物等の模様替え及び修繕(以下「改修」という。)に係る電気設備工事の積算に適用する。
2. 本章記載の標準歩掛りは、改修工事特有の細目工種について定める。
3. 本章に定める以外の細目工種については第1章による。ただし、作業効率の低下等を考慮し必要に応じ単価及び価格の割増しを行うことができる。

### 第1節 撤去

#### 1 一般事項

- (1)表E 2-1-1～表E 2-1-13の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2)本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3)本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 2 標準歩掛り

- (1)適用条件及び留意事項
  - イ.改修工事における撤去に適用する。
  - ロ.各設備の撤去歩掛りは、表E2-1-1 撤去により算定するほか、表E2-1-2～表E2-1-13による。

- (2)細目工種

表 E2-1-1

撤 去						
細 目	名 称	単 位	新営工事の労務歩掛りに 対する乗率		その他	備考
			再使用しない	再使用する (取外し)		
撤 去	電線・ケーブル	m	0.2	0.4	1式	
	電 線 管	m	0.2	0.4		
	照 明 器 具	個	0.3	0.4		
	配 線 器 具	個	0.3	0.4		
	分電盤・端子盤	面	0.2	0.4		
	変 電 機 器	個	0.3	0.5		
	通 信 用 器 具	個	0.3	0.4		
	電 柱	本	0.3	0.6		
	架 線	[1 条] [1 径間]	0.2	0.4		
	地中線ケーブル	m	0.3	0.6		
コンクリートトラフ	m	0.3	0.6			

- (注) 1. 材料の整理、運搬に要する普通作業員は、別途計上する。  
 2. 電線管でコンクリート埋込のものは除く。  
 3. 現場の状況又は分解手間の程度によっては、本表の乗率を増減できる。  
 4. 再使用しない場合の「その他」の率は、工種の撤去の「その他」の率を適用する。  
 5. 再使用する場合の「その他」の率は、取外しを行う製品等に対応する工種の「その他」の率を適用する。

表E 2-1-2

撤去(電線管)					
細目	摘要	単位	電工(人)	その他	備考
厚鋼電線管	G16	m	0.012	1式	
	G22		0.016		
	G28		0.021		
	G36		0.025		
	G42		0.034		
	G54		0.046		
	G70		0.053		
	G82		0.065		
	G92		0.072		
	G104		0.080		
薄鋼電線管	C19	m	0.010	1式	
	C25		0.014		
	C31		0.018		
	C39		0.022		
	C51		0.029		
	C63		0.040		
	C75		0.046		
ねじなし電線管	E19	m	0.008	1式	
	E25		0.011		
	E31		0.014		
	E39		0.017		
	E51		0.024		
	E63		0.032		
	E75		0.037		
硬質ビニル電線管	VE16,HIVE16	m	0.009	1式	
	VE22,HIVE22		0.011		
	VE28,HIVE28		0.013		
	VE36,HIVE36		0.017		
	VE42,HIVE42		0.022		
	VE54,HIVE54		0.026		
	VE70,HIVE70		0.032		
	VE82,HIVE82		0.039		
合成樹脂製 可とう電線管 (PF管、CD管)	14	m	0.006	1式	
	16		0.006		
	22		0.008		
	28		0.010		

(注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。

2. コンクリート埋込のものは除く。

3. 現場の状況によっては、増減できる。

4. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E2-1-3

撤去(線び類)					
細目	摘要	単位	電工(人)	その他	備考
2種金属線び (MM2)	A型 40mm×30mm	m	0.018	1式	
	B型 40mm×40mm		0.022		
	C型 40mm×45mm		0.024		
	D型 45mm×30mm		0.022		
	E型 45mm×40mm		0.024		
	F型 45mm×45mm		0.026		

- (注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを 2.0倍して用いる。  
 2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E2-1-4

撤去(ケーブルラック)					
細目	摘要	単位	電工(人)	その他	備考
ケーブルラック	100mm幅	m	0.026	1式	
	200mm幅		0.037		
	300mm幅		0.049		
	400mm幅		0.059		
	500mm幅		0.068		
	600mm幅		0.073		
	800mm幅		0.099		
	1000mm幅		0.123		

- (注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを 2.0倍して用いる。  
 2. 多段積みを同時に撤去する場合には、1段目(最大幅)以外のものは本表の電工の歩掛りを 0.5倍して用いる。  
 3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E2-1-5

撤去(プルボックス)					
細目	摘要	単位	電工(人)	その他	備考
プルボックス	縦(mm)+横(mm)+高さ(mm)	個	0.0001	1式	

- (注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを 2.0倍して用いる。  
 2. 縦(mm)+横(mm)+高さ(mm)に上表の値を乗じたものを1個当たりの歩掛りとする。  
 3. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E2-1-6

撤去(位置ボックス)					
細目	摘要	単位	電工(人)	その他	備考
位置ボックス		個	0.020	1式	

- (注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを 2.0倍して用いる。  
 2. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E2-1-7

**撤去(600V絶縁電線)**  
**(EM-IE、EM-IC、HIV、IV、IC)**

細目	摘要	単位	電工(人)	その他	備考
600V絶縁電線	1.0mm	m	0.0018	1式	
	1.2mm		0.0020		
	1.6mm		0.0020		
	2.0mm		0.0022		
	2.6mm		0.0028		
	2 mm <sup>2</sup>		0.0020		
	3.5mm <sup>2</sup>		0.0022		
	5.5mm <sup>2</sup>		0.0028		
	8 mm <sup>2</sup>		0.0032		
	14 mm <sup>2</sup>		0.0040		
	22 mm <sup>2</sup>		0.0048		
	38 mm <sup>2</sup>		0.0064		
	60 mm <sup>2</sup>		0.0084		
	100 mm <sup>2</sup>		0.0112		
	150 mm <sup>2</sup>		0.0146		
200 mm <sup>2</sup>	0.0166				
250 mm <sup>2</sup>	0.0196				
325 mm <sup>2</sup>	0.0234				

(注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを 2.0倍して用いる。

2. 本表の標準歩掛りは管内配線の歩掛りとする。

3. ダクト類の配線にも適用する。

4. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)内配線の場合は、電工の歩掛りを 0.9倍して用いる。

5. 接地線は、ラック、ピット、トラフ及びダクトとも管内の電工の歩掛りを用いる。

6. 「その他」の率対象は、電工とする。

表E2-1-8

**撤去(600V絶縁ケーブル)**  
**(EM-EEF、EM-EE、VVF、VVR)**

細目	摘要	単位	電工(人)	その他	備考	
600V 絶縁ケーブル	木造部分に サドル止め又は ステーブル止め	1.6mm-2C	m	0.0040	1式	
		2.0mm-2C		0.0050		
		2.6mm-2C		0.0062		
		1.6mm-3C		0.0050		
		2.0mm-3C		0.0060		
		2.6mm-3C		0.0076		
	コンクリート部分に にサドル止め(カー ルプラグを含む)	1.6mm-2C		0.0052		
		2.0mm-2C		0.0066		
		2.6mm-2C		0.0084		
		1.6mm-3C		0.0066		
		2.0mm-3C		0.0082		
	天井、ピット内配線	2.6mm-3C		0.0102		
		1.6mm-2C		0.0020		
		2.0mm-2C		0.0026		
		2.6mm-2C		0.0034		
		1.6mm-3C		0.0026		
	管内配線	2.0mm-3C		0.0034		
		2.6mm-3C		0.0042		
		1.6mm-2C		0.0026		
		2.0mm-2C		0.0034		
2.6mm-2C		0.0042				
1.6mm-3C		0.0034				
	2.0mm-3C	0.0042				
	2.6mm-3C	0.0052				

(注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを2.0倍して用いる。

2. ケーブルラック配線の場合は、管内配線の電工の歩掛りを1.2倍して用いる。

3. 合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)内配線の場合は、管内配線の電工の歩掛りを0.9倍して用いる。

4. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E2-1-9

撤去(HID灯器具)				
細目	摘要	単位	電工(人)	その他
HID灯	パイプペンダント 250W以下	個	0.0990	1式
	パイプペンダント 400W以下		0.117	
	パイプペンダント 1000W以下		0.141	
	埋込 150W以下		0.0720	
	埋込 250W以下		0.107	
	埋込 400W以下		0.123	
灯具昇降装置	滑車	個	0.0240	
	ワイヤー	m	0.0060	

- (注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを1.3倍して用いる。  
 2. 安定器を含む。  
 3. 「その他」の率対象は、電工とする。



表E2-1-10

撤去(白熱灯器具)				
細目	摘要	単位	電工(人)	その他
コードペンダント		個	0.0360	1式
パイプペンダント			0.0432	
チェンペンダント			0.0432	
シーリングライト			0.0459	
埋込灯			0.0627	
ブラケットライト			0.0390	
レセプタクル			0.0261	

- (注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを1.3倍して用いる。  
 2. 半埋込器具にも適用する。  
 3. 金属線び取り付けの場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 4. システム天井用器具は、電工の歩掛りを0.6倍して用いる。  
 5. 「その他」の率対象は、電工とする。

表E2-1-11

撤去(蛍光灯器具)						
細目	摘要	単位	露出形	埋込形	吊下げ形	その他
			電工(人)	電工(人)	電工(人)	
蛍光灯	FL 10W×1	個	0.0339	0.0522	0.0417	1式
	FL 20W×1		0.0390	0.0600	0.0471	
	FL 30W×1		0.0417	0.0627	0.0495	
	FL 40W×1		0.0627	0.0939	0.0756	
	FL 110W×1		0.117	0.177	0.141	
	FL 10W×2	個	0.0417	0.0627	0.0495	
	FL 20W×2		0.0495	0.0756	0.0600	
	FL 30W×2		0.0549	0.0834	0.0651	
	FL 40W×2		0.0783	0.117	0.0939	
	FL110W×2		0.143	0.217	0.172	
	FL 10W×3	個	0.0522	0.0783	0.0627	
	FL 20W×3		0.0627	0.0939	0.0756	
	FL 40W×3		0.102	0.154	0.123	
	FL 110W×3		0.183	0.274	0.219	
	FL 10W×4	個	0.0729	0.138	0.110	
	FL 20W×4		0.0912	0.201	0.159	
	FL 40W×4		0.133	0.390	0.312	
	FL 110W×4		0.261	0.390	0.312	
	FL 20W×5	個	0.0912	0.138	0.110	
	FL 40W×5		0.133	0.201	0.159	
	FL110W×5		0.261	0.390	0.312	
	FL 20W×6	個	0.0912	0.138	0.110	
	FL 40W×6		0.133	0.201	0.159	
	FL 110W×6		0.261	0.390	0.312	

- (注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを1.3倍して用いる。  
 2. 半埋込器具にも適用する。  
 3. 連結器具については、連結数倍とする。  
 4. 蛍光灯器具に白熱灯が内蔵された照明器具であって、白熱灯用として専用の電源が供給されている照明器具は、電工の歩掛りに 0.015人/個を加算する。  
 5. 照明制御装置を内蔵した照明器具及び別に設置された照明制御装置等からの信号により制御されている照明器具は、電工の歩掛りに 0.015人/個を加算する。  
 6. 金属線び取り付けの場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 7. システム天井用器具は、電工の歩掛りを0.6倍して用いる。  
 8. 環形蛍光灯にも適用する。  
 9. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E2-1-12

撤去(Hf蛍光灯器具)

細目	摘要	単位	露出形	埋込形	その他
			電工(人)	電工(人)	
Hfコンパ°外蛍光灯	FHT 16W×1	個	0.0390	0.0627	1式
	FHT 24W×1		0.0390	0.0627	
	FHT 32W×1		0.0390	0.0627	
	FHT 42W×1		0.0390	0.0627	
	FHT 42W×2		0.0450	0.0720	
	FHT 42W×3		0.0528	0.0846	
	FHT 42W×4		0.0585	0.0942	

- (注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工の歩掛りを1.3倍して用いる。  
 2. 照明制御装置を内蔵した照明器具及び別に設置された照明制御装置等からの信号により制御されている照明器具は、電工の歩掛りに 0.015人/個を加算する。  
 3. 金属線び取り付けの場合は、電工の歩掛りを0.8倍して用いる。  
 4. システム天井用器具は、電工の歩掛りを0.6倍して用いる。  
 5. 「その他」の率対象は、電工とする。

表 E2-1-13

## 撤去(柱上取付け変圧器)

細目	摘要	単位	電 工 ( 人 )	普 通 作 業 員 ( 人 )	そ の 他	備 考
変圧器 (6kV/3kV)	单相 5kVA	台	0.164	0.164	1式	
	单相 10kVA		0.193	0.193		
	单相 15kVA		0.193	0.193		
	单相 20kVA		0.327	0.327		
	单相 25kVA		0.327	0.327		
	单相 30kVA		0.345	0.345		
	单相 50kVA		0.408	0.408		
	单相 75kVA		0.672	0.672		
	三相 5kVA	台	0.209	0.209		
	三相 10kVA		0.245	0.245		
	三相 15kVA		0.245	0.245		
	三相 20kVA		0.396	0.396		
	三相 25kVA		0.396	0.396		
	三相 30kVA		0.435	0.435		
	三相 50kVA		0.510	0.510		
	三相 75kVA		0.759	0.759		
	单相 10kVA×2	台	0.318	0.318		
	单相 15kVA×2		0.435	0.435		
	单相 20kVA×2		0.537	0.537		
	单相 30kVA×2		0.570	0.570		
	三相 10kVA×2	台	0.402	0.402		
	三相 15kVA×2		0.534	0.534		
	三相 20kVA×2		0.657	0.657		
	三相 30kVA×2		0.720	0.720		
	三相 10kVA×3	台	0.561	0.561		
	三相 15kVA×3		0.741	0.741		
	三相 20kVA×3		0.915	0.915		
	三相 30kVA×3		1.00	1.00		

(注) 1. 撤去品を再使用する場合の撤去は、電工及び普通作業員の歩掛りを1.6倍して用いる。

2. 変台板を含む。

3. 「その他」の率対象は、電工、普通作業員とする。

## 第2節 機器搬出

### 1 一般事項

- (1) 機器搬出は標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 機器搬出費は、機器を設置場所より現場敷地内の仮置場へ運び出すまでの費用であり、単独の機器の質量が100kg以上の機器搬出について適用する。  
なお、機器は、受変電及び電力貯蔵装置等とする。
  - ロ. 第4編機械設備工事第2章 第1節 2 機器搬出の標準歩掛りによる。

## 第3節 はつり工事

### 1 一般事項

- (1) はつり工事は標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 本節の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 第4編機械設備工事第2章 第1節 3 はつり工事の標準歩掛りによる。

## 第4編 機械設備工事

### 第1章 新営工事

1. 本章は、建築物等の新築及び増築に係る機械設備工事の積算に適用する。

#### 第1節 共通工事

##### 1 配管工事

###### 1-1 一般事項

- (1) 表M1-1-1～表M1-1-51の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節1に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節1の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

###### 1-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 配管工事に適用する。
  - ロ. 労務には、すみ出し、インサート取付け、小運搬、支持金物取付け、吊込み及び満水、通気、通水又は耐圧試験を含むものとする。
  - ハ. 地中配管の歩掛りには、土工事を含まない。
  - ニ. 形鋼振れ止め支持が必要な場合は支持材として、対象となる配管工事の工事費（材料費、労務費、その他を含んだ費用をいう。以下同じ）の3%を別途に計上する。
  - ホ. 冷水管、冷温水管及びブライン管に使用する合成樹脂製支持受の材料費は、別途に数量を算出して計上する。
  - ヘ. 配管類のためのスリーブ費は、配管工事の工事費に対し、次の率にて別途に計上する。
    - ・鉄筋コンクリート造の空気調和設備工事は9%
    - ・鉄筋コンクリート造の給排水衛生設備工事（ガス設備工事を含む）は10%
    - ・鉄骨鉄筋コンクリート造の空気調和設備工事は6%
    - ・鉄骨鉄筋コンクリート造の給排水衛生設備工事（ガス設備工事を含む）は7%
  - ト. デッキプレートの開口切断費は、配管工事の工事費に対し、次の率にて別途に計上する。
    - ・空気調和設備工事は2%
    - ・給排水衛生設備工事（ガス設備工事を含む）は4%

###### (2) 細目工種

表M1-1-1

水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PA）

（給水・冷却水）ねじ接合（管端防食継手）

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	—	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10										1.05		
		継手		1式（管単価×0.75）												
		接合材等		1式（管単価×0.05）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m	1.10										1.05		
		継手		1式（管単価×1.10）												
		接合材等		1式（管単価×0.05）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05												
		継手		1式（管単価×0.55）												
		接合材等		1式（管単価×0.05）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361				
		はつり補修		—												
		その他		1式												
地中配管	m	管	m	1.05												
		継手		1式（管単価×0.40）												
		接合材等		1式（管単価×0.05）												
		支持金物		—												
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281				
		はつり補修		—												
		その他		1式												

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-2

水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（SGP-PB）

（給水・冷却水）ねじ接合（管端防食継手）

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.65）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.90）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.45）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519			
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.35）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-3

水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PD)

(給水・冷却水) ねじ接合 (管端防食継手)

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式 (管単価×0.55)													
		接合材等		1式 (管単価×0.18)													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.067	0.076	0.093	0.114	0.125	0.157	0.205	0.232	0.303	0.359	0.436			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。



表M1-1-4

フランジ付ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-FPA)

(給水・冷却水) フランジ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.05)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.214	0.246	0.317	0.377	0.480	0.681	0.917	1.104
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.50)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.257	0.295	0.380	0.452	0.576	0.817	1.100	1.325
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×0.90)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.193	0.221	0.285	0.339	0.432	0.613	0.825	0.994
		はつり補修		—												
		その他		1式												
地中配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×0.90)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		—												
		配管工	人						0.150	0.172	0.222	0.264	0.336	0.477	0.642	0.773
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-5

フランジ付ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-FPB)

(給水・冷却水) フランジ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.05)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.214	0.246	0.317	0.377	0.480	0.681	0.917	1.104
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.50)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.257	0.295	0.380	0.452	0.576	0.817	1.100	1.325
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×0.90)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.193	0.221	0.285	0.339	0.432	0.613	0.825	0.994
		はつり補修		—												
		その他		1式												
地中配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×0.90)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		—												
		配管工	人						0.150	0.172	0.222	0.264	0.336	0.477	0.642	0.773
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-6

フランジ付ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-FPD)

(給水・冷却水) フランジ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250	300
地中配管	m	管	m							1.00							
		継手		1式 (管単価×0.90)													
		接合材等		1式 (管単価×0.03)													
		支持金物		—													
		配管工	人							0.150	0.172	0.222	0.264	0.336	0.477	0.642	0.773
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-7

## 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）

（給水・冷却水）ねじ接合（管端防食継手）

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.60）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.10）													
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.90）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.10）													
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.45）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.10）													
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519			
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.35）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-8

水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）

（給水・冷却水）ねじ接合（管端防食継手）

細目	単位	名称	単位	呼 び 径														
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—	
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05						
		継手		1式（管単価×0.50）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.10）														
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）														
		その他		1式														
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05						
		継手		1式（管単価×0.75）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.10）														
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）														
		その他		1式														
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05														
		継手		1式（管単価×0.40）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.10）														
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519				
		はつり補修		—														
		その他		1式														
地中配管	m	管	m	1.05														
		継手		1式（管単価×0.30）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		—														
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404				
		はつり補修		—														
		その他		1式														

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-9

水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）

（給水・冷却水）ねじ接合（管端防食継手）

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.35）													
		接合材等		1式（管単価×0.20）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.067	0.076	0.093	0.114	0.125	0.157	0.205	0.232	0.303	0.359	0.436			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-10

フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-FVA)

(給水・冷却水) フランジ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.20)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.214	0.246	0.317	0.377	0.480	0.681	0.917	1.104
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.70)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.257	0.295	0.380	0.452	0.576	0.817	1.100	1.325
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.00)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.193	0.221	0.285	0.339	0.432	0.613	0.825	0.994
		はつり補修		—												
		その他		1式												
地中配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.00)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		—												
		配管工	人						0.150	0.172	0.222	0.264	0.336	0.477	0.642	0.773
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-11

フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-FVB)  
(給水・冷却水) フランジ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.20)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.214	0.246	0.317	0.377	0.480	0.681	0.917	1.104
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.70)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.257	0.295	0.380	0.452	0.576	0.817	1.100	1.325
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.00)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人						0.193	0.221	0.285	0.339	0.432	0.613	0.825	0.994
		はつり補修		—												
		その他		1式												
地中配管	m	管	m											1.00		
		継手		1式 (管単価×1.00)												
		接合材等		1式 (管単価×0.03)												
		支持金物		—												
		配管工	人						0.150	0.172	0.222	0.264	0.336	0.477	0.642	0.773
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。



表M1-1-12

フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-FVD)  
 (給水・冷却水) フランジ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250
地中配管	m	管	m											1.00		
		継手												1式 (管単価×1.00)		
		接合材等												1式 (管単価×0.03)		
		支持金物												—		
		配管工	人						0.150	0.172	0.222	0.264	0.336	0.477	0.642	0.773
		はつり補修												—		
		その他												1式		

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-13

水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-HVA)

(給湯・冷温水) ねじ接合 (管端防食継手)

細目	単位	名称	単位	呼 び 径															
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	—	—	—	—	—		
屋内一般配管	m	管	m	1.10										1.05					
		継手		1式 (管単価×0.55)															
		接合材等		1式 (管単価×0.05)															
		支持金物		1式 (管単価×0.10)															
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401							
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)															
		その他		1式															
機械室・便所配管	m	管	m	1.10										1.05					
		継手		1式 (管単価×0.85)															
		接合材等		1式 (管単価×0.05)															
		支持金物		1式 (管単価×0.10)															
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481							
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)															
		その他		1式															
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05															
		継手		1式 (管単価×0.40)															
		接合材等		1式 (管単価×0.05)															
		支持金物		1式 (管単価×0.10)															
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361							
		はつり補修		—															
		その他		1式															

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-14

## 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS)

## ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	50 <sup>A</sup>	65	80	100	—	—	—	—
地中配管	m	管	m					1.05								
		継手		1式 (管単価×0.45)												
		接合材等		1式 (管単価×0.18)												
		支持金物		—												
		配管工	人		0.157	0.205	0.232	0.303								
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-15

## 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG 370 VS)

## ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	50 <sup>A</sup>	65	80	100	—	—	—	—
地中配管	m	管	m					1.05								
		継手		1式 (管単価×0.90)												
		接合材等		1式 (管単価×0.18)												
		支持金物		—												
		配管工	人		0.157	0.205	0.232	0.303								
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-16

圧力配管用炭素鋼鋼管（白）

（冷温水） ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径															
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	—	—	—	—	—		
屋内一般配管	m	管	m	1.10										1.05					
		継手		1式（管単価×1.30）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401							
		はつり補修		1式（労務費×0.08）															
		その他		1式															
機械室・便所配管	m	管	m	1.10										1.05					
		継手		1式（管単価×1.50）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481							
		はつり補修		1式（労務費×0.08）															
		その他		1式															
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05															
		継手		1式（管単価×0.80）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361							
		はつり補修		—															
		その他		1式															

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-17

圧力配管用炭素鋼鋼管（白）  
（消火）ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×1.10）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×1.50）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.80）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519			
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.70）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-18

圧力配管用炭素鋼鋼管（白）  
（冷却水）ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×1.10）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×1.50）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.80）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519			
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.70）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-19

圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（低圧蒸気用）ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径															
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	—	—	—	—	—	—		
屋内一般配管	m	管	m	1.10															
		継手		1式（管単価×1.70）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307								
		はつり補修		1式（労務費×0.08）															
		その他		1式															
機械室・便所配管	m	管	m	1.10															
		継手		1式（管単価×1.90）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368								
		はつり補修		1式（労務費×0.08）															
		その他		1式															
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05															
		継手		1式（管単価×1.00）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276								
		はつり補修		—															
		その他		1式															

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-20

圧力配管用炭素鋼鋼管（白）  
（消火・冷却水・冷温水） 溶接接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.65）				1式（管単価×0.35）									
		接合材等		1式（管単価×0.08）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.112	0.121	0.141	0.166	0.179	0.215	0.270	0.304	0.389	0.459	0.576	0.819	1.097	1.324
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×1.20）				1式（管単価×0.60）									
		接合材等		1式（管単価×0.08）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.134	0.145	0.169	0.199	0.215	0.258	0.324	0.365	0.467	0.551	0.691	0.983	1.316	1.589
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.60）				1式（管単価×0.30）									
		接合材等		1式（管単価×0.08）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.101	0.109	0.127	0.149	0.161	0.194	0.243	0.274	0.350	0.413	0.518	0.737	0.987	1.192
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.45）				1式（管単価×0.30）									
		接合材等		1式（管単価×0.08）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.078	0.085	0.099	0.116	0.125	0.151	0.189	0.213	0.272	0.321	0.403	0.573	0.768	0.927
		はつり補修		—													
		その他		1式													

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。



表M1-1-21

圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（蒸気給気管・蒸気還管） 溶接接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径															
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300		
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05							
		継手		1式（管単価×0.85）				1式（管単価×0.45）											
		接合材等		1式（管単価×0.08）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.112	0.121	0.141	0.166	0.179	0.215	0.270	0.304	0.389	0.459	0.576	0.819	1.097	1.324		
		はつり補修		1式（労務費×0.08）															
		その他		1式															
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05							
		継手		1式（管単価×1.50）				1式（管単価×0.75）											
		接合材等		1式（管単価×0.08）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.134	0.145	0.169	0.199	0.215	0.258	0.324	0.365	0.467	0.551	0.691	0.983	1.316	1.589		
		はつり補修		1式（労務費×0.08）															
		その他		1式															
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05															
		継手		1式（管単価×0.80）				1式（管単価×0.40）											
		接合材等		1式（管単価×0.08）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.101	0.109	0.127	0.149	0.161	0.194	0.243	0.274	0.350	0.413	0.518	0.737	0.987	1.192		
		はつり補修		—															
		その他		1式															
地中配管	m	管	m	1.05															
		継手		1式（管単価×0.60）				1式（管単価×0.40）											
		接合材等		1式（管単価×0.08）															
		支持金物		—															
		配管工	人	0.078	0.085	0.099	0.116	0.125	0.151	0.189	0.213	0.272	0.321	0.403	0.573	0.768	0.927		
		はつり補修		—															
		その他		1式															

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-22

配管用炭素鋼鋼管（白）

（排水）ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.65）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.85）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.50）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519			
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.45）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-23

配管用炭素鋼鋼管（白）  
（冷温水） ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径															
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	—	—	—	—	—		
屋内一般配管	m	管	m	1.10										1.05					
		継手		1式（管単価×0.65）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401							
		はつり補修		1式（労務費×0.08）															
		その他		1式															
機械室・便所配管	m	管	m	1.10										1.05					
		継手		1式（管単価×0.75）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481							
		はつり補修		1式（労務費×0.08）															
		その他		1式															
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05															
		継手		1式（管単価×0.40）															
		接合材等		1式（管単価×0.05）															
		支持金物		1式（管単価×0.15）															
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361							
		はつり補修		—															
		その他		1式															

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-24

配管用炭素鋼鋼管（白）  
（通気・消火・プロパン）ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径														
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—	
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05						
		継手		1式（管単価×0.55）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）														
		その他		1式														
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05						
		継手		1式（管単価×0.75）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）														
		その他		1式														
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05														
		継手		1式（管単価×0.40）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519				
		はつり補修		—														
		その他		1式														
地中配管	m	管	m	1.05														
		継手		1式（管単価×0.35）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		—														
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404				
		はつり補修		—														
		その他		1式														

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-25

配管用炭素鋼鋼管（白）  
（冷却水）ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径														
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—	
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05						
		継手		1式（管単価×0.55）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）														
		その他		1式														
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05						
		継手		1式（管単価×0.75）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）														
		その他		1式														
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05														
		継手		1式（管単価×0.40）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519				
		はつり補修		—														
		その他		1式														
地中配管	m	管	m	1.05														
		継手		1式（管単価×0.35）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		—														
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404				
		はつり補修		—														
		その他		1式														

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-26

配管用炭素鋼鋼管（白）

（消火・プロパン・冷却水・冷温水） 溶接接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m						1.10		1.05					
		継手		1式（管単価×0.30）												
		接合材等		1式（管単価×0.08）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人						0.270	0.304	0.389	0.459	0.576	0.819	1.097	1.324
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m						1.10		1.05					
		継手		1式（管単価×0.40）												
		接合材等		1式（管単価×0.08）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人						0.324	0.365	0.467	0.551	0.691	0.983	1.316	1.589
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m						1.05							
		継手		1式（管単価×0.25）												
		接合材等		1式（管単価×0.08）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人						0.243	0.274	0.350	0.413	0.518	0.737	0.987	1.192
		はつり補修		—												
		その他		1式												
地中配管	m	管	m						1.05							
		継手		1式（管単価×0.25）												
		接合材等		1式（管単価×0.08）												
		支持金物		—												
		配管工	人						0.189	0.213	0.272	0.321	0.403	0.573	0.768	0.927
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-27

配管用炭素鋼鋼管（白）  
（冷却水）ハウジング形管継手

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	50 <sup>A</sup>	65	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式（管単価×2.08）			1式（管単価×1.66）		1式（管単価×1.25）		
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.10）												
		配管工	人		0.106	0.133	0.173	0.256	0.302	0.368	0.485	0.653	0.787			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式（管単価×3.34）			1式（管単価×2.68）		1式（管単価×2.02）		
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.10）												
		配管工	人		0.127	0.159	0.207	0.307	0.363	0.441	0.582	0.784	0.944			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式（管単価×1.74）			1式（管単価×1.38）		1式（管単価×1.02）		
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.10）												
		配管工	人		0.095	0.119	0.155	0.230	0.272	0.331	0.437	0.588	0.708			
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-28

配管用炭素鋼鋼管（白）  
（冷温水）ハウジング形管継手

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	50 <sup>A</sup>	65	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式（管単価×2.44）			1式（管単価×1.95）		1式（管単価×1.45）		
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.10）												
		配管工	人		0.106	0.133	0.173	0.256	0.302	0.368	0.485	0.653	0.787			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式（管単価×3.34）			1式（管単価×2.68）		1式（管単価×2.02）		
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.10）												
		配管工	人		0.127	0.159	0.207	0.307	0.363	0.441	0.582	0.784	0.944			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式（管単価×1.74）			1式（管単価×1.38）		1式（管単価×1.02）		
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.10）												
		配管工	人		0.095	0.119	0.155	0.230	0.272	0.331	0.437	0.588	0.708			
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。



表M1-1-29

配管用炭素鋼鋼管（白）  
（排水） MD継手

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	32 <sup>A</sup>	40	50	65	80	100	125	150	200	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10												
		継手		1式（管単価×1.15）												
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.20）												
		配管工	人	0.135	0.145	0.172	0.214	0.239	0.306	0.361	0.457	0.666				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
機械室・便所配管	m	管	m	1.10												
		継手		1式（管単価×1.60）												
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.20）												
		配管工	人	0.162	0.174	0.206	0.257	0.287	0.367	0.433	0.548	0.799				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-30

配管用炭素鋼鋼管（白）  
（通気） MD継手

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	32 <sup>A</sup>	40	50	65	80	100	125	150	200	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10												
		継手		1式（管単価×1.00）												
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.20）												
		配管工	人	0.135	0.145	0.172	0.214	0.239	0.306	0.361	0.457	0.666				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
機械室・便所配管	m	管	m	1.10												
		継手		1式（管単価×1.40）												
		接合材等		—												
		支持金物		1式（管単価×0.20）												
		配管工	人	0.162	0.174	0.206	0.257	0.287	0.367	0.433	0.548	0.799				
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												

（注）1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-31

配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（ブライン） ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径														
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	—	—	—	—	—	
屋内一般配管	m	管	m	1.10									1.05					
		継手		1式（管単価×0.65）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401						
		はつり補修		1式（労務費×0.08）														
		その他		1式														
機械室・便所配管	m	管	m	1.10									1.05					
		継手		1式（管単価×0.75）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481						
		はつり補修		1式（労務費×0.08）														
		その他		1式														
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05														
		継手		1式（管単価×0.40）														
		接合材等		1式（管単価×0.05）														
		支持金物		1式（管単価×0.15）														
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361						
		はつり補修		—														
		その他		1式														

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-32

配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（ブライン） 溶接接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m						1.10		1.05					
		継手		1式（管単価×0.30）												
		接合材等		1式（管単価×0.08）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人						0.270	0.304	0.389	0.459	0.576	0.819	1.097	1.324
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m						1.10		1.05					
		継手		1式（管単価×0.40）												
		接合材等		1式（管単価×0.08）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人						0.324	0.365	0.467	0.551	0.691	0.983	1.316	1.589
		はつり補修		1式（労務費×0.08）												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m						1.05							
		継手		1式（管単価×0.25）												
		接合材等		1式（管単価×0.08）												
		支持金物		1式（管単価×0.15）												
		配管工	人						0.243	0.274	0.350	0.413	0.518	0.737	0.987	1.192
		はつり補修		-												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-33

配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（ブライン） フランジ接合

細 目	単位	名 称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	—	65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m											1.00		
		継 手												1式（管単価×1.20）		
		接合材等												1式（管単価×0.03）		
		支持金物												1式（管単価×0.10）		
		配 管 工	人						0.212	0.244	0.314	0.374	0.477	0.677	0.913	1.100
		はつり補修												1式（労務費×0.08）		
		そ の 他												1式		
機械室・便所配管	m	管	m											1.00		
		継 手												1式（管単価×1.70）		
		接合材等												1式（管単価×0.03）		
		支持金物												1式（管単価×0.10）		
		配 管 工	人						0.255	0.293	0.377	0.449	0.573	0.813	1.096	1.321
		はつり補修												1式（労務費×0.08）		
		そ の 他												1式		
屋 外 配 管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m											1.00		
		継 手												1式（管単価×1.00）		
		接合材等												1式（管単価×0.03）		
		支持金物												1式（管単価×0.10）		
		配 管 工	人						0.191	0.219	0.282	0.336	0.429	0.609	0.821	0.990
		はつり補修												—		
		そ の 他												1式		

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-34

配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（蒸気・油）ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.85）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.089	0.100	0.123	0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.95）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.107	0.120	0.148	0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.50）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.080	0.090	0.111	0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519			
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.45）													
		接合材等		1式（管単価×0.05）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.062	0.070	0.086	0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-35

配管用炭素鋼鋼管（黒）  
（蒸気・油） 溶接接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.35）													
		接合材等		1式（管単価×0.08）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.112	0.121	0.141	0.166	0.179	0.215	0.270	0.304	0.389	0.459	0.576	0.819	1.097	1.324
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05					
		継手		1式（管単価×0.50）													
		接合材等		1式（管単価×0.08）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.134	0.145	0.169	0.199	0.215	0.258	0.324	0.365	0.467	0.551	0.691	0.983	1.316	1.589
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.30）													
		接合材等		1式（管単価×0.08）													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人	0.101	0.109	0.127	0.149	0.161	0.194	0.243	0.274	0.350	0.413	0.518	0.737	0.987	1.192
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.30）													
		接合材等		1式（管単価×0.08）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.078	0.085	0.099	0.116	0.125	0.151	0.189	0.213	0.272	0.321	0.403	0.573	0.768	0.927
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-36

 一般配管用ステンレス鋼管  
 (給水・給湯) 圧縮、プレス接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				13 <sup>SU</sup>	20	25	30	40	50	60	—	—	—	—	—	—	
屋内一般配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式 (管単価×1.45)													
		接合材等		—													
		支持金物		1式 (管単価×0.10)													
		配管工	人	0.052	0.071	0.090	0.106	0.132	0.149	0.185							
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式 (管単価×2.30)													
		接合材等		—													
		支持金物		1式 (管単価×0.10)													
		配管工	人	0.062	0.085	0.108	0.127	0.158	0.179	0.222							
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05													
		継手		1式 (管単価×1.25)													
		接合材等		—													
		支持金物		1式 (管単価×0.10)													
		配管工	人	0.047	0.064	0.081	0.095	0.119	0.134	0.167							
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式 (管単価×0.90)													
		接合材等		—													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.036	0.050	0.063	0.074	0.092	0.104	0.130							
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-37

 一般配管用ステンレス鋼管  
 (給水・給湯) 拡管式接合

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				13 <sup>SU</sup>	20	25	30	40	50	60	—	—	—	—	—		
屋内一般配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式 (管単価×1.60)													
		接合材等		—													
		支持金物		1式 (管単価×0.10)													
		配管工	人	0.052	0.071	0.090	0.106	0.132	0.149	0.185							
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式 (管単価×2.65)													
		接合材等		—													
		支持金物		1式 (管単価×0.10)													
		配管工	人	0.062	0.085	0.108	0.127	0.158	0.179	0.222							
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05													
		継手		1式 (管単価×1.35)													
		接合材等		—													
		支持金物		1式 (管単価×0.10)													
		配管工	人	0.047	0.064	0.081	0.095	0.119	0.134	0.167							
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式 (管単価×1.00)													
		接合材等		—													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.036	0.050	0.063	0.074	0.092	0.104	0.130							
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。



表M1-1-38

一般配管用ステンレス鋼鋼管  
(冷温水・蒸気還管・給水・給湯・消火) 溶接接合

細目	単位	名称	単位	呼び径															
				13 <sup>SU</sup>	20	25	30	40	50	60	75	80	100	125	150	200	250	300	
屋内一般配管	m	管	m	1.10								1.05							
		継手		1式 (管単価×0.75)															
		接合材等		1式 (管単価×0.20)															
		支持金物		1式 (管単価×0.10)															
		配管工	人	0.115	0.136	0.157	0.176	0.207	0.230	0.275	0.339	0.406	0.509	0.636	0.772	1.077	1.423	1.809	
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)															
		その他		1式															
機械室・便所配管	m	管	m	1.10								1.05							
		継手		1式 (管単価×1.10)															
		接合材等		1式 (管単価×0.30)															
		支持金物		1式 (管単価×0.10)															
		配管工	人	0.138	0.163	0.188	0.211	0.248	0.276	0.330	0.407	0.488	0.611	0.763	0.926	1.292	1.708	2.171	
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)															
		その他		1式															
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05															
		継手		1式 (管単価×0.65)															
		接合材等		1式 (管単価×0.18)															
		支持金物		1式 (管単価×0.10)															
		配管工	人	0.104	0.122	0.141	0.158	0.186	0.207	0.248	0.305	0.366	0.458	0.572	0.695	0.969	1.281	1.628	
		はつり補修		—															
		その他		1式															
地中配管	m	管	m	1.05															
		継手		1式 (管単価×0.60)															
		接合材等		1式 (管単価×0.15)															
		支持金物		—															
		配管工	人	0.081	0.095	0.110	0.123	0.145	0.161	0.193	0.237	0.284	0.356	0.445	0.540	0.754	0.996	1.266	
		はつり補修		—															
		その他		1式															

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-39

一般配管用ステンレス鋼管  
(冷温水・給水) ハウジング形管継手

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	—	60 <sup>SU</sup>	75	80	100	125	150	200	250
屋内一般配管	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式 (管単価×1.47)			1式 (管単価×1.10)		1式 (管単価×0.74)		
		接合材等		—												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人		0.106	0.133	0.173	0.256	0.302	0.368	0.485	0.653	0.787			
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
機械室・便所配管	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式 (管単価×2.32)			1式 (管単価×1.69)		1式 (管単価×1.13)		
		接合材等		—												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人		0.127	0.159	0.207	0.307	0.363	0.441	0.582	0.784	0.944			
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
		その他		1式												
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m						1.10			1.05				
		継手							1式 (管単価×1.24)			1式 (管単価×0.94)		1式 (管単価×0.63)		
		接合材等		—												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人		0.095	0.119	0.155	0.230	0.272	0.331	0.437	0.588	0.708			
		はつり補修		—												
		その他		1式												

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-40

排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（黒）

MD継手

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				—	—	—	—	40 <sup>A</sup>	50	65	80	100	125	150	200	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式（管単価×0.70）													
		接合材等		—													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人		0.145	0.172	0.214	0.239	0.306	0.361	0.457	0.666					
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式（管単価×1.00）													
		接合材等		—													
		支持金物		1式（管単価×0.15）													
		配管工	人		0.174	0.206	0.257	0.287	0.367	0.433	0.548	0.799					
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													

（注） 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-41

排水用ノントールエポキシ塗装鋼管  
ねじ接合

細目	単位	名称	単位	呼び径													
				—	—	—	32 <sup>A</sup>	40	50	65	80	100	125	150	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m		1.10												
		継手		1式 (管単価×0.45)													
		接合材等		1式 (管単価×0.05)													
		支持金物		1式 (管単価×0.15)													
		配管工	人		0.151	0.166	0.208	0.271	0.307	0.401	0.474	0.577					
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m		1.10												
		継手		1式 (管単価×0.60)													
		接合材等		1式 (管単価×0.05)													
		支持金物		1式 (管単価×0.15)													
		配管工	人		0.181	0.199	0.250	0.325	0.368	0.481	0.569	0.692					
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m		1.05												
		継手		1式 (管単価×0.30)													
		接合材等		1式 (管単価×0.05)													
		支持金物		1式 (管単価×0.15)													
		配管工	人		0.136	0.149	0.187	0.244	0.276	0.361	0.427	0.519					
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m		1.05												
		継手		1式 (管単価×0.25)													
		接合材等		1式 (管単価×0.05)													
		支持金物		—													
		配管工	人		0.106	0.116	0.146	0.190	0.215	0.281	0.332	0.404					
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-42

排水用ノントールエポキシ塗装鋼管  
MD継手

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				—	—	—	32 <sup>A</sup>	40	50	65	80	100	125	150	200	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式 (管単価×0.80)													
		接合材等		—													
		支持金物		1式 (管単価×0.15)													
		配管工	人		0.135	0.145	0.172	0.214	0.239	0.306	0.361	0.457	0.666				
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式 (管単価×1.10)													
		接合材等		—													
		支持金物		1式 (管単価×0.15)													
		配管工	人		0.162	0.174	0.206	0.257	0.287	0.367	0.433	0.548	0.799				
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-43

遠心力鉄筋コンクリート管  
(排水)

細目	単位	名称	単位	呼 び 径																
				—	—	—	—	—	—	—	—	100 <sup>A</sup>	125	150	200	250	300			
地中配管	m	管	m											1.05						
		継手		—																
		接合材等		—																
		支持金物		—																
		配管工	人												0.220	0.256	0.306	0.400	0.501	0.600
		はつり補修		—																
		その他		1式																

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-44

銅管（M）、被覆銅管、保温付被覆銅管  
（給水・給湯）

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 ( <sup>1</sup> / <sub>2</sub> B)	20 ( <sup>3</sup> / <sub>4</sub> )	25 (1)	32 (1 <sup>1</sup> / <sub>4</sub> )	40 (1 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> )	50 (2)	65 (2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> )	80 (3)	100 (4)	125 (5)	150 (6)	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.75）													
		接合材等		1式（管単価×0.10）													
		支持金物		1式（管単価×0.10）													
		配管工	人	0.059	0.082	0.105	0.129	0.152	0.200	0.247	0.293	0.388	0.482	0.576			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.90）													
		接合材等		1式（管単価×0.10）													
		支持金物		1式（管単価×0.10）													
		配管工	人	0.071	0.098	0.126	0.155	0.182	0.240	0.296	0.352	0.466	0.578	0.691			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.60）													
		接合材等		1式（管単価×0.10）													
		支持金物		1式（管単価×0.10）													
		配管工	人	0.053	0.074	0.095	0.116	0.137	0.180	0.222	0.264	0.349	0.434	0.518			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-45

水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP）

水道用硬質ポリ塩化ビニル管（VP）

（給水）

細目	単位	名称	単位	呼び径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	30	40	50	65	75	100	125	150	—	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式（管単価×0.30）													
		接合材等		1式（管単価×0.10）													
		支持金物		1式（管単価×0.25）													
		配管工	人	0.046	0.062	0.074	0.079	0.101	0.128	0.163	0.190	0.245	0.301	0.356			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式（管単価×0.55）													
		接合材等		1式（管単価×0.10）													
		支持金物		1式（管単価×0.25）													
		配管工	人	0.055	0.074	0.089	0.095	0.121	0.154	0.196	0.228	0.294	0.361	0.427			
		はつり補修		1式（労務費×0.08）													
		その他		1式													
屋外配管 （架空・暗渠内・共同溝内）	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.30）													
		接合材等		1式（管単価×0.10）													
		支持金物		1式（管単価×0.25）													
		配管工	人	0.041	0.056	0.067	0.071	0.091	0.115	0.147	0.171	0.221	0.271	0.320			
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式（管単価×0.25）													
		接合材等		1式（管単価×0.10）													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.032	0.043	0.052	0.055	0.071	0.090	0.114	0.133	0.172	0.211	0.249			
		はつり補修		—													
		その他		1式													

（注） 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-46

硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)

リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP)

(排水・通気)

細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	30	40	50	65	75	100	125	150	200	250	300
屋内一般配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式 (管単価×0.20)													
		接合材等		1式 (管単価×0.10)													
		支持金物		1式 (管単価×0.25)													
		配管工	人	0.046	0.062	0.074	0.079	0.101	0.128	0.163	0.190	0.245	0.301	0.356	0.466	0.577	0.688
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
機械室・便所配管	m	管	m	1.10													
		継手		1式 (管単価×0.50)													
		接合材等		1式 (管単価×0.10)													
		支持金物		1式 (管単価×0.25)													
		配管工	人	0.055	0.074	0.089	0.095	0.121	0.154	0.196	0.228	0.294	0.361	0.427	0.559	0.692	0.826
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)													
		その他		1式													
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05													
		継手		1式 (管単価×0.15)													
		接合材等		1式 (管単価×0.10)													
		支持金物		1式 (管単価×0.25)													
		配管工	人	0.041	0.056	0.067	0.071	0.091	0.115	0.147	0.171	0.221	0.271	0.320	0.419	0.519	0.619
		はつり補修		—													
		その他		1式													
地中配管	m	管	m	1.05													
		継手		1式 (管単価×0.15)													
		接合材等		1式 (管単価×0.10)													
		支持金物		—													
		配管工	人	0.032	0.043	0.052	0.055	0.071	0.090	0.114	0.133	0.172	0.211	0.249	0.326	0.404	0.482
		はつり補修		—													
		その他		1式													

(注) 1. リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(RF-VP)は屋内用とする。

2. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。



表M1-1-47

硬質ポリ塩化ビニル管 (VU)  
 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU)  
 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU)  
 (排水・通気)

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	40 <sup>A</sup>	50	65	75	100	125	150	200	250
地中配管	m	管	m	1.05												
		継手		1式 (管単価×0.15)												
		接合材等		1式 (管単価×0.10)												
		支持金物		—												
		配管工	人	0.071	0.090	0.114	0.133	0.172	0.211	0.249	0.326	0.404	0.482			
		はつり補修		—												
その他		1式														

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-48

耐火二層管 (FDVD)  
 (排水・通気)

細目	単位	名称	単位	呼 び 径												
				—	—	—	—	40 <sup>A</sup>	50	65	75	100	125	150	—	—
屋内一般配管	m	管	m	1.10												
		継手		1式 (管単価×0.50)												
		接合材等		1式 (管単価×0.15)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人	0.117	0.148	0.189	0.220	0.284	0.349	0.412						
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
その他		1式														
機械室・便所配管	m	管	m	1.10												
		継手		1式 (管単価×1.20)												
		接合材等		1式 (管単価×0.15)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人	0.140	0.178	0.227	0.264	0.341	0.418	0.495						
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
その他		1式														
屋外配管 (架空・暗渠内・共同溝内)	m	管	m	1.05												
		継手		1式 (管単価×0.35)												
		接合材等		1式 (管単価×0.15)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人	0.105	0.133	0.170	0.198	0.256	0.314	0.371						
		はつり補修		—												
その他		1式														

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-49

鉛管 (排水)																
細目	単位	名称	単位	呼び径												
				—	—	—	30 <sup>A</sup>	40	50	65	75	100	125	—	—	—
機械室・便所配管	m	管	m	1.05												
		継手		—												
		接合材等		1式 (管単価×0.25)												
		支持金物		1式 (管単価×0.10)												
		配管工	人	0.218	0.258	0.323	0.377	0.495	0.588	0.751						
		はつり補修		1式 (労務費×0.08)												
その他		1式														

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、はつり補修とする。

表M1-1-50

冷媒用銅管																
細目	単位	名称	単位	呼び径												
				6.35 [0.8]	9.52 [0.8]	12.70 [0.8]	15.88 [1.0]	19.05 [1.05]	22.22 [1.20]	25.40 [1.35]	28.58 [1.55]	31.75 [1.7]	34.92 [1.85]	38.10 [2.0]	44.45 [2.3]	50.80 [2.65]
屋内一般配管 屋外配管(架空)	m	管	m	1.05												
		継手、接合材等		1式 (管単価×0.40)												
		支持金物		1式 (管単価×0.40)												
		雑材料		1式 (材料費×0.15)												
		配管工	人	0.034	0.050	0.064	0.080	0.094	0.109	0.125	0.140	0.158	0.170	0.184	0.210	0.242
		その他		1式												

(注) 1. 呼び径の数字は銅管の外径(mm)を、[ ]内数字は銅管の肉厚(mm)を示す。

2. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-51

断熱材被覆銅管 (冷媒用)																	
細目	単位	名称		単位	呼び径												
					6.35 [0.8]	9.52 [0.8]	12.70 [0.8]	15.88 [1.0]	19.05 [1.05]	22.22 [1.20]	25.40 [1.35]	28.58 [1.55]	31.75 [1.7]	34.92 [1.85]	38.10 [2.0]	44.45 [2.3]	50.80 [2.65]
		断熱材	液管 ガス管		8			10									20
屋内一般配管 屋外配管(架空)	m	管		m	1.05												
		継手、接合材等			1式 (管単価×0.30)												
		支持金物			1式 (管単価×0.40)												
		保護プレート		枚	1												
		雑材料			1式 (材料費×0.15)												
		配管工		人	0.044	0.060	0.074	0.090	0.104	0.119	0.135	0.150	0.168	0.180	0.194	0.220	0.252
		その他			1式												

(注) 1. 呼び径の数字は銅管の外径(mm)を、[ ]内数字は銅管の肉厚(mm)を示す。

2. 断熱材の数字は厚み(mm)を示し、値は以上表示とする。

3. 「その他」の率対象は、配管工とする。

## 2 配管付属品

### 2-1 一般事項

- (1) 表M1-1-52～表M1-1-54の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節2に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節2の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 配管工事に用いる弁類、継手及び計器類に適用する。
- (2) 細目工種

表M1-1-52

一般弁類																	
細目	単位	名称	単位	呼び径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
弁類	個	弁類	個	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		配管工	人	0.07	0.08	0.09	0.11	0.13	0.16	0.28	0.34	0.40	0.48	0.65	0.72	0.90	1.10
		その他		1式													

(注) 1. 仕切弁、玉形弁、逆止弁、ボール弁、減圧弁、安全弁、コック、エア抜弁、吸排気弁等の弁類の配管工は上表による。

ただし、バタフライ弁は表中の配管工の歩掛りを50%、多量トラップは表中の配管工の歩掛りを200%とする。

2. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-53

伸縮管継手・フレキシブルジョイント等																	
細目	単位	名称	単位	呼び径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
伸縮管継手 (ベローズ形、複式) (スリーブ形)	個	伸縮管継手	個	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		配管工	人	0.54	0.54	0.77	0.77	0.77	1.00	1.34	1.57	2.19	3.23	3.93	4.33	5.27	5.84
		その他		1式													
ボールジョイント	個	ボールジョイント	個	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		配管工	人	0.10	0.10	0.10	0.11	0.13	0.16	0.28	0.34	0.40	0.48	0.65	0.72	0.90	1.10
		その他		1式													
防振継手 (ベローズ形) (合成ゴム製)	個	防振継手	個	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		配管工	人	0.10	0.10	0.10	0.11	0.13	0.16	0.28	0.34	0.40	0.48	0.65	0.72	0.90	1.10
		その他		1式													
フレキシブルジョイント (ベローズ形) (合成ゴム製)	個	フレキシブルジョイント	個	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
		配管工	人	0.10	0.10	0.10	0.11	0.13	0.16	0.28	0.34	0.40	0.48	0.65	0.72	0.90	1.10
		その他		1式													
蒸発タンク (高圧トラップ 装置用)	個	蒸発タンク	個								1.0	1.0	1.0	1.0			
		配管工	人								0.16	0.18	0.20	0.25			
		その他		1式													
リフト継手	個	リフト継手	組		1.0	1.0	1.0	1.0									
		配管工	人		0.16	0.16	0.16	0.20									
		その他		1式													
フレキシブルチューブ (銅又はステンレス)	本	フレキシブルチューブ	本		1.0	1.0											
		配管工	人		0.10	0.10											
		その他		1式													

(注) 1. 単式の伸縮管継手は表中の配管工の歩掛りを60%とする。

2. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-1-54

計器類					
細目	単位	名称	単位	数量	備考
圧力計 (水用)	組	圧力計	個	1.0	メートルロック(10φ)共
		配管工	人	0.23	
		その他		1式	
圧力計 (蒸気用)	組	圧力計	個	1.0	メートルロック(10φ)共 サイホン管(10φ)共
		配管工	人	0.23	
		その他		1式	
連成計	組	連成計	個	1.0	メートルロック(10φ)共 蒸気用はサイホン管(10φ)付
		配管工	人	0.23	
		その他		1式	
温度計	個	温度計	個	1.0	
		配管工	人	0.23	
		その他		1式	
フロートスイッチ (オイルサービスタンク用)	個	フロートスイッチ	個	1.0	
		配管工	人	1.00	
		その他		1式	
地震感知装置 (配管配線工事別途)	組	感知装置(付属品付)	個	1.0	
		配管工	人	0.40	
		その他		1式	
煤煙濃度計 (配管配線工事別途)	組	煤煙濃度計(付属品付)	個	1.0	
		配管工	人	0.70	
		その他		1式	
瞬間流量計	個	瞬間流量計	個	1.0	
		配管工	人	0.23	
		その他		1式	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

### 3 保温工事

#### 3-1 一般事項

- (1) 表M1-1-55～表M1-1-59の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表M1-1-60、表M1-1-61の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節3に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節3の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 3-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 排気筒、機器類及び弁類の保温工事に適用する。
- (2) 細目工種

(ダクト類)

表M1-1-55

ロックウール

区分	施工箇所	細目	保温厚 mm	単位	材 料			雑 材 料	保 温 工 人	運 搬 費	そ の 他
					ロックウール保温帯 m <sup>2</sup>	アルミガラスクロス m <sup>2</sup>	きつ甲金網(鉄) m <sup>2</sup>				
					排気筒	屋内隠ぺい	ロックウール		50		

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、雑材料、保温工、運搬費とする。

## (機器類)

表M1-1-56

## ロックウール、グラスウール

区 分	細 目	保 温 厚 度 mm	材 料					雑 材 料	保 温 工 人	ダ ク ト 工				運 搬 費	そ の 他	
			鋳		保 温 板 m <sup>2</sup>	ロ ッ ク ウ ー ル ブ ラ ン ケ ッ ト m <sup>2</sup>	ポ リ エ チ レ ン フ ィ ル ム 1.35m幅 m <sup>2</sup>			外 装 材 m <sup>2</sup>	亜 鉛 鉄 板 0.4mm 人	カ ラ ー 亜 鉛 鉄 板 0.35mm 人	溶 融 ア ル ミ ニ ウ ム - 亜 鉛 鉄 板 0.35mm 人			ス テ ン レ ス 鋼 板 0.3mm 人
			38L 本	65L 本												
			単 位	材 料	材 料	材 料	材 料			材 料	材 料	材 料	材 料			材 料
煙 道		75	m <sup>2</sup>	—	—	—	1.35	—	1.75	1 式 (材料費× 0.1)	0.23	0.32	0.34	0.34	0.58	1 式 (材料費+雑材料費) × 0.03
冷 水 タ ン ク 冷 温 水 タ ン ク		50	m <sup>2</sup>	—	15	1.3	—	3.14	1.9		0.16	0.36	0.38	0.38	0.64	
冷 水 ヘ ッ ダ ー 冷 温 水 ヘ ッ ダ ー	ロ ッ ク ウ ー ル	50	m <sup>2</sup>	—	15	1.3	—	3.14	2.5		0.30	0.92	0.96	0.96	1.66	
温 水 タ ン ク 温 水 タ ン ク		50	m <sup>2</sup>	—	15	1.3	—	—	1.9		0.15	0.36	0.38	0.38	0.64	
温 水 ヘ ッ ダ ー 温 蒸 気 ヘ ッ ダ ー 熱 交 換 器		50	m <sup>2</sup>	—	15	1.3	—	—	2.5		0.29	0.92	0.96	0.96	1.66	
膨 張 タ ン ク		25	m <sup>2</sup>	15	—	1.3	—	—	1.9		0.15	0.36	0.38	0.38	0.64	
冷 水 タ ン ク 冷 温 水 タ ン ク		50	m <sup>2</sup>	—	15	1.3	—	3.14	1.9	1 式 (材料費× 0.1)	0.14	0.36	0.38	0.38	0.64	1 式 (材料費+雑材料費) × 0.03
冷 水 ヘ ッ ダ ー 冷 温 水 ヘ ッ ダ ー	グ ラ ス ウ ー ル	50	m <sup>2</sup>	—	15	1.3	—	3.14	2.5		0.27	0.92	0.96	0.96	1.66	
温 水 タ ン ク 温 水 タ ン ク		50	m <sup>2</sup>	—	15	1.3	—	—	1.9		0.13	0.36	0.38	0.38	0.64	
温 水 ヘ ッ ダ ー 温 蒸 気 ヘ ッ ダ ー 熱 交 換 器		50	m <sup>2</sup>	—	15	1.3	—	—	2.5		0.26	0.92	0.96	0.96	1.66	
膨 張 タ ン ク		25	m <sup>2</sup>	15	—	1.3	—	—	1.9		0.13	0.36	0.38	0.38	0.64	

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、雑材料、保温工、ダクト工、運搬費とする。



(弁類)

表M1-1-57

## ポリスチレンフォーム

区分	保温種別	単位	名称	単位	呼 び 径								
					65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250	300	
	ポリスチレン フォーム 屋内露出	個	材 料	ポリスチレン フォームカバー	個	(30厚) 1	1	(40厚) 1	1	1	1	(50厚) 1	1
				粘着テープ	m	1.94	2.08	2.35	2.64	2.91	3.47	4.04	4.61
				カラー亜鉛鉄板	m <sup>2</sup>	(0.27mm) 1.11	1.28	1.56	1.87	2.17	(0.35mm) 2.78	3.63	4.54
				保温工	人	0.143	0.155	0.200	0.218	0.238	0.266	0.333	0.400
				ダクト工	人	0.597	0.672	0.746	0.822	0.896	1.045	1.194	1.493
				雑材料		1式 (材料費×0.05)							
				運搬費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)							
				その他		1式							
給	ポリスチレン フォーム 屋外露出	個	材 料	ポリスチレン フォームカバー	個	(30厚) 1	1	(40厚) 1	1	1	1	(50厚) 1	1
				粘着テープ	m	1.94	2.08	2.35	2.64	2.91	3.47	4.04	4.61
				ポリエチレンフィルム	m <sup>2</sup>	1.02	1.18	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48
				ステンレス鋼板	m <sup>2</sup>	(0.2mm) 1.11	1.28	1.56	1.87	2.17	2.78	3.63	4.54
				保温工	人	0.223	0.240	0.310	0.338	0.368	0.405	0.574	0.607
				ダクト工	人	0.846	0.944	1.058	1.172	1.270	1.482	1.694	2.118
				雑材料		1式 (材料費×0.05)							
				運搬費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)							
	その他		1式										
水	ポリスチレン フォーム 天井内、PS内	個	材 料	ポリスチレン フォームカバー	個	(30厚) 1	1	(40厚) 1	1	1	1	(50厚) 1	1
				粘着テープ	m	1.94	2.08	2.35	2.64	2.91	3.47	4.04	4.61
				アルミガラスクロス	m <sup>2</sup>	1.08	1.22	1.51	1.82	2.12	2.75	3.58	4.51
				保温工	人	0.222	0.239	0.308	0.335	0.367	0.388	0.512	0.612
				雑材料		1式 (材料費×0.05)							
				運搬費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)							
				その他		1式							
						1式							
	ポリスチレン フォーム 暗渠内 (ピット内を含む。)	個	材 料	ポリスチレン フォームカバー	個	(30厚) 1	1	(40厚) 1	1	1	1	(50厚) 1	1
				粘着テープ	m	1.94	2.08	2.35	2.64	2.91	3.47	4.04	4.61
				ポリエチレンフィルム	m <sup>2</sup>	1.02	1.18	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48
				着色アルミガラスクロス	m <sup>2</sup>	1.08	1.22	1.51	1.82	2.12	2.75	3.58	4.51
				保温工	人	0.302	0.324	0.418	0.455	0.497	0.527	0.753	0.819
				雑材料		1式 (材料費×0.05)							
				運搬費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)							
				その他		1式							

(注) 1. バタフライ弁に適用する場合は、表中の保温工、ダクト工の歩掛りを50%とする。

2. 「その他」の率対象は、材料、保温工、ダクト工、雑材料、運搬費とする。

表M1-1-58

## ロックウール

区分	保温種別	単位	名称	単位	呼 び 径								
					65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250	300	
	ロックウール	材 料	ロックウール保温帯	m <sup>2</sup>	(25厚) 0.20	0.28	0.37	0.54	0.73	1.08	1.86	2.90	
			ロックウール保温板	m <sup>2</sup>	(40厚) 0.52	0.64	0.78	0.99	1.20	1.37	(50厚) 2.29	3.23	
			ポリエチレンフィルム	m <sup>2</sup>	1.09	1.26	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48	
			カラー亜鉛鉄板	m <sup>2</sup>	(0.27mm) 1.19	1.37	1.56	1.87	2.17	(0.35mm) 2.78	3.63	4.54	
	屋内露出	個	保 温 工	人	0.183	0.196	0.253	0.276	0.300	0.336	0.421	0.506	
	ダ ク ト 工	人	0.597	0.672	0.746	0.822	0.896	1.045	1.194	1.493			
	雑 材 料		1式 (材料費×0.05)										
	運 搬 費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)										
	そ の 他		1式										
	冷 水 ・ 冷	ロックウール	材 料	ロックウール保温帯	m <sup>2</sup>	(25厚) 0.20	0.28	0.37	0.54	0.73	1.08	1.86	2.90
ロックウール保温板				m <sup>2</sup>	(40厚) 0.52	0.64	0.78	0.99	1.20	1.37	(50厚) 2.29	3.23	
ポリエチレンフィルム				m <sup>2</sup>	1.09	1.26	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48	
ステンレス鋼板				m <sup>2</sup>	(0.2mm) 1.19	1.37	1.56	1.87	2.17	2.78	3.63	4.54	
屋外露出		個	保 温 工	人	0.183	0.196	0.253	0.276	0.300	0.336	0.421	0.506	
ダ ク ト 工		人	0.846	0.944	1.058	1.172	1.270	1.482	1.694	2.118			
雑 材 料			1式 (材料費×0.05)										
運 搬 費			1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)										
そ の 他			1式										
温 水		ロックウール	材 料	ロックウール保温帯	m <sup>2</sup>	(25厚) 0.20	0.28	0.37	0.54	0.73	1.08	1.86	2.90
	ロックウール保温板			m <sup>2</sup>	(40厚) 0.52	0.64	0.78	0.99	1.20	1.37	(50厚) 2.29	3.23	
	ポリエチレンフィルム			m <sup>2</sup>	1.09	1.26	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48	
	アルミガラスクロス			m <sup>2</sup>	1.15	1.30	1.51	1.82	2.12	2.75	3.58	4.51	
	天井内、PS内	個	保 温 工	人	0.251	0.270	0.348	0.380	0.414	0.444	0.579	0.696	
	雑 材 料		1式 (材料費×0.05)										
	運 搬 費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)										
	そ の 他		1式										
	暗 渠 内 (ピット内を含む。)	ロックウール	材 料	ロックウール保温帯	m <sup>2</sup>	(25厚) 0.20	0.28	0.37	0.54	0.73	1.08	1.86	2.90
				ロックウール保温板	m <sup>2</sup>	(40厚) 0.52	0.64	0.78	0.99	1.20	1.37	(50厚) 2.29	3.23
ポリエチレンフィルム				m <sup>2</sup>	1.09	1.26	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48	
着色アルミガラスクロス				m <sup>2</sup>	1.15	1.30	1.51	1.82	2.12	2.75	3.58	4.51	
暗渠内		個	保 温 工	人	0.322	0.346	0.445	0.486	0.529	0.568	0.741	0.890	
雑 材 料			1式 (材料費×0.05)										
運 搬 費			1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)										
そ の 他			1式										

(注) 1. バタフライ弁に適用する場合は、表中の保温工、ダクト工の歩掛りを50%とする。

2. 「その他」の率対象は、材料、保温工、ダクト工、雑材料、運搬費とする。

表M1-1-59

## グラスウール

区分	保温種別	単位	名称	単位	呼 び 径								
					65 <sup>A</sup>	80	100	125	150	200	250	300	
屋内露出	グラスウール	個	材料	グラスウール保温帯	m <sup>2</sup>	(25厚) 0.20	0.28	0.37	0.54	0.73	1.08	1.86	2.90
				グラスウール保温板	m <sup>2</sup>	(40厚) 0.52	0.64	0.78	0.99	1.20	1.37	2.29	(50厚) 3.23
				ポリエチレンフィルム	m <sup>2</sup>	1.09	1.26	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48
				カラー亜鉛鉄板	m <sup>2</sup>	(0.27mm) 1.19	1.37	1.56	1.87	2.17	(0.35mm) 2.78	3.63	4.54
	保温工	人	0.165	0.175	0.228	0.249	0.270	0.303	0.379	0.456			
	ダクト工	人	0.597	0.672	0.746	0.822	0.896	1.045	1.194	1.493			
	雑材料		1式 (材料費×0.05)										
	運搬費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)										
	その他		1式										
	屋外露出	グラスウール	個	材料	グラスウール保温帯	m <sup>2</sup>	(25厚) 0.20	0.28	0.37	0.54	0.73	1.08	1.86
グラスウール保温板					m <sup>2</sup>	(40厚) 0.52	0.64	0.78	0.99	1.20	1.37	2.29	(50厚) 3.23
ポリエチレンフィルム					m <sup>2</sup>	1.09	1.26	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48
ステンレス鋼板					m <sup>2</sup>	(0.2mm) 1.19	1.37	1.56	1.87	2.17	2.78	3.63	4.54
保温工		人	0.165	0.175	0.228	0.249	0.270	0.303	0.379	0.456			
ダクト工		人	0.846	0.944	1.058	1.172	1.270	1.482	1.694	2.118			
雑材料			1式 (材料費×0.05)										
運搬費			1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)										
その他			1式										
天井内、PS内		グラスウール	個	材料	グラスウール保温帯	m <sup>2</sup>	(25厚) 0.20	0.28	0.37	0.54	0.73	1.08	1.86
	グラスウール保温板				m <sup>2</sup>	(40厚) 0.52	0.64	0.78	0.99	1.20	1.37	2.29	(50厚) 3.23
	ポリエチレンフィルム				m <sup>2</sup>	1.09	1.26	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48
	アルミガラスクロス				m <sup>2</sup>	1.15	1.30	1.51	1.82	2.12	2.75	3.58	4.51
	保温工	人	0.226	0.243	0.313	0.342	0.373	0.400	0.522	0.627			
	雑材料		1式 (材料費×0.05)										
	運搬費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)										
	その他		1式										
暗渠内 (ピット内を含む。)	グラスウール	個	材料	グラスウール保温帯	m <sup>2</sup>	(25厚) 0.20	0.28	0.37	0.54	0.73	1.08	1.86	2.90
				グラスウール保温板	m <sup>2</sup>	(40厚) 0.52	0.64	0.78	0.99	1.20	1.37	2.29	(50厚) 3.23
				ポリエチレンフィルム	m <sup>2</sup>	1.09	1.26	1.46	1.78	2.06	2.69	3.53	4.48
				着色アルミガラスクロス	m <sup>2</sup>	1.15	1.30	1.51	1.82	2.12	2.75	3.58	4.51
	保温工	人	0.291	0.311	0.401	0.437	0.477	0.511	0.667	0.802			
	雑材料		1式 (材料費×0.05)										
	運搬費		1式 ((材料費+雑材料費)×0.03)										
	その他		1式										

(注) 1. バタフライ弁に適用する場合は、表中の保温工、ダクト工の歩掛りを50%とする。

2. 「その他」の率対象は、材料、保温工、ダクト工、雑材料、運搬費とする。

### 3-3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 配管に用いる保温（グラスウール）に適用する。
- ロ. ダクトに用いる保温及び消音内貼に適用する。
- ハ. スパイラルダクト及び排煙円形ダクトの適用範囲は100～350φとする。
- ニ. 対象配管がステンレス鋼鋼管及び銅管の場合については、本歩掛りの呼び径適用は表M1-1-62による。

#### (2) 細目工種

表M1-1-60

配管に用いる保温（グラスウール）			
細目	摘要	単位	備考
給水管、排水管、給湯管及び温水管	屋内露出、機械室・書庫・倉庫、天井内・パイプシャフト、暗渠内、屋外露出・浴室など	m	塗装工事は別途
冷水・冷温水管	屋内露出、機械室・書庫・倉庫、天井内・パイプシャフト、暗渠内、屋外露出・浴室など	m	
蒸気管	屋内露出、機械室・書庫・倉庫、天井内・パイプシャフト、暗渠内、屋外露出・浴室など	m	塗装工事は別途

表M1-1-61

ダクトに用いる保温及び消音内貼			
細目	摘要	単位	備考
一般ダクト	長方形ダクト	屋内露出、機械室・書庫・倉庫、屋内隠ぺい・ダクトシャフト内、屋外露出	m <sup>2</sup>
	スパイラルダクト	屋内露出、機械室・書庫・倉庫、屋内隠ぺい・ダクトシャフト内、屋外露出(100～350φ)	m
消音内貼		サブライチャンバー、消音チャンバー、消音エルボ	m <sup>2</sup>
排煙ダクト	長方形ダクト	屋内隠ぺい	m <sup>2</sup>
	円形ダクト	屋内隠ぺい(100～350φ)	m

表M1-1-62

呼び径適用														
鋼管	呼び径													
	15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
ステンレス鋼鋼管	20 <sup>SU</sup>	25	30	40	50	60	75	80	100	125	150	200	250	300
銅管	20 <sup>CU</sup>	25	32	40	-	50	65	80	100	125	150	-	-	-

## 4 塗装及び防錆工事

### 4-1 一般事項

- (1) 表M1-1-63～表M1-1-67の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節4に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節4の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 4-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 配管、ダクト及び機器の塗装及び防錆に適用する。
- (2) 細目工種

表M1-1-63

配管類 (1/2)

区分	塗装種別	単位	名称	回数	単位	呼 び 径															
						15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300		
配管用炭素鋼鋼管 (黒管)	露 出	m	材料	さび止めペイント	2	kg	0.023	0.029	0.036	0.046	0.052	0.065	0.082	0.095	0.122	0.149	0.177	0.231	0.286	0.340	
			材料	アルミニウムペイント	2	kg	0.014	0.017	0.021	0.027	0.031	0.038	0.048	0.056	0.072	0.087	0.104	0.136	0.168	0.200	
				塗装工	—	人	0.027	0.028	0.030	0.033	0.034	0.037	0.042	0.045	0.052	0.059	0.066	0.079	0.093	0.107	
				その他	—		1式														
	保温される裸管 隠ぺい	m	材料	さび止めペイント	2	kg	0.023	0.029	0.036	0.046	0.052	0.065	0.082	0.095	0.122	0.149	0.177	0.231	0.286	0.340	
				塗装工	—	人	0.015	0.016	0.017	0.018	0.019	0.021	0.023	0.025	0.029	0.033	0.036	0.044	0.051	0.059	
				その他	—		1式														
	露 出 (VA,PA)	m	材料	調合ペイント	2	kg	0.019	0.024	0.030	0.038	0.043	0.053	0.067	0.078	0.101	0.122	0.145	0.190	0.235	0.280	
				塗装工	—	人	0.015	0.016	0.017	0.018	0.019	0.021	0.023	0.025	0.029	0.033	0.036	0.044	0.051	0.059	
				その他	—		1式														
	配管用炭素鋼鋼管 (白管・裸)	露 出	m	材料	エッチングプライマー	1	kg	0.004	0.005	0.007	0.008	0.009	0.012	0.015	0.017	0.022	0.027	0.031	0.041	0.051	0.060
					さび止めペイント	1	kg	0.014	0.017	0.018	0.021	0.027	0.031	0.038	0.048	0.064	0.072	0.088	0.104	0.168	0.200
調合ペイント					2	kg	0.019	0.024	0.030	0.038	0.043	0.053	0.067	0.078	0.101	0.122	0.145	0.190	0.235	0.280	
					塗装工	—	人	0.027	0.028	0.030	0.033	0.034	0.037	0.042	0.045	0.052	0.059	0.066	0.079	0.093	0.107
					その他	—		1式													

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、塗装工とする。

配管類 (2/2)

区分	塗装種別	単位	名称	回数	単位	呼 び 径														
						15A	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
保温外装 (亜鉛鉄板)	露出 (保温厚20mm)	m	材料	エッチングプライマー	1	kg	0.013	0.014	0.016	0.018	0.019	0.021	0.024	0.026	0.031	0.036	0.041			
				さび止めペイント	1	kg	0.045	0.048	0.052	0.058	0.062	0.070	0.079	0.087	0.104	0.120	0.136			
				調合ペイント	2	kg	0.062	0.067	0.073	0.081	0.087	0.098	0.110	0.122	0.145	0.168	0.190			
			塗装工	—	人	0.032	0.033	0.035	0.038	0.040	0.043	0.047	0.051	0.058	0.066	0.073				
			その他	—		1式														
	露出 (保温厚25mm)	m	材料	エッチングプライマー	1	kg	0.015	0.016	0.018	0.019	0.021	0.023	0.026	0.029	0.033	0.038	0.043			
				さび止めペイント	1	kg	0.051	0.054	0.058	0.065	0.068	0.076	0.085	0.095	0.110	0.126	0.142			
				調合ペイント	2	kg	0.071	0.076	0.082	0.090	0.096	0.106	0.120	0.130	0.154	0.177	0.199			
			塗装工	—	人	0.035	0.036	0.038	0.041	0.043	0.046	0.050	0.054	0.061	0.069	0.076				
			その他	—		1式														
	露出 (保温厚30mm)	m	材料	エッチングプライマー	1	kg	0.017	0.018	0.019	0.021	0.022	0.025	0.028	0.030	0.035	0.040	0.045	0.054	0.064	0.074
				さび止めペイント	1	kg	0.057	0.060	0.065	0.071	0.075	0.082	0.092	0.100	0.116	0.133	0.148	0.180	0.212	0.245
				調合ペイント	2	kg	0.080	0.084	0.090	0.099	0.105	0.115	0.128	0.140	0.163	0.186	0.208	0.252	0.297	0.343
			塗装工	—	人	0.038	0.039	0.041	0.044	0.045	0.049	0.053	0.057	0.064	0.071	0.079	0.093	0.108	0.123	
			その他	—		1式														
	露出 (保温厚40mm)	m	材料	エッチングプライマー	1	kg				0.023	0.026	0.028	0.031	0.034	0.039	0.044	0.048	0.058	0.067	0.077
				さび止めペイント	1	kg				0.076	0.087	0.095	0.104	0.112	0.129	0.145	0.161	0.193	0.225	0.258
				調合ペイント	2	kg				0.107	0.122	0.133	0.146	0.157	0.180	0.203	0.225	0.270	0.315	0.361
			塗装工	—	人				0.049	0.051	0.055	0.059	0.063	0.070	0.077	0.084	0.099	0.113	0.128	
			その他	—		1式														
露出 (保温厚50mm)	m	材料	エッチングプライマー	1	kg											0.061	0.071	0.081		
			さび止めペイント	1	kg												0.203	0.237	0.270	
			調合ペイント	2	kg												0.285	0.332	0.378	
		塗装工	—	人												0.102	0.119	0.134		
		その他	—		1式															

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、塗装工とする。

表M1-1-64

機器・その他

区 分	塗装種別	単位	名 称	回数	単位	所要量	備 考
鑄鉄製放熱器	露出	m <sup>2</sup>	材料 さび止めペイント	2	kg	0.39	
			アルミニウムペイント	2	kg	0.22	
			塗 装 工	—	人	0.14	
			そ の 他	—		1式	
支持金物及び架台類	露出	m <sup>2</sup>	材料 さび止めペイント	2	kg	0.34	調合ペイントの場合は 0.28kg
			アルミニウムペイント	2	kg	0.22	
			塗 装 工	—	人	0.18	
			そ の 他	—		1式	
	隠ぺい	m <sup>2</sup>	材料 さび止めペイント	2	kg	0.34	
			塗 装 工	—	人	0.09	
鋼板製水槽	外面	m <sup>2</sup>	材料 調合ペイント	2	kg	0.28	さび止め塗装分が水槽 の価格に含まれている 場合
			塗 装 工	—	人	0.072	
			そ の 他	—		1式	
制御盤、ボイラー、湯沸器、温風 暖房機、冷凍機、空調機、冷却 塔、吹出口等の機器			ラッカー焼付け	—	—	—	各機器の価格に塗装分も 含まれているので、別に 計上する必要はない。
			メラミン焼付け	—	—	—	
			ラッカーエナメル	—	—	—	
鋼板製煙道	断熱なし	m <sup>2</sup>	材料 耐熱さび止めペイント	2	kg	0.30	
			耐熱塗料	2	kg	0.16	
			塗 装 工	—	人	0.16	
			そ の 他	—		1式	
	断熱あり	m <sup>2</sup>	材料 耐熱さび止めペイント	2	kg	0.30	
			塗 装 工	—	人	0.08	
			そ の 他	—		1式	

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、塗装工とする。

表M1-1-65

ダクト

区 分	塗装種別	単位	名 称	回数	単位	所要量	備 考
亜鉛鉄板製ダクト	露出	m <sup>2</sup>	材料 エッチングプライマー	1	kg	0.06	
			さび止めペイント	1	kg	0.20	
			調 合 ペ イ ン ト	2	kg	0.28	
			塗 装 工	—	人	0.077	
			そ の 他	—		1式	
保温外装(亜鉛鉄板)	露出	m <sup>2</sup>	同 上			同上	
亜鉛鉄板製ダクト	内面	m <sup>2</sup>	材料 調合ペイント(黒つやけし)	2	kg	0.28	室内外より見える範囲 の塗装
			塗 装 工	—	人	0.069	
			そ の 他	—		1式	
鋼板製ダクト	露出	m <sup>2</sup>	材料 さび止めペイント	4	kg	0.68	さび止めペイントは、内 面2回、外面2回
			調 合 ペ イ ン ト	2	kg	0.28	
			塗 装 工	—	人	0.090	
			そ の 他	—		1式	
	隠ぺい	m <sup>2</sup>	材料 さび止めペイント	4	kg	0.68	
			塗 装 工	—	人	0.077	
			そ の 他	—		1式	

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、塗装工とする。

表M1-1-66

文字標識等

建物延べ面積(m <sup>2</sup> )		500	1,000	2,000	3,000	5,000	7,500	10,000	15,000	20,000	30,000	50,000	
衛生	塗装工	人	—	0.84	1.28	1.65	2.25	2.89	3.45	4.43	5.29	6.78	9.29
	その他												1式
空調	塗装工	人	3.13	4.81	7.38	9.48	13.00	16.70	19.94	25.62	30.61	39.32	53.90
	その他												1式

(注) 1. 「その他」の率対象は、塗装工とする。



表M1-1-67

防錆工事

区分	塗装種別	単位	名称	単位	呼 び 径														
					15A	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
鉛管	プラスチックテープ 1/2重ね1回巻き (コンクリート内)	m	材料	プラスチックテープ	(25幅)			(50幅)			(75幅)								
					6.5	8.2	10.2	6.4	7.3	9.1	7.7	9.0	11.5	14.0	16.6	21.7	26.9	32.0	
			配管工	人	0.006	0.006	0.007	0.007	0.008	0.009	0.011	0.013	0.016	0.020	0.024	0.031	0.038	0.045	
			雑材料		1式(材料費×0.05)														
			運搬費		1式((材料費+雑材料費)×0.03)														
	その他		1式																
鋼管	ペトロラタム系 防食テープ 各1/2重ね1回巻き (地中埋設)	m	材料	ペトロラタム系防食テープ	(50幅)					(100幅)				(150幅)		(200幅)			
					3.1	3.9	4.8	6.1	6.9	4.3	5.4	6.2	8.0	6.5	7.7	7.5	9.3	11.0	
			材料	プラスチックテープ	(50幅)					(100幅)				(150幅)		(200幅)			
					3.3	4.1	5.0	6.2	7.0	4.3	5.4	6.3	8.1	7.0	7.7	7.5	9.3	11.8	
			配管工	人	0.043	0.043	0.043	0.044	0.044	0.057	0.058	0.058	0.070	0.072	0.084	0.098	0.112	0.140	
			雑材料		1式(材料費×0.05)														
			運搬費		1式((材料費+雑材料費)×0.03)														
	その他		1式																
管	ブチル系防食テープ 1/2重ね2回巻き (地中埋設)	m	材料	ブチル系防食テープ	(50幅)					(100幅)				(150幅)		(200幅)			
					6.3	7.8	9.7	12.1	13.8	8.5	10.7	12.5	16.0	13.0	15.3	15.0	18.6	22.1	
			配管工	人	0.059	0.059	0.059	0.059	0.059	0.077	0.077	0.077	0.086	0.086	0.096	0.107	0.118	0.152	
			雑材料		1式(材料費×0.05)														
			運搬費		1式((材料費+雑材料費)×0.03)														
	その他		1式																

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、配管工、雑材料、運搬費とする。

## 5 機器搬入

### 5-1 一般事項

- (1) 表M1-1-68の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節5に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節5の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 5-2 標準歩掛り

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 機器搬入費は、機器を現場敷地内の仮置場から設置場所まで運び入れ、基礎上に仮据付けを行うまでの費用であり、単独の機器の質量が100kg以上の機器搬入に適用する。

#### (2) 細目工種

表M1-1-68

機器搬入費						
細目	単位	機械器具	規格寸法等	単位	所要量	備考
機 器 搬 入 費	t	揚重機賃料	16 t	台	0.347	
		油圧ジャッキ損料	20 t	台	1.736	
		コロ材料単価	SGP100A×2m	m	$8.119 \times 10^{-3}$	
		道板材料単価	松 4 m×3.6 cm×15 cm	m <sup>3</sup>	$0.198 \times 10^{-3}$	
		労務費	とび工	人	1.33	
		運搬費	トラック普通用2t積 (油圧ジャッキ、コロ、道板等)	台	0.0175	
		その他			1式	

- (注) 1. 搬入費は、質量、容積及び同時搬入の有無により表 M1-1-69の補正を行う。  
 2. 揚重機はトラッククレーン又はラフテレーンクレーンとする。  
 3. 「その他」の率対象は、とび工とする。

表M1-1-69

補正率			
	質量又は容積	質量	補正率
重 量 品	600 kg/m <sup>3</sup> 以上	250 kg 以下	1.30
		500 kg 以下	1.20
		800 kg 以下	1.10
		1,000 kg 以下	1.00
		3,000 kg 以下	0.85
		5,000 kg 以下	0.75
		7,000 kg 以下	0.70
		10,000 kg 以下	0.60
		15,000 kg 以下	0.50
容 積 品	600 kg/m <sup>3</sup> 未満	600 kg/m <sup>3</sup> 未満	1.00
		500 kg/m <sup>3</sup> 未満	1.20
		400 kg/m <sup>3</sup> 未満	1.40
		300 kg/m <sup>3</sup> 未満	1.70
		200 kg/m <sup>3</sup> 未満	2.00
		100 kg/m <sup>3</sup> 未満	2.50

- (注) 1. 単独搬入の場合は、補正率を30%増しする。

## 6 総合調整

### 6-1 一般事項

- (1) 表M1-1-70の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節6に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節6の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 6-2 標準歩掛り

(1) 適用条件及び留意事項

- イ. 空気調和設備、換気設備及び排煙設備における、工事全体の総合調整に適用する。なお、主要機器の試運転調整は、それぞれの労務費又は機器の価格に含まれる。

(2) 細目工種

表M1-1-70

総合調整									
細目	名称	摘 要		単位	配管工	ダクト工	設備機械工	その他	備 考
					人	人	人		
総	配管系統	配管、弁類等の調整		m	0.018	—	—	1式	配管総延長 ただし、衛生設備配管、直暖用蒸気管、通気管、油管、冷媒管等は除く。
	ダクト系統 (空調・換気・排煙)	風量調整ダンパー、防火ダンパー等の調整、風量、風速、騒音等の測定、必要箇所の温湿度の測定等		m <sup>2</sup>	—	0.02	—	1式	長方形ダクト
m				—	0.012	—	1式	スパイラルダクト	
調	主機械室内機器	ボイラー、冷凍機等の点検、調整、計器測定記録、その他	建物延面積 5,000m <sup>2</sup> 以下	1式	—	—	8.0 (4.0)	1式	温風暖房のみの場合は、( )内数値による。
			5,001～ 15,000m <sup>2</sup>	1式	—	—	12.0 (6.0)	1式	
			15,001～ 30,000m <sup>2</sup>	1式	—	—	16.0 (8.0)	1式	
費	各室内機械	ユニット形空気調和機 コンパクト形空気調和機		台	—	—	1.2	1式	
	フルユニット	調整		台	—	—	0.08	1式	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工、ダクト工、設備機械工とする。

## 7 土工事

### 7-1 一般事項

- (1) 表M1-1-71の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節7に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節7の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 7-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
- イ. 建物周囲における地中配管・樹類及び機器用基礎の土工事に適用する。
- ロ. 根切り及び埋戻しにおけるバックホウの適用等は、建築工事の当該事項による。

- (2) 細目工種

表M1-1-71

土工事							
細目	単位	摘要	名称	単位	所要量		
根切り	m <sup>3</sup>	人力	普通作業員	人	0.39		
			その他		1式		
			バックホウ運転	日	0.05		
		機械 バックホウ 0.13 m <sup>3</sup>	普通作業員	人	0.03		
			その他		1式		
			バックホウ運転	日	0.025		
		機械 バックホウ 0.28 m <sup>3</sup>	普通作業員	人	0.03		
			その他		1式		
			バックホウ運転	日	0.017		
		機械 バックホウ 0.45 m <sup>3</sup>	普通作業員	人	0.015		
			その他		1式		
			バックホウ運転	日	0.015		
埋戻し	m <sup>3</sup>	人力	タンパ運転	日	0.031		
			普通作業員	人	0.26		
			その他		1式		
		機械 バックホウ 0.13 m <sup>3</sup>	バックホウ運転	日	0.033		
			タンパ運転	日	0.031		
			普通作業員	人	0.07		
			その他		1式		
		機械 バックホウ 0.28 m <sup>3</sup>	バックホウ運転	日	0.02		
			タンパ運転	日	0.031		
			普通作業員	人	0.07		
			その他		1式		
		機械 バックホウ 0.45 m <sup>3</sup>	バックホウ運転	日	0.011		
			タンパ運転	日	0.031		
			普通作業員	人	0.046		
			その他		1式		
		建設発生土処理	m <sup>3</sup>	人力(場内敷均し)	普通作業員	人	0.23
					その他		1式
		砂利地業	m <sup>3</sup>		砂利	m <sup>3</sup>	1.1
普通作業員	人				0.2		
その他					1式		

- (注) 1. 砂利は切込砂利、切込砕石又は再生クラッシュランとする。
2. 根切り、埋戻し、建設発生土処理の「その他」の率は、表3-1-1建築工事の「土工」による。
3. 砂利地業の「その他」の率は、表3-1-1建築工事の「地業」による。
4. 「その他」の率対象は、普通作業員とする。

## 8 コンクリート工事・その他

### 8-1 一般事項

- (1) 表M1-1-72、表M1-1-73の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節8に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節8の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 8-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 樹類及び機器用基礎のコンクリート工事及び土工機械運転に適用する。
- (2) 細目工種

表M1-1-72

コンクリート工事					
細目	単位	摘要	名称	単位	所要量
コンクリート	m <sup>3</sup>	手練り (無筋コンクリート、 スランプ18)	セメント	kg	274
			砂(2.5mm以下)	m <sup>3</sup>	0.604
			砂利(25mm洗い)	m <sup>3</sup>	0.641
			特殊作業員	人	0.95
			普通作業員	人	0.25
			その他		1式
		生コン人力打設	コンクリート	m <sup>3</sup>	1.0
			特殊作業員	人	0.65
			器材費		1式
			その他		1式
鉄筋	kg	鉄筋 (D10、D13)	鉄筋	kg	1.04
			結束線	kg	0.006
			鉄筋工	人	0.0045
			普通作業員	人	0.0009
			その他		1式
モルタル	m <sup>2</sup>	モルタル (厚さ15mm) 1:3	セメント	kg	7.5
			砂(細目)	m <sup>3</sup>	0.019
			左官	人	0.052
			普通作業員	人	0.023
			その他		1式
	防水モルタル (厚さ15mm) 1:2	セメント	kg	10.0	
		砂(細目)	m <sup>3</sup>	0.017	
		防水剤	kg	0.18	
		左官	人	0.052	
		普通作業員	人	0.023	
		その他		1式	
	m <sup>3</sup>	インバート用モルタル 1:2	セメント	kg	670
			砂(細目)	m <sup>3</sup>	1.11
			普通作業員	人	1.20
			その他		1式
型枠	m <sup>2</sup>	一般用	合板(厚さ12mm)	m <sup>2</sup>	1.25
			さん材	m <sup>3</sup>	0.007
			角材	m <sup>3</sup>	0.02
			鉄線	kg	0.09
			くぎ金物	kg	0.04
			はく離材	L	0.02
			型わく工	人	0.15
			普通作業員	人	0.07
			その他		1式

- (注) 1. 桷類用型枠の合板、さん材及び角材の損料率は50%とする。  
2. 生コン人力打設の器材費はコンクリート単価の1%とする。  
3. コンクリートの「その他」の率は、表3-1-1建築工事の「コンクリート」による。  
4. 鉄筋の「その他」の率は、表3-1-1建築工事の「鉄筋」による。  
5. モルタルの「その他」の率は、表3-1-1建築工事の「左官」による。  
6. 型枠の「その他」の率は、表3-1-1建築工事の「型枠」による。  
7. コンクリートの「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。  
8. 鉄筋の「その他」の率対象は、結束線、鉄筋工、普通作業員とする。  
9. モルタルの「その他」の率対象は、左官、普通作業員とする。  
10. 型枠の「その他」の率対象は、合板、さん材、角材、鉄線、くぎ金物、はく離材、型わく工、普通作業員とする。

表M1-1-73

その他					
細目	単位	摘要	名称	単位	所要量
土工機械運転	日	バックホウ 0.13 m <sup>3</sup> (排出ガス対策型、 油圧式クローラ型)	機械損料	供用日	1.78
			燃料(軽油)	L	23.7
			運転手(特殊)	人	1.00
			その他		1式
		バックホウ 0.28 m <sup>3</sup> (排出ガス対策型、 油圧式クローラ型)	機械損料	供用日	1.64
			燃料(軽油)	L	45.1
			運転手(特殊)	人	1.00
			その他		1式
		バックホウ 0.45 m <sup>3</sup> (排出ガス対策型、 油圧式クローラ型)	機械損料	供用日	1.64
			燃料(軽油)	L	69.0
			運転手(特殊)	人	1.00
			その他		1式
		タンバ 60 ~ 80 kg	機械損料	供用日	1.38
			燃料(カソリン)	L	5.0
			特殊作業員	人	1.00
			その他		1式
揚重機	日	揚重機 (4.8 ~ 4.9 t)	揚重機賃料	日	1
足掛け	個	足掛け 22 φ 鋼製	足掛け	個	1
			鉄筋工	人	0.07
			その他		1式
運搬機械運転	日	トラック 普通用 2 t 積	運転手(一般)	人	1.00
			燃料(軽油)	L	23.2
			機械損料	供用日	1.13
			その他		1式

- (注) 1. 表中のバックホウの標準バケット容量は山積容量を示す。  
 2. 揚重機はトラッククレーン又はラフテレーンクレーンとする。  
 3. 土工機械運転の「その他」の率は、表3-1-1建築工事の「土工」による。  
 4. 足掛けの「その他」の率は、表3-1-3機械設備工事の「桟」による。  
 5. 運搬機械運転の「その他」の率は、表3-1-3機械設備工事の「機器搬入」による。  
 6. 土工機械運転(バックホウ)の「その他」の率対象は、燃料、運転手とする。  
 7. 土工機械運転(タンバ)の「その他」の率対象は、燃料、特殊作業員とする。  
 8. 足掛けの「その他」の率対象は、鉄筋工とする。  
 9. 運搬機械運転の「その他」の率対象は、運転手、燃料とする。

## 9 ポンプ類

### 9-1 一般事項

- (1) 表M1-1-74の細目工種は、標準歩掛りを適用する。  
 (2) 本節9に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。  
 (3) 本節9の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 9-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
 イ. ポンプ類の据付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-1-74

#### ポンプ類 (1/2)

細目	単位	摘要	ポンプ 設備機械工		その他	備考
			台	人		
渦巻ポンプ (片吸込形)	台	0.75 kW 以下	1	1.18	1式	防振基礎の場合は 20%増しとする。
		1.5 kW 以下	1	1.41		
		2.2 kW 以下	1	1.65		
		3.7 kW 以下	1	1.80		
		5.5 kW 以下	1	2.25		
		7.5 kW 以下	1	2.36		
		11.0 kW 以下	1	2.90		
		15.0 kW 以下	1	3.55		
		18.5 kW 以下	1	4.09		
		22.0 kW 以下	1	4.31		
		30.0 kW 以下	1	4.95		
37.0 kW 以下	1	5.50				
渦巻ポンプ (両吸込形)	台	11.0 kW 以下	1	5.50	1式	防振基礎の場合は 20%増しとする。
		15.0 kW 以下	1	5.60		
		18.5 kW 以下	1	5.85		
		22.0 kW 以下	1	6.47		
		30.0 kW 以下	1	6.74		
		37.0 kW 以下	1	8.63		
		55.0 kW 以下	1	9.12		
多段ポンプ	台	1.5 kW 以下	1	1.82	1式	防振基礎の場合は 20%増しとする。
		2.2 kW 以下	1	2.04		
		3.7 kW 以下	1	2.36		
		5.5 kW 以下	1	2.68		
		7.5 kW 以下	1	3.33		
		11.0 kW 以下	1	4.63		
		15.0 kW 以下	1	4.95		
		18.5 kW 以下	1	5.71		
		22.0 kW 以下	1	6.25		
		30.0 kW 以下	1	7.01		
		37.0 kW 以下	1	7.66		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。



ポンプ類 (2/2)

細目	単位	摘要	ポンプ	設備機械工	その他	備考
			台	人		
小形給水ポンプユニット	基	0.75 kW 以下	2	1.97	1式	防振基礎の場合は20%増しとする。
		1.5 kW 以下	2	2.12		
		2.2 kW 以下	2	2.20		
		3.7 kW 以下	2	2.46		
		5.5 kW 以下	2	2.84		
		7.5 kW 以下	2	3.28		
汚水、雑排水、汚物用水中ポンプ	台	0.4 kW 以下	1	0.97	1式	
		0.75 kW 以下	1	1.00		
		1.5 kW 以下	1	1.23		
		2.2 kW 以下	1	1.35		
		3.7 kW 以下	1	1.50		
		5.5 kW 以下	1	1.93		
		7.5 kW 以下	1	2.31		
		11.0 kW 以下	1	3.13		
真空給水ポンプ (単式)	台	700 m <sup>2</sup> 以下	1	2.16	1式	防振基礎の場合は20%増しとする。
		900 m <sup>2</sup> 以下	1	2.52		
真空給水ポンプ (複式)	台	700 m <sup>2</sup> 以下	1	2.52	1式	防振基礎の場合は20%増しとする。
		1,000 m <sup>2</sup> 以下	1	2.88		
		1,800 m <sup>2</sup> 以下	1	3.24		
		2,400 m <sup>2</sup> 以下	1	3.60		
		3,500 m <sup>2</sup> 以下	1	4.18		
凝縮水ポンプ (単式)	台	700 m <sup>2</sup> 以下	1	2.20	1式	防振基礎の場合は20%増しとする。
		900 m <sup>2</sup> 以下	1	2.38		
凝縮水ポンプ (複式)	台	700 m <sup>2</sup> 以下	1	2.38	1式	防振基礎の場合は20%増しとする。
		1,000 m <sup>2</sup> 以下	1	2.74		
		1,800 m <sup>2</sup> 以下	1	3.10		
		2,400 m <sup>2</sup> 以下	1	3.39		
消火ポンプ (ユニット形)	台	5.5 kW 以下	1	3.77	1式	
		11.0 kW 以下	1	5.13		
		15.0 kW 以下	1	5.93		
		19.0 kW 以下	1	7.00		
		22.0 kW 以下	1	8.28		
		30.0 kW 以下	1	9.96		
		37.0 kW 以下	1	14.67		
オイルポンプ	台	0.4 kW 以下	1	0.58	1式	
		0.75 kW 以下	1	0.68		
		1.5 kW 以下	1	0.94		
ラインポンプ	台	0.4 kW 以下	1	0.71	1式	
		0.75 kW 以下	1	0.75		
ウイングポンプ	台		1	0.32	1式	
深井戸用水中ポンプ	台	3.7 kW 以下	1	0.74	1式	揚水管は別途とする。
		5.5 kW 以下	1	1.07		
		7.5 kW 以下	1	1.16		
		15.0 kW 以下	1	1.49		
		22.0 kW 以下	1	1.81		
		37.0 kW 以下	1	2.22		
		55.0 kW 以下	1	2.70		

(注) 1. 摘要欄は、ポンプ1台当たりの電動機出力を示す。

2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

## 第2節 空気調和設備工事

### 1 ボイラー及び付属機器設備

#### 1-1 一般事項

- (1) 表M1-2-1～表M1-2-6の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節1に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節1の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 1-2 標準歩掛り

##### (1) 適用条件及び留意事項

イ. ボイラー、温風暖房機、タンク類及び付属機器類の据付けに適用する。

##### (2) 細目工種

表M1-2-1

ボイラー					
細目	単位	摘 要	設備機械工	その他	備 考
			人		
鑄鉄製ボイラー (工場組立品)	基	105 kW 以下	1.56	1式	温水、蒸気用共
		151 kW 以下	1.88		
		192 kW 以下	2.19		
		233 kW 以下	2.52		
		273 kW 以下	2.88		
		314 kW 以下	3.18		
		355 kW 以下	3.50		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-2

鋼板製無圧(真空)ボイラー					
細目	単位	摘 要	設備機械工	その他	備 考
			人		
鋼板製無圧(真空) ボイラー	基	46.5 kW 以下	0.33	1式	
		73.3 kW 以下	0.60		
		93.0 kW 以下	1.35		
		116 kW 以下	1.47		
		151 kW 以下	1.98		
		186 kW 以下	2.18		
		233 kW 以下	2.55		
		291 kW 以下	3.37		
		349 kW 以下	3.50		
		465 kW 以下	5.27		
		582 kW 以下	5.66		
		733 kW 以下	7.49		
		930 kW 以下	8.37		
		1,163 kW 以下	12.27		
		1,860 kW 以下	18.31		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-3

## 温水ボイラー

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
鋼板製 温水ボイラー	基	81.4 kW 以下	1.83	1式	
		140 kW 以下	2.59		
		174 kW 以下	3.10		
		279 kW 以下	3.85		
		419 kW 以下	4.87		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-4

## 温風暖房機

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
温風暖房機 (送風機別置形)	基	58.1 kW 以下	1.22	1式	バーナー取付共
		116 kW 以下	1.62		
		174 kW 以下	2.30		
		233 kW 以下	3.24		
		349 kW 以下	4.46		
温風暖房機 (送風機内蔵立形)	基	58.1 kW 以下	1.83	1式	バーナー取付共
		116 kW 以下	2.59		
		174 kW 以下	3.10		
		233 kW 以下	3.85		
		349 kW 以下	4.87		
温風暖房機 (送風機内蔵横形)	基	116 kW 以下	2.51	1式	バーナー取付共
		174 kW 以下	4.87		
		233 kW 以下	6.68		
		349 kW 以下	8.83		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-5

## タンク類

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
地下オイルタンク 鋼製強化プラスチック 製二重殻タンク	基	TO - 0.95	2.11	1式	本体のみ
		TO - 1.5	2.23		
		TO - 1.9	2.84		
		TO(TOSF) - 3	3.45		
		TO(TOSF) - 4	4.05		
		TO(TOSF) - 5	4.86		
		TO(TOSF) - 6	5.27		
		TO(TOSF) - 7	5.68		
		TO(TOSF) - 8	8.11		
		TO(TOSF) - 10	9.73		
		TO(TOSF) - 12	11.76		
		TO(TOSF) - 13	12.16		
		TO(TOSF) - 15	13.78		
		TO(TOSF) - 18	14.59		
		TO(TOSF) - 20	16.22		
TO(TOSF) - 25	19.26				
TO(TOSF) - 30	21.16				
オイルサービスタンク	基	TOS - 100	0.40	1式	架台共
		TOS - 150	0.44		
		TOS - 190	0.58		
		TOS - 300	0.72		
		TOS - 500	0.90		
		TOS - 950	1.37		
ヘッダー	基	200φ×1,200 L	0.54	1式	架台共
		250φ×2,500 L	0.92		
		300φ×3,000 L	1.19		
		350φ×4,000 L	1.48		
開放形膨張タンク	基	TE - 100	0.43	1式	架台共
		TE - 200	0.51		
		TE - 300	0.76		
		TE - 500	0.94		
		TE - 750	1.10		
		TE - 1,000	1.33		
密閉形隔膜式 膨張タンク	基	タンク容量 100 L 以下	0.35	1式	
		200 L 以下	0.44		
		300 L 以下	0.52		
		500 L 以下	0.69		
		750 L 以下	0.91		
		1,000 L 以下	1.12		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
貯湯タンク	基	THW - 5 TVW	1.59	1式	本体のみ
		THW - 8 TVW	1.95		
		THW - 10 TVW	2.04		
		THW - 15 TVW	3.36		
		THW - 20 TVW	3.89		
		THW - 25 TVW	4.42		
		THW - 30 TVW	4.96		
		THW - 35 TVW	5.40		
		THW - 40 TVW	5.84		
		THW - 45 TVW	6.19		
		THW - 50 TVW	6.64		
		THW - 55 TVW	7.08		
		THW - 60 TVW	9.29		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-6

## 地下オイルタンク用付属品

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
オイルタンクふた	組	WPM 450 φ	0.33	1式	
		WPM 500 φ	0.36		
		WPM 600 φ	0.43		
		WPM 700 φ	0.52		
		WPM 800 φ	0.92		
漏えい検査管ボックス (除水口ボックス)	個		0.15	1式	
給油口壁埋込ボックス	個		0.20	1式	
複式ストレーナー (油用)	個	15 <sup>A</sup>	0.08	1式	
		20	0.09		
		25	0.11		
		32	0.13		
		40	0.16		
		50	0.20		
鋳鋼製仕切弁 (油用)	個	15 <sup>A</sup>	0.07	1式	
		20	0.08		
		25	0.10		
		32	0.12		
		40	0.14		
		50	0.17		
油流量計	組	20 <sup>A</sup>	0.30	1式	
		25	0.33		
		32	0.38		
		40	0.42		
遠隔油量指示計	組		1.50	1式	電気配管配線は含まず
乾燥砂	m <sup>3</sup>		0.30	1式	
注油口 (ストレーナー付)	個	50 <sup>A</sup>	0.16	1式	
		65	0.20		
		80	0.24		
吸油逆止弁	個	25 <sup>A</sup>	0.10	1式	
		32	0.11		
		40	0.13		
		50	0.16		
通気金物 (ストレーナー付)	個	32 <sup>A</sup>	0.11	1式	
		40	0.13		
		50	0.16		
漏えい検査管口 (除水口)	個	32 <sup>A</sup>	0.11	1式	

(注) 1. 「その他」の標準は、乾燥砂は表3-1-1建築工事の「地業」、それ以外は「配管付属品」とする。  
2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

## 2 冷凍機設備

### 2-1 一般事項

- (1) 表M1-2-7～表M1-2-10の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節2に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節2の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 冷凍機及び冷却塔の据付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-2-7

チリングユニット					
細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
チリングユニット	基	3.75 kW 以下	1.58	1式	防振基礎の場合は20%増しとする。
		5.5 kW 以下	1.89		
		11.0 kW 以下	3.15		
		22.0 kW 以下	5.18		
		37.0 kW 以下	7.21		
		60.0 kW 以下	8.56		
		75.0 kW 以下	12.61		
90.0 kW 以下	13.06				

- (注) 1. 摘要欄は、圧縮機電動機出力を示す。  
 2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-8

空気熱源ヒートポンプユニット					
細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
空気熱源ヒートポンプユニット	基	2.2 kW 以下	1.87	1式	防振基礎の場合は20%増しとする。
		3.75 kW 以下	2.31		
		5.5 kW 以下	3.10		
		7.5 kW 以下	3.46		
		11.0 kW 以下	5.12		
		15.0 kW 以下	5.33		
		22.0 kW 以下	6.70		
		33.0 kW 以下	10.31		
37.0 kW 以下	10.88				

- (注) 1. 摘要欄は、圧縮機電動機出力を示す。  
 2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-9

## 吸収冷温水機

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
吸収冷温水機	基	70 kW 以下	6.28	1式	
		105 kW 以下	8.44		
		140 kW 以下	10.60		
		176 kW 以下	12.76		
		264 kW 以下	18.16		
		352 kW 以下	23.56		
		440 kW 以下	25.74		
		528 kW 以下	30.54		
		598 kW 以下	34.38		
		721 kW 以下	41.10		
		897 kW 以下	50.70		
1,056 kW 以下	59.34				

(注) 1. 摘要欄は、冷凍能力を示す。

2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-10

## 冷却塔

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
冷却塔 (FRP)	基	20.9 kW 以下	1.18	1式	防振基礎の場合は 20%増しとする。
		31.4 kW 以下	1.27		
		41.8 kW 以下	1.31		
		62.7 kW 以下	1.51		
		83.7 kW 以下	1.59		
		104 kW 以下	1.71		
		125 kW 以下	1.95		
		167 kW 以下	2.52		
		209 kW 以下	2.93		
		251 kW 以下	3.33		
		334 kW 以下	4.47		

(注) 1. 摘要欄は、冷却水出入口温度32℃、37℃、外気温度27℃(WB)の場合の冷却能力を示す。

2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。



### 3 空気調和機設備

#### 3-1 一般事項

- (1) 表M1-2-11～表M1-2-22の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節3に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節3の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 3-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 空気調和機、全熱交換器、空気清浄装置、送風機及び放熱器等の据付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-2-11

空気熱源ヒートポンプパッケージ形空気調和機（圧縮機屋内形）						
細目	単位	摘要	設備機械工(人)		その他	備考
			屋内機	屋外機		
空気熱源ヒートポンプ パッケージ形空気調和機 (直吹き・ダクト接続)	台	12.5 kW 以下	0.95	0.34	1式	1. 屋外機の天井吊りは100%増しとする。 2. 防振基礎の場合は20%増しとする。
		18.0 kW 以下	1.30	0.52		
		25.0 kW 以下	1.59	0.65		
		35.5 kW 以下	2.59	1.12		
		50.0 kW 以下	3.20	1.14		
		56.0 kW 以下	3.50	1.29		
71.0 kW 以下	4.44	1.82				

- (注) 1. 摘要欄は、JIS標準条件(JIS B 8616)による定格冷房能力を示す。  
2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-12

## 空気熱源ヒートポンプパッケージ形空気調和機（圧縮機屋外形）

細目	単位	摘要	設備機械工(人)				その他	備考
			屋内機			屋外機		
			天井吊	壁掛け	床置き			
空気熱源ヒートポンプ パッケージ形空気調和機 (セパレート・マルチ)	台	2.8 kW 以下	0.41	—	0.15	0.45	1式	1. 屋外機の天井吊りは 100%増しとする。 2. 防振基礎の場合は 20%増しとする。
		3.2 kW 以下	0.50	0.27	0.15	0.55		
		4.0 kW 以下	0.51	0.27	0.18	0.58		
		4.5 kW 以下	0.52	0.27	0.30	0.62		
		5.0 kW 以下	0.52	0.27	0.30	0.66		
		5.6 kW 以下	0.53	0.30	0.31	0.77		
		6.3 kW 以下	0.53	0.30	0.36	0.80		
		7.1 kW 以下	0.53	0.31	0.36	0.83		
		8.0 kW 以下	0.63	0.33	0.42	0.98		
		10.0 kW 以下	0.81	0.42	0.50	1.09		
		12.5 kW 以下	0.81	0.55	0.51	1.24		
		14.0 kW 以下	0.82	0.60	0.51	1.28		
		20.0 kW 以下	—	—	—	2.29		
25.0 kW 以下	—	—	—	2.56				

- (注) 1. 摘要欄は、JIS標準条件(JIS B 8616)による定格冷房能力を示す。  
 2. 屋内機の「天井吊」は、天井吊形(露出、隠ぺい共)、カセット形及び外気処理ユニット(天井吊形)を示す。また「床置き」は、床置立形、床置横形、床置ローボイ形(各々、露出、隠ぺい共)及び外気処理ユニット(床置形)を示す。  
 3. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-13

## ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機

細目	単位	摘要	設備機械工(人)	その他	備考
			屋外機		
ガスエンジンヒートポンプ式 空気調和機	台	28 kW 以下	2.7	1式	防振基礎の場合は 20%増しとする。
		35.5 kW 以下	3.5		
		45 kW 以下	5.6		

- (注) 1. 摘要欄は、JIS標準条件(JIS B 8616)による定格冷房能力を示す。  
 2. 屋内機の据付けは、表M1-2-12による。  
 3. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-14

水冷式パッケージ形空気調和機					
細目	単位	摘 要	設備機械工		備考
			人	その他	
水冷式パッケージ形 空気調和機	台	2.5 kW 以下	1.15		1式 1. 屋内機の天井吊りは 100%増しとする。 2. 防振基礎の場合は 20%増しとする。
		5.0 kW 以下	1.51		
		9.0 kW 以下	1.55		
		14.0 kW 以下	1.89		
		22.4 kW 以下	2.19		
		28.0 kW 以下	2.44		
		45.0 kW 以下	3.18		
		56.0 kW 以下	3.63		
		71.0 kW 以下	5.36		
		90.0 kW 以下	5.86		
112.0 kW 以下	8.33				

(注) 1. 摘要欄は、冷却水出入口温度32℃、37℃、外気温度27℃(WB) 場合の冷房能力を示す。  
2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-15

ルームエアコンディショナー（ウインド形）					
細目	単位	摘 要	設備機械工(人)		備考
			屋内機	その他	
ルームエアコンディショナー (ウインド形)	台	1.8 kW 以下	0.34		1式
		2.2 kW 以下	0.65		
		3.6 kW 以下	0.86		
		4.5 kW 以下	0.95		

(注) 1. 摘要欄は、JIS標準条件(JIS B 8616)による定格冷房能力を示す。  
2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-16

ルームエアコンディショナー〔セパレート形（圧縮機屋外形）〕						
細目	単位	摘 要	設備機械工(人)			備考
			屋内機		屋外機	
			壁掛け	床置き		
ルームエアコンディショナー (セパレート形)	台	1.8 kW 以下	0.10	—	0.29	1式 屋外機の天井吊りは 100%増しとする。
		2.5 kW 以下	0.10	0.17	0.30	
		3.6 kW 以下	0.12	0.17	0.37	
		4.0 kW 以下	0.14	0.18	0.45	
		4.5 kW 以下	0.22	0.28	0.63	
		6.3 kW 以下	0.28	—	0.75	

(注) 1. 摘要欄は、JIS標準条件(JIS B 8616)による定格冷房能力を示す。  
2. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-17

ファンコイルユニット					
細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
ファンコイルユニット (床置形、ローボイ形)	台	FCU - 2、3	0.79	1式	
		FCU - 4、6	0.87		
		FCU - 8	0.95		
		FCU - 12	1.05		
ファンコイルユニット (天井吊り形)	台	FCU - 2、3	1.19	1式	
		FCU - 4、6	1.31		
		FCU - 8	1.43		
		FCU - 12	1.58		
ファンコイルユニット (カセット形)	台	FCU - 2、3	1.25	1式	
		FCU - 4、6	1.36		
		FCU - 8	1.53		
		FCU - 12	1.71		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-18

空気調和機					
細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
ユニット形空気調和機	台	9,780 m <sup>3</sup> /h 以下	4.66	1式	防振基礎の場合は 20%増しとする。
		11,300 m <sup>3</sup> /h 以下	5.09		
		17,100 m <sup>3</sup> /h 以下	7.66		
		25,900 m <sup>3</sup> /h 以下	9.39		
		30,700 m <sup>3</sup> /h 以下	10.04		
		35,700 m <sup>3</sup> /h 以下	12.14		
		39,400 m <sup>3</sup> /h 以下	15.39		
		43,800 m <sup>3</sup> /h 以下	20.85		
コンパクト形空気調和機	台	2,000 m <sup>3</sup> /h 以下	1.70	1式	防振基礎の場合は 20%増しとする。
		4,000 m <sup>3</sup> /h 以下	2.05		
		6,000 m <sup>3</sup> /h 以下	2.41		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-19

## 全熱交換器

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
回転形全熱交換器	台	600 m <sup>3</sup> /h 以下	0.68	1式	天井吊りの場合は100%増しとする。
		1,500 m <sup>3</sup> /h 以下	0.99		
		2,400 m <sup>3</sup> /h 以下	1.22		
		3,900 m <sup>3</sup> /h 以下	1.67		
		5,400 m <sup>3</sup> /h 以下	2.12		
		7,500 m <sup>3</sup> /h 以下	2.70		
		11,400 m <sup>3</sup> /h 以下	3.83		
		16,200 m <sup>3</sup> /h 以下	5.86		
静止形全熱交換器 (単体)	台	1,000 m <sup>3</sup> /h 以下	1.23	1式	天井吊りの場合は100%増しとする。
		2,000 m <sup>3</sup> /h 以下	1.50		
		3,000 m <sup>3</sup> /h 以下	1.79		
		4,000 m <sup>3</sup> /h 以下	2.04		
		5,000 m <sup>3</sup> /h 以下	2.39		
		7,500 m <sup>3</sup> /h 以下	3.06		
		10,000 m <sup>3</sup> /h 以下	3.60		
		15,000 m <sup>3</sup> /h 以下	5.23		
		20,000 m <sup>3</sup> /h 以下	6.31		
静止形全熱交換器 (ユニット形)	台	100 m <sup>3</sup> /h 以下	1.01	1式	天井吊りの場合は100%増しとする。
		300 m <sup>3</sup> /h 以下	1.25		
		500 m <sup>3</sup> /h 以下	1.44		
		1,000 m <sup>3</sup> /h 以下	1.98		
		2,000 m <sup>3</sup> /h 以下	3.06		
		4,000 m <sup>3</sup> /h 以下	4.95		
		6,000 m <sup>3</sup> /h 以下	6.85		
		10,000 m <sup>3</sup> /h 以下	11.17		
		15,000 m <sup>3</sup> /h 以下	15.50		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-20

## 空気清浄装置

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
電気集じん器	台	167 m <sup>3</sup> /min 以下	1.73	1式	
		250 m <sup>3</sup> /min 以下	2.21		
		333 m <sup>3</sup> /min 以下	2.46		
		500 m <sup>3</sup> /min 以下	3.06		
		667 m <sup>3</sup> /min 以下	3.56		
		1,000 m <sup>3</sup> /min 以下	5.08		
		1,667 m <sup>3</sup> /min 以下	7.61		
パネル形エアフィルター	枚	500×500×25 <sup>t</sup>	0.05	1式	
		500×500×50 <sup>t</sup>	0.06		
折込み形エアフィルター	枚	610×610	0.10	1式	
自動巻取形エアフィルター	台	150 m <sup>3</sup> /min 以下	1.35	1式	
		175 m <sup>3</sup> /min 以下	1.38		
		200 m <sup>3</sup> /min 以下	1.41		
		225 m <sup>3</sup> /min 以下	1.43		
		250 m <sup>3</sup> /min 以下	1.45		
		275 m <sup>3</sup> /min 以下	1.48		
		300 m <sup>3</sup> /min 以下	1.51		
		325 m <sup>3</sup> /min 以下	1.54		
		350 m <sup>3</sup> /min 以下	1.57		
		375 m <sup>3</sup> /min 以下	1.59		
		400 m <sup>3</sup> /min 以下	1.61		
		450 m <sup>3</sup> /min 以下	1.65		
		500 m <sup>3</sup> /min 以下	2.15		
		550 m <sup>3</sup> /min 以下	2.21		
		600 m <sup>3</sup> /min 以下	2.26		
		650 m <sup>3</sup> /min 以下	2.29		
700 m <sup>3</sup> /min 以下	2.31				
750 m <sup>3</sup> /min 以下	2.36				
800 m <sup>3</sup> /min 以下	2.42				

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-21

送風機					
細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
送風機(片吸込)	台	No. 1 <sup>1/4</sup> 以下	0.85	1式	1. 天井吊りの場合は100%増しとする。 2. 防振基礎の場合は20%増しとする。 3. 排煙機を含む。
		1 <sup>1/2</sup> 以下	1.00		
		2 以下	1.23		
		2 <sup>1/2</sup> 以下	1.40		
		3 以下	1.62		
		3 <sup>1/2</sup> 以下	2.02		
		4 以下	2.31		
		4 <sup>1/2</sup> 以下	2.53		
		5 以下	3.07		
		5 <sup>1/2</sup> 以下	3.37		
		6 以下	3.88		
		7 以下	6.26		
		8 以下	7.31		
		9 以下	9.28		
10 以下	11.31				
送風機(両吸込)	台	No. 2 以下	1.59	1式	1. 天井吊りの場合は100%増しとする。 2. 防振基礎の場合は20%増しとする。 3. 排煙機を含む。
		2 <sup>1/2</sup> 以下	1.83		
		3 以下	2.18		
		3 <sup>1/2</sup> 以下	2.55		
		4 以下	3.20		
		4 <sup>1/2</sup> 以下	3.58		
		5 以下	4.29		
		5 <sup>1/2</sup> 以下	4.83		
		6 以下	5.55		
		7 以下	10.04		
		8 以下	11.44		
		9 以下	15.33		
10 以下	18.47				
消音ボックス付送風機	台		0.85	1式	天井吊りの場合は100%増しとする。
換気扇	台	200φ以下	0.39	1式	圧力扇を含む。
		250φ以下	0.45		
		300φ以下	0.54		
		400φ以下	0.58		
		500φ以下	0.62		
		天井埋込形	0.50		
パイプ用ファン	台	150φ以下	0.25	1式	

- (注) 1. 塩ビ製、ステンレス製等の送風機も上表による。  
2. 消音ボックス付送風機の適用は、呼び番号1<sup>1/2</sup>以下の遠心送風機又は3以下の斜流送風機内蔵とする。  
3. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-2-22

## 放熱器及び同付属品

細目	単位	摘要	設備機械工	その他	備考
			人		
鋳鉄製柱形放熱器 (床置形)	組	20節以下	0.97	1式	組替えは、0.23人/節とする。
		21節以上	1.25		
鋳鉄製柱形放熱器 (壁掛形)	組	20節以下	1.55	1式	
		21節以上	2.14		
鋳鉄製壁掛放熱器 (壁掛形)	組	3節以下	1.25	1式	組替えは、0.23人/節とする。
	節	4節以上	0.19	1式	4節以上は1節増すごとの歩掛りとする。
鋳鉄製柱形放熱器 (天井吊り形)	組	3節以下	1.94	1式	組替えは、0.23人/節とする。
	節	4節以上	0.26	1式	4節以上は1節増すごとの歩掛りとする。
コンベクター	組	エレメント 1.5 m 未満	1.07	1式	ファンコンベクターは20%増しとする。
		エレメント 1.5 m 以上	1.27		
ベースボードヒーター	組	エレメント 1段 2m 未満	1.35	1式	1段増すごとに20%増しとする。
		エレメント 1段 2m 以上	1.75		
蒸気用給湿器	個		0.10	1式	スプレー式
放熱器弁	個		0.10	1式	単体で取付ける場合
放熱器トラップ	個		0.10	1式	単体で取付ける場合
パネルヒーター (床置形、壁掛形)	台	3.5 kW 以下	0.54	1式	
ファンヒーター (天井吊り形)	台	6 kW 以下	1.05	1式	
		10 kW 以下	1.29		

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。



## 4 ダクト設備

### 4-1 一般事項

- (1) 表M1-2-23～表M1-2-31の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 表M1-2-32の細目工種は、市場単価を適用する。
- (3) 本節4に定める標準歩掛り及び市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (4) 本節4の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 4-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 高圧ダクト（アングルフランジ工法ダクト、スパイラルダクト）、低圧ダクト（コーナーボルト工法ダクト）、その他下記ダクト等に適用する。
    - ・排煙円形ダクト
    - ・フレキシブルダクト
    - ・ダクト付属品
    - ・排気フード
    - ・グリス除去装置
    - ・たわみ継手
    - ・定風量ユニット
    - ・変風量ユニット
- (2) 細目工種

表M1-2-23

アングルフランジ工法ダクト  
高圧1ダクト、高圧2ダクト

細目	単位	名称	規格寸法等	単位	ダクトの長辺寸法 (mm)							
					鉄板厚 (mm)							
					≤450	450< ≤750	750< ≤1,200	1,200< ≤1,500	1,500< ≤2,200	2,200<		
アングルフランジ 工法ダクト (高圧1ダクト) (高圧2ダクト)	m <sup>2</sup>	材	亜鉛鉄板	1,829mm幅コイル	m <sup>2</sup>	1.41	1.36	1.31	1.31	1.31	1.32	
			形鋼	25×25×3	kg	3.5	3.6	—	—	—	—	—
				30×30×3	kg	—	—	4.5	4.5	—	—	—
				40×40×3	kg	—	—	—	—	5.7	—	—
				40×40×5	kg	—	—	—	—	—	9.4	—
			六角ボルト・ナット	M8×20L~25L	組	18	17	17	17	17	17	17
			フランジ用ガスケット	3mm厚×25幅テープ	m	1.5	1.6	—	—	—	—	—
				3mm厚×30	m	—	—	1.3	1.3	—	—	—
				3mm厚×40	m	—	—	—	—	1.3	1.3	—
			棒鋼・形鋼	M10又は呼び径9、25×25×3	kg	0.31	0.54	—	—	—	—	—
				M10又は呼び径9、30×30×3	kg	—	—	0.77	0.77	—	—	—
				M10又は呼び径9、40×40×3	kg	—	—	—	—	1.00	—	—
				M10又は呼び径9、40×40×5	kg	—	—	—	—	—	—	1.23
			消耗品・雑材料			1式 (材料費×0.05)						
			鋼材防錆塗装		m <sup>2</sup>	0.37	0.41	0.46	0.46	0.60	0.65	
ダクト工	鋼板鋼材加工取付	人	0.25	0.26	0.28	0.28	0.31	0.41				
運搬費			1式 ((材料費+消耗品・雑材料費)×0.1)									
その他			1式									

- (注) 1. 継目及び継手を外面からシール材でシールする場合は、本表の複合価格の2%増しとする。  
 2. 鋼材防錆塗装は、工場塗りとし、錆止めペイント0.34kg/m<sup>2</sup>、塗装工0.03人/m<sup>2</sup>とする。  
 3. 「その他」の率対象は、材料、消耗品・雑材料、鋼材防錆塗装、ダクト工、運搬費とする。

表M1-2-24

コーナーボルト工法ダクト（低圧）  
スライドオンフランジ工法ダクト

細目	単位	名称	規格寸法等	単位	ダクトの長辺寸法 (mm)			
					鉄板厚 (mm)			
					≦450 0.5	450< ≦750 0.6	750< ≦1,500 0.8	
スライドオン フランジ工法ダクト	m <sup>2</sup>	材	亜鉛鉄板	1,829mm幅コイル	m <sup>2</sup>	1.41	1.36	1.31
			フランジ	0.6mm厚×19mm幅	m	2.1	—	—
		1.0mm厚×20mm幅		m	—	1.8	1.7	
		コーナー金具	2.0mm厚×18mm幅	個	11	—	—	
			2.3mm厚×18mm幅	個	—	5	3	
		フランジ押え金具	30mm幅	個	—	1.2	1.2	
		六角ボルトナット	M8×20L~25L	組	7	3	2	
		フランジ用ガスケット	5mm厚×15幅テープ	m	1.5	1.5	1.4	
		シール材		kg	0.052	0.020	0.011	
		補強用形鋼	25×25×3	kg	—	0.9	—	
			30×30×3	kg	—	—	1.4	
		棒鋼・形鋼	M10又は呼び径9、25×25×3	kg	0.37	0.65	—	
			M10又は呼び径9、30×30×3	kg	—	—	0.93	
		消耗品・雑材料			1式 (材料費×0.05)			
		鋼材防錆塗装		m <sup>2</sup>	0.03	0.05	0.09	
		ダクト工	鋼板鋼材加工取付	人	0.22	0.24	0.25	
運搬費			1式 ((材料費+消耗品・雑材料費)×0.1)					
その他			1式					

- (注) 1. 継目及び継手を外面からシール材でシールする場合は、本表の複合価格の2%増しとする。  
 2. 鋼材防錆塗装は、工場塗りとし、錆止めペイント0.34kg/m<sup>2</sup>、塗装工0.03人/m<sup>2</sup>とする。  
 3. 「その他」の率対象は、材料、消耗品・雑材料、鋼材防錆塗装、ダクト工、運搬費とする。

表M1-2-25

スパイラルダクト  
高圧1ダクト、高圧2ダクト

細目	単位	ダクト口径	鉄板厚	材 料						異形継手	雑材料等	ダクト工	運搬費	その他			
				材料	補 助 材												
				スパイラルダクト	ダクト用テープ(50幅)	タップスクリュー	シール材	吊りボルト用平鋼	棒鋼M10又は呼び径9	ボルトナット							
		mm	mm	m	m	本	g	kg	kg	本			人				
スパイラルダクト (高圧1ダクト) (高圧2ダクト)	m	100	0.5	1.1	0.63	4	12	0.11	0.17	0.47	1式 (材料費× 0.20)	1式 (材料費+異形継手費) × 0.15	0.115	1式 (補助材費+雑材料等費) × 0.05	1式		
		125			0.79	4	15	0.14					0.115				
		150			0.88	4	17	0.16					0.133				
		175			1.10	4	21	0.18					0.155				
		200			1.26	6	23	0.20					0.174				
		225	0.6	1.1	1.41	6	27	0.22					0.46			0.94	0.191
		250			1.57	6	28	0.25									0.200
		275			1.73	6	32	0.26									0.220
		300			1.88	8	34	0.33									0.250
		350			2.20	8	40	0.34									0.288
		400			2.51	10	46	0.38	0.336								
		450			2.83	10	53	0.43	0.392								
		500			3.14	12	58	0.47	0.433								
		550			3.45	12	75	0.52	0.509								
		600			0.8	1.1	3.77	14	83	0.56							0.520
		650	4.08	14			88	0.61	0.577								
		700	4.40	16			95	0.65	0.606								
		750	4.71	16			102	0.70	0.654								
		800	5.02	18			108	0.74	0.694								
		850	1.0	1.1	5.34	18	115	0.79	0.721								
900	5.65	20			122	0.82	0.769										
950	5.97	20			127	0.88	0.798										
1,000	6.28	22			135	0.92	0.869										

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、補助材、異形継手、雑材料等、ダクト工、運搬費とする。

表M1-2-26

排煙円形ダクト

細目	単位	鉄板厚 mm	ダクト 口径 mm	材							料				雑 材 料 等	ダクト工	運 搬 費	そ の 他
				亜鉛鉄板 1,829mm 幅コイル m <sup>2</sup>	形 鋼			リベット 4.5φ×8L 本	ボルト ナット 8φ 本	フランジ用ガスケット		吊りボルト 用平鋼 kg	棒 鋼 M10又は 呼び径9 kg	鋼板鋼材 加工取付 人				
					30×30×3	40×40×3	40×40×5			3×30	3×40							
					kg	kg	kg			m	m							
排煙円形ダクト	m	0.8	300	1.21	2.3	—	—	27	8	1.24	—	0.33	0.46	1 式 ( 材 料 費 × 0.15 )	0.36	1 式 ( 材 料 費 + 雑 材 料 等 費 ) × 0.05 )	1 式	
		0.8	350	1.41	2.7	—	—	32	9	1.43	—	0.34	0.46		0.40			
		0.8	400	1.61	3.0	—	—	36	10	1.62	—	0.38	0.46		0.43			
		0.8	450	1.81	3.4	—	—	41	12	1.81	—	0.43	0.46		0.48			
		1.0	500	2.01	—	5.1	—	45	13	—	2.03	0.47	0.46		0.58			
		1.0	550	2.21	—	5.6	—	50	14	—	2.22	0.52	0.46		0.63			
		1.0	600	2.41	—	6.1	—	54	15	—	2.41	0.56	0.46		0.68			
		1.0	650	2.61	—	6.6	—	59	17	—	2.60	0.61	0.46		0.73			
		1.0	700	2.81	—	7.1	—	63	18	—	2.79	0.65	0.46		0.78			
		1.2	800	3.22	—	—	13.1	72	20	—	3.17	0.74	0.46		0.90			
		1.2	900	3.62	—	—	14.7	81	23	—	3.54	0.82	0.46		1.00			
		1.2	1,000	4.02	—	—	16.4	90	25	—	3.92	0.92	0.46		1.10			

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、雑材料等、ダクト工、運搬費とする。

表M1-2-27

## フレキシブルダクト

細目	単位	ダクト口径	材 料		ダクト工	その他	備考
			フレキシブルダクト (3mまで)	ダクト用テープ (50幅)			
			mm	本			
フレキシブルダクト	本	100	1.0	1.3	0.04	1式	
		125	1.0	1.6	0.05		
		150	1.0	1.8	0.06		
		175	1.0	2.2	0.07		
		200	1.0	2.5	0.08		
		225	1.0	2.8	0.09		
		250	1.0	3.1	0.10		
		275	1.0	3.5	0.11		
		300	1.0	3.8	0.14		
		350	1.0	4.4	0.17		
		400	1.0	5.0	0.20		

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、ダクト工とする。

表M1-2-28

## ダクト付属品

細目	単位	摘 要	ダクト工	その他	備考
			人		
照明器具組込形 吹出口・吸込口	個	1 連形	0.45	1式	
		2 連形	0.85		
		3 連形	1.55		
外気取入ガラリ 排 気 ガ ラ リ	個	0.1 m <sup>2</sup> 以下	0.90	1式	
		0.2 m <sup>2</sup> 以下	0.95		
		0.3 m <sup>2</sup> 以下	1.00		
		0.4 m <sup>2</sup> 以下	1.05		
		0.5 m <sup>2</sup> 以下	1.10		
		0.6 m <sup>2</sup> 以下	1.20		
		0.7 m <sup>2</sup> 以下	1.30		
		0.8 m <sup>2</sup> 以下	1.40		
		0.9 m <sup>2</sup> 以下	1.50		
		1.0 m <sup>2</sup> 以下	1.60		
		1.2 m <sup>2</sup> 以下	1.70		
		1.4 m <sup>2</sup> 以下	1.80		
		1.6 m <sup>2</sup> 以下	2.00		
		1.8 m <sup>2</sup> 以下	2.10		
2.0 m <sup>2</sup> 以下	2.20				
2.2 m <sup>2</sup> 以下	2.30				
2.4 m <sup>2</sup> 以下	2.40				

(注) 1. 「その他」の率対象は、ダクト工とする。

表M1-2-29

排気フード、グリス除去装置					
細目	単位	摘要	ダクト工	その他	備考
			人		
排気フード	m <sup>2</sup> (投影面積)	一重	0.45	1式	
		二重	0.68		
グリス除去装置 (フード用V形)	個	0.3 m <sup>2</sup> 未満	0.20	1式	
		0.3 m <sup>2</sup> 以上	0.22		

(注) 1. 「その他」の率対象は、ダクト工とする。

表M1-2-30

たわみ継手										
細目	単位	送風機 No.	材 料					雑材料	ダクト工 人	その他
			片面 アルミ箔 ガラス布 (二重) m <sup>2</sup>	ピアノ線 1φ×3本 kg	亜鉛鉄板 0.5mm m <sup>2</sup>	リベット 4.5φ 本	形鋼 kg			
たわみ継手 両吸込形 (吐出口のみ)	組	2 以下	0.40	0.05	0.13	35	2.7	1式 (材料費× 0.03)	0.34	1式
		2 1/2 以下	0.50	0.06	0.16	44	3.4		0.38	
		3 以下	0.60	0.07	0.19	53	4.1		0.41	
		3 1/2 以下	0.70	0.08	0.22	62	4.7		0.45	
		4 以下	0.80	0.09	0.25	71	5.4		0.49	
		4 1/2 以下	0.90	0.11	0.28	80	6.1		0.55	
		5 以下	1.00	0.12	0.32	89	6.8		0.60	
		5 1/2 以下	1.10	0.13	0.35	97	7.4		0.66	
		6 以下	1.20	0.14	0.38	106	8.1		0.74	
		7 以下	1.40	0.16	0.44	124	9.5		0.82	
8 以下	1.60	0.19	0.51	142	10.9	0.96				
たわみ継手 片吸込形 (吸込口、吐出口共)	組	2 以下	0.85	0.10	0.25	68	5.2	1式 (材料費× 0.03)	0.53	1式
		2 1/2 以下	1.00	0.12	0.31	87	6.7		0.59	
		3 以下	1.16	0.14	0.37	102	7.9		0.64	
		3 1/2 以下	1.36	0.16	0.43	120	9.2		0.69	
		4 以下	1.53	0.18	0.48	135	10.3		0.76	
		4 1/2 以下	1.72	0.21	0.54	153	11.7		0.87	
		5 以下	1.90	0.23	0.62	172	13.1		0.95	
		5 1/2 以下	2.10	0.25	0.68	189	14.5		1.05	
		6 以下	2.27	0.27	0.73	204	15.6		1.17	
		7 以下	2.66	0.31	0.86	241	18.1		1.32	
8 以下	3.01	0.37	0.98	274	21.0	1.52				
たわみ継手 (ダクト、空気調和機)	m		0.30	0.04	0.10	27	2.1	1式 (材料費 ×0.03)	0.34	1式

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、雑材料、ダクト工とする。

表M1-2-31

定風量ユニット、変風量ユニット					
細目	単位	摘要	ダクト工	その他	備考
			人		
定風量ユニット 変風量ユニット	台		0.36	1式	

(注) 1. 「その他」の率対象は、ダクト工とする。

### 4-3 市場単価

#### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 低圧ダクト、低圧チャンパー類、制気口及びダンパー等に適用する。
- ロ. ダクトの吊り用インサート取付費は、別途計上する。
- ハ. 長方形ダクトについて、NシールのほかにAシール+Bシールが必要となる場合は、Aシール+Bシール費を別途計上する。
- ニ. チャンパー等の吊り用インサートの材料費及び取付費は、別途計上する。
- ホ. チャンパー等のシール費は、別途計上する。

#### (2) 細目工種

表M1-2-32

細目	摘要	単位	備考
アングルフランジ工法ダクト	低圧ダクト、排煙ダクト	m <sup>2</sup>	
共板フランジ工法ダクト	低圧ダクト	m <sup>2</sup>	
スパイラルダクト	低圧ダクトの100～350φ	m	
チャンパー	低圧用	m <sup>2</sup>	
組立チャンパー	低圧用	m <sup>2</sup>	
ボックス	低圧用	m <sup>2</sup>	
線状吹出口用ボックス	BL-S、BL-D 低圧用	m <sup>2</sup>	
既製品ボックス	取付費	個	シーリングディフューザー用、BL-S、BL-D用
吹出口類	取付費	個	(ユニバーサル形、ノズル形、シーリングディフューザー、線状)
吸込口(スリット形)	取付費	個	
排煙口	取付費	個	
ダンパー類	取付費	個	風量調節ダンパー類 防火ダンパー類
点検口	取付費	個	
風量測定口	取付費	個	
ベントキャップ	取付費	個	



## 5 弁装置類

### 5-1 一般事項

- (1) 表M1-2-33～表M1-2-40の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節5に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節5の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 5-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 弁装置類に適用する。
  - ロ. 複合単価材料は、材工共の単価とする。
  - ハ. 三方弁装置、二方弁装置及び電磁弁装置には、弁本体の価格は含まない。
  - ニ. 主管は配管設備に計上し、バイパス管は原則として弁装置側に計上する。この場合、バイパス管の歩掛りは、各表中の数値を標準とする。
- (2) 細目工種

表M1-2-33

減圧装置（蒸気用）

細目	摘要 高压管・低压管	単位	複 合 単 価 材 料											
			減圧弁		玉形弁		仕切弁 (ブロー用)		Y形ストレーナー		安全弁		圧力計	
			呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径 (特記寸法)	個	呼び径	組
減	20 <sup>A</sup> — 25 <sup>A</sup>	組	15	1	20	1	20	1	20	1	(15)	1	100φ	2
	32 — 40		20	1	32	1	20	1	32	1	(15)	1	100φ	2
	32 — 40		25	1	32	1	20	1	32	1	(20)	1	100φ	2
	32 — 40		32	1	32	1	20	1	32	1	(25)	1	100φ	2
	32 — 50		20	1	32	1	20	1	32	1	(15)	1	100φ	2
	32 — 50		25	1	32	1	20	1	32	1	(20)	1	100φ	2
	32 — 50		32	1	32	1	20	1	32	1	(25)	1	100φ	2
	32 — 65		20	1	32	1	20	1	32	1	(15)	1	100φ	2
	32 — 65		25	1	32	1	20	1	32	1	(20)	1	100φ	2
	32 — 65		32	1	32	1	20	1	32	1	(25)	1	100φ	2
	40 — 50		25	1	40	1	20	1	40	1	(20)	1	100φ	2
	40 — 50		32	1	40	1	20	1	40	1	(25)	1	100φ	2
	40 — 50		40	1	40	1	20	1	40	1	(25)	1	100φ	2
	40 — 65		25	1	40	1	20	1	40	1	(20)	1	100φ	2
	40 — 65		32	1	40	1	20	1	40	1	(25)	1	100φ	2
	40 — 65		40	1	40	1	20	1	40	1	(25)	1	100φ	2
	40 — 80		25	1	40	1	20	1	40	1	(20)	1	100φ	2
	40 — 80		32	1	40	1	20	1	40	1	(25)	1	100φ	2
	40 — 80		40	1	40	1	20	1	40	1	(25)	1	100φ	2
	圧		50 — 65	32	1	50	1	20	1	50	1	(25)	1	100φ
50 — 65		40	1	50	1	20	1	50	1	(25)	1	100φ	2	
50 — 65		50	1	50	1	20	1	50	1	(32)	1	100φ	2	
50 — 80		32	1	50	1	20	1	50	1	(25)	1	100φ	2	
50 — 80		40	1	50	1	20	1	50	1	(25)	1	100φ	2	
50 — 80		50	1	50	1	20	1	50	1	(32)	1	100φ	2	
50 — 100		32	1	50	1	20	1	50	1	(25)	1	100φ	2	
50 — 100		40	1	50	1	20	1	50	1	(25)	1	100φ	2	
50 — 100		50	1	50	1	20	1	50	1	(32)	1	100φ	2	
50 — 100		65	1	50	1	20	1	50	1	(25)	1	100φ	2	
装	65 — 80	40	1	65	1	20	1	65	1	(25)	1	100φ	2	
	65 — 80	50	1	65	1	20	1	65	1	(32)	1	100φ	2	
	65 — 80	65	1	65	1	20	1	65	1	(50)	1	100φ	2	
	65 — 100	40	1	65	1	20	1	65	1	(25)	1	100φ	2	
	65 — 100	50	1	65	1	20	1	65	1	(32)	1	100φ	2	
	65 — 100	65	1	65	1	20	1	65	1	(50)	1	100φ	2	
	65 — 100	65	1	65	1	20	1	65	1	(50)	1	100φ	2	
	65 — 125	40	1	65	1	20	1	65	1	(25)	1	100φ	2	
	65 — 125	50	1	65	1	20	1	65	1	(32)	1	100φ	2	
	65 — 125	65	1	65	1	20	1	65	1	(50)	1	100φ	2	
置	80 — 100	50	1	80	1	20	1	80	1	(32)	1	100φ	2	
	80 — 100	65	1	80	1	20	1	80	1	(50)	1	100φ	2	
	80 — 100	80	1	80	1	20	1	80	1	(50)	1	100φ	2	
	80 — 125	50	1	80	1	20	1	80	1	(32)	1	100φ	2	
	80 — 125	65	1	80	1	20	1	80	1	(50)	1	100φ	2	
	80 — 125	80	1	80	1	20	1	80	1	(50)	1	100φ	2	
	100 — 125	65	1	100	1	20	1	100	1	(50)	1	100φ	2	
	100 — 125	80	1	100	1	20	1	100	1	(50)	1	100φ	2	
	100 — 125	100	1	100	1	20	1	100	1	(65)	1	100φ	2	
	100 — 150	65	1	100	1	20	1	100	1	(50)	1	100φ	2	
100 — 150	80	1	100	1	20	1	100	1	(50)	1	100φ	2		
100 — 150	100	1	100	1	20	1	100	1	(65)	1	100φ	2		

表M1-2-34

温度調整装置												
細目	摘要	単位	複 合 単 価 材 料									
			温度調整弁		仕切弁(ブロー用)		玉形弁		Y形ストレーナー		圧力計	
			呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	組
温度調整装置	蒸気圧 300kPaまで	組	20 <sup>A</sup>	1	20	1	20	1	20	1	100φ	1
			25	1	20	1	25	1	25	1	100φ	1
			32	1	20	1	32	1	32	1	100φ	1
			40	1	20	1	40	1	40	1	100φ	1
			50	1	20	1	50	1	50	1	100φ	1
			65	1	20	1	65	1	65	1	100φ	1
			80	1	20	1	80	1	80	1	100φ	1
100	1	20	1	100	1	100	1	100φ	1			

表M1-2-35

高圧トラップ装置												
細目	摘要	単位	複 合 単 価 材 料									
			高圧トラップ		玉形弁		仕切弁		Y形ストレーナー		バイパス黒管	
			呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	m
高圧トラップ装置	管末トラップ	組	20 <sup>A</sup>	1	20	3	20	2	20	1	20	2.1
			25	1	25	3	20	2	25	1	25 20	1.6 0.5
			32	1	32	3	20	2	32	1	32 20	1.8 0.5
			40	1	40	3	20	2	40	1	40 20	1.9 0.5

表M1-2-36

低圧トラップ装置											
細目	摘要	単位	複 合 単 価 材 料								
			低圧トラップ		仕切弁		Y形ストレーナー		バイパス黒管		
			呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	m	
低圧トラップ装置	管末トラップ	組	20 <sup>A</sup>	1	20	5	20	1	20	2.1	
			25	1	25 20	3 2	25	1	25 20	1.6 0.5	
			32	1	32 20	3 2	32	1	32 20	1.8 0.5	

表M1-2-37

多量トラップ装置												
細目	摘要	単位	複 合 単 価 材 料									
			多量トラップ		玉形弁又は仕切弁		仕切弁		Y形ストレーナー		バイパス黒管	
			呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	m
多量トラップ装置	蒸気圧 300kPaまで	組	20 <sup>A</sup>	1	20	3	20	2	20	1	20	2.5
			25	1	25	3	20	2	25	1	25 20	2.3 0.5
			32	1	32	3	20	2	32	1	32 20	2.5 0.5
			40	1	40	3	20	2	40	1	40 20	2.6 0.5
			50	1	50	3	20	2	50	1	50 20	2.7 0.5
			65	1	65	3	20	2	65	1	65 20	2.8 0.5

表M1-2-38

## 三方弁装置

細目	摘 要	単位	材 料		複 合 単 価 材 料				配管工 人	その他		
			三方弁 (別途加算)		仕切弁又は バタフライ弁		Y形ストレーナー				バイパス白管	
			呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個			呼び径	m
三方弁装置 (冷温水 コイル廻り)	20 <sup>A</sup> × 15 <sup>A</sup>	組	15	1	20 15	3 2	20	1	15	1.4	0.11	1式
	25 × 15		15	1	25 15	3 2	25	1	15	1.5	0.11	
	32 × 15		15	1	32 15	3 2	32	1	15	1.7	0.11	
	25 × 20		20	1	25 20	3 2	25	1	20	1.5	0.12	
	32 × 20		20	1	32 20	3 2	32	1	20	1.7	0.12	
	32 × 25		25	1	32 25	3 2	32	1	25	1.7	0.14	
	40 × 20		20	1	40 20	3 2	40	1	20	1.7	0.12	
	40 × 25		25	1	40 25	3 2	40	1	25	1.7	0.14	
	40 × 32		32	1	40 32	3 2	40	1	32	1.7	0.17	
	50 × 25		25	1	50 25	3 2	50	1	25	1.8	0.14	
	50 × 32		32	1	50 32	3 2	50	1	32	1.8	0.17	
	50 × 40		40	1	50 40	3 2	50	1	40	1.8	0.20	
	65 × 32		32	1	65 32	3 2	65	1	32	2.3	0.17	
	65 × 40		40	1	65 40	3 2	65	1	40	2.3	0.20	
	65 × 50		50	1	65 50	3 2	65	1	50	2.3	0.24	
	80 × 40		40	1	80 40	3 2	80	1	40	2.5	0.20	
	80 × 50		50	1	80 50	3 2	80	1	50	2.5	0.24	
	80 × 65		65	1	80 65	3 2	80	1	65	2.5	0.42	
	100 × 50		50	1	100 50	3 2	100	1	50	2.8	0.24	
	100 × 65		65	1	100 65	3 2	100	1	65	2.8	0.42	
100 × 80	80	1	100 80	3 2	100	1	80	2.8	0.51			
125 × 65	65	1	125 65	3 2	125	1	65	3.0	0.42			
125 × 80	80	1	125 80	3 2	125	1	80	3.0	0.51			
125 × 100	100	1	125 100	3 2	125	1	100	3.0	0.60			
150 × 80	80	1	150 80	3 2	150	1	80	3.3	0.51			
150 × 100	100	1	150 100	3 2	150	1	100	3.3	0.60			
150 × 125	125	1	150 125	3 2	150	1	125	3.3	0.72			

(注) 1. 配管工は三方弁のみの取付歩掛りとする。

2. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-2-39

二方弁装置

細目	摘 要	単位	材 料										配管工 人	その他
			二方弁 (別途加算)		複 合		単 価		材 料					
			呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	呼び径	組	呼び径	m		
二 方 弁 装 置  (蒸 気 コ イ ル 廻 り)	20 <sup>A</sup> × 15 <sup>A</sup>	組	15	1	20 15	2 1	20	1	100φ	1	15	1.1	0.07	1 式
	25 × 15		15	1	25 15	2 1	25	1	100φ	1	15	1.2	0.07	
	25 × 20		20	1	25 20	2 1	25	1	100φ	1	20	1.2	0.08	
	32 × 15		15	1	32 15	2 1	32	1	100φ	1	15	1.4	0.07	
	32 × 20		20	1	32 20	2 1	32	1	100φ	1	20	1.4	0.08	
	32 × 25		25	1	32 25	2 1	32	1	100φ	1	25	1.4	0.09	
	40 × 20		20	1	40 20	2 1	40	1	100φ	1	20	1.4	0.08	
	40 × 25		25	1	40 25	2 1	40	1	100φ	1	25	1.4	0.09	
	40 × 32		32	1	40 32	2 1	40	1	100φ	1	32	1.4	0.11	
	50 × 25		25	1	50 25	2 1	50	1	100φ	1	25	1.5	0.09	
	50 × 32		32	1	50 32	2 1	50	1	100φ	1	32	1.5	0.11	
	50 × 40		40	1	50 40	2 1	50	1	100φ	1	40	1.5	0.13	
	65 × 32		32	1	65 32	2 1	65	1	100φ	1	32	2.0	0.11	
	65 × 40		40	1	65 40	2 1	65	1	100φ	1	40	2.0	0.13	
	65 × 50		50	1	65 50	2 1	65	1	100φ	1	50	2.0	0.16	
	80 × 40		40	1	80 40	2 1	80	1	100φ	1	40	2.2	0.13	
	80 × 50		50	1	80 50	2 1	80	1	100φ	1	50	2.2	0.16	
	80 × 65		65	1	80 65	2 1	80	1	100φ	1	65	2.2	0.28	
	100 × 50		50	1	100 50	2 1	100	1	100φ	1	50	2.5	0.16	
	100 × 65		65	1	100 65	2 1	100	1	100φ	1	65	2.5	0.28	
100 × 80	80	1	100 80	2 1	100	1	100φ	1	80	2.5	0.34			
125 × 65	65	1	125 65	2 1	125	1	100φ	1	65	2.5	0.28			
125 × 80	80	1	125 80	2 1	125	1	100φ	1	80	2.5	0.34			
125 × 100	100	1	125 100	2 1	125	1	100φ	1	100	2.7	0.40			
150 × 80	80	1	150 80	2 1	150	1	100φ	1	80	3.0	0.34			
150 × 100	100	1	150 100	2 1	150	1	100φ	1	100	3.0	0.40			
150 × 125	125	1	150 125	2 1	150	1	100φ	1	125	3.0	0.48			

(注) 1. 配管工は二方弁のみの取付歩掛りとする。  
 2. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-2-40

電磁弁装置

細目	摘要 (管寸法)	単位	材 料		複 合 単 価 材 料				配管工	その他
			電磁弁(別途加算)		仕切弁		Y形ストレーナー			
			呼び径	個	呼び径	個	呼び径	個	人	
電磁弁装置	20 <sup>A</sup>	組	15	1	20	1	20	1	0.08	1式
	25		20	1	25	1	25	1	0.09	
	32		25	1	32	1	32	1	0.11	
	40		32	1	40	1	40	1	0.13	
	50		40	1	50	1	50	1	0.16	

- (注) 1. 配管工は電磁弁のみの取付歩掛りとする。  
 2. 「その他」の率対象は、配管工とする。

### 第3節 自動制御設備工事

#### 1 自動制御設備

##### 1-1 一般事項

- (1) 本工種における単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

## 第4節 給排水衛生設備工事

### 1 衛生器具設備

#### 1-1 一般事項

- (1) 表M1-4-1の細目工種は、市場単価を適用する。
- (2) 本節1に定める市場単価における仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 材料価格は、物価資料の掲載価格又は製造業者の見積価格等を参考に定める。
- (4) 本節1の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 1-2 市場単価

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 衛生器具の取付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-4-1

細目	摘要	取付費	単位	備考
大便器	洗浄弁式、温水洗浄便座	取付費	組	
	タンク式、温水洗浄便座			
	高座面形、温水洗浄便座			
小便器	洗浄弁式床置小便器	取付費	組	
	洗浄弁式壁掛小便器			
	専用洗浄弁式床置小便器			
	専用洗浄弁式壁掛小便器			
洗面器	自動水栓1個付、自動混合水栓	取付費	組	
身障者用洗面器		取付費	組	
手洗器	壁掛けそで付、埋込タイプ	取付費	組	
掃除流し		取付費	組	
洗濯機パン		取付費	組	
化粧棚		取付費	個	
鏡	360×450程度、600×800程度、傾斜鏡	取付費	枚	
水石けん入れ	押ボタン式	取付費	個	
シートペーパーホルダー		取付費	個	
紙巻器	1連(紙巻器のみ取付の場合)	取付費	個	
個別感知フラッシュ弁	埋込型、フラッシュ弁等に対する増加金額分	取付費	組	
普通便座	温水洗浄便座に対する差額分	取付費	組	



## 2 給水設備

### 2-1 一般事項

- (1) 表M1-4-2～表M1-4-4の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節2に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節2の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
イ. タンク類の据付け及び水栓類の取付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-4-2

タンク類					
細目	単位	摘 要	設備機械工	その他	備 考
			人		
鋼板製一体形タンク	基	W T S - 2	2.13	1式	
		W T S - 3	3.32		
		W T S - 4	3.89		
		W T S - 5	4.50		
		W T S - 6	5.20		
		W T S - 8	6.52		
		W T S - 10	9.08		
		W T S - 12	10.49		
		W T S - 15	12.04		
		W T S - 20	13.77		
		W T S - 25	15.14		
W T S - 30	17.23				
FRP製一体形タンク	基	W T F - 2	1.87	1式	
		W T F - 3	2.15		
		W T F - 4	2.38		
		W T F - 5	2.55		
		W T F - 6	3.28		
		W T F - 8	3.97		
		W T F - 10	5.10		
		W T F - 12	5.50		
		W T F - 15	6.29		
		W T F - 20	9.41		
		W T F - 25	10.83		
W T F - 30	12.25				

(注) 1. 「その他」の率対象は、設備機械工とする。

表M1-4-3

水栓類				
細目	単位	摘要	配管工	その他
			人	
水栓類	個	13 <sup>A</sup>	0.07	1式
		20	0.08	
		25	0.09	
混合水栓	個	13 <sup>A</sup>	0.11	1式
		20	0.11	
湯屋カラン	個	13 <sup>A</sup>	0.07	1式
		20	0.08	
散水栓(箱共)	個	13 <sup>A</sup>	0.35	1式
		20	0.35	
靴洗栓(箱共)	個	13 <sup>A</sup>	0.35	1式
		20	0.35	
水抜栓	個	15 <sup>A</sup>	0.15	1式
		20	0.15	
弁きょう	個	50 <sup>A</sup>	0.23	1式
		100	0.45	
		150	0.60	
量水器きょう	個	20 <sup>A</sup>	0.23	1式
		25	0.23	
		40	0.23	
不凍水栓柱	個	15 <sup>A</sup>	0.30	1式
		20	0.30	
水栓柱	個		0.20	1式
防虫網	個	32 <sup>A</sup>	0.18	1式
		40	0.20	
		50	0.23	
		65	0.26	
		80	0.29	
		100	0.32	
		125	0.35	
		150	0.38	
埋設表示テープ	m	150幅	0.004	1式
地中埋設標	個	コンクリート製	0.20	1式
		鉄製	0.02	

- (注) 1. 弁きょう及び量水器きょうの「その他」の率は、表3-1-3機械設備工事の「柵」による。  
それ以外は「配管付属品」による。
2. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-4-4

## 量水器等

細目	単位	摘要	配管工	その他
			人	
量水器	個	13 <sup>A</sup>	0.22	1式
		20	0.24	
		25	0.34	
		32	0.36	
		40	0.38	
		50	0.50	
		65	0.63	
		80	0.68	
		100	0.74	
		125	0.84	
		150	0.90	
ホールタップ	個	15 <sup>A</sup>	0.10	1式
		20	0.12	
		25	0.14	
		32	0.18	
		40	0.22	
		50	0.26	
		65	0.34	
		80	0.38	
		100	0.42	
		125	0.46	
定水位弁 (ホールタップ及び電磁弁は含まない。)	個	25 <sup>A</sup>	0.10	1式
		32	0.12	
		40	0.13	
		50	0.16	
		65	0.28	
		80	0.34	
		100	0.38	
		125	0.44	
		150	0.53	
		200	0.64	
定水位制御用電極	個		0.75	1式
フロースイッチ	個		1.08	1式
集中指針装置	個	1戸用	0.09	1式
		10戸用	0.87	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

### 3 排水設備

#### 3-1 一般事項

- (1) 表M1-4-5の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節3に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節3の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 3-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
イ. 排水金具・トラップ等の取付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-4-5

#### 排水金具・トラップ等

細目	単位	摘 要	配管工	その他
			人	
排水金物 SNA、SNB、SNC、 D金具、COA	個	32 <sup>A</sup>	0.17	1式
		40	0.20	
		50	0.23	
		65	0.26	
		80	0.29	
		100	0.32	
		125	0.35	
150	0.38			
排水金物 T14A、T14B、T3A、 T16A、T5A、COB	個	40 <sup>A</sup>	0.22	1式
		50	0.26	
		65	0.34	
		80	0.38	
		100	0.42	
		125	0.46	
排水金物 T3B、T3BL、T5B、 T16B、T16BL	個	40 <sup>A</sup>	0.26	1式
		50	0.31	
		65	0.41	
		80	0.46	
		100	0.50	
		125	0.55	
洗濯機用トラップ	個	非防水形	0.26	1式
		防水形	0.33	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

細 目	単位	摘 要	配管工	その他
			人	
浴 槽 用 ト ラ ッ プ	個	40 <sup>A</sup>	0.26	1式
		50	0.31	
		65	0.41	
		80	0.46	
		100	0.50	
ガソリントラップ	個	100×50	0.80	1式
ド ラ ム ト ラ ッ プ ( 鋳 鉄 製 )	個	40 <sup>A</sup>	0.20	1式
		50	0.23	
		80	0.29	
床 下 掃 除 口	個	40 <sup>A</sup>	0.08	1式
		50	0.09	
		65	0.10	
		80	0.11	
		100	0.13	
		125	0.15	
		150	0.18	
間 接 排 水 口	個	15 <sup>A</sup>	0.04	1式
		20	0.04	
		25	0.06	
		32	0.08	
		40	0.10	
		50	0.12	
		65	0.14	
		80	0.16	
		100	0.18	
		125	0.20	
		150	0.22	
		200	0.24	
		250	0.26	
通 気 金 物	個	50VA2	0.16	1式
		80VA2	0.16	
		100VA2	0.16	
満 水 試 験 継 手	個	50 <sup>A</sup>	0.22	1式
		75	0.29	
		100	0.36	
		125	0.43	
		150	0.50	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

## 4 樹類

### 4-1 一般事項

- (1) 表M1-4-6～表M1-4-10の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節4に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節4の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 4-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
イ. 樹類に適用する。
- (2) 細目工種

表M1-4-6

ため柵

細目	摘要	管底 深さ mm	単 位	複合単価材料					材 料								雑 材 料	特 殊 作 業 員 人	普 通 作 業 員 人	そ の 他	備 考
				根切り	埋戻し	建設発生 土処理	砂利 地業	コンク リート	側塊 101	側塊 102	側塊 103	側塊 1号	側塊 2号	側塊 3号	側塊 4号	ふた					
				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	組	組	組	個	個	個	個	個					
ため柵(一) (コンクリートふた)	400φ	400	組	1.58	1.41	0.17	0.03	0.01	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1 式 (材 料 費 × 0.05 )	0.20	0.14	1.側塊は下記による。 ・101-ふた付 (400φ×630L) ・102-ふた付 (400φ×730L) ・103-ふた付 (400φ×830L) ・1号(500φ×200L上部) ・2号(500φ×650L) ・3号(500φ×100L) ・4号(500φ×200L)
		500		1.79	1.60	0.19	0.03	0.01	—	1	—	—	—	—	—	—	—		0.22	0.16	
		600		2.01	1.80	0.21	0.03	0.01	—	—	1	—	—	—	—	—	—		0.24	0.18	
	500φ	650		2.38	2.04	0.34	0.05	0.01	—	—	—	1	1	—	—	1	—		0.45	0.19	
		750		2.63	2.26	0.37	0.05	0.01	—	—	—	1	1	1	—	1	—		0.48	0.20	
		850		2.89	2.48	0.41	0.05	0.01	—	—	—	1	1	—	1	1	—		0.51	0.22	
		950		3.14	2.70	0.44	0.05	0.01	—	—	—	1	1	1	1	1	—		0.54	0.23	
		1,050		3.39	2.91	0.48	0.05	0.01	—	—	—	1	1	—	2	1	—		0.57	0.25	
		1,150		3.64	3.13	0.51	0.05	0.01	—	—	—	1	1	1	2	1	—		0.60	0.26	
1,250	6.51	5.97	0.54	0.05	0.01	—	—	—	1	1	—	3	1	—	0.63	0.28					
ため柵(一) (防臭ふた)	400φ	400	組	1.58	1.41	0.17	0.03	0.01	1	—	—	—	—	—	—	MHB-400 1	1 式 (材 料 費 × 0.05 )	0.60	0.24	1.側塊は下記による。 ・101(400φ×630L) ・102(400φ×730L) ・103(400φ×830L) ・1号(500φ×200L上部) ・2号(500φ×650L) ・3号(500φ×100L) ・4号(500φ×200L)	
		500		1.79	1.60	0.19	0.03	0.01	—	1	—	—	—	—	MHB-400 1	0.62		0.26			
		600		2.01	1.80	0.21	0.03	0.01	—	—	1	—	—	—	MHB-400 1	0.64		0.28			
	500φ	650		2.38	2.04	0.34	0.05	0.01	—	—	—	1	1	—	—	MHB-500 1		0.89	0.32		
		750		2.63	2.26	0.37	0.05	0.01	—	—	—	1	1	1	—	MHB-500 1		0.92	0.33		
		850		2.89	2.48	0.41	0.05	0.01	—	—	—	1	1	—	1	MHB-500 1		0.95	0.35		
		950		3.14	2.70	0.44	0.05	0.01	—	—	—	1	1	1	1	MHB-500 1		0.98	0.36		
		1,050		3.39	2.91	0.48	0.05	0.01	—	—	—	1	1	—	2	MHB-500 1		1.01	0.38		
		1,150		3.64	3.13	0.51	0.05	0.01	—	—	—	1	1	1	2	MHB-500 1		1.04	0.39		
1,250	6.51	5.97	0.54	0.05	0.01	—	—	—	1	1	—	3	MHB-500 1	1.07	0.41						

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

細目	摘要	管底 深さ mm	単位	複合単価材料								材 料					雑 材 料	特殊 作業 員 人	普通 作業 員 人	揚重 機 4.9t 日	そ の 他	備 考	
				根切り	埋戻し	建設発生 土処理	砂利 地業	捨コン クリート	コンク リート	型枠	鉄筋 D10、 D13	足 掛 け	側塊 A	側塊 B	側塊 300L	側塊 600L							防臭ふた (グレーチング)
				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	kg	個	組	組	組	組							個
ため柵(二)	350×350	300	組	1.71	1.45	0.26	0.06	0.03	0.11	1.80	11.5	—	—	—	—	MHA-350 1 (1)	0.38 (0.31)	0.09 (0.06)	—	1 式 費 × 0.05 )  1 式	1. 側塊は下記による。 ・A (600φ×900φ×600L) ・B (900φ×1200φ×600L) 2. グレーチング使用の場 合は( )内数値とする。 3. 内径900φ以上の労務 の項で、上段は人力を、 下段は機械を示す。 4. 揚重機はトラッククレー ン又はラフテレーンクレー ンとする。		
		350		1.83	1.56	0.27	0.06	0.03	0.12	1.98	11.8	—	—	—	—	MHA-350 1 (1)	0.38 (0.31)	0.09 (0.06)	—				
		400		1.95	1.66	0.29	0.06	0.03	0.13	2.16	12.1	—	—	—	—	MHA-350 1 (1)	0.38 (0.31)	0.09 (0.06)	—				
		450		2.07	1.77	0.30	0.06	0.03	0.14	2.34	12.5	—	—	—	—	MHA-350 1 (1)	0.38 (0.31)	0.09 (0.06)	—				
	450×450	500		2.53	2.09	0.44	0.07	0.04	0.19	3.12	15.7	—	—	—	—	MHA-450 1 (1)	0.41 (0.35)	0.11 (0.08)	—				
		550		2.67	2.21	0.46	0.07	0.04	0.20	3.34	16.0	—	—	—	—	MHA-450 1 (1)	0.41 (0.35)	0.11 (0.08)	—				
		600		2.80	2.32	0.48	0.07	0.04	0.22	3.56	16.4	—	—	—	—	MHA-450 1 (1)	0.41 (0.35)	0.11 (0.08)	—				
	600×600	700		3.83	2.98	0.85	0.11	0.06	0.38	5.24	25.1	—	—	—	—	MHA-600 1 (1)	0.47 (0.39)	0.15 (0.12)	—				
		800		4.16	3.24	0.92	0.11	0.06	0.41	5.82	26.0	—	—	—	—	MHA-600 1 (1)	0.47 (0.39)	0.15 (0.12)	—				
900		4.50	3.50	1.00	0.11	0.06	0.45	6.39	29.0	—	—	—	—	MHA-600 1 (1)	0.47 (0.39)	0.15 (0.12)	—						

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。



細目	摘要	管底 深さ	単位	複合単価材料								材 料					雑 材 料	特殊 作業 員	普通 作業 員	揚重 機 4.9t	そ の 他	備 考	
				根切り	埋戻し	建設発生 土処理	砂利 地業	捨コン クリト	コンク リト	型枠	鉄筋 D10、 D13	足 掛 け	側塊 A	側塊 B	側塊 300L	側塊 600L							防臭ふた (グレーチング)
				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	kg	個	組	組	組	組							個
ため柵(二)	600×600	1,000	組	4.84	3.77	1.07	0.11	0.06	0.48	6.97	29.9	—	—	—	—	MHA-600 1 (1)	0.47 (0.39)	0.15 (0.12)	—	1 式	1. 側塊は下記による。 ・A (600φ×900φ×600L) ・B (900φ×1200φ×600L) 2. グレーチング使用の場 合は( )内数値とする。 3. 内径900φ以上の労務 の項で、上段は人力を、 下段は機械を示す。 4. 揚重機はトラッククレー ン又はラフテレーンクレー ンとする。		
		1,100		8.09	6.95	1.14	0.11	0.06	0.52	7.55	32.9	—	—	—	—	MHA-600 1 (1)	0.47 (0.39)	0.15 (0.12)	—				
		1,200		8.84	7.63	1.21	0.11	0.06	0.55	8.12	35.8	—	—	—	—	MHA-600 1 (1)	0.47 (0.39)	0.15 (0.12)	—				
	900φ	1,300		13.62	11.72	1.90	0.29	0.12	0.59	6.17	34.5	1	1	—	—	MHA-600 1	1.15 0.80	0.55 0.31	— 0.1				
		1,400		14.69	12.72	1.97	0.29	0.12	0.49	4.85	30.0	1	1	—	1	MHA-600 1	1.54 1.13	0.78 0.47	— 0.2				
		1,500		15.79	13.71	2.08	0.29	0.12	0.54	5.51	31.1	1	1	—	1	MHA-600 1	1.54 1.13	0.78 0.47	— 0.2				
		1,600		16.93	14.74	2.19	0.29	0.12	0.59	6.17	34.5	1	1	—	1	MHA-600 1	1.54 1.13	0.78 0.47	— 0.2				
		1,700		18.11	15.86	2.25	0.29	0.12	0.49	4.85	30.0	1	1	—	—	1	MHA-600 1	1.75 1.13	0.91 0.47			— 0.2	
		1,800		19.33	16.96	2.37	0.29	0.12	0.54	5.51	31.1	1	1	—	—	1	MHA-600 1	1.75 1.13	0.91 0.47			— 0.2	
		1,900		20.59	18.11	2.48	0.29	0.12	0.59	6.17	34.5	1	1	—	—	1	MHA-600 1	1.75 1.13	0.91 0.47			— 0.2	
		2,000		21.89	19.34	2.55	0.29	0.12	0.49	4.85	30.0	1	1	—	1	1	MHA-600 1	2.14 1.46	1.14 0.63			— 0.3	
		2,100		23.22	20.56	2.66	0.29	0.12	0.54	5.51	31.1	1	1	—	1	1	MHA-600 1	2.14 1.46	1.14 0.63			— 0.3	
2,200	24.60	21.83	2.77	0.29	0.12	0.59	6.17	34.5	1	1	—	1	1	MHA-600 1	2.14 1.46	1.14 0.63	— 0.3						

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

細目	摘要	管底 深さ mm	単位	複合単価材料								材 料					雑材 料	特殊 作業 員	普通 作業 員	揚重 機 4.9t	そ の 他	備 考	
				根切り	埋戻し	建設発生 土処理	砂利 地業	捨コン クリト	コンク リト	型枠	鉄筋 D10、 D13	足 掛 け	側塊 A	側塊 B	側塊 300L	側塊 600L							防臭ふた (グレーチング)
				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	kg	個	組	組	組	組							個
ため桝(二)	900φ	2,300	組	26.02	23.19	2.83	0.29	0.12	0.49	4.85	30.0	1	1	—	—	2	MHA-600 1	2.35 1.46	1.27 0.63	— 0.3	1式	1. 側塊は下記による。 ・A (600φ×900φ×600L) ・B (900φ×1200φ×600L) 2. グレーチング使用の場 合は( )内数値とする。 3. 内径900φ以上の労務 の項で、上段は人力を、 下段は機械を示す。 4. 揚重機はトラッククレー ン又はラフテレーンクレー ンとする。	
		2,400		27.48	24.54	2.94	0.29	0.12	0.54	5.51	31.1	1	1	—	—	2	MHA-600 1	2.35 1.46	1.27 0.63	— 0.3			
		2,500		28.98	25.92	3.06	0.29	0.12	0.59	6.17	34.5	1	1	—	—	2	MHA-600 1	2.35 1.46	1.27 0.63	— 0.3			
	1200φ	2,600		39.84	35.03	4.81	0.62	0.19	0.89	6.61	42.1	1	1	1	1	1	MHA-600 1	3.29 1.79	1.83 0.79	— 0.4			
		2,700		41.78	36.78	5.00	0.62	0.19	0.97	7.48	43.5	1	1	1	1	1	MHA-600 1	3.29 1.79	1.83 0.79	— 0.4			
		2,800		43.78	38.59	5.19	0.62	0.19	1.05	8.35	47.9	1	1	1	1	1	MHA-600 1	3.29 1.79	1.83 0.79	— 0.4			
		2,900		45.82	40.60	5.22	0.62	0.19	0.89	6.61	42.1	1	1	1	—	2	MHA-600 1	3.62 1.79	2.03 0.79	— 0.4			
		3,000		47.91	42.50	5.41	0.62	0.19	0.97	7.48	43.5	1	1	1	—	2	MHA-600 1	3.62 1.79	2.03 0.79	— 0.4			
		3,100		50.05	44.45	5.60	0.62	0.19	1.05	8.35	47.9	1	1	1	—	2	MHA-600 1	3.62 1.79	2.03 0.79	— 0.4			
		3,200		52.24	46.56	5.68	0.62	0.19	0.89	6.61	42.1	1	1	1	1	2	MHA-600 1	4.14 2.12	2.34 0.95	— 0.5			
		3,300		54.49	48.62	5.87	0.62	0.19	0.97	7.48	43.5	1	1	1	1	2	MHA-600 1	4.14 2.12	2.34 0.95	— 0.5			
		3,400		56.78	50.72	6.06	0.62	0.19	1.05	8.35	47.9	1	1	1	1	2	MHA-600 1	4.14 2.12	2.34 0.95	— 0.5			

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

表M1-4-7

インバート柵

細目	摘要	管底 深さ mm	単 位	複合単価材料					材 料								雑 材 料	特 殊 作 業 員 人	普 通 作 業 員 人	そ の 他	備 考
				根切り	埋戻し	建設発生 土処理	砂利 地業	インバート モルタル	側塊 101	側塊 102	側塊 103	側塊 1号	側塊 2号	側塊 3号	側塊 4号	ふた					
				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	組	組	組	個	個	個	個	個					
インバート柵(一) (コンクリートふた)	400φ	400	組	1.25	1.14	0.11	0.03	0.02	1	—	—	—	—	—	—	—	0.38	0.12	1.側塊は下記による。 ・101-ふた付 (400φ×480L) ・102-ふた付 (400φ×580L) ・103-ふた付 (400φ×680L) ・1号(500φ×200L上部) ・2号(500φ×650L) ・3号(500φ×100L) ・4号(500φ×200L)		
		500		1.47	1.34	0.13	0.03	0.02	—	1	—	—	—	—	—	—	0.39	0.13			
		600		1.69	1.54	0.15	0.03	0.02	—	—	1	—	—	—	—	—	0.41	0.15			
	500φ	650		2.08	1.83	0.25	0.05	0.05	—	—	—	1	1	—	—	1	0.65	0.19			
		750		2.33	2.06	0.27	0.05	0.05	—	—	—	1	1	1	—	1	0.68	0.20			
		850		2.58	2.28	0.30	0.05	0.05	—	—	—	1	1	—	1	1	0.71	0.22			
		950		2.84	2.51	0.33	0.05	0.05	—	—	—	1	1	1	1	1	0.74	0.23			
		1,050		3.09	2.74	0.35	0.05	0.05	—	—	—	1	1	—	2	1	0.77	0.25			
		1,150		3.34	2.96	0.38	0.05	0.05	—	—	—	1	1	1	2	1	0.80	0.26			
1,250	3.59	3.18	0.41	0.05	0.05	—	—	—	1	1	—	3	1	0.83	0.28						
インバート柵(一) (防臭ふた)	400φ	400	組	1.25	1.14	0.11	0.03	0.02	1	—	—	—	—	—	MHB-400 1	1式 (材 料 費 × 0.05)	0.78	0.22	1.側塊は下記による。 ・101(400φ×480L) ・102(400φ×580L) ・103(400φ×680L) ・1号(500φ×200L上部) ・2号(500φ×650L) ・3号(500φ×100L) ・4号(500φ×200L)		
		500		1.47	1.34	0.13	0.03	0.02	—	1	—	—	—	—	MHB-400 1		0.79	0.23			
		600		1.69	1.54	0.15	0.03	0.02	—	—	1	—	—	—	MHB-400 1		0.81	0.25			
	500φ	650		2.08	1.83	0.25	0.05	0.05	—	—	—	1	1	—	—		MHB-500 1	1.09		0.32	
		750		2.33	2.06	0.27	0.05	0.05	—	—	—	1	1	1	—		MHB-500 1	1.12		0.33	
		850		2.58	2.28	0.30	0.05	0.05	—	—	—	1	1	—	1		MHB-500 1	1.15		0.35	
		950		2.84	2.51	0.33	0.05	0.05	—	—	—	1	1	1	1		MHB-500 1	1.18		0.36	
		1,050		3.09	2.74	0.35	0.05	0.05	—	—	—	1	1	—	2		MHB-500 1	1.21		0.38	
		1,150		3.34	2.96	0.38	0.05	0.05	—	—	—	1	1	1	2		MHB-500 1	1.24		0.39	
1,250	3.59	3.18	0.41	0.05	0.05	—	—	—	1	1	—	3	MHB-500 1	1.27	0.41						

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

細目	摘要	管底 深さ	単位	複合単価材料										材 料					雑 材 料	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	揚 重 機 4.9t	そ の 他	備 考		
				根切り	埋戻し	建設発生 土処理	砂利 地業	捨コン クリート	コン クリート	型 枠	鉄筋 D10、 D13	足 掛 け	インバート コンクリート	インバート 型枠	インバート モルタル	側 塊 A	側 塊 B	側 塊 300 L							側 塊 600 L	防臭ふた
				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	kg	個	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	組	組	組							組	個
インバート 柵 (二)	350 × 350	300	組	1.47	1.24	0.23	0.06	0.03	0.09	1.48	9.4	—	0.01	0.11	0.01	—	—	—	—	MHA-350 1	0.58	0.09	—	1. 側塊は下記による。 ・A (600φ×900φ×600L) ・B (900φ×1200φ×600L) 2. 内径900φ以上の労務 の項で、上段は人力を、 下段は機械を示す。 3. 揚重機はトラッククレー ン又はラフテレーンクレー ンとする。		
		350		1.59	1.35	0.24	0.06	0.03	0.10	1.66	11.1	—	0.01	0.11	0.01	—	—	—	—	MHA-350 1	0.58	0.09	—			
		400		1.71	1.45	0.26	0.06	0.03	0.11	1.80	11.5	—	0.01	0.11	0.01	—	—	—	—	MHA-350 1	0.58	0.09	—			
		450		1.83	1.56	0.27	0.06	0.03	0.12	1.98	11.8	—	0.01	0.11	0.01	—	—	—	—	MHA-350 1	0.58	0.09	—			
	450 × 450	500		2.26	1.87	0.39	0.07	0.04	0.17	2.73	13.4	—	0.01	0.14	0.01	—	—	—	—	MHA-450 1	0.61	0.11	—			
		550		2.40	1.99	0.41	0.07	0.04	0.18	2.90	15.4	—	0.01	0.14	0.01	—	—	—	—	MHA-450 1	0.61	0.11	—			
	600 × 600	600		2.53	2.09	0.44	0.07	0.04	0.19	3.12	15.7	—	0.01	0.14	0.01	—	—	—	—	MHA-450 1	0.61	0.11	—			
		700		3.49	2.71	0.78	0.11	0.06	0.34	4.67	22.2	—	0.02	0.24	0.02	—	—	—	—	MHA-600 1	0.67	0.15	—			
		800		3.83	2.98	0.85	0.11	0.06	0.38	5.24	25.1	—	0.02	0.24	0.02	—	—	—	—	MHA-600 1	0.67	0.15	—			
		900		4.16	3.24	0.92	0.11	0.06	0.41	5.82	26.0	—	0.02	0.24	0.02	—	—	—	—	MHA-600 1	0.67	0.15	—			
		1,000		4.50	3.50	1.00	0.11	0.06	0.45	6.39	29.0	—	0.02	0.24	0.02	—	—	—	—	MHA-600 1	0.67	0.15	—			
		1,100		4.84	3.77	1.07	0.11	0.06	0.48	6.97	29.9	—	0.02	0.24	0.02	—	—	—	—	MHA-600 1	0.67	0.15	—			
1,200	8.09	6.95	1.14	0.11	0.06	0.52	7.55	32.9	—	0.02	0.24	0.02	—	—	—	—	MHA-600 1	0.67	0.15	—						

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

細目	摘要	管底 深さ	単位	複合単価材料										材 料					雑 材 料	特 殊 作 業 員	普 通 作 業 員	揚 重 機 4.9t	そ の 他	備 考		
				根切り	埋戻し	建設発生 土処理	砂利 地業	捨コン クリート	コン クリート	型 枠	鉄筋 D10、 D13	足 掛 け	インバート コンクリート	インバート 型枠	インバート モルタル	側 塊 A	側 塊 B	側 塊 300 L							側 塊 600 L	防臭ふた
				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	kg	個	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	組	組	組							組	個
インバート 樋 (二)	900φ	1,300	組	12.59	10.80	1.79	0.29	0.12	0.54	5.51	23.4	1	0.10	0.48	0.05	1	—	—	MHA-600 1	1.55	0.55	—	1 式 (材 料 費 × 0.05)	1 式	1. 側塊は下記による。 ・A (600φ×900φ×600L) ・B (900φ×1200φ×600L) 2. 内径900φ以上の労務 の項で、上段は人力を、 下段は機械を示す。 3. 揚重機はトラッククレー ン又はラフテレーンクレー ンとする。	
		1,400		13.62	11.76	1.86	0.29	0.12	0.44	4.19	27.0	1	0.10	0.48	0.05	1	—	1	MHA-600 1	1.74	0.78	—				
		1,500		14.69	12.72	1.97	0.29	0.12	0.49	4.85	30.0	1	0.10	0.48	0.05	1	—	1	MHA-600 1	1.74	0.78	—				
		1,600		15.79	13.71	2.08	0.29	0.12	0.54	5.51	31.1	1	0.10	0.48	0.05	1	—	1	MHA-600 1	1.74	0.78	—				
		1,700		16.93	14.79	2.14	0.29	0.12	0.44	4.19	27.0	1	0.10	0.48	0.05	1	—	—	1	MHA-600 1	2.15	0.91				—
		1,800		18.11	15.86	2.25	0.29	0.12	0.49	4.85	30.0	1	0.10	0.48	0.05	1	—	—	1	MHA-600 1	1.53	0.47				0.2
		1,900		19.33	16.96	2.37	0.29	0.12	0.54	5.51	31.1	1	0.10	0.48	0.05	1	—	—	1	MHA-600 1	2.15	0.91				—
		2,000		20.59	18.16	2.43	0.29	0.12	0.44	4.19	27.0	1	0.10	0.48	0.05	1	—	1	1	MHA-600 1	1.53	0.47				0.2
		2,100		21.89	19.34	2.55	0.29	0.12	0.49	4.85	30.0	1	0.10	0.48	0.05	1	—	1	1	MHA-600 1	2.55	1.14				—
		2,200		23.22	20.56	2.66	0.29	0.12	0.54	5.51	31.1	1	0.10	0.48	0.05	1	—	1	1	MHA-600 1	1.86	0.63				0.3
		2,300		24.60	21.88	2.72	0.29	0.12	0.44	4.19	27.0	1	0.10	0.48	0.05	1	—	—	2	MHA-600 1	2.55	1.14				—
		2,400		26.02	23.19	2.83	0.29	0.12	0.49	4.85	30.0	1	0.10	0.48	0.05	1	—	—	2	MHA-600 1	1.86	0.63				0.3
2,500	27.48	24.54	2.94	0.29	0.12	0.54	5.51	31.1	1	0.10	0.48	0.05	1	—	—	2	MHA-600 1	2.75	1.27	—						

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

細目	摘要	管底 深さ	単位	複合単価材料										材 料					雑 材 料	特殊 作業 員	普通 作業 員	揚重 機 4.9t	そ の 他	備 考		
				根切り	埋戻し	建設発生 土処理	砂利 地業	捨コン クリート	コン クリート	型 枠	鉄筋 D10、 D13	足 掛 け	インバート コンクリート	インバート 型枠	インバート モルタル	側 塊 A	側 塊 B	側 塊 300 L							側 塊 600 L	防臭ふた
				m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	kg	個	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	組	組	組							組	個
インバート 柵 (二)	1200φ	2,600	組	37.95	33.33	4.62	0.62	0.19	0.81	5.75	37.8	1	0.19	0.66	0.09	1	1	1	1	MHA-600 1	1 式 (材 料 費 × 0.05 )	3.65	1.83	—	1 式	1. 側塊は下記による。 ・A (600φ×900φ×600L) ・B (900φ×1200φ×600L) 2. 内径900φ以上の労務 の項で、上段は人力を、 下段は機械を示す。 3. 揚重機はトラッククレー ン又はラフテレーンクレー ンとする。
		2,700		39.84	35.03	4.81	0.62	0.19	0.89	6.61	42.1	1	0.19	0.66	0.09	1	1	1	1	MHA-600 1		3.65	1.83	—		
		2,800		41.78	36.78	5.00	0.62	0.19	0.97	7.48	43.5	1	0.19	0.66	0.09	1	1	1	1	MHA-600 1		3.65	1.83	—		
		2,900		43.78	38.76	5.02	0.62	0.19	0.81	5.75	37.8	1	0.19	0.66	0.09	1	1	—	2	MHA-600 1		4.02	2.03	—		
		3,000		45.82	40.60	5.22	0.62	0.19	0.89	6.61	42.1	1	0.19	0.66	0.09	1	1	—	2	MHA-600 1		4.02	2.03	—		
		3,100		47.91	42.50	5.41	0.62	0.19	0.97	7.48	43.5	1	0.19	0.66	0.09	1	1	—	2	MHA-600 1		4.02	2.03	—		
		3,200		50.05	44.56	5.49	0.62	0.19	0.81	5.75	37.8	1	0.19	0.66	0.09	1	1	1	2	MHA-600 1		4.54	2.34	—		
		3,300		52.24	46.56	5.68	0.62	0.19	0.89	6.61	42.1	1	0.19	0.66	0.09	1	1	1	2	MHA-600 1		2.52	0.95	0.5		
		3,400		54.49	48.62	5.87	0.62	0.19	0.97	7.48	43.5	1	0.19	0.66	0.09	1	1	1	2	MHA-600 1		4.54	2.34	—		
3,500	56.78	50.88	5.90	0.62	0.19	0.81	5.75	37.8	1	0.19	0.66	0.09	1	1	—	3	MHA-600 1	2.52	0.95	0.5						

(注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

表M1-4-8

プラスチック樹

細目	単位	摘 要				材 料		雑材料	配管工 人	その他
		樹径	最大排水 管径	区分	深 さ	樹	立上り管 (RS-VU)			
						(塩ビふた付)	150φ・200φ			
mm	mm	mm	組	m						
プラスチック樹	組	150φ	100φ	A	～500	1	0.34	1式 (材料費×0.1)	0.09	1式
					501～800		0.64		0.09	
					801～1200		1.04		0.10	
					1201～1500		1.34		0.11	
		150φ	100φ	B※	～500	1	0.34		0.13	
					501～800		0.64		0.13	
					801～1200		1.04		0.14	
					1201～1500		1.34		0.15	
		200φ	100φ	A	～500	1	0.34		0.10	
					501～800		0.64		0.10	
					801～1200		1.04		0.11	
					1201～1500		1.34		0.12	
		200φ	100φ	B	～500	1	0.34		0.14	
					501～800		0.64		0.14	
					801～1200		1.04		0.15	
					1201～1500		1.34		0.16	
		200φ	125φ	A	～500	1	0.32		0.11	
					501～800		0.62		0.11	
					801～1200		1.02		0.12	
					1201～1500		1.32		0.13	
		200φ	125φ	B	～500	1	0.32		0.15	
					501～800		0.62		0.15	
					801～1200		1.02		0.16	
					1201～1500		1.32		0.17	
		200φ	150φ	A	～500	1	0.29		0.12	
					501～800		0.59		0.12	
					801～1200		0.99		0.13	
					1201～1500		1.29		0.14	
200φ	150φ	B	～500	1	0.29	0.16				
			501～800		0.59	0.16				
			801～1200		0.99	0.17				
			1201～1500		1.29	0.18				

- (注) 1. インバート樹及びため樹に適用し、土工事は含んでいない。  
 2. 区分は底部種類を示し、下記区分表による。  
 3. 鋳鉄製防護ふたが必要な場合は表M1-4-9により加算する。  
 4. 「その他」の率対象は、配管工とする。

区分表

区分	底 部 種 類	備 考
A	ST	ストレート、曲り及び枝流入口を1個持つ合流とする。
	90L、45L	
	90Y、45Y、45YS	
	WLS	
B	UTK、UT、UTL	トラップを有するもの、ドロップ及び枝流入口を2個持つ合流とする。
	DR	
	DRY、DRW	

※樹径150φは、UTK、UTのみ

表M1-4-9

鑄鉄製防護ふた（プラスチック柵用）															
細目	単位	摘 要									鑄鉄製防護ふた （台座付）	切込 碎石	特殊 作業員	普通 作業員	その他
											組	m <sup>3</sup>	人	人	
鑄鉄製 防護ふた	組	標準型	T-8	ふた径200	蝶番ロック式	1	0.09	0.016	0.016	1式					
		標準型	T-8	ふた径200	蝶番袋穴式										
		標準型	T-14	ふた径200	蝶番ロック式										
		標準型	T-14	ふた径200	蝶番袋穴式										
		標準型	T-25	ふた径200	蝶番ロック式										
		標準型	T-25	ふた径200	蝶番袋穴式										

- (注) 1. 鑄鉄製防護ふたは200φ以下の柵に使用可能とする。  
 2. プラスチック柵に付属する塩ビふたを内ふたと読み替えており、プラスチック柵（塩ビふた付）に加算して使用する。  
 3. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。

表M1-4-10

弁柵類																	
細目	摘 要	深さ mm	単位	複合単価材料							材料		雑 材 料	特殊 作業員 人	普通 作業員 人	その他	
				硬質塩化 ビニル管 (VP)	コンク リート	砂利 地業	モル タル	型 枠	根切 り	埋戻 し	建設発 生土 処理	ふた					個
				m	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	個					
弁 柵	25 <sup>A</sup> 以下	550	組	0.60	—	0.02	—	—	0.39	0.29	0.10	B1 1	1式 (材料費× 0.05)	0.36	0.08	1式	
	40 <sup>A</sup> 以下	550		—	0.050	0.02	—	1.22	1.24	1.15	0.09	B1 1		0.36	0.08		
		850		—	0.109	0.03	—	2.05	2.00	1.83	0.17	B1 1		0.36	0.08		
	50~80	700		—	0.137	0.06	—	2.44	2.07	1.81	0.26	MHA-P300 1		0.36	0.08		
		900		—	0.169	0.06	—	3.08	2.52	2.21	0.31	MHA-P300 1		0.36	0.08		
	100~200	1,200		—	0.385	0.10	—	5.80	4.11	3.38	0.73	MHA-P450 1		0.41	0.11		
量 水 器 柵	25 <sup>A</sup> ~32 <sup>A</sup>	450	組	—	0.116	0.07	0.01	1.92	1.65	1.40	0.25	MB-1 1	1式 (材料費× 0.05)	0.36	0.08	1式	
		750		—	0.173	0.07	0.02	3.64	2.39	2.05	0.34	MB-1 1		0.36	0.08		
	40~65	450		—	0.192	0.12	0.02	2.88	2.19	1.71	0.48	MB-2 1		0.47	0.15		
		750		—	0.277	0.12	0.03	4.58	3.17	2.50	0.67	MB-2 1		0.47	0.15		
	80~150	450		—	0.374	0.21	0.04	4.14	3.15	2.21	0.94	MB-3 1		0.77	0.30		
		750		—	0.521	0.21	0.05	6.60	4.52	3.20	1.32	MB-3 1		0.77	0.30		
点 検 口 柵	450×450	400	組	—	0.099	0.08	0.01	1.92	1.59	1.33	0.26	WPM-A450 1	1式 (材料費× 0.05)	0.41	0.11	1式	
	800×800	450		—	0.147	0.13	0.02	2.73	2.29	1.77	0.52	MB-2 1		0.47	0.15		

- (注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員、普通作業員とする。



## 5 給湯設備

### 5-1 一般事項

- (1) 表M1-4-11、表M1-4-12の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節5に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節5の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 5-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
イ. ガス湯沸器類の取付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-4-11

ガス湯沸器類				
細 目	単位	摘 要	配管工	その他
			人	
貯湯湯沸器 (置台形)	台	貯湯量 10 L	0.45	1式
		20 L	0.45	
		40 L	0.50	
		60 L	0.62	
		90 L	0.67	
		125 L	0.72	
貯湯湯沸器 (壁掛形)	台	貯湯量 10 L	0.83	1式
		20 L	0.83	
		40 L	0.88	
		60 L	1.07	
瞬間湯沸器 (給湯専用壁掛形)	台	能力 5号	0.83	1式
		6号	0.88	
		8号	1.07	
		10号	1.22	
		14号	1.50	
		16号	1.78	
		20号	2.12	
		24号	2.47	
30号	2.98			
瞬間湯沸器 (給湯専用据置形)	台	能力 16号	1.42	1式
		20号	1.70	
		24号	1.98	
		30号	2.38	
瞬間湯沸器 (追炊付壁掛形)	台	能力 16号	2.11	1式
		20号	2.51	
		24号	2.92	
		30号	3.52	
瞬間湯沸器 (追炊付据置形)	台	能力 16号	1.69	1式
		20号	2.01	
		24号	2.34	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

表M1-4-12

## 風呂釜、浴槽等

細目	単位	摘要	配管工	その他
			人	
バランス形風呂釜	台	上り湯シャワー付き	1.22	1式
		上り湯シャワーなし	1.07	
浴槽（据置形）	個	800mm×700mm×640mm	0.47	1式
掃除口金物 （排気筒用）	個		0.32	1式
排気筒	m	口径 100φ	0.29	1式
		150φ	0.33	
		200φ	0.44	
		250φ	0.50	
		300φ	0.62	
		350φ	0.72	
多翼形トップ （傾斜H形トップ）	個	口径 100φ	0.20	1式
		150φ	0.20	
		200φ	0.22	
		250φ	0.24	
		300φ	0.24	
		350φ	0.26	

（注） 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

## 6 消火設備

### 6-1 一般事項

- (1) 表M1-4-13の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節6に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節6の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 6-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 消火設備の資機材の取付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-4-13

屋内消火栓、屋外消火栓等 (1/2)				
細目	単位	摘 要	配管工	その他
			人	
屋内消火栓箱 (埋込形)	組	弁、ホース、ノズル、ホース掛、 (発信機、表示灯、電鈴)箱	1.40	1式
屋内消火栓箱 (露出形)	組	弁、ホース、ノズル、ホース掛、 (発信機、表示灯、電鈴)箱	1.25	1式
屋内消火栓箱 (埋込形放水口付)	組	弁、ホース、ノズル、ホース掛、 (発信機、表示灯、電鈴)箱、放水口	1.70	1式
屋内消火栓箱 (露出形放水口付)	組	弁、ホース、ノズル、ホース掛、 (発信機、表示灯、電鈴)箱、放水口	1.55	1式
屋内2号消火栓箱 (埋込形)	組	ホース、ノズル、ホース収納装置、 起動装置(発信機、表示灯、電鈴)箱	1.40	1式
屋内2号消火栓箱 (露出形)	組	ホース、ノズル、ホース収納装置、 起動装置(発信機、表示灯、電鈴)箱	1.25	1式
屋内2号消火栓箱 (埋込形放水口付)	組	ホース、ノズル、ホース収納装置、 起動装置(発信機、表示灯、電鈴)箱、放水口	1.70	1式
屋内2号消火栓箱 (露出形放水口付)	組	ホース、ノズル、ホース収納装置、 起動装置(発信機、表示灯、電鈴)箱、放水口	1.55	1式
屋内消火栓箱 (埋込形)	組	弁、ホース、ノズル、 ホース掛、箱	1.23	1式
屋内消火栓箱 (露出形)	組	弁、ホース、ノズル、 ホース掛、箱	1.12	1式
屋内消火栓箱 (埋込形放水口付)	組	弁、ホース、ノズル、 ホース掛、箱、放水口	1.54	1式
屋内消火栓箱 (露出形放水口付)	組	弁、ホース、ノズル、 ホース掛、箱、放水口	1.40	1式

- (注) 1. 消火器箱併設形屋内消火栓箱は、屋内消火栓箱の20%増しとする。  
 2. 屋内消火栓箱の「その他」の率は、表3-1-3機械設備工事の「衛生機器」による。  
 3. 「その他」の率対象は、配管工とする。

屋内消火栓、屋外消火栓等 (2/2)

細目	単位	摘 要	配管工	その他
			人	
放水用器具格納箱 (埋込形)	組	放水口、ホース、ノズル、ホース掛、 格納箱(ホース2本)	1.40	1式
放水用器具格納箱 (露出形)	組	放水口、ホース、ノズル、ホース掛、 格納箱(ホース2本)	1.25	1式
放水用器具格納箱 (埋込形)	組	放水口、ホース、ノズル、ホース掛、 格納箱(ホース4本)	1.40	1式
放水用器具格納箱 (露出形)	組	放水口、ホース、ノズル、ホース掛、 格納箱(ホース4本)	1.25	1式
放水口格納箱 (埋込形)	組	放水口、格納箱	1.20	1式
放水口格納箱 (露出形)	組	放水口、格納箱	1.10	1式
屋外消火栓箱 地上式	組	消火栓弁、ホース、ノズル、 ホース掛、消火栓箱	1.20	1式
屋外消火栓ホース 格納式、地上式	組	格納箱、ホース、ノズル、 開閉栓廻し	1.10	1式
屋外消火栓弁 地上式	個	単口形	0.60	1式
		双口形	0.70	
屋外消火栓弁 地下式	個	単口形	0.39	1式
		双口形	0.54	
送水口	個		0.75	1式
採水口	個		0.75	1式
テスト弁	個	40 <sup>A</sup>	0.28	1式
		65 <sup>A</sup>	0.33	
放水口	個	埋込単口形	0.30	1式
消火器	個	粉末A-2	0.09	1式
消火器ABC	個	消火器(3kg、20kg、40kg、50kg)、 標示板	0.18	1式
消火器CO <sub>2</sub>	個	消火器CO <sub>2</sub> 2.3kg、 ブラケット、標示板	0.18	1式
消火器保管箱	個	1本用	0.56	1式
		2本用	0.73	
		3本用	0.84	
		4本用	1.12	

(注) 1. 消火器箱併設形屋内消火栓箱は、屋内消火栓箱の20%増しとする。

2. 放水用器具格納箱、屋外消火栓箱、屋外消火栓ホース格納式の「その他」の率は、表3-1-3機械設備工事の「衛生機器」による。

屋外消火栓弁、送水口、採水口、テスト弁、放水口、消火器、消火器保管箱の「その他」の率は、表3-1-3機械設備工事の「配管付属品」による。

3. 「その他」の率対象は、配管工とする。

## 7 厨房機器設備

### 7-1 一般事項

- (1) 表M1-4-14の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節7に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書による。
- (3) 本節7の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 7-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
イ. 厨房機器類の据付けに適用する。

- (2) 細目工種

表M1-4-14

厨房機器				
細目	単位	摘 要	配管工	その他
			人	
流し台(1槽シンク)	台	幅 900 mm 以下	0.50	1式
		901~1,200 mm	0.50	
		1,201~1,500 mm	0.70	
		1,501 mm 以上	0.90	
流し台(2槽シンク)	台	幅 901~1,200 mm	0.60	1式
		1,201~1,500 mm	0.80	
		1,501 mm 以上	1.00	
作業台	台	幅 600 mm 以下	0.35	1式
		601~ 750 mm	0.35	
		751~ 900 mm	0.40	
		901~1,200 mm	0.45	
		1,201~1,500 mm	0.50	
戸だな(片面)	台	幅 1,500 mm 以下	0.70	1式
		1,501 mm 以上	1.00	
戸だな(両面)	台	幅 1,500 mm 以下	1.00	1式
		1,501 mm 以上	1.30	
たな(5段式)	台	幅 1,200 mm 以下	0.60	1式
		1,201 mm 以上	0.80	
ガレンジ	台	幅 900 mm 以下	1.40	1式
		901~1,200 mm	2.00	
		1,201~1,500 mm	2.60	
		1,501 mm 以上	3.20	
ガステーブル	台	幅 750 mm 以下	0.70	1式
		751 mm 以上	0.80	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

細 目	単位	摘 要	配管工	その他
			人	
フライヤー（1槽）	台	幅 750 mm 以下	1.20	1式
		751 mm 以上	1.60	
フライヤー（2槽）	台	幅 750 mm 以下	1.80	1式
		751mm 以上	2.20	
魚焼器（ガス式）	台	1 連形	1.30	1式
		2 連形	1.80	
そば釜（ガス式）	台	幅 900 mm 以下	1.00	1式
		901～1,200 mm	1.50	
		1,201～1,500 mm	2.00	
炊飯器（ガス式）	台	30 kg 以下	2.00	1式
		31 kg 以上	3.00	
洗 米 器	台	30 kg 以下	0.55	1式
		31 kg 以上	0.70	
回転式平釜（ガス式）	台	50 L 以下	0.75	1式
		51 ～ 75 L	1.00	
		76 ～100 L	1.20	
		101 ～135 L	1.40	
		136 ～160 L	1.70	
球根皮むき器	台	10 kg	0.70	1式
		15 kg	0.80	
食器消毒器	台	幅 750 mm 以下	0.70	1式
		751 mm 以上	0.80	
冷 蔵 庫	台	幅 1,200 mm 以下	2.50	1式
		1,201～1,500 mm	3.00	
		1,501～1,800 mm	3.80	

(注) 1. 「その他」の率対象は、配管工とする。

## 第2章 改修工事

1. 本章は、建築物等の模様替え及び修繕（以下「改修」という。）に係る機械設備工事の積算に適用する。
2. 本章記載の標準歩掛りは、改修工事特有の細目工種について定める。
3. 本章の定める以外の細目工種については第1章による。ただし、作業効率の低下等を考慮し必要に応じ単価及び価格の割増しができる。

### 第1節 共通工事

#### 1 配管工事

##### 1-1 一般事項

- (1) 表M2-1-1～表M2-1-5の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節1に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 本節1の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

##### 1-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 改修工事における配管工事に適用する。
  - ロ. 改修工事における配管工事は、表M1-1-1～表M1-1-51による標準歩掛りから「はつり補修」を除く。

##### (2) 細目工種

表M2-1-1

配管（表M1-1-1～表M1-1-51による）

細目	単位	名称	単位	呼 び 径
				表M1-1-1～表M1-1-51による
表M1-1-1 ） 表M1-1-51 による	m	管	m	表M1-1-1～表M1-1-51による
		継手		
		接合材等		
		支持金物		
		配管工	人	
		その他		

表M2-1-2

配管分岐（鋼管類）																	
細目	単位	名称	単位	呼 び 径													
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
配管分岐	か所	配管（材工）	m	1.0													
		保温（材工）	m	1.5													
		配管工	人	0.27	0.30	0.32	0.36	0.41	0.48	0.72	0.85	0.99	1.16	1.52	1.69	2.08	2.51
		保温工	人	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.05	0.06	0.07	0.09	0.12	0.15
		その他		1式													

- (注) 1. 配管(材工)は標準歩掛りによる複合単価(「はつり補修」を除く)とし、管種、施工部位別とする。  
 2. 保温(材工)は市場単価とし、施工部位別とする。なお、必要に応じて塗装工事を加算する。  
 3. 配管工は切断、既設管取外し、分岐継手接続の労務歩掛りとする。  
 4. 保温工は既設保温材取外しの労務歩掛りとする。  
 5. 保温を要しない場合は、表中の保温(材工)、保温工を適用しない。  
 6. 「その他」の率対象は、配管工、保温工とする。

表M2-1-3

配管分岐（樹脂管類）																		
細目	単位	名称	単位	呼 び 径														
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
配管分岐	か所	配管（材工）	m	0.5												—	—	—
		保温（材工）	m	1.0												—	—	—
		配管工	人	0.09	0.10	0.10	0.10	0.13	0.13	0.14	0.17	0.18	0.22	0.23	—	—	—	
		保温工	人	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04	0.04	—	—	—	
		その他		1式														

- (注) 1. 配管(材工)は標準歩掛りによる複合単価(「はつり補修」を除く)とし、管種、施工部位別とする。  
 2. 保温(材工)は市場単価とし、施工部位別とする。なお、必要に応じて塗装工事を加算する。  
 3. 配管工は切断、既設管取外し、分岐継手接続の労務歩掛りとする。  
 4. 保温工は既設保温材取外しの労務歩掛りとする。  
 5. 保温を要しない場合は、表中の保温(材工)、保温工を適用しない。  
 6. 「その他」の率対象は、配管工、保温工とする。



表M2-1-4

配管切断（鋼管類）																				
細目	単位	名称	単位	呼び径																
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300			
配管切断	か所	保温（材工）	m	0.3						0.5										
		配管工	人	0.13	0.13	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14	0.15	0.16	0.16	0.17	0.19	0.20	0.22			
		保温工	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.04	0.05			
		その他		1式																

- (注) 1. 保温(材工)は市場単価とし、施工部位別とする。なお、必要に応じて塗装工事を加算する。  
 2. 保温工は既設保温材取外しの労務歩掛りとする。  
 3. 保温を要しない場合は、表中の保温(材工)、保温工を適用しない。  
 4. 「その他」の率対象は、配管工、保温工とする。

表M2-1-5

配管切断（樹脂管類）																				
細目	単位	名称	単位	呼び径																
				15 <sup>A</sup>	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300			
配管切断	か所	保温（材工）	m	0.3						0.5						—				
		配管工	人	0.09	0.10	0.10	0.10	0.13	0.13	0.14	0.17	0.18	0.22	0.23	—	—	—			
		保温工	人	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	—	—	—			
		その他		1式																

- (注) 1. 保温(材工)は市場単価とし、施工部位別とする。なお、必要に応じて塗装工事を加算する。  
 2. 保温工は既設保温材取外しの労務歩掛りとする。  
 3. 保温を要しない場合は、表中の保温(材工)、保温工を適用しない。  
 4. 「その他」の率対象は、配管工、保温工とする。

## 2 機器搬出

### 2-1 一般事項

- (1) 機器搬出は標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節2に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 本節2の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

### 2-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 機器類の搬出に適用する。
  - ロ. 機器搬出費は、機器を設置場所から現場敷地内の仮置場まで運び出すまでの費用であり、単独の機器の質量が100kg以上の機器搬出について適用する。
  - ハ. 機器搬出の歩掛りは、第1章第1節5機器搬入による。

### 3 はつり工事

#### 3-1 一般事項

- (1) 表M2-1-6～表M2-1-9の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節3に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 本節3の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 3-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. はつり工事に適用する。
  - ロ. 本項目のはつり工事は、特記のある場合に適用する。
  - ハ. 本項目のはつり工事は、鉄筋切断、搬出に要する費用及び補修費を含むものとする。

#### (2) 細目工種

表M2-1-6

手はつり（配管貫通口）					（はつり工 人／か所）	
コンクリート壁 貫 通 口 径	コ ン ク リ ー ト 厚 さ (mm)				そ の 他	備 考
	120～150	200程度	300程度	400程度		
75 mm	0.18 人	0.22 人	0.47 人	0.58 人	1式	
100 mm	0.20	0.25	0.53	0.67		
125 mm	0.22	0.28	0.56	0.73		
150 mm	0.23	0.30	0.59	0.77		
200 mm	0.26	0.34	0.67	0.88		
250 mm	0.31	0.39	0.75	1.01		
300 mm	0.35	0.43	0.85	1.17		
350 mm	0.42	0.48	0.99	1.34		
400 mm	0.48	0.55	1.08	1.56		
450 mm	0.55	0.63	1.25	1.77		
500 mm	0.64	0.72	1.41	2.04		

- (注) 1. 無筋コンクリートの場合は、本表の手はつりの歩掛りを80%、コンクリートブロックの場合は手はつりの歩掛りを50%とする。
2. 大規模な解体工事は別途建築工事の歩掛り(機械作業)による。
3. 「その他」の率対象は、はつり工とする。

表M2-1-7

手はつり (ダクト貫通口)					(はつり工 人/か所)	
コンクリート壁 貫通面積	コンクリート厚さ (mm)				その他	備考
	120~150	200程度	300程度	400程度		
0.1 m <sup>2</sup>	0.43 人	0.51 人	0.99 人	1.43 人	1式	
0.2 m <sup>2</sup>	0.62	0.73	1.42	1.98		
0.3 m <sup>2</sup>	0.83	0.98	1.93	2.68		
0.4 m <sup>2</sup>	0.94	1.08	2.12	2.98		
0.5 m <sup>2</sup>	1.05	1.17	2.30	3.21		
0.6 m <sup>2</sup>	1.08	1.21	2.39	3.34		
0.7 m <sup>2</sup>	1.12	1.28	2.51	3.52		
0.8 m <sup>2</sup>	1.16	1.33	2.61	3.66		
0.9 m <sup>2</sup>	1.21	1.40	2.72	3.85		

- (注) 1. 無筋コンクリートの場合は、本表の手はつりの歩掛を80%、コンクリートブロックの場合は手はつりの歩掛を50%とする。  
 2. 大規模な解体工事は別途建築工事の歩掛り(機械作業)による。  
 3. 「その他」の率対象は、はつり工とする。

表M2-1-8

手はつり (溝はつり、面はつり)				(はつり工 人/m、人/m <sup>2</sup> )	
溝はつりの巾×深	単位	はつり工	その他	備考	
30×30mm	m	0.08 人	1式		
50×50mm	m	0.16			
75×75mm	m	0.25			
100×100mm	m	0.32			
面はつり(30mm程度)	m <sup>2</sup>	0.42			

- (注) 1. 無筋コンクリートの場合は、本表の手はつりの歩掛りを80%、コンクリートブロックの場合は手はつりの歩掛りを50%とする。  
 2. 「その他」の率対象は、はつり工とする。

表M2-1-9

機械はつり (ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)									(特殊作業員 人/か所)	
コンクリート壁 貫通口径	コンクリート厚さ (mm)								その他	備考
	100~150	200程度	250程度	300程度	350程度	400程度	450程度	500程度		
25 mm	0.20 人	0.27 人	0.35 人	0.41 人	0.48 人	0.55 人	0.62 人	0.69 人	1式	
28 mm	0.21	0.28	0.36	0.44	0.51	0.58	0.65	0.72		
32 mm	0.21	0.29	0.36	0.44	0.51	0.58	0.65	0.72		
38 mm	0.21	0.29	0.36	0.44	0.51	0.58	0.65	0.72		
50 mm	0.24	0.32	0.40	0.48	0.56	0.64	0.72	0.80		
63 mm	0.24	0.32	0.40	0.48	0.56	0.64	0.72	0.81		
75 mm	0.28	0.38	0.47	0.57	0.67	0.76	0.86	0.96		
88 mm	0.29	0.39	0.49	0.59	0.70	0.80	0.90	0.99		
100 mm	0.32	0.42	0.53	0.63	0.74	0.84	0.95	1.06		
125 mm	0.37	0.49	0.62	0.74	0.86	0.99	1.11	1.24		
150 mm	0.45	0.60	0.75	0.90	1.05	1.20	1.35	1.51		
175 mm	0.55	0.73	0.92	1.11	1.29	1.48	1.66	1.85		
200 mm	0.63	0.94	1.10	1.26	1.42	1.58	1.74	1.91		
225 mm	0.76	1.14	1.33	1.52	1.71	1.90	2.09	2.28		
250 mm	0.95	1.43	1.67	1.91	2.15	2.39	2.63	2.87		
300 mm	1.08	1.62	1.89	2.16	2.43	2.70	2.97	3.24		
350 mm	1.32	1.99	2.32	2.65	2.99	3.32	3.65	3.98		
400 mm	1.75	2.62	3.06	3.50	3.94	4.37	4.81	5.25		
450 mm	1.97	2.96	3.45	3.95	4.44	4.94	5.43	5.93		
500 mm	2.20	3.30	3.85	4.40	4.95	5.50	6.05	6.60		

- (注) 1. 「その他」の率対象は、特殊作業員とする。

## 第2節 空気調和設備工事

### 1 ダクト設備

#### 1-1 一般事項

- (1) 表M2-2-1の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節1に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 本節1の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 1-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項  
イ. ダクトの端部閉塞に適用する。

- (2) 細目工種

表M2-2-1

#### ダクト端部閉塞

細目	単位	名称	摘要	単位	数量	
基準単価	m <sup>2</sup>	材料	亜鉛鉄板	1.0 t	m <sup>2</sup>	1.6
		雑材料	鋼材・雑材料			1式 (材料費×0.3)
		ダクト工		鉄板鋼材加工取付	人	1.0
		その他				1式

(注) 1. 「その他」の率対象は、材料、雑材料、ダクト工とする。

### 第3節 給排水衛生設備工事

#### 1 樹類

##### 1-1 一般事項

- (1) 表M2-3-1の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節1に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 本節1の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

##### 1-2 標準歩掛り

- (1) 適用条件及び留意事項
  - イ. 樹のインバート改修に適用する。

- (2) 細目工種

表M2-3-1

インバート改修						
細目	単位	名称	単位	規格		
				600角以下	900φ	1200φ
インバート改修	か所	インバートコンクリート	m <sup>3</sup>	0.01	0.05	0.10
		インバート型枠	m <sup>2</sup>	0.12	0.24	0.33
		インバートモルタル	m <sup>3</sup>	0.01	0.03	0.05
		普通作業員	人	0.05	0.05	0.10
		はつり工	人	0.05	0.20	0.39
		その他			1式	

(注) 1. 「その他」の率対象は、普通作業員、はつり工とする。

## 第4節 撤去工事

### 1 撤去

#### 1-1 一般事項

- (1) 表M2-4-1～表M2-4-9の細目工種は、標準歩掛りを適用する。
- (2) 本節1に定める標準歩掛りにおける仕様は、公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書による。
- (3) 本節1の定めによりがたい場合の単価及び価格の算定については、「第1編 総則」に基づき適切に算定する。

#### 1-2 標準歩掛り

##### (1) 適用条件及び留意事項

- イ. 配管、ダクト、保温及び機器の撤去到適用する。
- ロ. 資機材撤去は、新設歩掛りを補正した労務歩掛りによるほか、撤去歩掛りによる。
- ハ. 資機材の施工状況等により、新設歩掛りに対する補正率を増減することができる。

##### (2) 細目工種

表M2-4-1

撤去					
種 別	使用区分	労務歩掛り	その他	備 考	
配管類	撤去(撤去後 再使用しない)	新設歩掛り ×0.3	1式	(1) 配管類の労務歩掛りは「は つり補修」を除く。 (2) 機器の場外搬出は別途計上 する。 (3) ボイラー、冷凍機、冷却塔、 タンク、空調機、送風機、ポ ンプ等のうち、100kg 以上の 機器を重量機器として扱い、 100kg 未満のものを軽量機器 として扱う。	
配管付属品類		×0.3			
ダクト・同付属品類		×0.3			
保 温		×0.3			
水栓、排水金具等		×0.3			
軽 量 機 器		×0.3			
重 量 機 器		×0.4			
配管類	取外し(撤去後 再使用する)	新設歩掛り ×0.4			
配管付属品類		×0.4			
ダクト・同付属品類		×0.4			
保 温		×0.4			
水栓、排水金具等		×0.4			
軽 量 機 器		×0.4			
重 量 機 器		×0.7			

- (注) 1. 使用区分が撤去の「その他」の率対象は、労務歩掛りとし、工種は撤去を適用する。
2. 使用区分が取外しの「その他」の率対象は、労務歩掛りとし、工種は取外しを行う資機材に対応するものを適用する。

表M2-4-2

配管保温撤去（ポリスチレンフォーム）（1/3）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼び径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
給水管、排水管	ポリスチレンフォーム	屋内露出 (一般居室、廊下)	合成樹脂製 カバー1及び2	m	保温厚	mm	20							25						
					保温工	人	0.012	0.013	0.013	0.013	0.014	0.015	0.017	0.019	0.025	0.031	0.036	0.050	0.060	0.070
					ダクト工	人	0.006	0.007	0.007	0.008	0.008	0.009	0.010	0.011	0.014	0.015	0.017	0.021	0.025	0.029
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20							25						
					保温工	人	0.023	0.023	0.025	0.026	0.029	0.031	0.034	0.037	0.048	0.056	0.064	0.084	0.110	0.139
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20							25						
					保温工	人	0.019	0.020	0.022	0.023	0.025	0.027	0.029	0.032	0.043	0.050	0.057	0.074	0.097	0.125
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス 化粧保温筒	m	保温厚	mm	20							25						
					保温工	人	0.012	0.013	0.013	0.013	0.014	0.015	0.017	0.019	0.025	0.031	0.036	0.050	0.060	0.070
					その他		1式													
		暗渠内 (ピット内を含む。)	着色アルミガラス クロス	m	保温厚	mm	20							25						
					保温工	人	0.023	0.024	0.027	0.029	0.031	0.034	0.037	0.041	0.053	0.062	0.071	0.092	0.122	0.157
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板 又は 溶融アルミニウ ム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	20							25						
					保温工	人	0.017	0.017	0.019	0.020	0.022	0.024	0.026	0.029	0.038	0.045	0.051	0.065	0.087	0.111
					ダクト工	人	0.020	0.022	0.023	0.026	0.027	0.030	0.033	0.036	0.045	0.051	0.057	0.070	0.083	0.095
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	20							25						
					保温工	人	0.017	0.017	0.019	0.020	0.022	0.024	0.026	0.029	0.038	0.045	0.051	0.065	0.087	0.111
					ダクト工	人	0.028	0.030	0.032	0.035	0.036	0.041	0.045	0.050	0.061	0.069	0.077	0.096	0.113	0.130
					その他		1式													

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。



配管保温撤去（ポリスチレンフォーム）（2/3）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼 び 径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
冷水・冷温水管（膨張管を含む）	ポリスチレンフォーム	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1及び2	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.022	0.023	0.024	0.029	0.032	0.035	0.039	0.043	0.053	0.063	0.073	0.084	0.114	0.132
					ダクト工	人	0.008	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	0.013	0.014	0.016	0.018	0.020	0.023	0.028	0.032
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.034	0.035	0.037	0.045	0.049	0.053	0.058	0.063	0.079	0.092	0.105	0.134	0.168	0.202
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.025	0.027	0.029	0.034	0.037	0.041	0.044	0.048	0.061	0.071	0.081	0.104	0.132	0.161
					その他		1式													
		暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.030	0.031	0.032	0.040	0.043	0.047	0.053	0.058	0.071	0.086	0.098	0.115	0.155	0.179
					その他		1式													
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラー亜鉛鉄板又は溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.022	0.023	0.024	0.029	0.032	0.035	0.039	0.043	0.053	0.063	0.073	0.084	0.114	0.132
					ダクト工	人	0.026	0.027	0.029	0.035	0.036	0.039	0.043	0.046	0.052	0.059	0.065	0.077	0.094	0.107
					その他		1式													
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.022	0.023	0.024	0.029	0.032	0.035	0.039	0.043	0.053	0.063	0.073	0.084	0.114	0.132
					ダクト工	人	0.035	0.036	0.039	0.048	0.050	0.053	0.059	0.062	0.071	0.080	0.088	0.105	0.128	0.145
					その他		1式													

- (注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。  
 2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

配管保温撤去（ポリスチレンフォーム）（3/3）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼び径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
冷水管 (冷水温度 25 4℃)		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30			40						50				
					保温工	人	0.034	0.035	0.038	0.045	0.049	0.053	0.058	0.063	0.079	0.093	0.106	0.136	0.168	0.202
					その他		1式													
ポリスチレンフォーム ブライン管		屋内露出 (一般居室、廊下)	合成樹脂製 カバー1及び2	m	保温厚	mm	40			50				65						
					保温工	人	0.023	0.024	0.025	0.031	0.033	0.036	0.041	0.044	0.054	0.065	0.075	0.086	0.116	0.134
					ダクト工	人	0.008	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	0.014	0.014	0.016	0.018	0.020	0.024	0.029	0.033
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	40			50				65						
					保温工	人	0.035	0.036	0.038	0.046	0.050	0.055	0.059	0.064	0.080	0.093	0.106	0.136	0.170	0.203
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	40			50				65						
					保温工	人	0.026	0.028	0.030	0.035	0.038	0.042	0.045	0.049	0.062	0.073	0.083	0.105	0.134	0.163
					その他		1式													
		暗渠内 (ピット内を含む。)	着色アルミガラス クロス	m	保温厚	mm	40			50				65						
					保温工	人	0.031	0.032	0.033	0.041	0.044	0.048	0.054	0.059	0.073	0.087	0.099	0.116	0.156	0.181
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板 又は 溶融アルミニウ ム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	40			50				65						
					保温工	人	0.023	0.024	0.025	0.031	0.033	0.036	0.041	0.044	0.054	0.065	0.075	0.086	0.116	0.134
					ダクト工	人	0.027	0.028	0.030	0.037	0.038	0.041	0.045	0.048	0.054	0.061	0.067	0.079	0.096	0.109
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	40			50				65						
保温工					人	0.023	0.024	0.025	0.031	0.033	0.036	0.041	0.044	0.054	0.065	0.075	0.086	0.116	0.134	
ダクト工					人	0.036	0.038	0.040	0.050	0.051	0.055	0.060	0.064	0.073	0.082	0.090	0.107	0.130	0.147	
その他						1式														

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

表M2-4-3

配管保温撤去（ロックウール）（1/4）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼 び 径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む）	ロックウール	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1及び2	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.012	0.013	0.013	0.014	0.014	0.016	0.017	0.019	0.026	0.032	0.037	0.056	0.066	0.077
					ダクト工	人	0.006	0.007	0.007	0.008	0.008	0.009	0.010	0.011	0.014	0.016	0.017	0.023	0.028	0.031
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.023	0.023	0.026	0.026	0.029	0.031	0.034	0.037	0.049	0.058	0.066	0.095	0.116	0.141
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.016	0.017	0.018	0.020	0.021	0.023	0.025	0.027	0.037	0.043	0.049	0.069	0.087	0.108
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.016	0.017	0.018	0.020	0.021	0.023	0.025	0.027	0.037	0.043	0.049	0.069	0.087	0.108
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.012	0.013	0.013	0.014	0.014	0.016	0.017	0.019	0.026	0.032	0.037	0.056	0.066	0.077
					その他		1式													
		暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.019	0.020	0.022	0.023	0.026	0.028	0.031	0.034	0.045	0.053	0.060	0.085	0.109	0.128
					その他		1式													
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラー亜鉛鉄板又は溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.014	0.015	0.016	0.017	0.018	0.020	0.021	0.023	0.032	0.037	0.043	0.060	0.075	0.095
					ダクト工	人	0.020	0.022	0.023	0.026	0.027	0.030	0.033	0.036	0.045	0.052	0.057	0.077	0.089	0.102
					その他		1式													
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	20						25			40				
保温工	人				0.014	0.015	0.016	0.017	0.018	0.020	0.021	0.023	0.032	0.037	0.043	0.060	0.075	0.095		
ダクト工	人				0.028	0.030	0.032	0.035	0.036	0.041	0.045	0.050	0.062	0.070	0.078	0.105	0.122	0.139		
その他					1式															

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

配管保温撤去（ロックウール）（2/4）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼 び 径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
冷水・冷温水管（膨張管を含む）	ロックウール	屋内露出 （一般居室、廊下）	合成樹脂製 カバー1及び2	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.020	0.023	0.025	0.027	0.029	0.032	0.042	0.048	0.056	0.060	0.089	0.111
					ダクト工	人	0.008	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	0.013	0.014	0.016	0.018	0.020	0.023	0.028	0.032
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.029	0.030	0.033	0.036	0.039	0.043	0.046	0.050	0.064	0.075	0.085	0.116	0.141	0.169
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラス 化粧原紙	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.021	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.034	0.038	0.049	0.056	0.064	0.087	0.110	0.133
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.021	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.034	0.038	0.049	0.056	0.064	0.087	0.110	0.133
					その他		1式													
		暗 渠 内 （ピット内を含む。）	着色アルミガラ スクロス	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.023	0.026	0.028	0.031	0.034	0.037	0.040	0.044	0.056	0.066	0.074	0.101	0.129	0.152
					その他		1式													
		屋外露出（バルコ ニー、開放廊下を含 む。）、浴室及び厨房 等の多湿箇所（厨房の 天井内は含まない。）	カラー亜鉛鉄板 又は 溶融アルミニウ ム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.020	0.023	0.025	0.027	0.029	0.032	0.042	0.048	0.056	0.060	0.089	0.111
					ダクト工	人	0.026	0.027	0.029	0.035	0.036	0.039	0.043	0.046	0.052	0.059	0.065	0.077	0.094	0.107
					その他		1式													
		屋外露出（バルコ ニー、開放廊下を含 む。）、浴室及び厨房 等の多湿箇所（厨房の 天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.020	0.023	0.025	0.027	0.029	0.032	0.042	0.048	0.056	0.060	0.089	0.111
					ダクト工	人	0.035	0.036	0.039	0.048	0.050	0.053	0.059	0.062	0.071	0.080	0.088	0.105	0.128	0.145
					その他		1式													

- (注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。  
 2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

配管保温撤去（ロックウール）（3/4）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼び径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
蒸気管	ロックウール	屋内露出 (一般居室、廊下)	合成樹脂製 カバー1及び2	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.012	0.013	0.013	0.016	0.017	0.018	0.024	0.026	0.032	0.039	0.045	0.058	0.068	0.079
					ダクト工	人	0.007	0.007	0.008	0.009	0.010	0.010	0.013	0.014	0.016	0.018	0.020	0.023	0.028	0.031
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.023	0.025	0.027	0.030	0.032	0.035	0.039	0.043	0.055	0.064	0.073	0.102	0.123	0.149
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラス 化粧原紙	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.016	0.017	0.019	0.022	0.023	0.026	0.028	0.031	0.041	0.047	0.054	0.074	0.093	0.115
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.016	0.017	0.019	0.022	0.023	0.026	0.028	0.031	0.041	0.047	0.054	0.074	0.093	0.115
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス 化粧保温筒	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.012	0.013	0.013	0.016	0.017	0.018	0.024	0.026	0.032	0.039	0.045	0.058	0.068	0.079
					その他		1式													
		暗渠内 (ピット内を含む。)	着色アルミガラ スクロス	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.020	0.021	0.023	0.026	0.029	0.031	0.034	0.038	0.050	0.059	0.066	0.092	0.116	0.137
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板 又は 溶融アルミニウ ム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.022	0.024	0.026	0.029	0.032	0.035	0.038	0.042	0.056	0.065	0.074	0.102	0.129	0.152
					ダクト工	人	0.022	0.023	0.025	0.030	0.032	0.034	0.043	0.046	0.052	0.059	0.065	0.080	0.092	0.104
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	20			30			40							
保温工	人				0.014	0.016	0.017	0.019	0.021	0.023	0.025	0.027	0.037	0.041	0.048	0.066	0.082	0.102		
ダクト工	人				0.030	0.031	0.034	0.041	0.043	0.047	0.059	0.062	0.071	0.080	0.088	0.109	0.126	0.143		
その他					1式															

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

配管保温撤去（ロックウール）（4/4）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼 び 径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
冷媒管	ロックウール	屋内露出 (一般居室、廊下)	合成樹脂製 カバー1及び2	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.020	0.023	0.025	0.027	0.029	0.032	0.042	0.048	0.056	0.060	0.089	0.111
					ダクト工	人	0.008	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	0.013	0.014	0.016	0.018	0.020	0.023	0.028	0.032
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.029	0.030	0.033	0.036	0.039	0.043	0.046	0.050	0.064	0.075	0.085	0.116	0.141	0.169
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラス 化粧原紙	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.021	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.034	0.038	0.049	0.056	0.064	0.087	0.110	0.133
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.021	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.034	0.038	0.049	0.056	0.064	0.087	0.110	0.133
					その他		1式													
		暗 渠 内 (ピット内を含む。)	着色アルミガラ クロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.023	0.026	0.028	0.031	0.034	0.037	0.040	0.044	0.056	0.066	0.074	0.101	0.129	0.152
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板 又は 溶融アルミニウ ム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.020	0.023	0.025	0.027	0.029	0.032	0.042	0.048	0.056	0.060	0.089	0.111
					ダクト工	人	0.026	0.027	0.029	0.035	0.036	0.039	0.043	0.046	0.052	0.059	0.065	0.077	0.094	0.107
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.020	0.023	0.025	0.027	0.029	0.032	0.042	0.048	0.056	0.060	0.089	0.111
					ダクト工	人	0.035	0.036	0.039	0.048	0.050	0.053	0.059	0.062	0.071	0.080	0.088	0.105	0.128	0.145
					その他		1式													

- (注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。  
 2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

表M2-4-4

## 配管保温撤去（グラスウール）（1/4）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼 び 径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む）	グラスウール	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1及び2	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.011	0.011	0.011	0.011	0.012	0.014	0.016	0.017	0.023	0.029	0.034	0.050	0.059	0.069
					ダクト工	人	0.006	0.007	0.007	0.008	0.008	0.009	0.010	0.011	0.014	0.016	0.017	0.023	0.028	0.031
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.020	0.021	0.023	0.024	0.024	0.029	0.030	0.033	0.044	0.052	0.059	0.086	0.108	0.129
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.014	0.015	0.016	0.017	0.018	0.020	0.022	0.024	0.032	0.038	0.044	0.062	0.079	0.098
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.014	0.015	0.016	0.017	0.018	0.020	0.022	0.024	0.032	0.038	0.044	0.062	0.079	0.098
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.011	0.011	0.011	0.011	0.012	0.014	0.016	0.017	0.023	0.029	0.034	0.050	0.059	0.069
					その他		1式													
		暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.017	0.018	0.020	0.021	0.023	0.025	0.027	0.030	0.040	0.047	0.054	0.077	0.098	0.121
					その他		1式													
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	カラー亜鉛鉄板又は溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	20						25			40				
					保温工	人	0.012	0.013	0.014	0.015	0.016	0.018	0.019	0.021	0.029	0.034	0.038	0.055	0.070	0.086
					ダクト工	人	0.020	0.022	0.023	0.026	0.027	0.030	0.033	0.036	0.045	0.052	0.057	0.077	0.092	0.104
					その他		1式													
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	20						25			40				
保温工	人				0.012	0.013	0.014	0.015	0.016	0.018	0.019	0.021	0.029	0.034	0.038	0.055	0.070	0.086		
ダクト工	人				0.028	0.030	0.032	0.035	0.036	0.041	0.045	0.050	0.062	0.070	0.078	0.105	0.126	0.143		
その他					1式															

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

配管保温撤去（グラスウール）（2/4）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼 び 径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
冷水・冷温水管（膨張管を含む）	グラスウール	屋内露出 （一般居室、廊下）	合成樹脂製 カバー1及び2	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.016	0.017	0.019	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.040	0.047	0.053	0.064	0.083	0.102
					ダクト工	人	0.008	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	0.013	0.014	0.016	0.018	0.020	0.023	0.028	0.032
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.026	0.027	0.029	0.035	0.037	0.041	0.044	0.048	0.060	0.070	0.079	0.098	0.124	0.148
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラス 化粧原紙	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.021	0.025	0.028	0.030	0.033	0.036	0.045	0.053	0.060	0.073	0.095	0.116
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.021	0.025	0.028	0.030	0.033	0.036	0.045	0.053	0.060	0.073	0.095	0.116
					その他		1式													
		暗 渠 内 （ピット内を含む。）	着色アルミガラ クロス	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.023	0.024	0.026	0.031	0.034	0.038	0.041	0.045	0.056	0.066	0.074	0.091	0.117	0.143
					その他		1式													
		屋外露出（バルコ ニー、開放廊下を含 む。）、浴室及び厨房 等の多湿箇所（厨房の 天井内は含まない。）	カラー亜鉛鉄板 又は 溶融アルミニウ ム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.016	0.017	0.019	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.040	0.047	0.053	0.064	0.083	0.102
					ダクト工	人	0.026	0.027	0.029	0.035	0.036	0.039	0.043	0.046	0.052	0.059	0.065	0.077	0.094	0.107
					その他		1式													
		屋外露出（バルコ ニー、開放廊下を含 む。）、浴室及び厨房 等の多湿箇所（厨房の 天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	30					40					50			
					保温工	人	0.016	0.017	0.019	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.040	0.047	0.053	0.064	0.083	0.102
					ダクト工	人	0.035	0.036	0.039	0.048	0.050	0.053	0.059	0.062	0.071	0.080	0.088	0.105	0.128	0.145
					その他		1式													

- (注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。  
 2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。



配管保温撤去（グラスウール）（3/4）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼 び 径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
蒸気管	グラスウール	屋内露出 (一般居室、廊下)	合成樹脂製 カバー1及び2	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.010	0.011	0.011	0.014	0.015	0.016	0.023	0.025	0.032	0.036	0.043	0.050	0.058	0.067
					ダクト工	人	0.007	0.007	0.008	0.009	0.010	0.010	0.013	0.014	0.016	0.018	0.020	0.023	0.028	0.031
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.020	0.022	0.023	0.026	0.029	0.032	0.038	0.041	0.053	0.061	0.071	0.090	0.107	0.129
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラス 化粧原紙	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.014	0.015	0.016	0.019	0.021	0.023	0.028	0.030	0.040	0.045	0.053	0.065	0.079	0.098
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.014	0.015	0.016	0.019	0.021	0.023	0.028	0.030	0.040	0.045	0.053	0.065	0.079	0.098
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス 化粧保温筒	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.010	0.011	0.011	0.014	0.015	0.016	0.023	0.025	0.032	0.036	0.044	0.050	0.058	0.067
					その他		1式													
		暗 渠 内 (ピット内を含む。)	着色アルミガラ スクロス	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.017	0.018	0.020	0.023	0.026	0.028	0.034	0.037	0.049	0.056	0.066	0.081	0.098	0.121
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板 又は 溶融アルミニウ ム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	20			30			40							
					保温工	人	0.012	0.013	0.014	0.017	0.018	0.020	0.024	0.026	0.035	0.040	0.047	0.057	0.070	0.086
					ダクト工	人	0.022	0.023	0.025	0.030	0.032	0.034	0.043	0.046	0.052	0.059	0.065	0.080	0.092	0.104
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	20			30			40							
保温工	人				0.012	0.013	0.014	0.017	0.018	0.020	0.024	0.026	0.035	0.040	0.047	0.057	0.070	0.086		
ダクト工	人				0.030	0.031	0.034	0.041	0.043	0.047	0.059	0.062	0.071	0.080	0.088	0.109	0.126	0.143		
その他					1式															

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

配管保温撤去（グラスウール）（4/4）

区分	保温種別	施工箇所	外装材	単位	名称	呼 び 径														
						15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300	
冷媒管	グラスウール	屋内露出 (一般居室、廊下)	合成樹脂製 カバー1及び2	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.016	0.017	0.019	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.040	0.047	0.053	0.064	0.083	0.102
					ダクト工	人	0.008	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	0.013	0.014	0.016	0.018	0.020	0.023	0.028	0.032
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.026	0.027	0.029	0.035	0.037	0.041	0.044	0.048	0.060	0.070	0.079	0.098	0.124	0.148
					その他		1式													
		機械室、書庫、倉庫	アルミガラス 化粧原紙	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.021	0.025	0.028	0.030	0.033	0.036	0.045	0.053	0.060	0.073	0.095	0.116
					その他		1式													
		天井内、パイプシャフト 内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.018	0.019	0.021	0.025	0.028	0.030	0.033	0.036	0.045	0.053	0.060	0.073	0.095	0.116
					その他		1式													
		暗 渠 内 (ピット内を含む。)	着色アルミガラ クロス	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.023	0.024	0.026	0.031	0.034	0.038	0.041	0.045	0.056	0.066	0.074	0.091	0.117	0.143
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板 又は 溶融アルミニウ ム-亜鉛鉄板	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.016	0.017	0.019	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.040	0.047	0.053	0.064	0.083	0.102
					ダクト工	人	0.026	0.027	0.029	0.035	0.036	0.039	0.043	0.046	0.052	0.059	0.065	0.077	0.094	0.107
					その他		1式													
		屋外露出(バルコ ニー、開放廊下を含 む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の 天井内は含まない。)	ステンレス鋼板	m	保温厚	mm	30			40							50			
					保温工	人	0.016	0.017	0.019	0.022	0.024	0.027	0.029	0.032	0.040	0.047	0.053	0.064	0.083	0.102
					ダクト工	人	0.035	0.036	0.039	0.048	0.050	0.053	0.059	0.062	0.071	0.080	0.088	0.105	0.128	0.145
					その他		1式													

- (注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。  
 2. 「その他」の率対象は、保温工、ダクト工とする。

表M2-4-5

## ダクト類保温撤去

区分	細目	施工箇所等	外装材	保温厚	単位	保温工 (40K)	保温工 (32K)	その他	
				mm		人	人		
一般ダクト	長方形	ロックウール グラスウール	屋内露出(一般居室、廊下)	亜鉛鉄板 カラー亜鉛鉄板	50	m <sup>2</sup>	0.170	—	1式
			機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	25	m <sup>2</sup>	0.047	—	
					50		0.040		
			屋内隠ぺい、ダクト シャフト内	アルミガラスクロス	25	m <sup>2</sup>	0.045	—	
			屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	ステンレス鋼板	50	m <sup>2</sup>	0.289	—	
	亜鉛鉄板	50		m <sup>2</sup>	0.175	—			
	スパイラル	ロックウール グラスウール	屋内露出(一般居室、廊下)	亜鉛鉄板 カラー亜鉛鉄板	50	m <sup>2</sup>	0.137	0.136	
			機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	25	m <sup>2</sup>	0.044	0.044	
					50		0.048	0.047	
			屋内隠ぺい、ダクト シャフト内	アルミガラスクロス	25	m <sup>2</sup>	0.042	0.041	
屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)			ステンレス鋼板	50	m <sup>2</sup>	0.225	0.224		
	亜鉛鉄板	50	m <sup>2</sup>	0.144	0.143				
消音内貼	ロックウール グラスウール	サプライチャンバー	銅きつ甲金網 アルミバンチングメタル	50	m <sup>2</sup>	0.077	—		
				25	m <sup>2</sup>	0.072	—		
		消音チャンバー 消音エルボ	ガラスクロス	50	m <sup>2</sup>	0.066	—		
				25	m <sup>2</sup>	0.060	—		
排煙ダクト	長方形	ロックウール	屋内隠ぺい	アルミガラスクロス	25	m <sup>2</sup>	0.051	—	
	円形	ロックウール	屋内隠ぺい	アルミガラスクロス	25	m <sup>2</sup>	0.046	—	
排気筒	ロックウール	屋内隠ぺい	アルミガラスクロス	50	m <sup>2</sup>	0.066	—		

- (注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。  
2. 保温工(32K)は、スパイラルダクトの保温密度が32Kの場合に適用する。  
3. 「その他」の率対象は、保温工とする。

表M2-4-6

## 長方形ダクト撤去

細目	単位	亜鉛鉄板厚	ダクト工	その他
		mm	人	
長方形ダクト	m <sup>2</sup>	0.5	0.066	1式
		0.6	0.072	
		0.8	0.075	
		1.0	0.093	
		1.2	0.123	
		1.6	0.162	

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、ダクト工とする。

表M2-4-7

## スパイラルダクト(低圧ダクト、高圧1ダクト、高圧2ダクト)撤去

細目	単位	ダクト口径	ダクト工	その他
		mm	人	
スパイラルダクト	m	100	0.035	1式
		125	0.035	
		150	0.040	
		175	0.047	
		200	0.052	
		225	0.057	
		250	0.060	
		275	0.066	
		300	0.075	
		350	0.086	
		400	0.101	
		450	0.118	
		500	0.130	
		550	0.153	
		600	0.156	
		650	0.173	
		700	0.182	
		750	0.196	
		800	0.208	
		850	0.216	
900	0.231			
950	0.239			
1,000	0.261			

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、ダクト工とする。

表M2-4-8

## ダクト付属品撤去

細 目	単位	摘 要	ダクト工	その他
			人	
吹 出 口 ユニバーサル形 (VHS、VS、VH、V)	個	0.04 m <sup>2</sup> 以下	0.099	1式
		0.10 m <sup>2</sup> 以下	0.114	
		0.20 m <sup>2</sup> 以下	0.132	
		0.30 m <sup>2</sup> 以下	0.162	
		0.40 m <sup>2</sup> 以下	0.210	
吹 出 口 シーリングディフューザー (C2、CA、CD、E2、EA、ED)	個	直径 200 mm 以下	0.117	1式
		250 ~ 350 mm	0.138	
		400 ~ 500 mm	0.165	
		550 mm 以上	0.189	
ノズル形吹出口	個		0.117	1式
線 状 吹 出 口 (BL-S、BL-D)	個	長辺 1m 以下	0.102	1式
		1m を超え、2m 以下	0.156	
		2m を超え、3m 以下	0.210	
吸 込 口 (GV、GVS)	個	0.1 m <sup>2</sup> 以下	0.126	1式
		0.5 m <sup>2</sup> 以下	0.165	
		1.0 m <sup>2</sup> 以下	0.240	
		1.6 m <sup>2</sup> 以下	0.330	
		2.0 m <sup>2</sup> 以下	0.390	
		2.4 m <sup>2</sup> 以下	0.450	
排 煙 口 (手動操作装置を含む)	組	長辺 0.5 m 未満	0.180	1式
		1.0 m 未満	0.240	
		1.0 m 以上	0.330	
風量調節ダンパー(VD) 逆流防止ダンパー(CD)	個	0.1 m <sup>2</sup> 以下	0.126	1式
		0.5 m <sup>2</sup> 以下	0.150	
		1.0 m <sup>2</sup> 以下	0.225	
		1.6 m <sup>2</sup> 以下	0.300	
		2.0 m <sup>2</sup> 以下	0.360	
		2.4 m <sup>2</sup> 以下	0.420	
防 火 ダンパー(FD) 風量調節・防火ダンパー(FVD) 防 煙 ダンパー(SD) 防火防煙ダンパー(SFD)	個	0.1 m <sup>2</sup> 以下	0.135	1式
		0.5 m <sup>2</sup> 以下	0.165	
		1.0 m <sup>2</sup> 以下	0.240	
		1.6 m <sup>2</sup> 以下	0.330	
		2.0 m <sup>2</sup> 以下	0.390	
		2.4 m <sup>2</sup> 以下	0.450	
風 量 測 定 口	個		0.069	1式
ベントキャップ	個		0.060	1式
点 検 口 (ダクト用)	か所	0.2 m <sup>2</sup> 未満	0.090	1式
		0.2 m <sup>2</sup> 以上	0.096	

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 「その他」の率対象は、ダクト工とする。

表M2-4-9

## 衛生器具撤去

細目	記号	単位	摘要	配管工	その他
				人	
和風便器		組	洗浄弁式	0.402	1式
			タンク式	0.555	
大便器	C 1111 C 1111R C 1111S	組	高座面形、洗浄弁式	0.630	1式
			高座面形、タンク式	0.468	
	C 710 C 910 C 1200 C 1210 C 710R C 910R C 710S C 910S C 1200R C 1210R C 1200S C 1210S	組	洗浄弁式	0.318	
			タンク式	0.468	
小便器	U 510 U 511	組	洗浄弁式床置小便器	0.342	1式
	U 520 U 521		洗浄弁式壁掛小便器	0.249	
	U 610		専用洗浄弁式床置小便器	0.342	
	U 620		専用洗浄弁式壁掛小便器	0.249	
洗面器	L 410 L 420 L 511	組	水栓 1 個 付付 水栓 2 個 付付	0.207	1式
手洗器	L 710 L 730	組		0.090	1式
洗面化粧台		組		0.174	1式
洗濯機パン		組	トラップ付	0.144	1式
掃除流し	S 210 NS 210	組	バック付き掃除流し	0.330	1式
飲料用冷水器		組	立形冷水水飲器	0.207	1式
化粧棚		個	陶器製	0.045	1式
鏡		枚		0.069	1式
身障者用鏡		枚		0.120	1式
水石けん入れ		個	壁付押ボタン式	0.030	1式
仕切板		個	小便器用、陶製	0.039	1式
メデイニングキャビネット		個	露出形	0.039	1式
洗浄弁		個	大便器用(洗浄弁のみ撤去の場合)	0.105	1式
			小便器用(洗浄弁のみ撤去の場合)	0.048	
シャワーセット		組	固定式シャワー 湯水混合栓、吐水口	0.300	1式
小便器用節水装置		組	一括式	0.150	1式
			個別式	0.048	

(注) 1. 取外し(撤去後再使用する)の場合は、歩掛りに1.3を乗じた値とする。

2. 大便器の便座は普通便座とする。

3. 「その他」の率対象は、配管工とする。

## 第5編 昇降機設備工事

### 第1章 新営工事

1. 本章は、建築物等の新築及び増築に係る昇降機設備工事の積算に適用する。

#### 第1節 一般事項

- (1) 昇降機設備工事の単価及び価格は、「第1編 総則」に基づき物価資料の掲載価格又は製造業者、専門工事業者の見積価格等を参考に定める。

## 第2章 改修工事

1. 本章は、建築物等の改修工事に係る昇降機設備工事の積算に適用する。

### 第1節 一般事項

- (1) 昇降機設備工事の単価及び価格は、「第1編 総則」に基づき物価資料の掲載価格又は製造業者、専門工事業者の見積価格等を参考に定める。